公開情報 2025 年 1 月～12 月 年報（全集計対象医療機関）
院内感染対策サーベイランス 検査部門 【入院検体・CLSI 2012 版】

JANIS

【検査部門におけるサーベイランスの概要と目的】

本サーベイランスの目的は、細菌検査により検出される主要な細菌の分離頻度とその抗菌薬感受性を継続的に収集・解析し、医療機関における主要な細菌ならびに薬剤耐性菌の分離状況を明らかにすることである。

サーベイランスの対象となる主要菌ならびに薬剤耐性菌の分離率は、医療機関から提出された陰性検体を含むすべての細菌検査データを基に集計し、算出している。また検査材料別の分離菌割合や菌種別の分離患者数、集計医療機関の分離率分布を集計し、医療機関における主要菌ならびに薬剤耐性菌のベンチマークとなる情報を提供している。

【公開情報の一部改訂について】

- 特定の耐性菌の判定基準について

本年報より、特定の耐性菌の集計には、原則として 2025 年 4 月 7 日および 2026 年 4 月 6 日に改訂施行された感染症法による感染症発生動向調査の届出基準に準拠した判定基準を用いた。判定基準については巻末資料を参照のこと。

この基準改訂により、イミペネム耐性かつセフメタゾール耐性だがメロペネムに感性の株はカルバペネム耐性腸内細菌目細菌（CRE）と判定されなくなり、非無菌検体から分離された肺炎球菌をペニシリン耐性肺炎球菌（PRSP）と判定する基準が≧0.125μg/mL から≧4μg/mL へ厳格化された。
また、カルバペネム耐性緑膿菌および多剤耐性緑膿菌（MDRP）でカルバペネム耐性と判定するための MIC 値が 16μg/mL から 8μg/mL に引き下げられた。

これに伴い、CRE、PRSP、カルバペネム耐性緑膿菌および MDRP の集計値は前年までの値と定義が異なるため、経年的な比較には注意を要する。

【図表】

1. データ提出医療機関*数
2. データ提出医療機関数、検体数、分離菌数
3. 検査材料別分離菌数割合
4. 主要菌分離患者数と全医療機関*の分離率分布
5. 特定の耐性菌†分離患者数と全医療機関*の分離率分布
6. 特定の耐性菌†が分離された医療機関の割合
7. 主要菌の抗菌薬感受性

本公表データは国内の全医療機関の数値を集計したデータではありません

データ集計日： 2026 年 05 月 08 日
公開情報掲載日： 2026 年 08 月 17 日

Japan Nosocomial Infections Surveillance

Staphylococcus aureus（ALL）
Staphylococcus aureus （Methicillin-susceptible *Staphylococcus aureus*：MSSA）
Staphylococcus aureus （Methicillin-resistant *Staphylococcus aureus*：MRSA†）
Staphylococcus epidermidis
Coagulase-negative staphylococci （CNS‡）
Enterococcus faecalis
Enterococcus faecium
Streptococcus pneumoniae
Streptococcus pyogenes
Streptococcus agalactiae
Escherichia coli
Klebsiella pneumoniae
Enterobacter cloacae
Enterobacter cloacae complex§
Klebsiella aerogenes
Citrobacter freundii
Citrobacter koseri
Proteus mirabilis
Proteus vulgaris
Serratia marcescens
Pseudomonas aeruginosa
Acinetobacter spp.
Haemophilus influenzae
Staphylococcus aureus（ALL）【血液検体】
Pseudomonas aeruginosa【血液検体】
Escherichia coli【尿検体】

＊ ここではデータ提出医療機関ならびに全医療機関は、集計対象医療機関を表す
† 巻末資料【耐性菌の判定基準】参照
‡ *S. epidermidis* を除く Coagulase-negative staphylococci
§ *Enterobacter cloacae* complex は以下の菌種（菌名コード）を含む
（Davin-Regli et al （2019）,*Clinical Microbiology Reviews*）
Enterobacter cloacae（2151）、*Enterobacter asburiae*（2155）、*Enterobacter hormaechei*（2157）、*Enterobacter kobei*（2158）、*Enterobacter ludwigii*（2159）、*Enterobacter mori*（2160）、*Enterobacter nimipressuralis* （2161）

本公表データは国内の全医療機関の数値を集計したデータではありません　データ集計日：　2026 年 05 月 08 日
公開情報掲載日：　2026 年 08 月 17 日
Japan Nosocomial Infections Surveillance

【解説】

1. データ提出医療機関数

2025 年年報（2025 年 1 月～12 月）の集計対象医療機関数は 3,191 医療機関であり、前年より 233 施設増加した。これは国内 8,060 医療機関の 39.6%を占めていた。

2. データ提出医療機関数、検体数、分離菌数

入院患者由来の検体として 8,974,261 検体が報告され、30 日ごとの重複処理後では 5,218,757 検体となった。重複処理後の 5,218,757 検体のうち、細菌が分離されたものは 2,590,191 検体（陽性検体の割合：49.6%）、分離菌数は 5,052,025 株であった。

30 日ごとの重複処理後の検査材料の内訳は、呼吸器系検体が 1,417,616 検体（27.2%）と最も多く、次いで血液検体 1,344,965 検体（25.8%）、尿検体 1,183,507 検体（22.7%）、便検体 372,881 検体（7.1%）、髄液検体 60,931 検体（1.2%）であった。また、これらの検査材料以外であるその他の検体は 838,857 検体（16.1%）であった。

30 日ごとの重複処理後の検査材料別の陽性検体の割合は、呼吸器検体が 69.5%で最も高く、次いで尿検体 64.2%、便検体 39.8%、血液検体 18.3%、髄液検体 4.3%の順であった。また、その他の検体では 53.4%であった。

3. 検査材料別分離菌数割合

検査材料別分離菌数割合は、起因菌や常在菌・汚染菌にかかわらず、各医療機関から報告されたすべての菌について 30 日ごとの重複処理前後の分離菌数割合を併記している。

血液検体分離菌のうち、重複処理前の上位 3 菌種は *E. coli* 86,434 株（17.0%）、*S. aureus* 72,395 株（14.3%）、*S. epidermidis* 53,922 株（10.6%）であり、重複処理後も *E. coli* 49,784 株（16.8%）、*S. aureus* 34,012 株（11.5%）、*S. epidermidis* 33,810 株（11.4%）であった。

髄液検体分離菌のうち、重複処理前の上位 3 菌種は *S. epidermidis* 620 株（15.9%）、*S. epidermidis* を除く CNS 551 株（14.2%）、*S. aureus* 441 株（11.3%）であり、重複処理後も *S. epidermidis* 454 株（15.6%）、*S. epidermidis* を除く CNS 365 株（12.5%）、*S. aureus* 330 株（11.3%）であった。

呼吸器系検体分離菌のうち、重複処理前の上位 3 菌種は *S. aureus* 390,320 株（13.9%）、α-*Streptococcus* 299,611 株（10.7%）、*P. aeruginosa* 199,352 株（7.1%）であり、重複処理後も *S. aureus* 296,547 株（13.1%）、α-*Streptococcus* 252,504 株（11.1%）、*P. aeruginosa* 142,812

株（6.3%）であった。

尿検体分離菌のうち、重複処理前の上位 3 菌種は *E. coli* 342,271 株（24.0%）、*E. faecalis* 123,611 株（8.7%）、*K. pneumoniae* 102,484 株（7.2%）であり、重複処理後も *E. coli* 302,672 株（23.9%）、*E. faecalis* 112,160 株（8.9%）、*K. pneumoniae* 91,258 株（142,812%）であった。

すべての検体で重複処理前後の上位 3 菌種は同じ結果となった。

4. 主要菌分離患者数と全医療機関の分離率分布

検体提出患者数は 3,224,799 人であった。

分離患者数が最も多かった *E. coli* は検体提出患者のうち 15.48%にあたる 499,180 人より分離されており、次いで *S. aureus* が 423,807 人（13.14%）、*P. aeruginosa* 254,054 人（7.88%）の順であった。

前年と比較し、僅かではあるが分離率が減少したのは、*S. epidermidis*（-0.05%）、*E. cloacae* complex（-0.01%）、*K. aerogenes*（-0.01%）、*Acinetobacter* spp.（-0.02%）であった。一方、他はすべて分離率が増加しており、0.1%以上増加したのは *E. coli*（+0.15%）、*K. pneumoniae*（+0.19%）、*P. aeruginosa*（+0.19%）であった。

5. 特定の耐性菌分離患者数と全医療機関の分離率分布

本年報より特定の耐性菌の分離患者数は、原則として 2026 年 4 月 6 日に施行された感染症発生動向調査に準拠した判定基準を用いて集計している。判定基準については巻末資料を参照のこと。

薬剤耐性菌のうち分離患者数が最も多かった MRSA は検体提出患者の 6.03%にあたる 194,368人より分離された。バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌（VRSA）の分離報告はなかった。

前年と比較し分離患者数が減少していたのは、バンコマイシン耐性腸球菌（VRE）1,452 人（0.05%）、ペニシリン耐性肺炎球菌（PRSP）993 人（0.03%）、多剤耐性アシネトバクター属（MDRA）22 人（0.001%）、カルバペネム耐性腸内細菌目細菌（CRE）2,717 人（0.08%）であった。特に PRSP は前年に比べ 7,359 人（分離率 0.23%の減少）、CRE は 9,956 人（分離率 0.24%の減少）減少しているが、これは、本概要の冒頭に記載の通り、特定の耐性菌の判定基準変更の影響を受けていると考えられる。

なお、PRSP の分離患者数は、無菌検体の PCG 耐性（≧0.125μg/mL）と無菌検体以外の PCG 耐性（≧4μg/mL）を合計した人数となっており、CRE は MEPM 耐性（≧2μg/mL）のみ集計している。

また、CRE の分離率 0.08%とは検体提出患者数を分母とした場合であり、*Enterobacterales* 分離患者数を分母とした場合には 0.28%となる。

CRE の菌種別内訳は、*K. aerogenes* が 41.3%、*E. cloacae* が 31.7%、*K. pneumoniae* が 7.6%（*K. pneumoniae* subsp. *pneumoniae* に加えて *K. pneumoniae* subsp. *ozaenae* と *K. pneumoniae* subsp. *rhinoscleromatis* を含めると 7.8%）、*E. coli* が 3.9%と続いた。

多剤耐性緑膿菌（MDRP）とカルバペネム耐性緑膿菌の分離患者数は、前年に比べてそれぞれ 158 人の増加（分離率は変わらず）、6,963 人の増加（分離率 0.21%増加）となった。これも、本概要の冒頭に記載の通り、特定の耐性菌の判定基準変更の影響を受けていると考えられる。

第三世代セファロスポリン耐性の肺炎桿菌と大腸菌は、それぞれ 43,165 人（1.34%）、134,547 人（4.17%）より分離された。いずれも 2018 年から新たにセフトリアキソン（CTRX）が判定基準に追加されており、2017 年以前との単純な比較はできないことに注意が必要である。

フルオロキノロン耐性大腸菌は 166,087 人（5.15%）と MRSA に次いで多く分離された。

6. 特定の耐性菌が分離された医療機関の割合

MRSA は集計対象となった 3,191 医療機関のうち 3,162（99.1%）の医療機関から分離報告された。VRE は集計対象医療機関の 6.7%、MDRA は 0.5%からの報告であった。

PRSP は 472 医療機関（14.8%、前年は 48.1%）、CRE は 913 医療機関（28.6%、前年は 43.4%）から分離され、前年と比較し著しく分離報告が減少した一方、カルバペネム耐性緑膿菌は 2,604 医療機関（81.6%、前年は 76.9%）から、MDRP は 379 医療機関（11.9%、前年は 9.9%）から分離報告され、どちらも前年と比較して増加した。これらはいずれも前述の通り、特定の耐性菌の判定基準変更の影響によるものと考えられる。

第三世代セファロスポリン耐性の肺炎桿菌と大腸菌はそれぞれ 2,649 医療機関（83.0%）、3,046 医療機関（95.5%）から分離報告された。

フルオロキノロン耐性大腸菌は 2,850 医療機関（89.3%）から分離報告された。

Japan Nosocomial Infections Surveillance

7. 主要菌の抗菌薬感受性

主要菌の抗菌薬感受性は、原則 CLSI 2012（M100-S22）の判定基準に従った。

【すべての検査材料】

S. aureus（ALL）では、オキサシリン（MPIPC）の耐性率が 44.5%、セフォキシチン（CFX）の耐性率が 43.3%であった。ゲンタマイシン（GM）の耐性率は 24.4%、エリスロマイシン（EM）の耐性率は 46.8%、レボフロキサシン（LVFX）の耐性率は 54.2%であった。一方、バンコマイシン（VCM）は感性がほぼ 100%で耐性株の報告はなかったが、中等度耐性が 16 株報告された。テイコプラニン（TEIC）は感性が 99.9%で、中等度耐性が 8 株、耐性が 6 株あった。リネゾリド（LZD）は耐性が 37 株で、ほぼ感性であった。ダプトマイシン（DAP）は感性が 99.8%で、0.16%（262 株）が非感性であった。

MSSA に対するペニシリン G（PCG）の耐性率は 50.7%、EM は 20.8%が耐性であった。セファゾリン（CEZ）に対する感性率は 99.95%で、LVFX は 79.3%が感性であった。

MRSA に対する VCM の感性率はほぼ 100%で、耐性株の報告はなかったが、12 株が中等度耐性であった。TEIC は 164,088 株のうち 6 株が中等度耐性、2 株が耐性であった。LZD は 24 株が耐性であったが、ほぼ感性であった。DAP は 99.7%が感性で、0.3%（198 株）が非感性であった。

S. epidermidis に対する MPIPC の感性率は 27.1%であり、VCM の感性率はほぼ 100%で 89,984 株中 4 株が中等度耐性、3 株が耐性であった。TEIC は 98.2%が感性であった。

S. epidermidis を除く CNS に対する MPIPC の感性率は 34.5%であった。VCM では 9 株が中等度耐性、26 株が耐性であったが、ほぼ感性であった。TEIC では 99.1%が感性であった。

腸球菌では、*E. faecalis* に対する PCG、アンピシリン（ABPC）の感性率がそれぞれ 98.6%、99.9%であったが、*E. faecium* ではそれぞれ 11.1%、11.6%であった。また、VCM の *E. faecalis* に対する感性率はほぼ 100%で、164,677 株のうち中等度耐性が 9 株、耐性が 19 株であり、*E. faecium* に対しては 98.7%が感性で、78,606 株のうち中等度耐性が 0.1%（52 株）で耐性が 1.3%（983 株）であった。

S. pneumoniae については CLSI 2012 の基準に準じて髄液検体由来株と髄液以外の検体由来株に分けて判定した。髄液検体由来株では髄膜炎（meningitis）の場合の判定基準を用い、髄液以外の検

Japan Nosocomial Infections Surveillance

体由来株では髄膜炎以外（nonmeningitis）の判定基準を用いた。なお、当集計において髄膜炎（meningitis）と髄膜炎以外（nonmeningitis）とで基準が異なる薬剤は PCG とセフォタキシム（CTX）、セフトリアキソン（CTRX）である。

髄液検体由来 *S. pneumoniae* に対する PCG の耐性（≧0.125μg/mL）率は 34.4%（21 株）であった。CTX は中等度耐性（1μg/mL）が 16.3%（8 株）だったが、耐性株の報告はなかった。CTRX は中等度耐性（1μg/mL）が 5.1%（3 株）、耐性（≧2μg/mL）は 3.4%（2 株）であった。メロペネム（MEPM）の中等度耐性は 10.8%（7 株）、耐性は 6.2%（4 株）であった。LVFX は耐性が 5.1%（3 株）であった。VCM はすべて感性であった。

髄液以外の検体由来 *S. pneumoniae* に対する PCG の中等度耐性（4μg/mL）は 2.9%、PCG 耐性（≧8μg/mL）は 0.8%であった。CTX、CTRX の中等度耐性（2μg/mL）は 2.0%、2.5%であり、耐性（≧4μg/mL）は 2.5%、2.6%であった。MEPM の中等度耐性は 15.6%、耐性は 8.9%であった。LVFX の中等度耐性は 0.7%、耐性は 7.8%であった。VCM はすべて感性であった（判定不能を除く）。

S. pyogenes に対する PCG、ABPC、CTX、CTRX はすべてが感性であった（判定不能を除く）。EM は 16.7%、クリンダマイシン（CLDM）は 9.6%が耐性であった。

S. agalactiae に対しては、PCG、ABPC、CTX、CTRX のそれぞれ 6.2%、1.3%、0.9%、0.6%が非感性で、EM 35.5%、CLDM 20.5%が耐性であった。

集計を行った腸内細菌目細菌の 10 菌種（*E. coli*、 *K. pneumoniae*、 *E. cloacae* complex、*E. cloacae*、*K. aerogenes*、*C. freundii*、*C. koseri*、*P. mirabilis*、*P. vulgaris*、*S. marcescens*）については、CLSI で 2010 年と 2011 年にセファロスポリン系抗菌薬とカルバペネム系抗菌薬のブレイクポイントが変更されたため、一部の薬剤で判定不能や S と I の区別ができない薬剤（特に CEZ）が引き続きみられた。

E. coli と *K. pneumoniae* に対する第三世代セファロスポリン系抗菌薬の CTX、CTRX およびセフタジジム（CAZ）の耐性率は、*E. coli* では 28.1%、31.6%、14.8%、*K. pneumonia* では 16.1%、19.8%、13.8%であった。

腸内細菌目細菌の 10 菌種全体に対するカルバペネム系抗菌薬の感受性は、イミペネム（IPM）の耐性率が 1.1%であり、MEPM のそれは 0.3%であった。菌種別にみると、IPM の耐性率が高かったのは、*P. vulgaris*、*P. mirabilis* でそれぞれ 22.0%、13.6%であったが、これらの菌種に対する MEPM の耐性率は 0.1%と 0.04%であった。一方、*E. cloacae*、*K. aerogenes*、*S. marcescens* に対して

本公表データは国内の全医療機関の数値を集計したデータではありません
データ集計日： 2026 年 05 月 08 日
公開情報掲載日： 2026 年 08 月 17 日

Japan Nosocomial Infections Surveillance

は、IPM の耐性率が 1.1%、1.8%、1.6%であり、MEPM の耐性率は 0.6%、0.7%、0.1%であった。

分離株数の多い *E. coli*、*K. pneumoniae* に対する IPM の耐性率はそれぞれ 0.1%と 0.2%、MEPM の耐性率は 0.1%と 0.3%であった。

また、腸内細菌目細菌の 10 菌種全体に対する LVFX の耐性率は 19.1%であり、菌種別では *E. coli* の 37.7%が最も高く、次いで *P. mirabilis* 14.2%、*K. pneumoniae* 6.7%であった。一方、最も低かったのは *P. vulgaris* 0.5%、次いで、*K. aerogenes* 0.7%、*E. cloacae* complex 2.3%であった。

P. aeruginosa に対する IPM、MEPM の感性率は、それぞれ 82.5%、87.9%であった。GM と AMK では 89.9%、98.5%が感性で、LVFX では 88.1%が感性であった。

Acinetobacter spp.に対する IPM と MEPM の感性率は、それぞれ 98.8%、98.1%であった。GM と AMK は 88.1%、98.2%、LVFX は 85.4%が感性であった。

H. influenzae に対する ABPC の感性率は 39.9%で、スルバクタム/アンピシリン（SBT/ABPC）とクラブラン酸/アモキシシリン（CVA/AMPC）では、それぞれ 63.9%、78.8%が感性であった。

【検査材料別】

血液検体を集計対象とした *S. aureus*（ALL）では、MPIPC の耐性率が 36.4%、CFX の耐性率が 34.6%であった。GM の耐性率は 24.6%、EM の耐性率は 39.6%、LVFX の耐性率は 44.7%であった。VCM、TEIC はほぼ感性だが中等度耐性が 1 株ずつあった。LZD の耐性の株は 2 株であった。DAP は感性が 99.8%で、0.2%（25 株）が非感性であった。

血液検体を集計対象とした *P. aeruginosa* に対する IPM、MEPM の感性率は、それぞれ 86.6%、91.4%であった。GM と AMK では 93.9%、99.3%が感性で、LVFX では 92.5%が感性であった。

尿検体を集計対象とした *E. coli* に対する第三世代セファロスポリン系抗菌薬の CTX、CTRX および CAZ の耐性率は、25.6%、28.0%、12.9%であった。セフメタゾール（CMZ）の耐性率は 0.5%、カルバペネム系抗菌薬である IPM の中等度耐性は 0.1%（238 株）、耐性は 0.03%（61 株）であった。MEPM の中等度耐性は 0.01%（15 株）、耐性は 0.04%（85 株）であった。LVFX に対する耐性率は 36.3%であった。

本公表データは国内の全医療機関の数値を集計したデータではありません
データ集計日： 2026 年 05 月 08 日
公開情報掲載日： 2026 年 08 月 17 日

Japan Nosocomial Infections Surveillance

2025 年 1 月～12 月のうち、一部でもデータが未提出の 67 医療機関は集計対象外とした。
下記の基準に該当する入院検体について医療機関に問い合わせを行った結果、提出されたデータに疑義が生じた 48 医療機関（微量液体希釈法での報告がない 33 医療機関を含む）についても集計から除外した。

集計対象条件

- 集計対象年 1 月～12 月のうち、一部でもデータが未提出の医療機関は集計から除外する
- 19 床以下の有床病床の報告は集計から除外する
- 提出されたデータに下記の疑義が生じた医療機関は集計から除外する

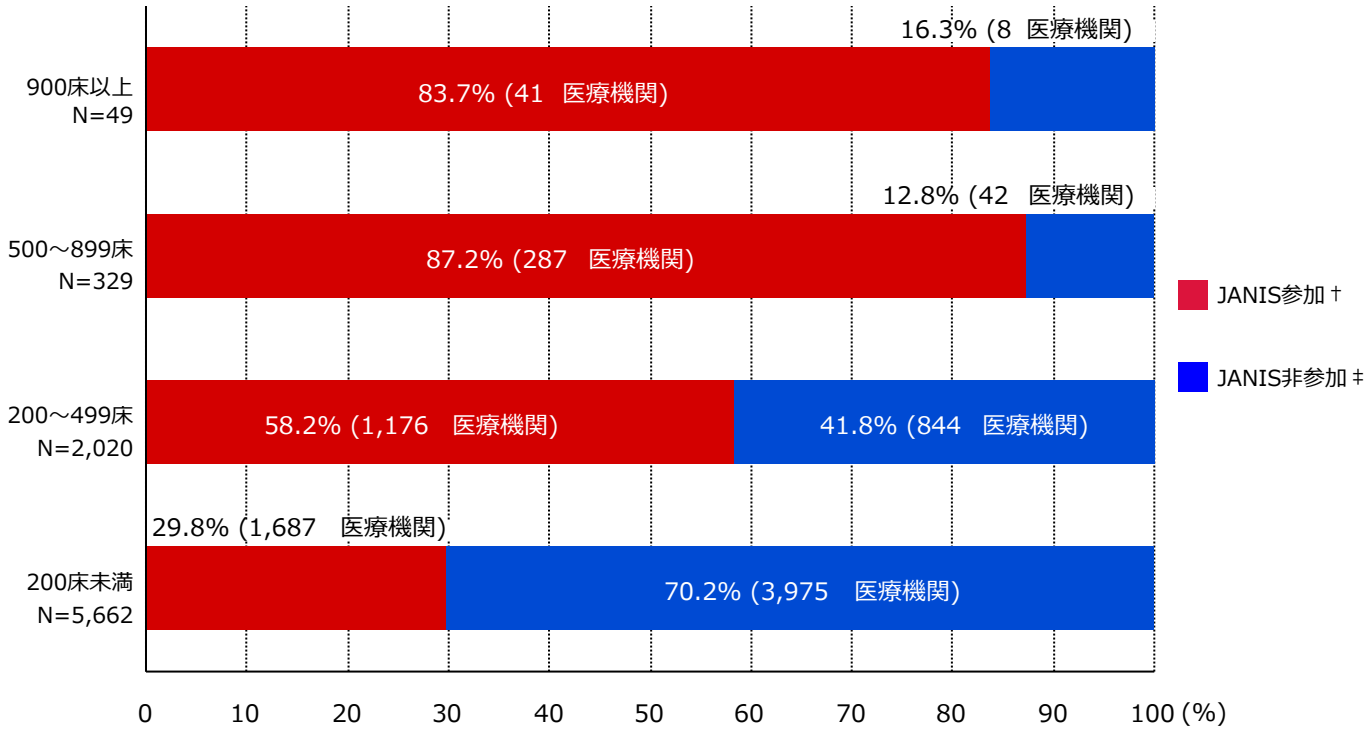
疑義データ問い合わせ項目

- 年間を通じて入院検体の報告がない
- 年間を通じて黄色ブドウ球菌、MRSA および大腸菌の報告がない
- 年間を通じて血液検体、尿検体、呼吸器系検体の報告がない
- 血液検体が年間 10 検体以上報告され、かつ陽性検体の割合が 50%以上
- 髄液検体が年間 5 検体以上報告され、かつ陽性検体の割合が 50%以上
- 微量液体希釈法での報告がない
- CRE の分離率が 5%以上
- 国内で過去に報告がない薬剤耐性菌（特殊な耐性を示す菌：カテゴリーA）に該当する薬剤耐性菌の報告がある
  - PCG、ABPC、VCM、LZD、CTX、CTRX 非感性の *S. pyogenes*
  - VCM、LZD 非感性の *S. agalactiae*
  - VCM、LZD 非感性の *S. pneumoniae*
  - VCM 耐性の *S. aureus*

注：VCM 耐性の *S. aureus* など「特殊な耐性を示す菌：カテゴリーA」（上記、疑義データ問い合わせ項目参照）については、耐性または非感性と報告したすべての医療機関に対して報告内容が正しいかどうか確認しているため、入力ミスなどは除外されている。一方、「特殊な耐性を示す菌：カテゴリーA」以外の抗菌薬感受性結果については、医療機関からの報告をそのまま集計しているため、誤報告が含まれている可能性がある。

JANIS

1. データ提出医療機関*数(3,191医療機関)



*ここではデータ提出医療機関は集計対象医療機関を表す

†JANIS参加 = 2025年1～12月 集計対象医療機関数

‡JANIS非参加 =（2024年 全国医療機関数¶）－（2025年1～12月 集計対象医療機関数）

病床数	2024年 全国医療機関数¶	2025年1月～12月 集計対象医療機関数 (全国医療機関数に占める割合)
900床以上	49	41 (83.7%)
500～899床	329	287 (87.2%)
200～499床	2,020	1,176 (58.2%)
200床未満	5,662	1,687 (29.8%)
病床数不明	-	0 (-)
合計	8,060	3,191 (39.6%)

¶2024年医療施設(動態)調査を参照した

本公表データは国内の全医療機関の数値を集計したデータではありません。　データ集計日　：　2026年05月08日
公開情報掲載日：　2026年08月17日

Japan Nosocomial Infections Surveillance

JANIS

2. データ提出医療機関数、検体数、分離菌数

検査材料分類	集計対象医療機関数	検体数		陽性検体数		分離菌数	
		重複処理前	重複処理後	重複処理前	重複処理後	重複処理前	重複処理後
呼吸器系検体	3,182	2,130,616	1,417,616	1,360,401	985,537	2,810,909	2,272,124
尿検体	3,181	1,493,473	1,183,507	909,354	759,421	1,427,525	1,264,105
便検体	3,070	503,394	372,881	191,086	148,553	349,650	283,366
血液検体	3,143	3,383,670	1,344,965	447,170	246,291	507,300	296,593
髄液検体	1,691	82,630	60,931	3,519	2,625	3,890	2,917
その他	3,171	1,380,478	838,857	641,967	447,764	1,181,876	932,920
合計	3,191	8,974,261	5,218,757	3,553,497	2,590,191	6,281,150	5,052,025

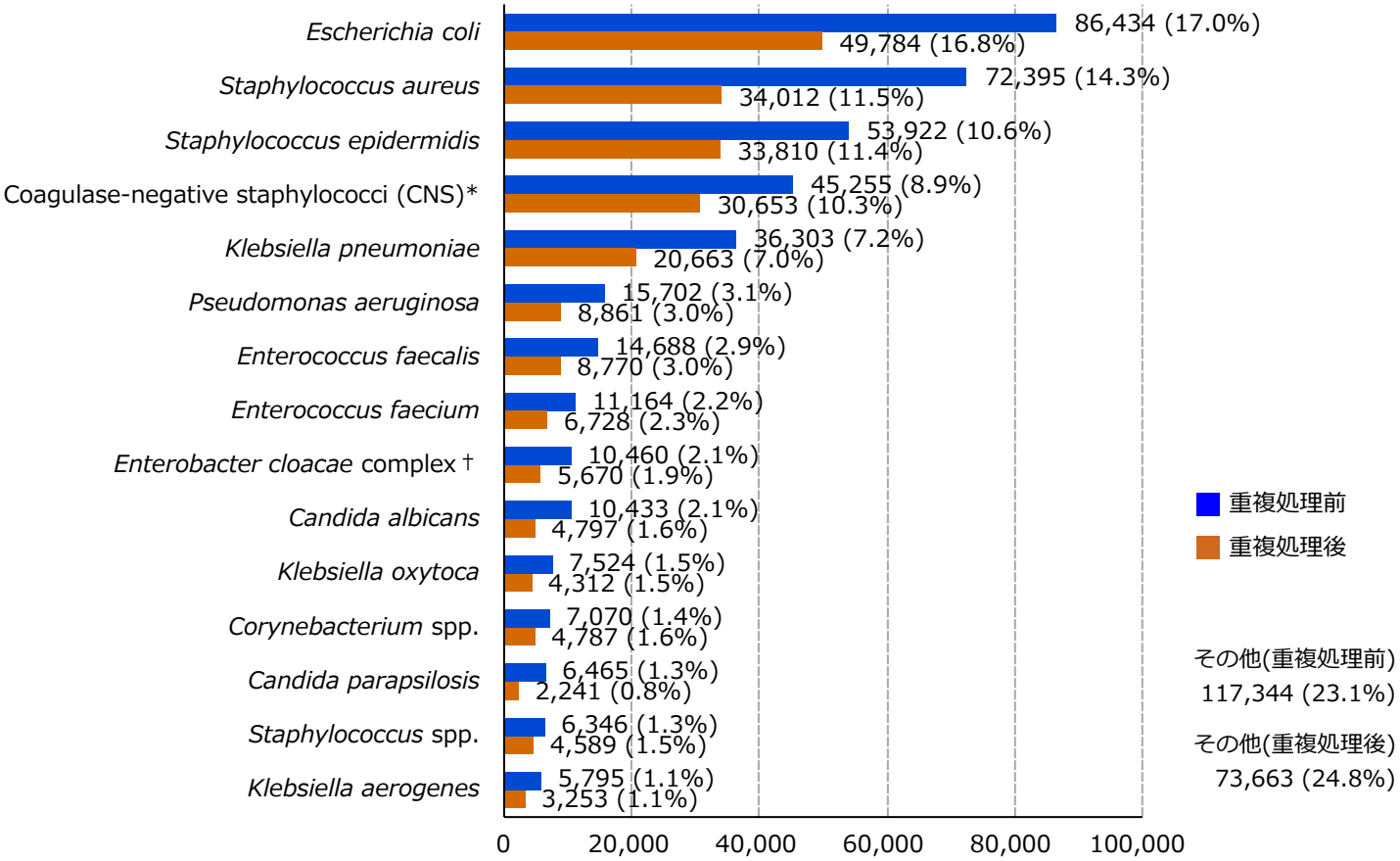
入院として報告された検体を集計
重複処理：30日単位で実施(巻末資料2参照)
集計対象菌：コメントのみ(菌名コード9999)の報告以外の全ての菌
検査材料分類は以下に該当する検査材料コードを集計
呼吸器系検体：
　101(喀出痰)、102(気管内採痰)、103(気管支洗浄液)、104(咽頭粘液)、105(鼻腔内)、106(口腔内)、
　107(生検材料(肺))、109(その他(呼吸器))、404(胸水)
尿検体：
　201(自然排尿)、202(採尿カテーテル)、203(留置カテーテル)、206(カテーテル尿(採尿、留置カテの区別不能))
便検体：
　301(糞便)
血液検体：
　401(静脈血)、402(動脈血)
髄液検体：
　403(髄液)
その他：上記以外の検査材料コード
検査材料コード：JANISホームページ＞各部門について＞検査部門　https://janis.mhlw.go.jp/section/kensa.html

本公表データは国内の全医療機関の数値を集計したデータではありません。　データ集計日　：　2026年05月08日
公開情報掲載日：　2026年08月17日

Japan Nosocomial Infections Surveillance

3. 検査材料別分離菌数割合

血液検体分離菌



*菌名コード：1311, 1313～1325と報告された菌（1312：*Staphylococcus epidermidis*は対象外）
†菌名コード：2151，2155，2157～2161と報告された菌

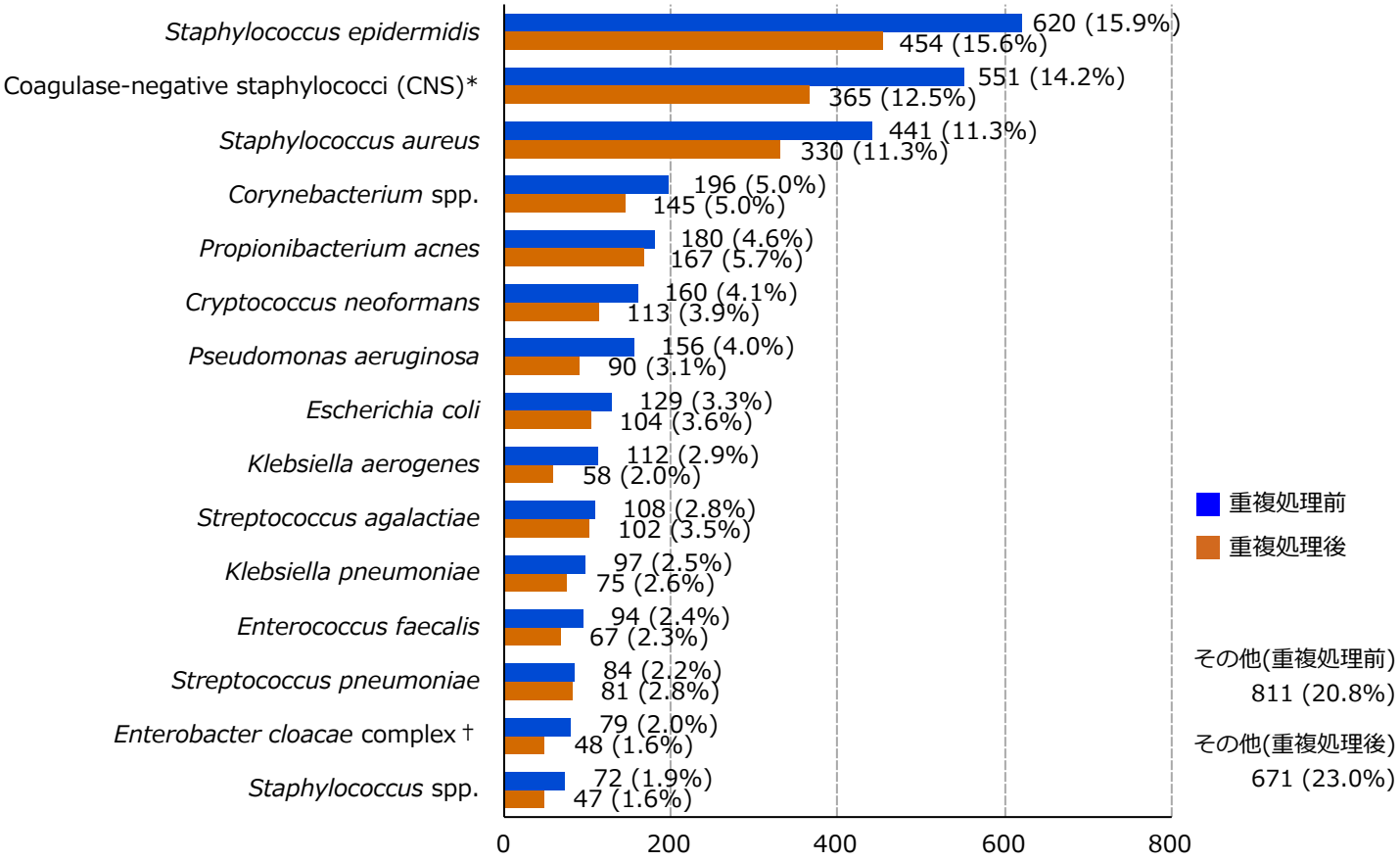
入院検体のうち、起因菌・汚染菌にかかわらず報告されたすべての菌を集計
重複処理：30日単位で実施(巻末資料2参照)
分離菌数割合が四捨五入して小数第一位までの表示で[0.0%]になる菌、菌名コード9998(その他の菌種)、16位以下の菌は「その他」に集計
集計対象菌：菌名コード9996(ウイルスによる(疑いもふくむ))、9997(菌不明)、9999(コメントのみ)の報告以外の全ての菌
集計対象検査材料：静脈血(検査材料コード401)、動脈血(同402)
血液検体分離菌数割合 =（対象菌の血液検体分離菌数）÷（血液検体分離菌数合計）×100
菌名コード、検査材料コード
：JANISホームページ＞各部門について＞検査部門 https://janis.mhlw.go.jp/section/kensa.html

本公表データは国内の全医療機関の数値を集計したデータではありません。
データ集計日　：　2026年05月08日
公開情報掲載日：　2026年08月17日

Japan Nosocomial Infections Surveillance

3. 検査材料別分離菌数割合

髄液検体分離菌



*菌名コード：1311, 1313～1325と報告された菌（1312：*Staphylococcus epidermidis*は対象外）
†菌名コード：2151，2155，2157～2161と報告された菌

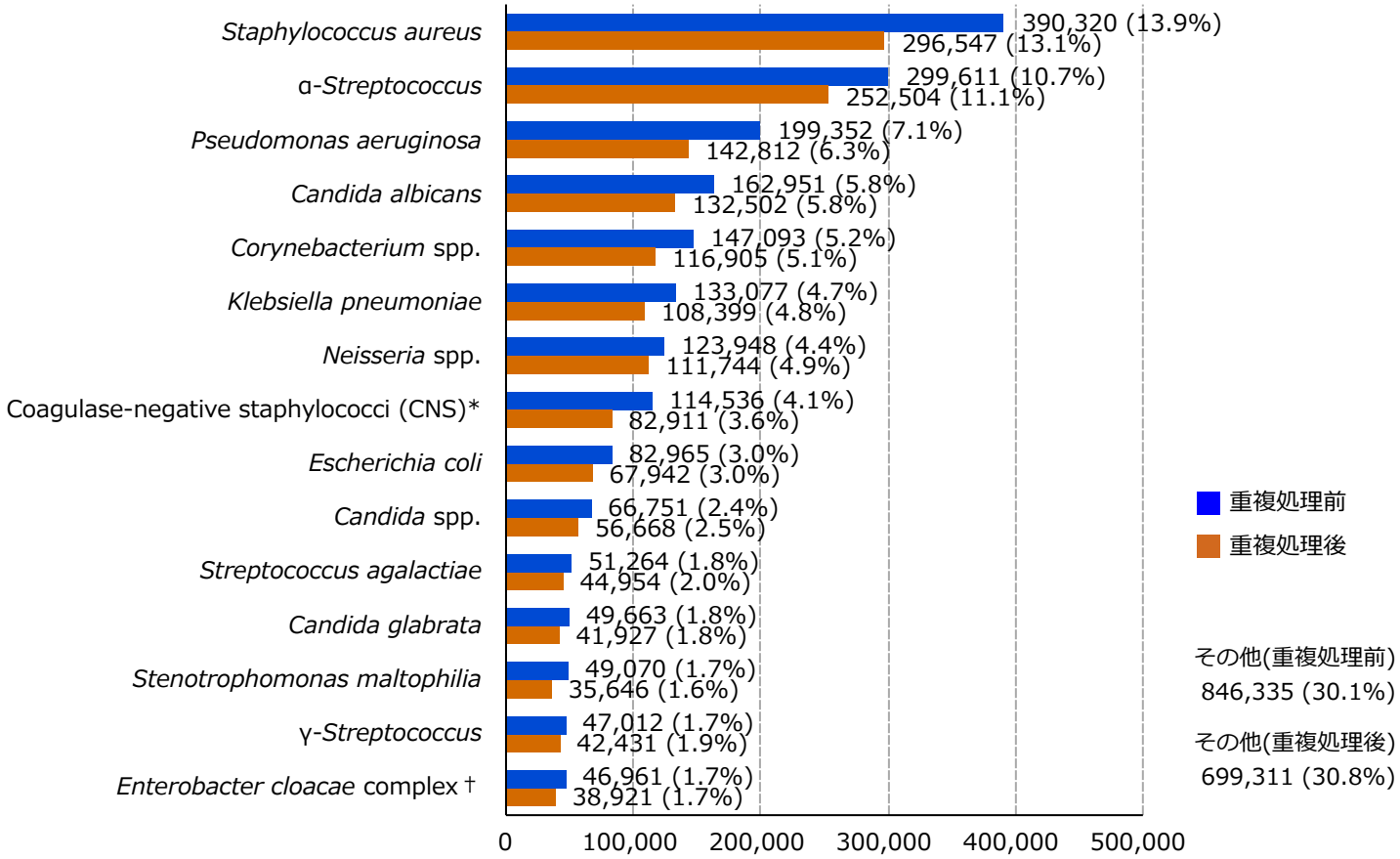
入院検体のうち、起因菌・汚染菌にかかわらず報告されたすべての菌を集計
重複処理：30日単位で実施(巻末資料2参照)
分離菌数割合が四捨五入して小数第一位までの表示で[0.0%]になる菌、菌名コード9998(その他の菌種)、16位以下の菌は「その他」に集計
集計対象菌：菌名コード9996(ウイルスによる(疑いもふくむ))、9997(菌不明)、9999(コメントのみ)の報告以外の全ての菌
集計対象検査材料：髄液(検査材料コード403)
髄液検体分離菌数割合 =（対象菌の髄液検体分離菌数）÷（髄液検体分離菌数合計）×100
菌名コード、検査材料コード
：JANISホームページ＞各部門について＞検査部門　https://janis.mhlw.go.jp/section/kensa.html

本公表データは国内の全医療機関の数値を集計したデータではありません。　データ集計日　：　2026年05月08日
公開情報掲載日：　2026年08月17日

Japan Nosocomial Infections Surveillance

3. 検査材料別分離菌数割合

呼吸器系検体分離菌



*菌名コード：1311, 1313～1325と報告された菌（1312：*Staphylococcus epidermidis*は対象外）
†菌名コード：2151，2155，2157～2161と報告された菌

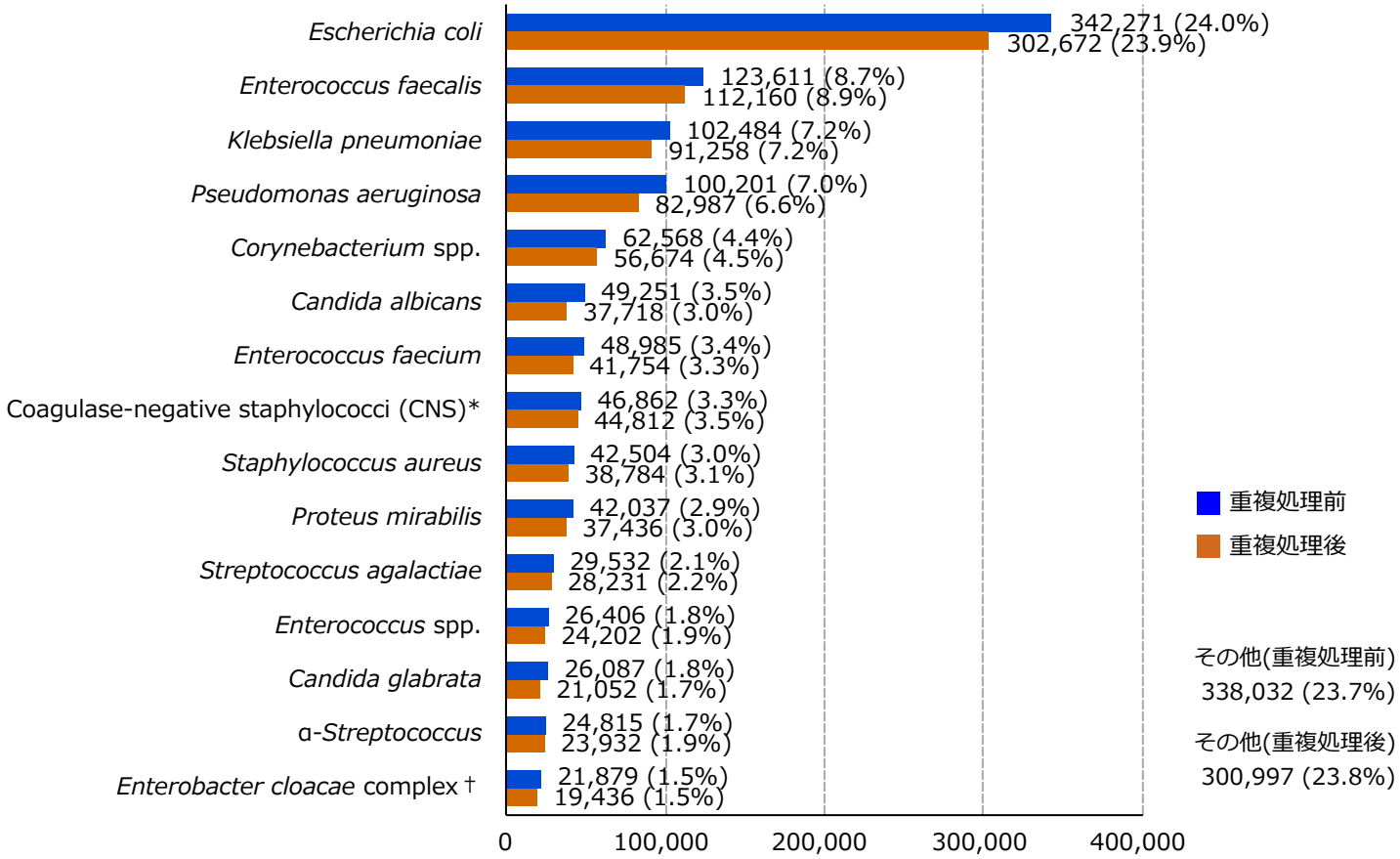
入院検体のうち、起因菌・常在菌にかかわらず報告されたすべての菌を集計
重複処理：30日単位で実施(巻末資料2参照)
分離菌数割合が四捨五入して小数第一位までの表示で[0.0%]になる菌、菌名コード9998(その他の菌種)、16位以下の菌は「その他」に集計
集計対象菌：菌名コード9996(ウイルスによる(疑いもふくむ))、9997(菌不明)、9999(コメントのみ)の報告以外の全ての菌
集計対象検査材料：喀出痰(検査材料コード101)、気管内採痰(同102)、気管支洗浄液(同103)、咽頭粘液(同104)、鼻腔内(同105)、口腔内(同106)、生検材料(肺)(同107)、その他(呼吸器)(同109)、胸水(同404)
呼吸器系検体分離菌数割合 =（対象菌の呼吸器系検体分離菌数）÷（呼吸器系検体分離菌数合計）×100
菌名コード、検査材料コード
：JANISホームページ＞各部門について＞検査部門 https://janis.mhlw.go.jp/section/kensa.html

本公表データは国内の全医療機関の数値を集計したデータではありません。
データ集計日　：　2026年05月08日
公開情報掲載日：　2026年08月17日

Japan Nosocomial Infections Surveillance

3. 検査材料別分離菌数割合

尿検体分離菌



*菌名コード：1311, 1313～1325と報告された菌（1312：*Staphylococcus epidermidis*は対象外）
†菌名コード：2151，2155，2157～2161と報告された菌

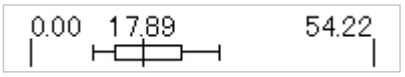
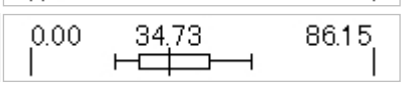
入院検体のうち、起因菌・汚染菌にかかわらず報告されたすべての菌を集計
重複処理：30日単位で実施(巻末資料2参照)
分離菌数割合が四捨五入して小数第一位までの表示で[0.0%]になる菌、菌名コード9998(その他の菌種)、16位以下の菌は「その他」に集計
集計対象菌：菌名コード9996(ウイルスによる(疑いもふくむ))、9997(菌不明)、9999(コメントのみ)の報告以外の全ての菌
集計対象検査材料：自然排尿(検査材料コード201)、採尿カテーテル尿(同202)、留置カテーテル尿(同203)、カテーテル尿(採尿、留置カテの区別不能)(同206)
尿検体分離菌数割合 =（対象菌の尿検体分離菌数）÷（尿検体分離菌数合計）×100
菌名コード、検査材料コード
：JANISホームページ＞各部門について＞検査部門 https://janis.mhlw.go.jp/section/kensa.html

本公表データは国内の全医療機関の数値を集計したデータではありません。
データ集計日　：　2026年05月08日
公開情報掲載日：　2026年08月17日

Japan Nosocomial Infections Surveillance

JANIS

4. 主要菌分離患者数*と全医療機関†の分離率分布

	2021年 患者数 (分離率‡)	2022年 患者数 (分離率‡)	2023年 患者数 (分離率‡)	2024年 患者数 (分離率‡)	2025年 患者数 (分離率‡)	集計対象医療機関の分離率¶ (%)の分布
検体提出患者数 (100床あたり)	2,788,100人 (406.6)	2,875,113人 (413.2)	3,089,112人 (405.0)	3,170,302人 (401.7)	3,224,799人 (395.6)※	
S. aureus	360,912人 (12.94%)	370,067人 (12.87%)	400,620人 (12.97%)	415,207人 (13.10%)	423,807人 (13.14%)	
S. epidermidis	96,363人 (3.46%)	96,974人 (3.37%)	102,967人 (3.33%)	103,757人 (3.27%)	103,775人 (3.22%)	
S. pneumoniae	19,261人 (0.69%)	16,752人 (0.58%)	20,535人 (0.66%)	21,329人 (0.67%)	21,877人 (0.68%)	
E. faecalis	154,125人 (5.53%)	158,288人 (5.51%)	172,984人 (5.60%)	178,381人 (5.63%)	184,504人 (5.72%)	
E. faecium	66,019人 (2.37%)	68,511人 (2.38%)	75,245人 (2.44%)	80,215人 (2.53%)	83,953人 (2.60%)	
E. coli	412,514人 (14.80%)	423,962人 (14.75%)	467,332人 (15.13%)	485,849人 (15.33%)	499,180人 (15.48%)	
K. pneumoniae	183,202人 (6.57%)	195,606人 (6.80%)	226,478人 (7.33%)	243,146人 (7.67%)	253,311人 (7.86%)	
E. cloacae complex	70,811人 (2.54%)	73,402人 (2.55%)	82,622人 (2.67%)	86,639人 (2.73%)	87,875人 (2.72%)	
K. aerogenes	36,788人 (1.32%)	39,878人 (1.39%)	43,902人 (1.42%)	45,844人 (1.45%)	46,541人 (1.44%)	
Enterobacterales	775,411人 (27.81%)	806,467人 (28.05%)	900,348人 (29.15%)	943,494人 (29.76%)	972,582人 (30.16%)	
P. aeruginosa	194,614人 (6.98%)	202,196人 (7.03%)	228,396人 (7.39%)	243,794人 (7.69%)	254,054人 (7.88%)	
Acinetobacter spp.	25,247人 (0.91%)	24,706人 (0.86%)	27,965人 (0.91%)	28,323人 (0.89%)	28,077人 (0.87%)	

入院として報告された検体を集計

*分離患者数と検体提出患者数は30日ごとに重複処理(巻末参照)が行われている

† ここでは全医療機関は集計対象医療機関を表す

‡ ここでの分離率は全体の分離率を表す

全体の分離率

= (集計対象医療機関の対象菌の分離患者数合計) ÷ (集計対象医療機関の検体提出患者数合計) ×100

¶分離率 = (対象菌の分離患者数) ÷ (検体提出患者数) ×100

※病床数が登録されている医療機関のみが対象

本公表データは国内の全医療機関の数値を集計したデータではありません。
データ集計日　：　2026年05月08日
公開情報掲載日：　2026年08月17日

JANIS

5. 特定の耐性菌分離患者数*と全医療機関†の分離率分布

	2021年 患者数 (分離率‡)	2022年 患者数 (分離率‡)	2023年 患者数 (分離率‡)	2024年 患者数 (分離率‡)	2025年 患者数 (分離率‡)	集計対象医療機関の分離率¶ (%)の分布
検体提出患者数 (100床あたり)	2,788,100人 (406.6)	2,875,113人 (413.2)	3,089,112人 (405.0)	3,170,302人 (401.7)	3,224,799人 (395.6)※	
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)	167,858人 (6.02%)	168,718人 (5.87%)	183,743人 (5.95%)	189,919人 (5.99%)	194,368人 (6.03%)	0.00 6.78 58.00
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌(VRSA)	0人 (0.00%)	0人 (0.00%)	0人 (0.00%)	0人 (0.00%)	0人 (0.00%)	0.00
バンコマイシン耐性腸球菌(VRE)	1,490人 (0.05%)	1,919人 (0.07%)	1,642人 (0.05%)	1,997人 (0.06%)	1,452人 (0.05%)	0.00 0.00 6.78
ペニシリン耐性肺炎球菌(PRSP)	7,827人 (0.28%)	7,184人 (0.25%)	8,646人 (0.28%)	8,352人 (0.26%)	993人 (0.03%)	0.00 0.00 3.77
多剤耐性緑膿菌(MDRP)	800人 (0.03%)	729人 (0.03%)	651人 (0.02%)	617人 (0.02%)	775人 (0.02%)	0.00 0.00 7.33
多剤耐性アシネトバクター属(MDRA)	97人 (0.00%)	101人 (0.00%)	45人 (0.00%)	27人 (0.00%)	22人 (0.00%)	0.00 0.00 0.63
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌(CRE)	9,030人 (0.32%)	9,316人 (0.32%)	9,855人 (0.32%)	10,222人 (0.32%)	2,717人 (0.08%)	0.00 0.00 4.56
カルバペネム耐性緑膿菌	21,120人 (0.76%)	20,789人 (0.72%)	21,915人 (0.71%)	22,258人 (0.70%)	29,221人 (0.91%)	0.00 0.60 30.52
第三世代セファロスポリン耐性肺炎桿菌	21,898人 (0.79%)	25,071人 (0.87%)	32,659人 (1.06%)	38,494人 (1.21%)	43,165人 (1.34%)	0.00 0.82 31.34
第三世代セファロスポリン耐性大腸菌	100,397人 (3.60%)	104,260人 (3.63%)	117,640人 (3.81%)	128,650人 (4.06%)	134,547人 (4.17%)	0.00 4.55 40.99
フルオロキノロン耐性大腸菌	141,674人 (5.08%)	146,051人 (5.08%)	158,198人 (5.12%)	162,823人 (5.14%)	166,087人 (5.15%)	0.00 5.99 38.16

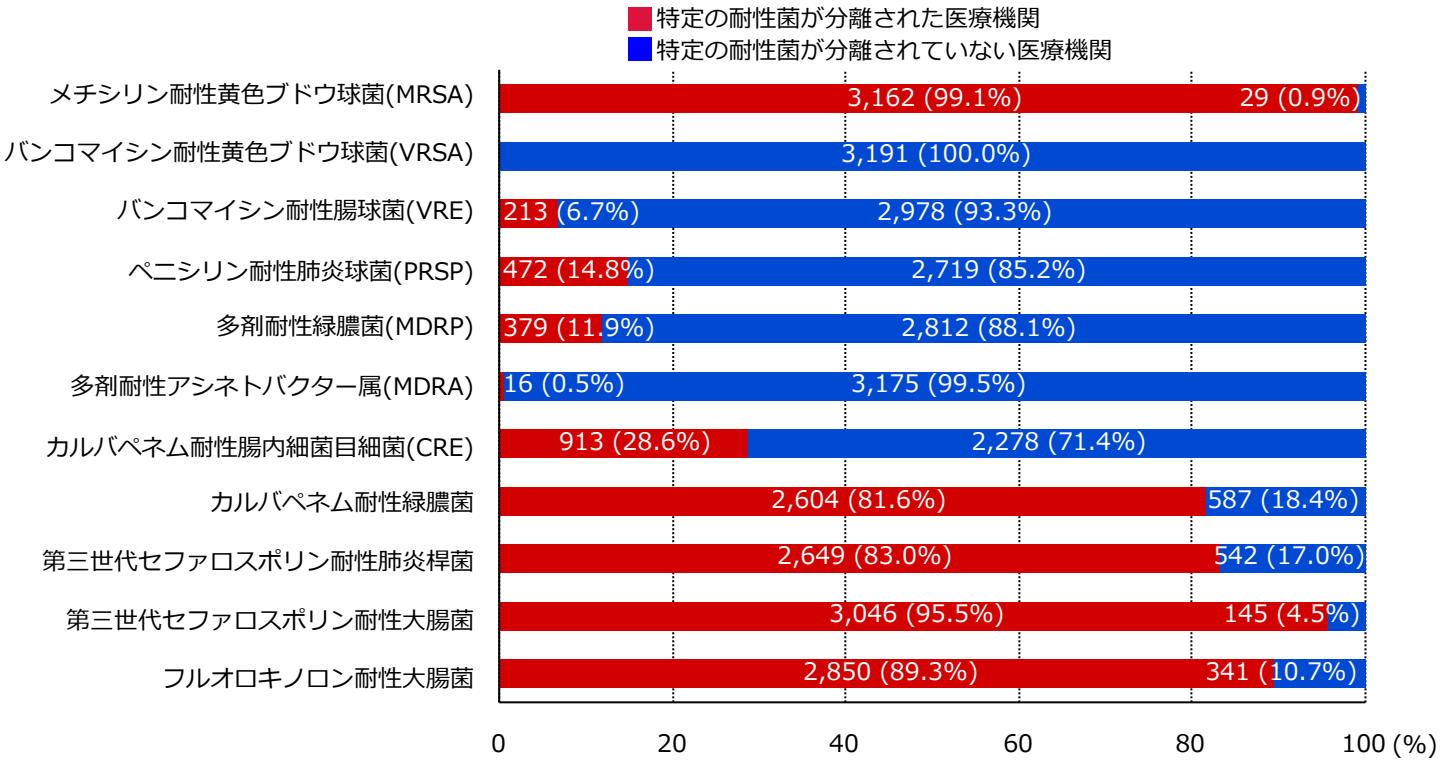
入院検体でかつ、検査法が原則微量液体希釈法又はEtestと設定されたMIC値が報告されている検体を集計
MRSAとVREは検査法によらず菌名コードで指定された場合はそれらを含む
*分離患者数と検体提出患者数は30日ごとに重複処理(巻末参照)が行われている
† ここでは全医療機関は集計対象医療機関を表す
‡ ここでの分離率は全体の分離率を表す
全体の分離率
= (集計対象医療機関の対象菌の分離患者数合計) ÷ (集計対象医療機関の検体提出患者数合計) ×100
¶分離率 = (対象菌の分離患者数) ÷ (検体提出患者数) ×100
※病床数が登録されている医療機関のみが対象

本公表データは国内の全医療機関の数値を集計したデータではありません。　データ集計日　：　2026年05月08日
公開情報掲載日：　2026年08月17日

Japan Nosocomial Infections Surveillance

6. 特定の耐性菌が分離された医療機関の割合

2025年 特定の耐性菌が分離された医療機関の割合 (N=3,191)



特定の耐性菌が分離された医療機関の割合 (過去5年間)

	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年
集計対象医療機関数	2,220	2,289	2,752	2,958	3,191
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)	99.8%	99.7%	99.4%	99.4%	99.1%
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌(VRSA)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
バンコマイシン耐性腸球菌(VRE)	9.1%	8.6%	7.5%	8.2%	6.7%
ペニシリン耐性肺炎球菌(PRSP)	53.4%	53.9%	51.4%	48.1%	14.8%
多剤耐性緑膿菌(MDRP)	16.4%	14.5%	11.4%	9.9%	11.9%
多剤耐性アシネトバクター属(MDRA)	0.8%	1.1%	0.5%	0.5%	0.5%
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌(CRE)	50.3%	51.2%	45.2%	43.3%	28.6%
カルバペネム耐性緑膿菌	82.2%	82.2%	78.3%	76.9%	81.6%
第三世代セファロスポリン耐性肺炎桿菌	79.4%	81.7%	80.7%	82.5%	83.0%
第三世代セファロスポリン耐性大腸菌	96.0%	96.4%	95.9%	95.9%	95.5%
フルオロキノロン耐性大腸菌	96.7%	96.8%	95.5%	90.2%	89.3%

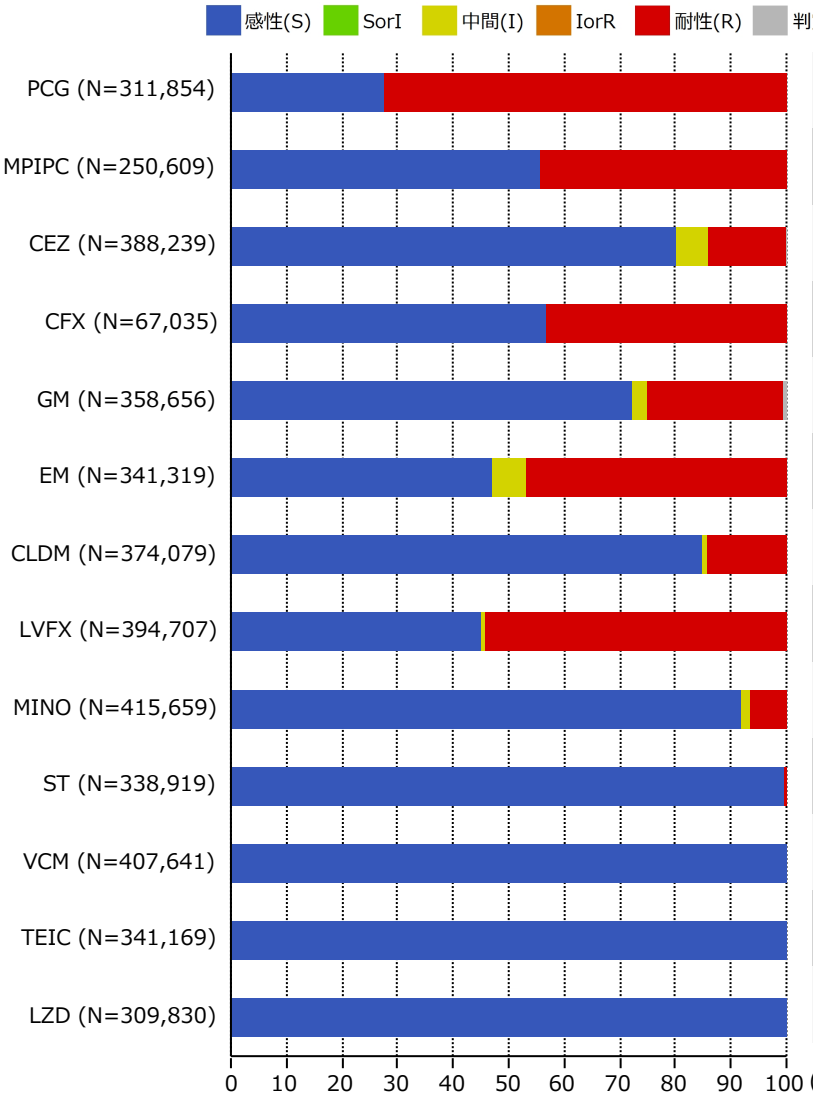
耐性菌判定薬剤(巻末資料参照)が未検査の場合、分離されていない医療機関として集計
入院検体でかつ、検査法が原則微量液体希釈法又はEtestと設定されたMIC値が報告されている検体を集計
MRSAとVREは検査法によらず菌名コードで指定された場合はそれらを含む
特定の耐性菌が検出された集計対象医療機関の割合
＝（特定の耐性菌が1株でも報告された医療機関数）÷（集計対象医療機関数）

本公表データは国内の全医療機関の数値を集計したデータではありません。　データ集計日　：　2026年05月08日
公開情報掲載日：　2026年08月17日

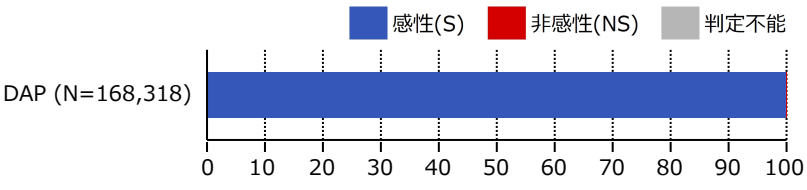
Japan Nosocomial Infections Surveillance

7. 主要菌の抗菌薬感受性*

Staphylococcus aureus (ALL) †



	感性(S)	SorI	中間(I)	IorR	耐性(R)	判定不能
PCG (N=311,854)	85,706 (27.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	226,144 (72.5%)	4 (0.0%)
MPIPC (N=250,609)	138,904 (55.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	111,619 (44.5%)	86 (0.0%)
CEZ (N=388,239)	310,864 (80.1%)	0 (0.0%)	22,529 (5.8%)	63 (0.0%)	54,572 (14.1%)	211 (0.1%)
CFX (N=67,035)	37,989 (56.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	29,045 (43.3%)	1 (0.0%)
GM (N=358,656)	258,647 (72.1%)	1 (0.0%)	9,871 (2.8%)	90 (0.0%)	87,568 (24.4%)	2,479 (0.7%)
EM (N=341,319)	160,590 (47.0%)	1 (0.0%)	20,820 (6.1%)	106 (0.0%)	159,802 (46.8%)	0 (0.0%)
CLDM (N=374,079)	316,542 (84.6%)	2 (0.0%)	3,809 (1.0%)	57 (0.0%)	53,634 (14.3%)	35 (0.0%)
LVFX (N=394,707)	178,197 (45.1%)	0 (0.0%)	2,349 (0.6%)	74 (0.0%)	214,086 (54.2%)	1 (0.0%)
MINO (N=415,659)	381,359 (91.7%)	0 (0.0%)	7,329 (1.8%)	16 (0.0%)	26,955 (6.5%)	0 (0.0%)
ST (N=338,919)	337,247 (99.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1,665 (0.5%)	7 (0.0%)
VCM (N=407,641)	407,625 (100%)	0 (0.0%)	16 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
TEIC (N=341,169)	341,095 (100%)	0 (0.0%)	8 (0.0%)	0 (0.0%)	6 (0.0%)	60 (0.0%)
LZD (N=309,830)	309,793 (100%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	37 (0.0%)	0 (0.0%)



	感性(S)	非感性(NS)	判定不能
DAP (N=168,318)	168,056 (99.8%)	262 (0.2%)	0 (0.0%)

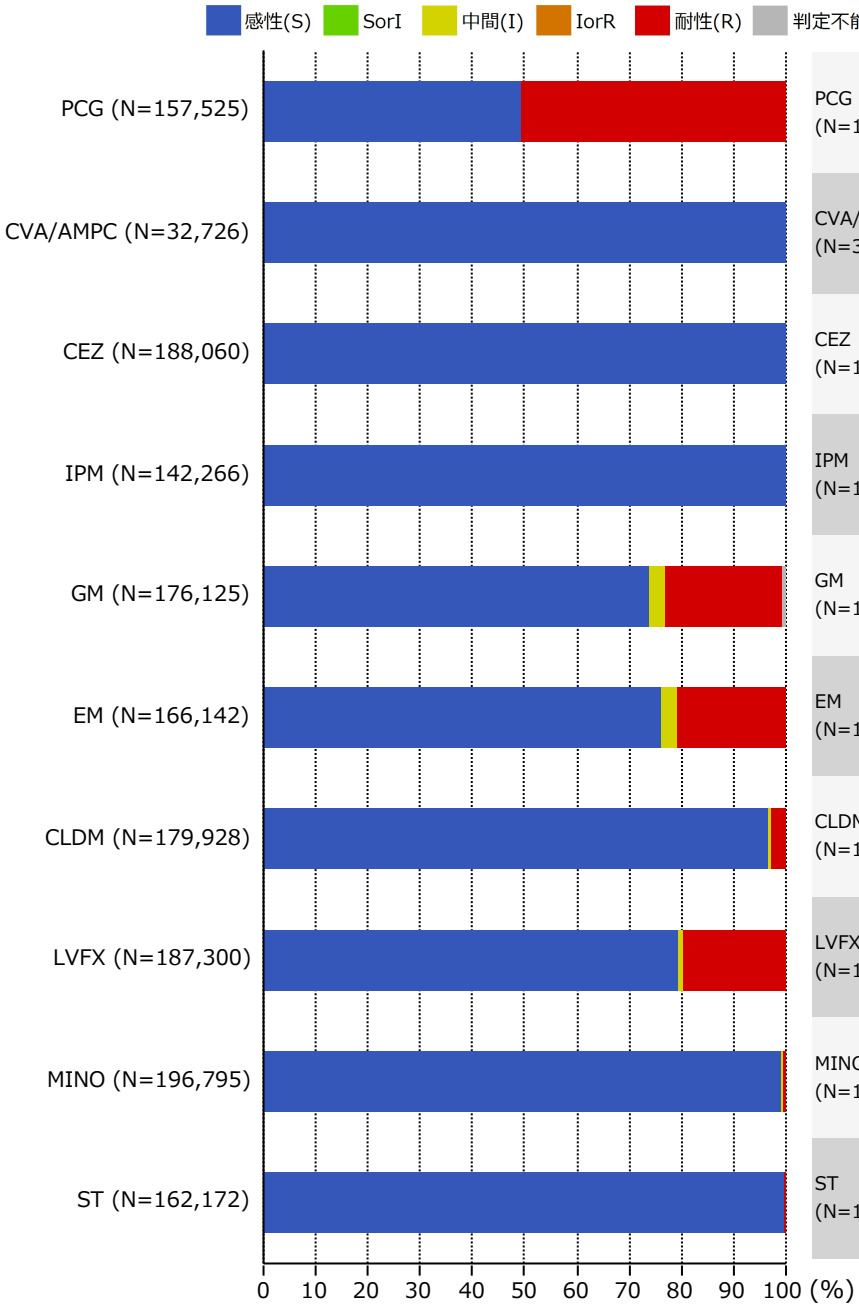
入院検体で、かつ検査法が微量液体希釈法又はEtestと設定されMIC値が報告されている検体を集計
30日単位で、抗菌薬感受性の違いも考慮して菌株数を集計する重複処理(巻末資料)が行われている
* S,I,RまたはS,NSの判定はCLSI 2012 (M100-S22) に準拠
† 菌名コード：1301, 1303～1306と報告された菌
集計株数が30株未満の場合には、集計結果を公表しない

本公表データは国内の全医療機関の数値を集計したデータではありません。 データ集計日 ： 2026年05月08日
公開情報掲載日： 2026年08月17日

Japan Nosocomial Infections Surveillance

7. 主要菌の抗菌薬感受性*

Staphylococcus aureus (MSSA) †



	感性(S)	SorI	中間(I)	IorR	耐性(R)	判定不能
PCG (N=157,525)	77,668 (49.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	79,853 (50.7%)	4 (0.0%)
CVA/AMPC (N=32,726)	32,688 (99.9%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	23 (0.1%)	15 (0.0%)
CEZ (N=188,060)	187,967 (100%)	0 (0.0%)	44 (0.0%)	1 (0.0%)	48 (0.0%)	0 (0.0%)
IPM (N=142,266)	142,223 (100%)	0 (0.0%)	15 (0.0%)	0 (0.0%)	28 (0.0%)	0 (0.0%)
GM (N=176,125)	129,893 (73.8%)	1 (0.0%)	5,403 (3.1%)	37 (0.0%)	39,282 (22.3%)	1,509 (0.9%)
EM (N=166,142)	126,314 (76.0%)	1 (0.0%)	5,317 (3.2%)	7 (0.0%)	34,503 (20.8%)	0 (0.0%)
CLDM (N=179,928)	173,631 (96.5%)	2 (0.0%)	823 (0.5%)	1 (0.0%)	5,458 (3.0%)	13 (0.0%)
LVFX (N=187,300)	148,618 (79.3%)	0 (0.0%)	1,718 (0.9%)	19 (0.0%)	36,945 (19.7%)	0 (0.0%)
MINO (N=196,795)	195,036 (99.1%)	0 (0.0%)	452 (0.2%)	0 (0.0%)	1,307 (0.7%)	0 (0.0%)
ST (N=162,172)	161,686 (99.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	484 (0.3%)	2 (0.0%)

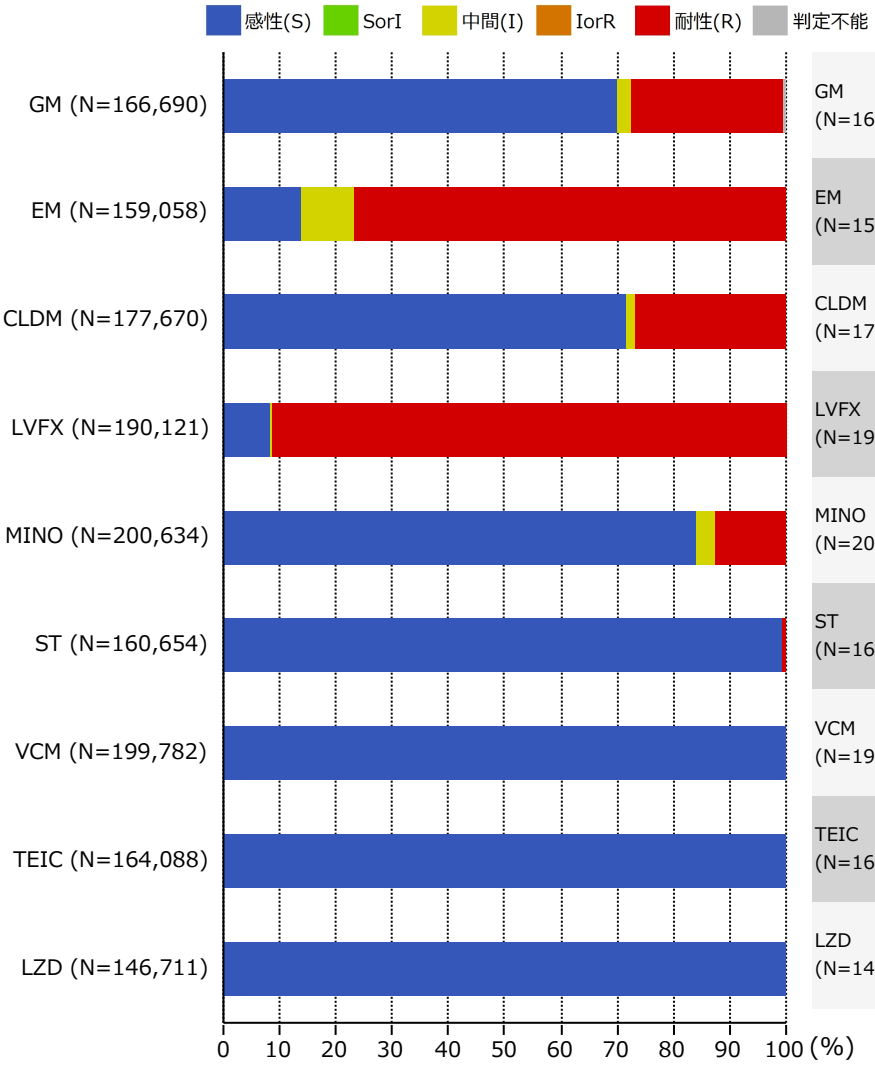
入院検体で、かつ検査法が微量液体希釈法又はEtestと設定されMIC値が報告されている検体を集計
30日単位で、抗菌薬感受性の違いも考慮して菌株数を集計する重複処理(巻末資料)が行われている
* S,I,Rの判定はCLSI 2012 (M100-S22）に準拠
† 菌名コード：1304, 1305, 1306と報告された菌、または菌名コード：1301と報告され抗菌薬コード：1208(オキサシリン)および抗菌薬コード：1606(セフォキシチン)の感受性結果「S」の菌(一方が「S」で他方が未測定の場合を含む)
集計株数が30株未満の場合には、集計結果を公表しない

本公表データは国内の全医療機関の数値を集計したデータではありません。 データ集計日 ： 2026年05月08日
公開情報掲載日： 2026年08月17日

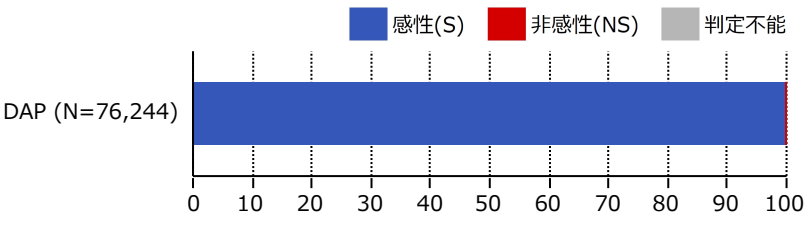
Japan Nosocomial Infections Surveillance

7. 主要菌の抗菌薬感受性*

Staphylococcus aureus (MRSA) †



	感性(S)	SorI	中間(I)	IorR	耐性(R)	判定不能
GM (N=166,690)	116,738 (70.0%)	0 (0.0%)	3,984 (2.4%)	39 (0.0%)	44,959 (27.0%)	970 (0.6%)
EM (N=159,058)	21,900 (13.8%)	0 (0.0%)	14,919 (9.4%)	90 (0.1%)	122,149 (76.8%)	0 (0.0%)
CLDM (N=177,670)	126,829 (71.4%)	0 (0.0%)	2,898 (1.6%)	45 (0.0%)	47,876 (26.9%)	22 (0.0%)
LVFX (N=190,121)	16,038 (8.4%)	0 (0.0%)	450 (0.2%)	55 (0.0%)	173,577 (91.3%)	1 (0.0%)
MINO (N=200,634)	168,283 (83.9%)	0 (0.0%)	6,817 (3.4%)	15 (0.0%)	25,519 (12.7%)	0 (0.0%)
ST (N=160,654)	159,522 (99.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1,127 (0.7%)	5 (0.0%)
VCM (N=199,782)	199,770 (100%)	0 (0.0%)	12 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
TEIC (N=164,088)	164,034 (100%)	0 (0.0%)	6 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (0.0%)	46 (0.0%)
LZD (N=146,711)	146,687 (100%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	24 (0.0%)	0 (0.0%)



	感性(S)	非感性(NS)	判定不能
DAP (N=76,244)	76,046 (99.7%)	198 (0.3%)	0 (0.0%)

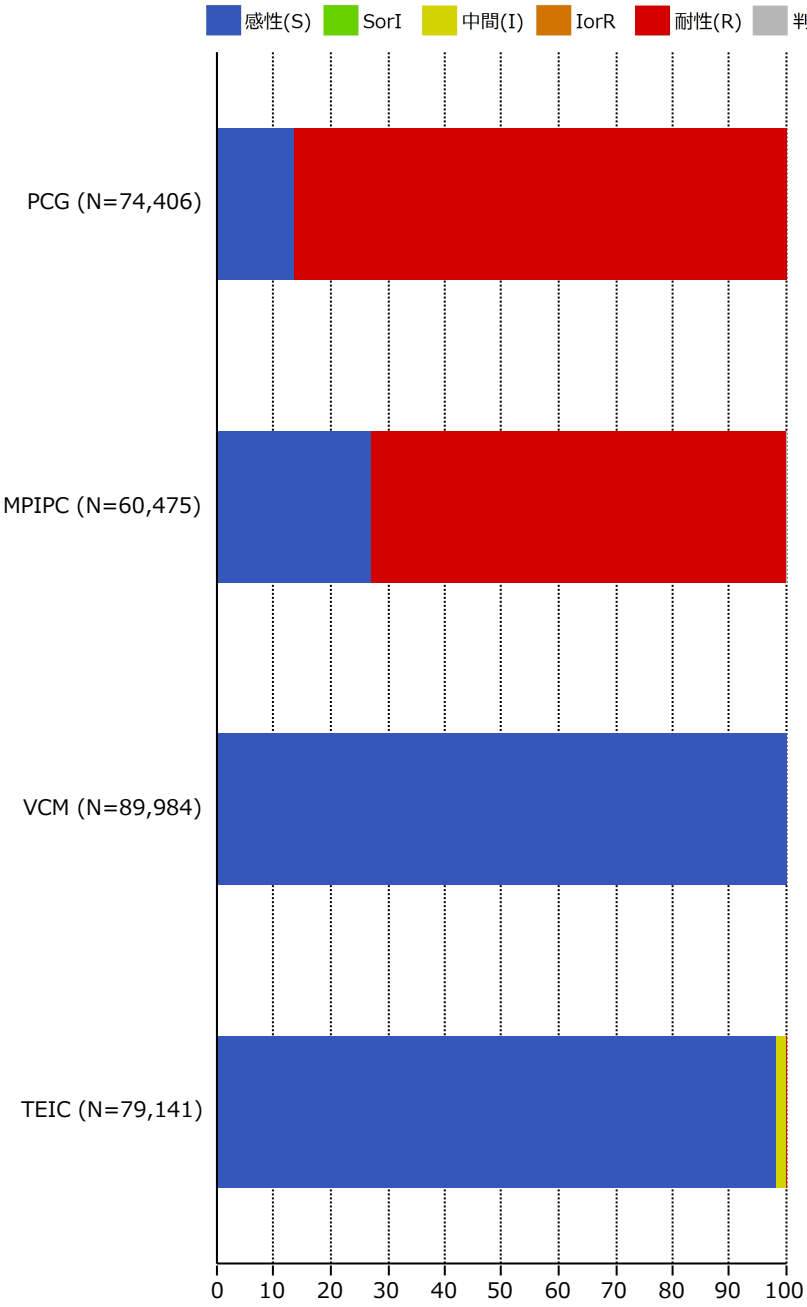
入院検体で、かつ検査法が微量液体希釈法又はEtestと設定されMIC値が報告されている検体を集計
30日単位で、抗菌薬感受性の違いも考慮して菌株数を集計する重複処理(巻末資料)が行われている
* S,I,RまたはS,NSの判定はCLSI 2012 (M100-S22) に準拠
† 菌名コード：1303と報告された菌、または菌名コード：1301と報告され抗菌薬コード：1208(オキサシリン)または抗菌薬コード：1606(セフォキシチン)の感受性結果「R」の菌
集計株数が30株未満の場合には、集計結果を公表しない

本公表データは国内の全医療機関の数値を集計したデータではありません。
データ集計日 ： 2026年05月08日
公開情報掲載日： 2026年08月17日

Japan Nosocomial Infections Surveillance

7. 主要菌の抗菌薬感受性*

Staphylococcus epidermidis †



	感性(S)	SorI	中間(I)	IorR	耐性(R)	判定不能
PCG (N=74,406)	10,030 (13.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	64,376 (86.5%)	0 (0.0%)
MPIPC (N=60,475)	16,411 (27.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	43,994 (72.7%)	70 (0.1%)
VCM (N=89,984)	89,977 (100%)	0 (0.0%)	4 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (0.0%)	0 (0.0%)
TEIC (N=79,141)	77,689 (98.2%)	0 (0.0%)	1,316 (1.7%)	0 (0.0%)	135 (0.2%)	1 (0.0%)

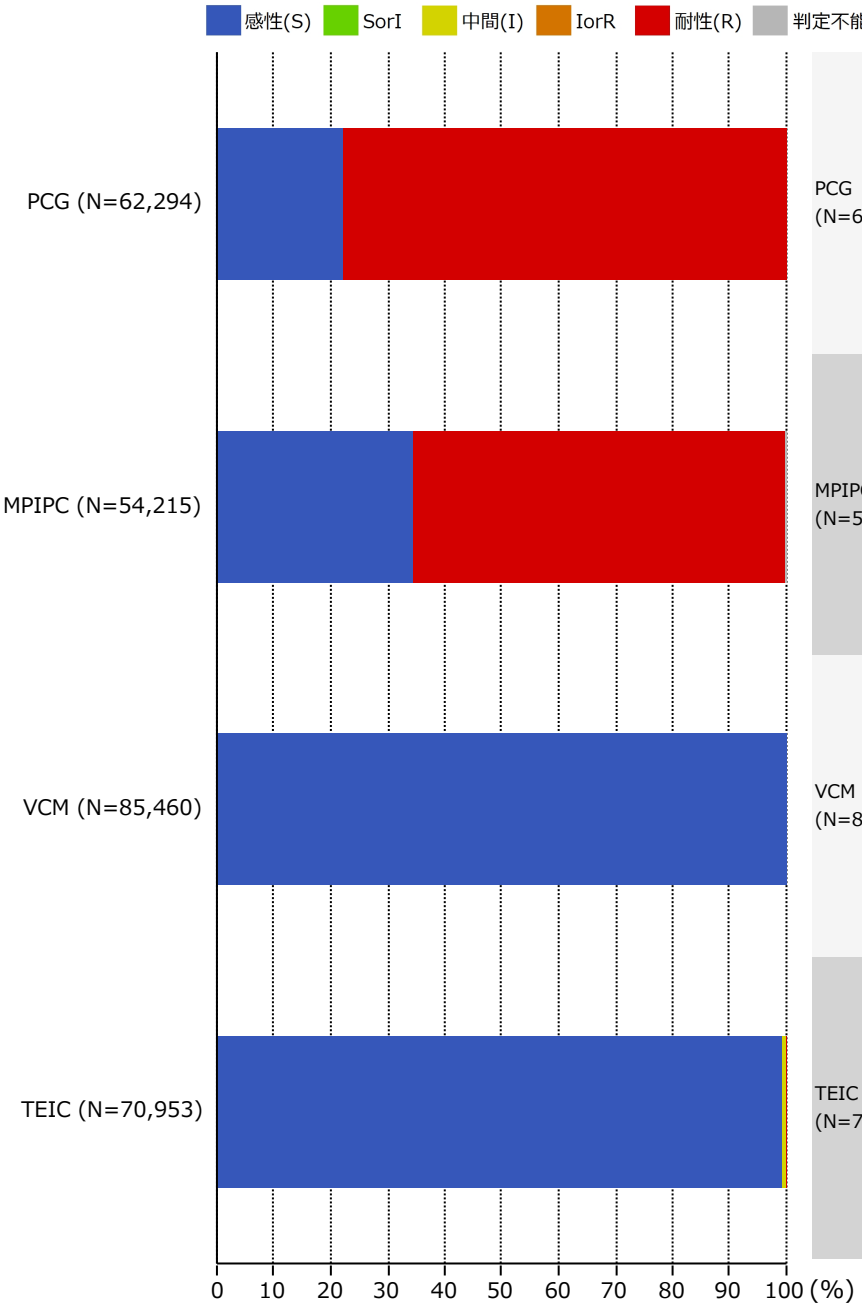
入院検体で、かつ検査法が微量液体希釈法又はEtestと設定されMIC値が報告されている検体を集計
30日単位で、抗菌薬感受性の違いも考慮して菌株数を集計する重複処理(巻末資料)が行われている
* S,I,Rの判定はCLSI 2012 (M100-S22）に準拠
† 菌名コード：1312と報告された菌
集計株数が30株未満の場合には、集計結果を公表しない

本公表データは国内の全医療機関の数値を集計したデータではありません。 データ集計日 ： 2026年05月08日
公開情報掲載日： 2026年08月17日

Japan Nosocomial Infections Surveillance

7. 主要菌の抗菌薬感受性*

Coagulase-negative staphylococci (CNS) †



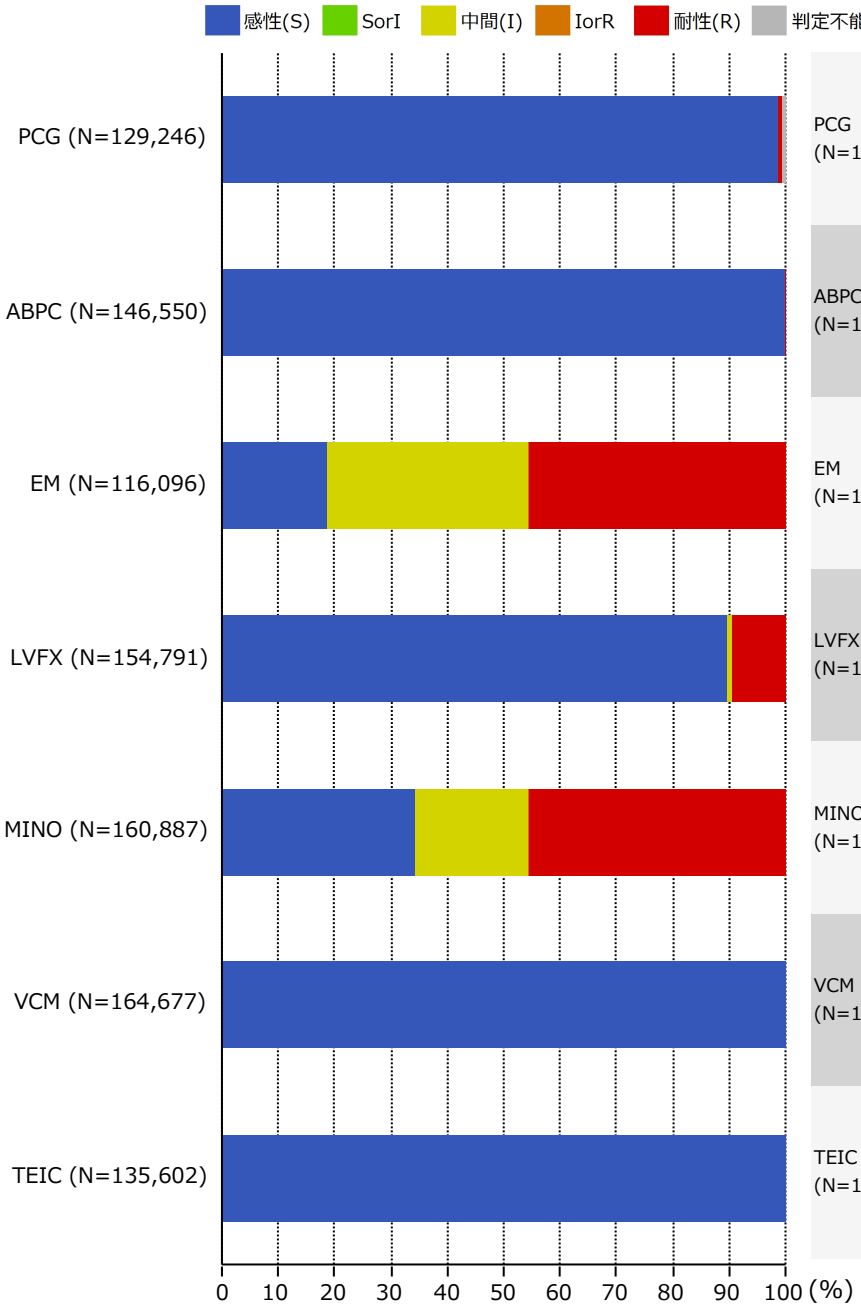
	感性(S)	SorI	中間(I)	IorR	耐性(R)	判定不能
PCG (N=62,294)	13,749 (22.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	48,540 (77.9%)	5 (0.0%)
MPIPC (N=54,215)	18,706 (34.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	35,406 (65.3%)	103 (0.2%)
VCM (N=85,460)	85,419 (100%)	0 (0.0%)	9 (0.0%)	0 (0.0%)	26 (0.0%)	6 (0.0%)
TEIC (N=70,953)	70,316 (99.1%)	0 (0.0%)	478 (0.7%)	2 (0.0%)	141 (0.2%)	16 (0.0%)

入院検体で、かつ検査法が微量液体希釈法又はEtestと設定されMIC値が報告されている検体を集計
30日単位で、抗菌薬感受性の違いも考慮して菌株数を集計する重複処理(巻末資料)が行われている
* S,I,Rの判定はCLSI 2012 (M100-S22）に準拠
† 菌名コード：1311, 1313～1325と報告された菌(1312：*Staphylococcus epidermidis*は対象外)
集計株数が30株未満の場合には、集計結果を公表しない

本公表データは国内の全医療機関の数値を集計したデータではありません。
データ集計日 ： 2026年05月08日
公開情報掲載日： 2026年08月17日

7. 主要菌の抗菌薬感受性*

Enterococcus faecalis †



	感性(S)	SorI	中間(I)	IorR	耐性(R)	判定不能
PCG (N=129,246)	127,416 (98.6%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	913 (0.7%)	917 (0.7%)
ABPC (N=146,550)	146,355 (99.9%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	194 (0.1%)	1 (0.0%)
EM (N=116,096)	21,715 (18.7%)	0 (0.0%)	41,249 (35.5%)	155 (0.1%)	52,976 (45.6%)	1 (0.0%)
LVFX (N=154,791)	138,696 (89.6%)	0 (0.0%)	1,394 (0.9%)	11 (0.0%)	14,675 (9.5%)	15 (0.0%)
MINO (N=160,887)	55,330 (34.4%)	0 (0.0%)	32,006 (19.9%)	123 (0.1%)	73,426 (45.6%)	2 (0.0%)
VCM (N=164,677)	164,649 (100%)	0 (0.0%)	9 (0.0%)	0 (0.0%)	19 (0.0%)	0 (0.0%)
TEIC (N=135,602)	135,579 (100%)	0 (0.0%)	2 (0.0%)	0 (0.0%)	20 (0.0%)	1 (0.0%)

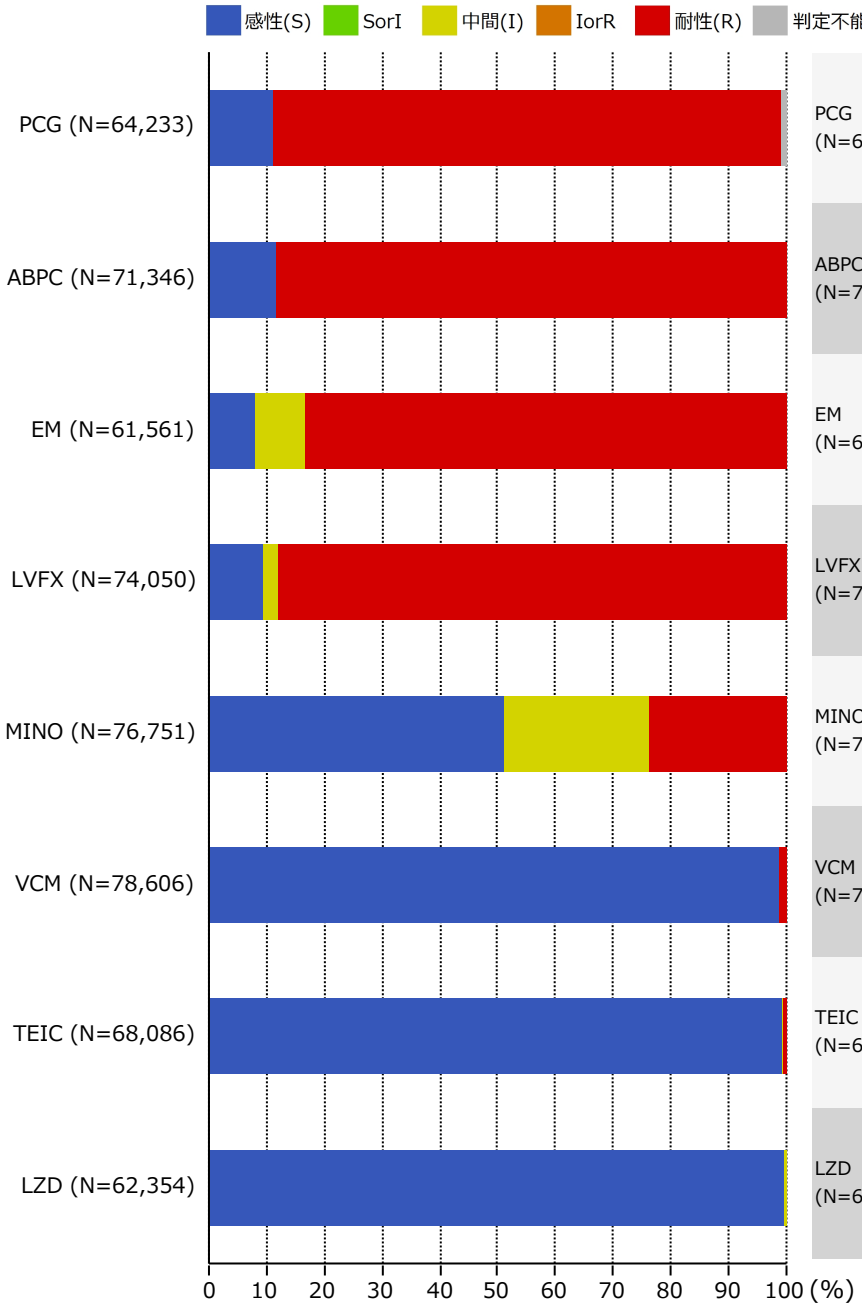
入院検体で、かつ検査法が微量液体希釈法又はEtestと設定されMIC値が報告されている検体を集計
30日単位で、抗菌薬感受性の違いも考慮して菌株数を集計する重複処理(巻末資料)が行われている
* S,I,Rの判定はCLSI 2012 (M100-S22）に準拠
† 菌名コード：1201, 1202と報告された菌
集計株数が30株未満の場合には、集計結果を公表しない

本公表データは国内の全医療機関の数値を集計したデータではありません。
データ集計日 ： 2026年05月08日
公開情報掲載日： 2026年08月17日

Japan Nosocomial Infections Surveillance

7. 主要菌の抗菌薬感受性*

Enterococcus faecium †



	感性(S)	SorI	中間(I)	IorR	耐性(R)	判定不能
PCG (N=64,233)	7,125 (11.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	56,414 (87.8%)	694 (1.1%)
ABPC (N=71,346)	8,282 (11.6%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	63,037 (88.4%)	27 (0.0%)
EM (N=61,561)	4,917 (8.0%)	0 (0.0%)	5,266 (8.6%)	71 (0.1%)	51,307 (83.3%)	0 (0.0%)
LVFX (N=74,050)	6,897 (9.3%)	0 (0.0%)	1,924 (2.6%)	62 (0.1%)	65,165 (88.0%)	2 (0.0%)
MINO (N=76,751)	39,290 (51.2%)	0 (0.0%)	19,128 (24.9%)	28 (0.0%)	18,305 (23.8%)	0 (0.0%)
VCM (N=78,606)	77,569 (98.7%)	0 (0.0%)	52 (0.1%)	2 (0.0%)	983 (1.3%)	0 (0.0%)
TEIC (N=68,086)	67,564 (99.2%)	0 (0.0%)	36 (0.1%)	1 (0.0%)	485 (0.7%)	0 (0.0%)
LZD (N=62,354)	61,960 (99.4%)	0 (0.0%)	364 (0.6%)	0 (0.0%)	30 (0.0%)	0 (0.0%)

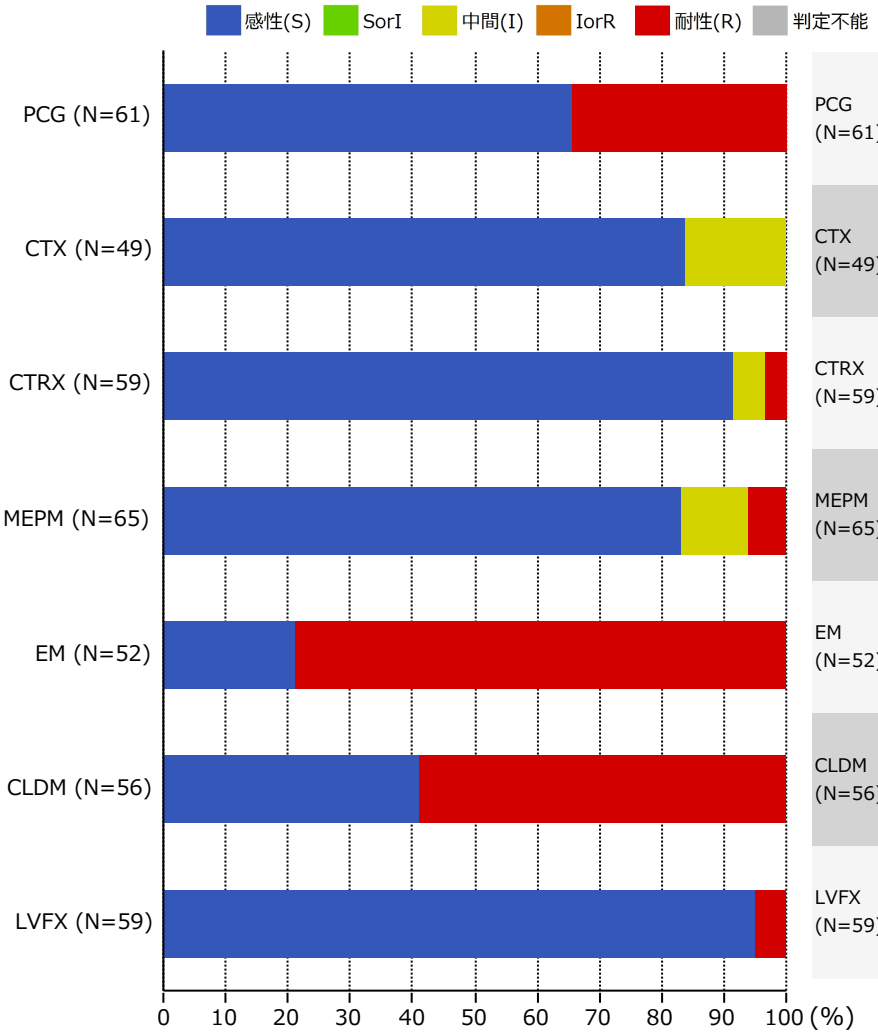
入院検体で、かつ検査法が微量液体希釈法又はEtestと設定されMIC値が報告されている検体を集計
30日単位で、抗菌薬感受性の違いも考慮して菌株数を集計する重複処理(巻末資料)が行われている
* S,I,Rの判定はCLSI 2012 (M100-S22）に準拠
† 菌名コード：1205, 1206と報告された菌
集計株数が30株未満の場合には、集計結果を公表しない

本公表データは国内の全医療機関の数値を集計したデータではありません。
データ集計日 ： 2026年05月08日
公開情報掲載日： 2026年08月17日

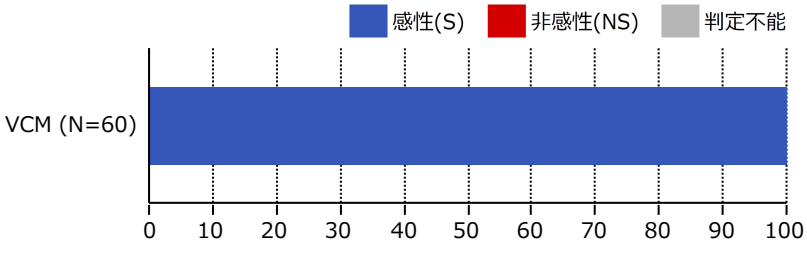
Japan Nosocomial Infections Surveillance

7. 主要菌の抗菌薬感受性*

Streptococcus pneumoniae(髄液検体) †



	感性(S)	SorI	中間(I)	IorR	耐性(R)	判定不能
PCG (N=61)	40 (65.6%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	21 (34.4%)	0 (0.0%)
CTX (N=49)	41 (83.7%)	0 (0.0%)	8 (16.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
CTRX (N=59)	54 (91.5%)	0 (0.0%)	3 (5.1%)	0 (0.0%)	2 (3.4%)	0 (0.0%)
MEPM (N=65)	54 (83.1%)	0 (0.0%)	7 (10.8%)	0 (0.0%)	4 (6.2%)	0 (0.0%)
EM (N=52)	11 (21.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	41 (78.8%)	0 (0.0%)
CLDM (N=56)	23 (41.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	33 (58.9%)	0 (0.0%)
LVFX (N=59)	56 (94.9%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (5.1%)	0 (0.0%)



	感性(S)	非感性(NS)	判定不能
VCM (N=60)	60 (100%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)

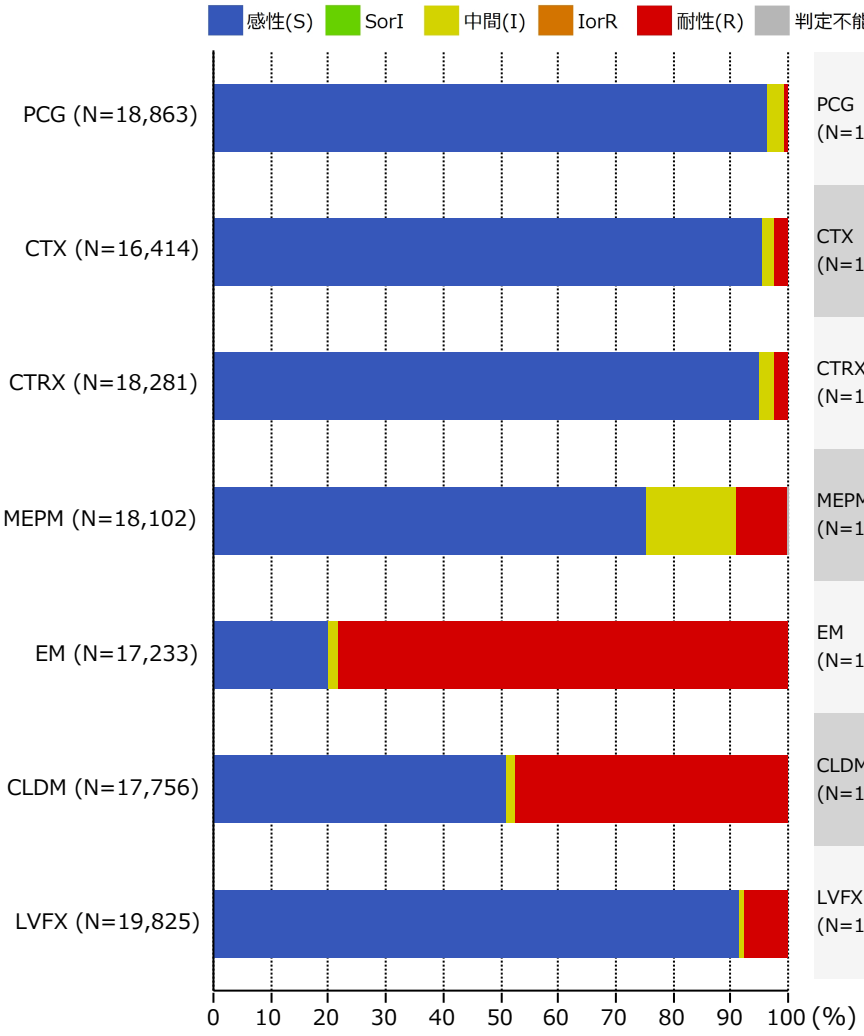
入院検体で、かつ検査法が微量液体希釈法又はEtestと設定されMIC値が報告されている検体を集計
30日単位で、抗菌薬感受性の違いも考慮して菌株数を集計する重複処理(巻末資料)が行われている
* S,I,RまたはS,NSの判定はCLSI 2012 (M100-S22) に準拠
† 菌名コード：1131と報告された菌
集計株数が30株未満の場合には、集計結果を公表しない

本公表データは国内の全医療機関の数値を集計したデータではありません。 データ集計日 ： 2026年05月08日
公開情報掲載日： 2026年08月17日

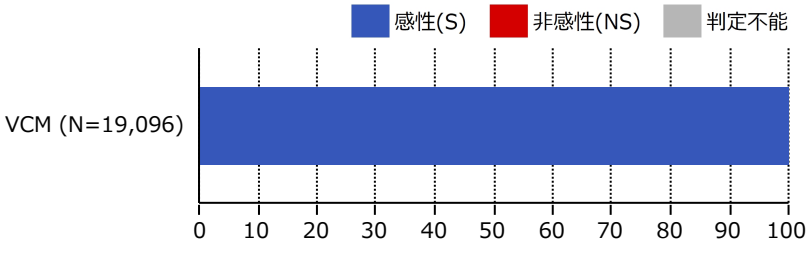
Japan Nosocomial Infections Surveillance

7. 主要菌の抗菌薬感受性*

Streptococcus pneumoniae(髄液検体以外) †



	感性(S)	SorI	中間(I)	IorR	耐性(R)	判定不能
PCG (N=18,863)	18,150 (96.2%)	0 (0.0%)	553 (2.9%)	0 (0.0%)	160 (0.8%)	0 (0.0%)
CTX (N=16,414)	15,673 (95.5%)	0 (0.0%)	330 (2.0%)	0 (0.0%)	408 (2.5%)	3 (0.0%)
CTRX (N=18,281)	17,344 (94.9%)	0 (0.0%)	463 (2.5%)	0 (0.0%)	473 (2.6%)	1 (0.0%)
MEPM (N=18,102)	13,640 (75.4%)	0 (0.0%)	2,820 (15.6%)	0 (0.0%)	1,614 (8.9%)	28 (0.2%)
EM (N=17,233)	3,450 (20.0%)	0 (0.0%)	308 (1.8%)	8 (0.0%)	13,467 (78.1%)	0 (0.0%)
CLDM (N=17,756)	9,058 (51.0%)	7 (0.0%)	249 (1.4%)	2 (0.0%)	8,440 (47.5%)	0 (0.0%)
LVFX (N=19,825)	18,143 (91.5%)	0 (0.0%)	136 (0.7%)	1 (0.0%)	1,542 (7.8%)	3 (0.0%)



	感性(S)	非感性(NS)	判定不能
VCM (N=19,096)	19,095 (100%)	0 (0.0%)	1 (0.0%)

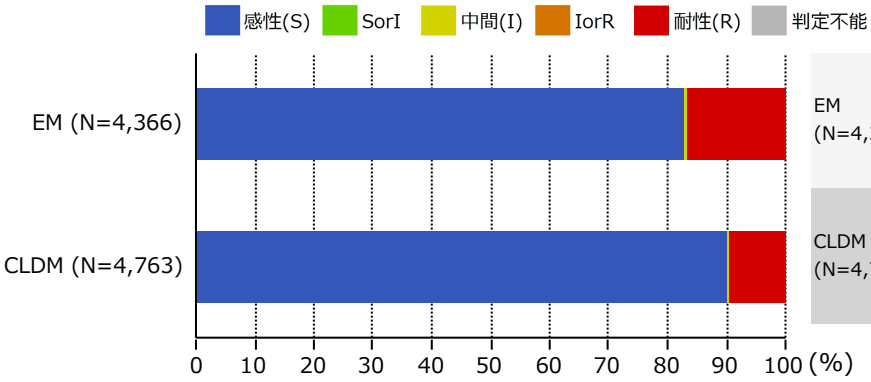
入院検体で、かつ検査法が微量液体希釈法又はEtestと設定されMIC値が報告されている検体を集計
30日単位で、抗菌薬感受性の違いも考慮して菌株数を集計する重複処理(巻末資料)が行われている
* S,I,RまたはS,NSの判定はCLSI 2012 (M100-S22）に準拠
† 菌名コード：1131と報告された菌
集計株数が30株未満の場合には、集計結果を公表しない

本公表データは国内の全医療機関の数値を集計したデータではありません。 データ集計日 ： 2026年05月08日
公開情報掲載日： 2026年08月17日

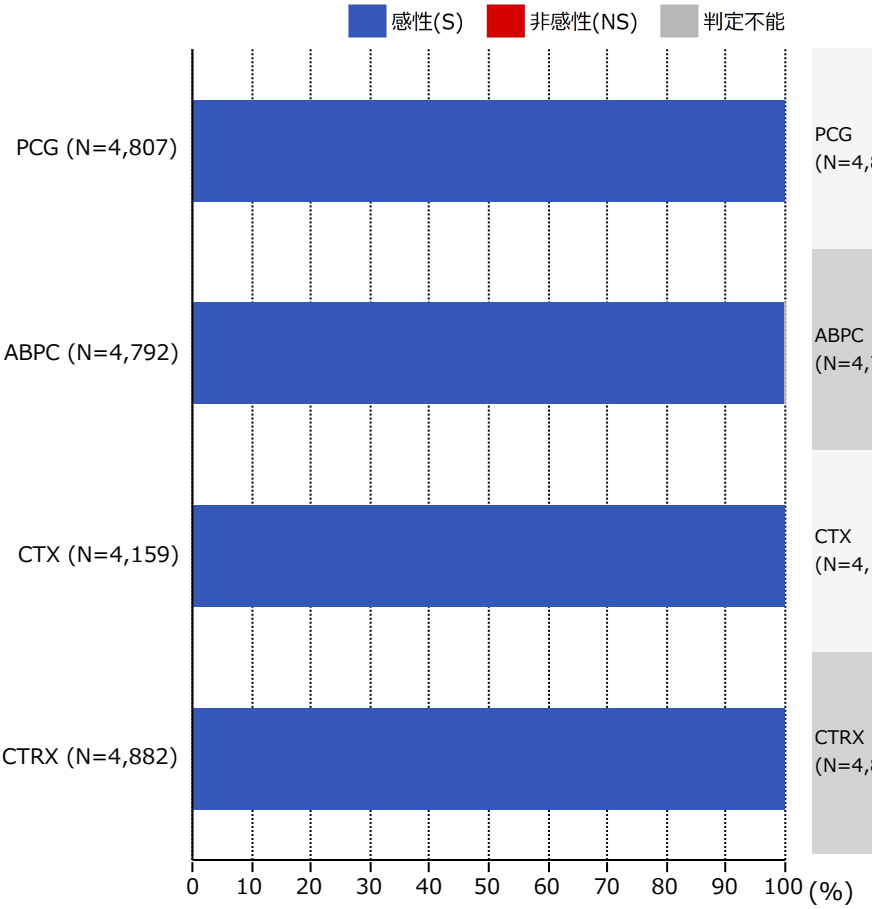
Japan Nosocomial Infections Surveillance

7. 主要菌の抗菌薬感受性*

Streptococcus pyogenes †



	感性(S)	SorI	中間(I)	IorR	耐性(R)	判定不能
EM (N=4,366)	3,608 (82.6%)	4 (0.1%)	23 (0.5%)	0 (0.0%)	731 (16.7%)	0 (0.0%)
CLDM (N=4,763)	4,284 (89.9%)	4 (0.1%)	18 (0.4%)	0 (0.0%)	457 (9.6%)	0 (0.0%)



	感性(S)	非感性(NS)	判定不能
PCG (N=4,807)	4,807 (100%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
ABPC (N=4,792)	4,782 (99.8%)	0 (0.0%)	10 (0.2%)
CTX (N=4,159)	4,159 (100%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
CTRX (N=4,882)	4,882 (100%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)

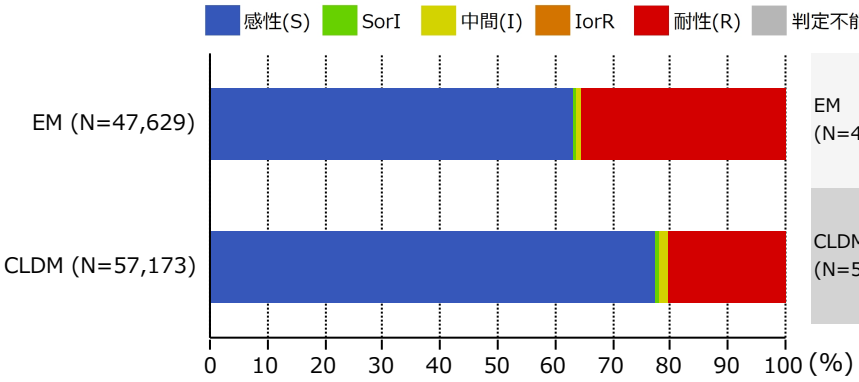
入院検体で、かつ検査法が微量液体希釈法又はEtestと設定されMIC値が報告されている検体を集計
30日単位で、抗菌薬感受性の違いも考慮して菌株数を集計する重複処理(巻末資料)が行われている
* S,I,RまたはS,NSの判定はCLSI 2012 (M100-S22) に準拠
† 菌名コード：1111と報告された菌
集計株数が30株未満の場合には、集計結果を公表しない

本公表データは国内の全医療機関の数値を集計したデータではありません。
データ集計日 ： 2026年05月08日
公開情報掲載日： 2026年08月17日

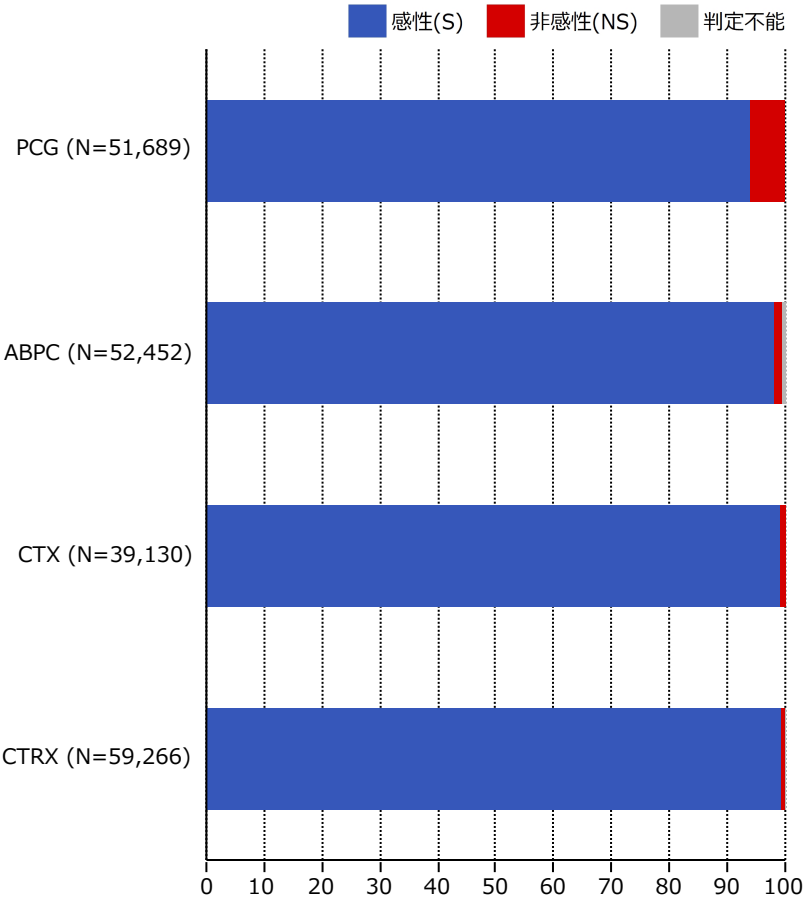
Japan Nosocomial Infections Surveillance

7. 主要菌の抗菌薬感受性*

Streptococcus agalactiae †



	感性(S)	SorI	中間(I)	IorR	耐性(R)	判定不能
EM (N=47,629)	30,007 (63.0%)	216 (0.5%)	481 (1.0%)	3 (0.0%)	16,922 (35.5%)	0 (0.0%)
CLDM (N=57,173)	44,202 (77.3%)	385 (0.7%)	890 (1.6%)	4 (0.0%)	11,692 (20.5%)	0 (0.0%)



	感性(S)	非感性(NS)	判定不能
PCG (N=51,689)	48,465 (93.8%)	3,220 (6.2%)	4 (0.0%)
ABPC (N=52,452)	51,413 (98.0%)	699 (1.3%)	340 (0.6%)
CTX (N=39,130)	38,768 (99.1%)	361 (0.9%)	1 (0.0%)
CTRX (N=59,266)	58,871 (99.3%)	347 (0.6%)	48 (0.1%)

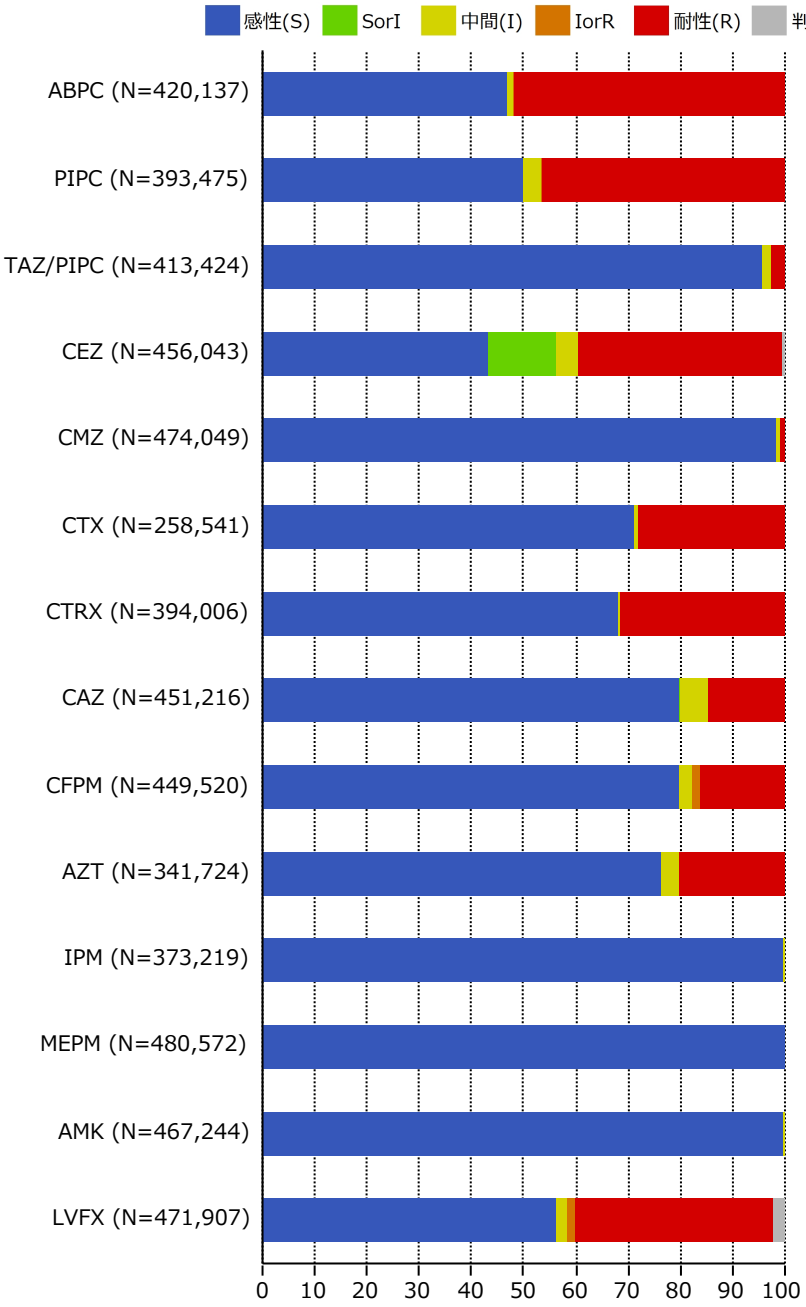
入院検体で、かつ検査法が微量液体希釈法又はEtestと設定されMIC値が報告されている検体を集計
30日単位で、抗菌薬感受性の違いも考慮して菌株数を集計する重複処理(巻末資料)が行われている
* S,I,RまたはS,NSの判定はCLSI 2012 (M100-S22) に準拠
† 菌名コード：1114と報告された菌
集計株数が30株未満の場合には、集計結果を公表しない

本公表データは国内の全医療機関の数値を集計したデータではありません。 データ集計日 ： 2026年05月08日
公開情報掲載日： 2026年08月17日

Japan Nosocomial Infections Surveillance

7. 主要菌の抗菌薬感受性*

Escherichia coli †



	感性(S)	SorI	中間(I)	IorR	耐性(R)	判定不能
ABPC (N=420,137)	196,824 (46.8%)	0 (0.0%)	4,523 (1.1%)	234 (0.1%)	218,550 (52.0%)	6 (0.0%)
PIPC (N=393,475)	196,016 (49.8%)	0 (0.0%)	13,482 (3.4%)	450 (0.1%)	183,526 (46.6%)	1 (0.0%)
TAZ/PIPC (N=413,424)	394,995 (95.5%)	100 (0.0%)	6,746 (1.6%)	27 (0.0%)	11,549 (2.8%)	7 (0.0%)
CEZ (N=456,043)	196,825 (43.2%)	58,845 (12.9%)	19,443 (4.3%)	2 (0.0%)	178,407 (39.1%)	2,521 (0.6%)
CMZ (N=474,049)	465,665 (98.2%)	3 (0.0%)	4,215 (0.9%)	130 (0.0%)	4,036 (0.9%)	0 (0.0%)
CTX (N=258,541)	183,872 (71.1%)	13 (0.0%)	1,853 (0.7%)	153 (0.1%)	72,611 (28.1%)	39 (0.0%)
CTRX (N=394,006)	268,199 (68.1%)	16 (0.0%)	1,128 (0.3%)	95 (0.0%)	124,528 (31.6%)	40 (0.0%)
CAZ (N=451,216)	359,478 (79.7%)	532 (0.1%)	24,387 (5.4%)	40 (0.0%)	66,617 (14.8%)	162 (0.0%)
CFPM (N=449,520)	357,873 (79.6%)	0 (0.0%)	10,907 (2.4%)	7,757 (1.7%)	72,979 (16.2%)	4 (0.0%)
AZT (N=341,724)	260,038 (76.1%)	0 (0.0%)	12,430 (3.6%)	57 (0.0%)	69,100 (20.2%)	99 (0.0%)
IPM (N=373,219)	372,214 (99.7%)	142 (0.0%)	599 (0.2%)	1 (0.0%)	261 (0.1%)	2 (0.0%)
MEPM (N=480,572)	480,020 (99.9%)	2 (0.0%)	105 (0.0%)	1 (0.0%)	444 (0.1%)	0 (0.0%)
AMK (N=467,244)	465,680 (99.7%)	0 (0.0%)	953 (0.2%)	0 (0.0%)	605 (0.1%)	6 (0.0%)
LVFX (N=471,907)	265,030 (56.2%)	2 (0.0%)	10,064 (2.1%)	7,225 (1.5%)	178,093 (37.7%)	11,493 (2.4%)

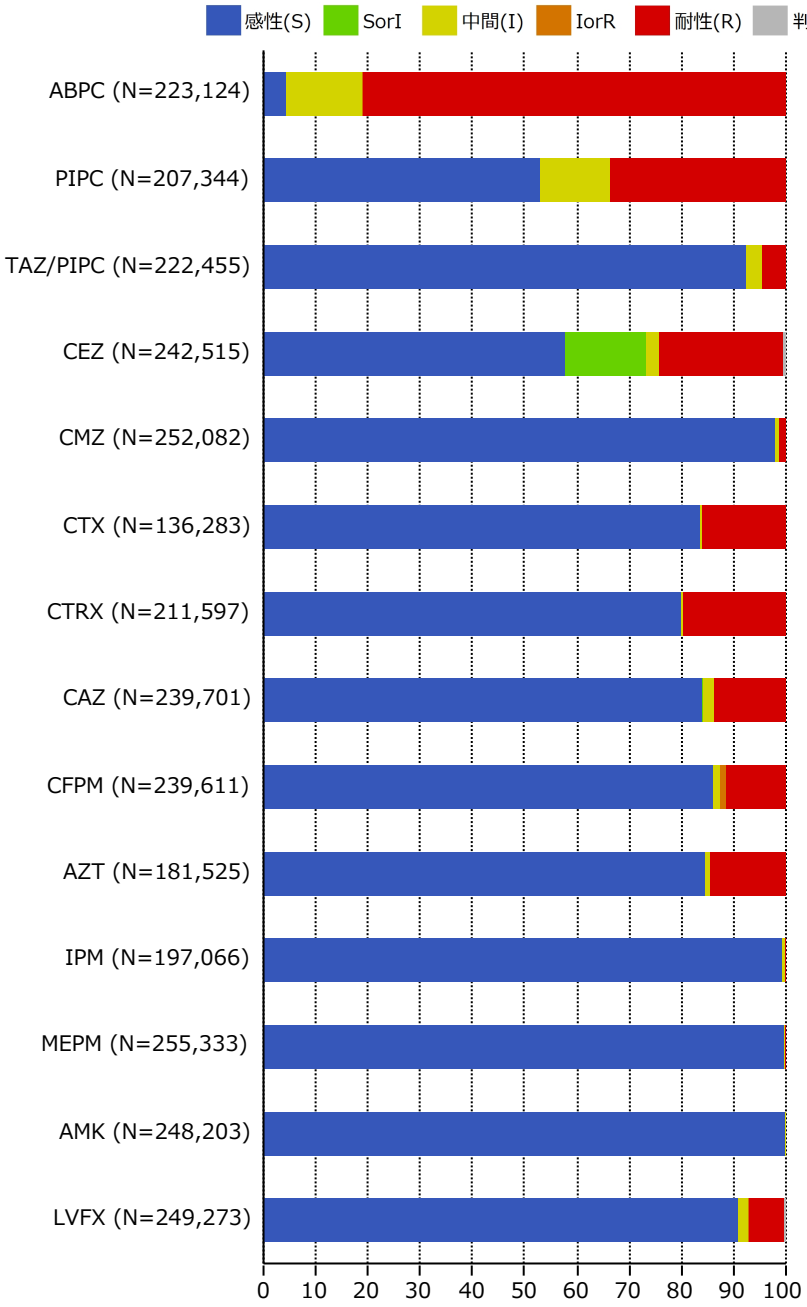
入院検体で、かつ検査法が微量液体希釈法又はEtestと設定されMIC値が報告されている検体を集計
30日単位で、抗菌薬感受性の違いも考慮して菌株数を集計する重複処理(巻末資料)が行われている
* S,I,Rの判定はCLSI 2012 (M100-S22）に準拠
† 菌名コード：2001～2007と報告された菌
集計株数が30株未満の場合には、集計結果を公表しない

本公表データは国内の全医療機関の数値を集計したデータではありません。 データ集計日 ： 2026年05月08日
公開情報掲載日： 2026年08月17日

Japan Nosocomial Infections Surveillance

7. 主要菌の抗菌薬感受性*

Klebsiella pneumoniae †



	感性(S)	SorI	中間(I)	IorR	耐性(R)	判定不能
ABPC (N=223,124)	9,744 (4.4%)	0 (0.0%)	32,489 (14.6%)	238 (0.1%)	180,649 (81.0%)	4 (0.0%)
PIPC (N=207,344)	109,680 (52.9%)	0 (0.0%)	27,659 (13.3%)	143 (0.1%)	69,862 (33.7%)	0 (0.0%)
TAZ/PIPC (N=222,455)	205,493 (92.4%)	45 (0.0%)	6,501 (2.9%)	32 (0.0%)	10,382 (4.7%)	2 (0.0%)
CEZ (N=242,515)	139,773 (57.6%)	37,347 (15.4%)	6,354 (2.6%)	0 (0.0%)	57,483 (23.7%)	1,558 (0.6%)
CMZ (N=252,082)	246,807 (97.9%)	0 (0.0%)	1,654 (0.7%)	52 (0.0%)	3,569 (1.4%)	0 (0.0%)
CTX (N=136,283)	113,796 (83.5%)	11 (0.0%)	532 (0.4%)	30 (0.0%)	21,890 (16.1%)	24 (0.0%)
CTRX (N=211,597)	169,091 (79.9%)	8 (0.0%)	497 (0.2%)	6 (0.0%)	41,973 (19.8%)	22 (0.0%)
CAZ (N=239,701)	200,972 (83.8%)	385 (0.2%)	5,112 (2.1%)	4 (0.0%)	33,173 (13.8%)	55 (0.0%)
CFPM (N=239,611)	205,984 (86.0%)	0 (0.0%)	3,420 (1.4%)	2,428 (1.0%)	27,778 (11.6%)	1 (0.0%)
AZT (N=181,525)	153,391 (84.5%)	1 (0.0%)	1,719 (0.9%)	4 (0.0%)	26,394 (14.5%)	16 (0.0%)
IPM (N=197,066)	195,748 (99.3%)	32 (0.0%)	917 (0.5%)	0 (0.0%)	365 (0.2%)	4 (0.0%)
MEPM (N=255,333)	254,270 (99.6%)	1 (0.0%)	248 (0.1%)	0 (0.0%)	814 (0.3%)	0 (0.0%)
AMK (N=248,203)	247,899 (99.9%)	0 (0.0%)	170 (0.1%)	0 (0.0%)	134 (0.1%)	0 (0.0%)
LVFX (N=249,273)	226,071 (90.7%)	0 (0.0%)	4,446 (1.8%)	618 (0.2%)	16,770 (6.7%)	1,368 (0.5%)

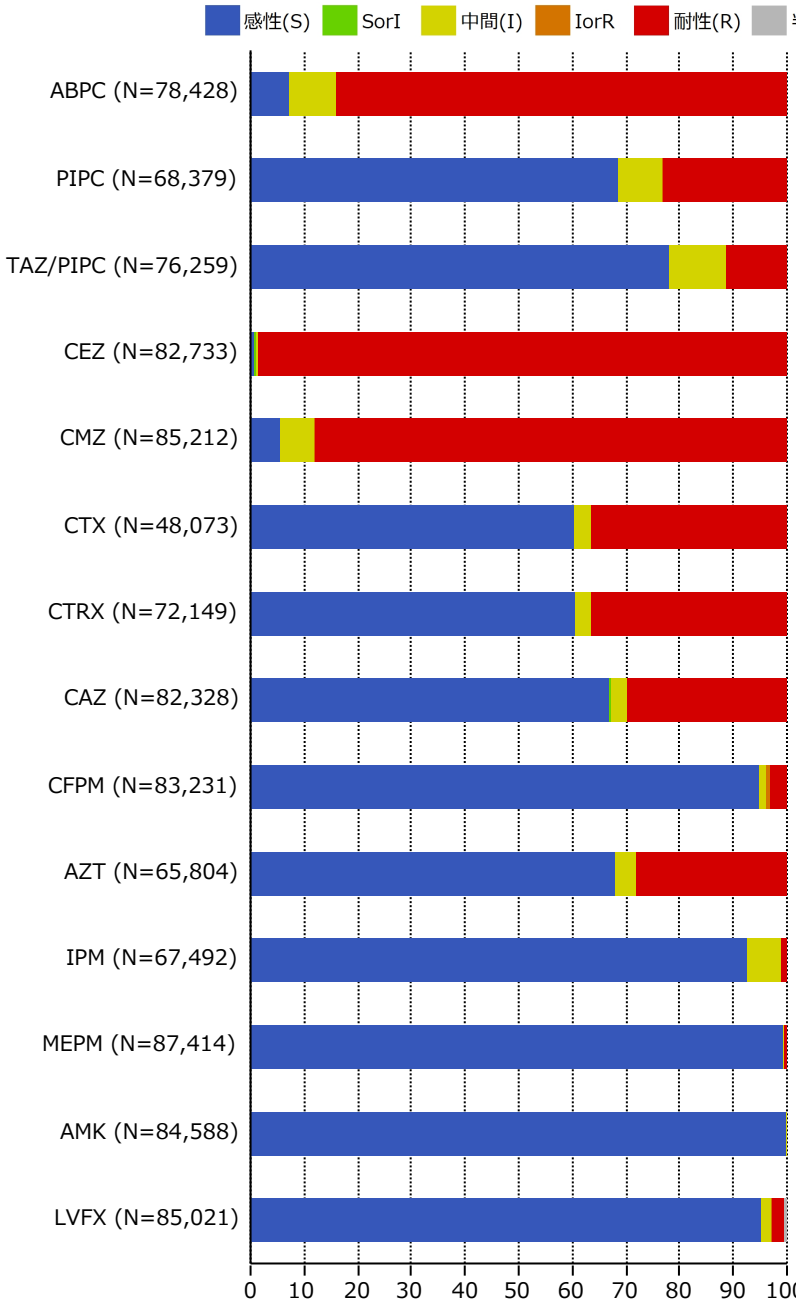
入院検体で、かつ検査法が微量液体希釈法又はEtestと設定されMIC値が報告されている検体を集計
30日単位で、抗菌薬感受性の違いも考慮して菌株数を集計する重複処理(巻末資料)が行われている
* S,I,Rの判定はCLSI 2012 (M100-S22）に準拠
† 菌名コード：2351と報告された菌
集計株数が30株未満の場合には、集計結果を公表しない

本公表データは国内の全医療機関の数値を集計したデータではありません。 データ集計日 ： 2026年05月08日
公開情報掲載日： 2026年08月17日

Japan Nosocomial Infections Surveillance

7. 主要菌の抗菌薬感受性*

Enterobacter cloacae †



	感性(S)	SorI	中間(I)	IorR	耐性(R)	判定不能
ABPC (N=78,428)	5,556 (7.1%)	0 (0.0%)	6,985 (8.9%)	94 (0.1%)	65,793 (83.9%)	0 (0.0%)
PIPC (N=68,379)	46,788 (68.4%)	0 (0.0%)	5,614 (8.2%)	80 (0.1%)	15,897 (23.2%)	0 (0.0%)
TAZ/PIPC (N=76,259)	59,470 (78.0%)	9 (0.0%)	8,013 (10.5%)	84 (0.1%)	8,668 (11.4%)	15 (0.0%)
CEZ (N=82,733)	561 (0.7%)	358 (0.4%)	344 (0.4%)	0 (0.0%)	81,460 (98.5%)	10 (0.0%)
CMZ (N=85,212)	4,739 (5.6%)	0 (0.0%)	5,326 (6.3%)	199 (0.2%)	74,948 (88.0%)	0 (0.0%)
CTX (N=48,073)	29,014 (60.4%)	1 (0.0%)	1,478 (3.1%)	14 (0.0%)	17,563 (36.5%)	3 (0.0%)
CTRX (N=72,149)	43,661 (60.5%)	2 (0.0%)	2,002 (2.8%)	24 (0.0%)	26,458 (36.7%)	2 (0.0%)
CAZ (N=82,328)	55,032 (66.8%)	129 (0.2%)	2,496 (3.0%)	7 (0.0%)	24,647 (29.9%)	17 (0.0%)
CFPM (N=83,231)	78,826 (94.7%)	0 (0.0%)	1,179 (1.4%)	495 (0.6%)	2,731 (3.3%)	0 (0.0%)
AZT (N=65,804)	44,626 (67.8%)	0 (0.0%)	2,579 (3.9%)	9 (0.0%)	18,575 (28.2%)	15 (0.0%)
IPM (N=67,492)	62,378 (92.4%)	4 (0.0%)	4,352 (6.4%)	1 (0.0%)	757 (1.1%)	0 (0.0%)
MEPM (N=87,414)	86,698 (99.2%)	2 (0.0%)	168 (0.2%)	0 (0.0%)	546 (0.6%)	0 (0.0%)
AMK (N=84,588)	84,495 (99.9%)	0 (0.0%)	45 (0.1%)	0 (0.0%)	48 (0.1%)	0 (0.0%)
LVFX (N=85,021)	80,865 (95.1%)	0 (0.0%)	1,569 (1.8%)	136 (0.2%)	2,004 (2.4%)	447 (0.5%)

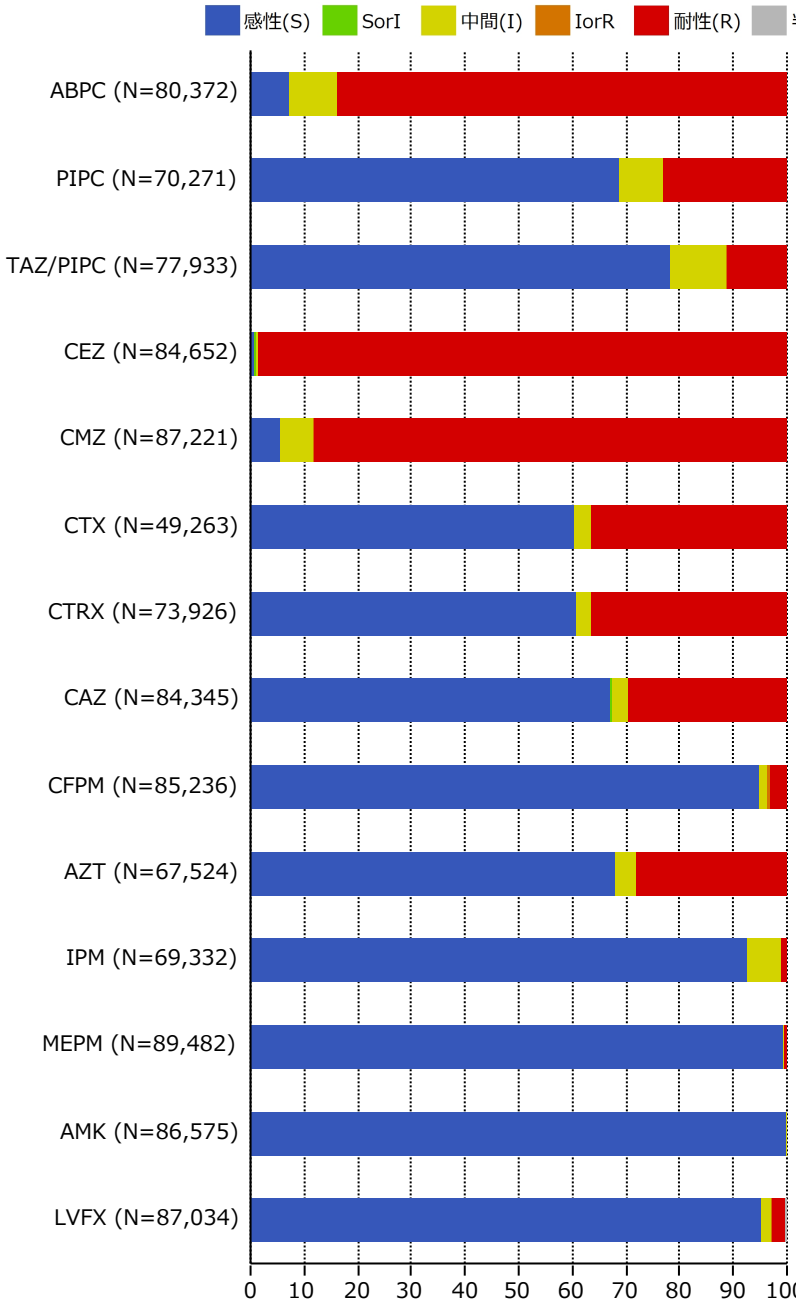
入院検体で、かつ検査法が微量液体希釈法又はEtestと設定されMIC値が報告されている検体を集計
30日単位で、抗菌薬感受性の違いも考慮して菌株数を集計する重複処理(巻末資料)が行われている
* S,I,Rの判定はCLSI 2012 (M100-S22）に準拠
† 菌名コード：2151と報告された菌
集計株数が30株未満の場合には、集計結果を公表しない

本公表データは国内の全医療機関の数値を集計したデータではありません。 データ集計日 ： 2026年05月08日
公開情報掲載日： 2026年08月17日

Japan Nosocomial Infections Surveillance

7. 主要菌の抗菌薬感受性*

Enterobacter cloacae complex †



	感性(S)	SorI	中間(I)	IorR	耐性(R)	判定不能
ABPC (N=80,372)	5,759 (7.2%)	0 (0.0%)	7,203 (9.0%)	94 (0.1%)	67,316 (83.8%)	0 (0.0%)
PIPC (N=70,271)	48,222 (68.6%)	0 (0.0%)	5,764 (8.2%)	80 (0.1%)	16,205 (23.1%)	0 (0.0%)
TAZ/PIPC (N=77,933)	60,840 (78.1%)	10 (0.0%)	8,166 (10.5%)	84 (0.1%)	8,818 (11.3%)	15 (0.0%)
CEZ (N=84,652)	580 (0.7%)	375 (0.4%)	353 (0.4%)	0 (0.0%)	83,333 (98.4%)	11 (0.0%)
CMZ (N=87,221)	4,832 (5.5%)	0 (0.0%)	5,416 (6.2%)	199 (0.2%)	76,774 (88.0%)	0 (0.0%)
CTX (N=49,263)	29,723 (60.3%)	1 (0.0%)	1,524 (3.1%)	15 (0.0%)	17,997 (36.5%)	3 (0.0%)
CTRX (N=73,926)	44,794 (60.6%)	2 (0.0%)	2,053 (2.8%)	24 (0.0%)	27,051 (36.6%)	2 (0.0%)
CAZ (N=84,345)	56,480 (67.0%)	129 (0.2%)	2,570 (3.0%)	7 (0.0%)	25,142 (29.8%)	17 (0.0%)
CFPM (N=85,236)	80,786 (94.8%)	0 (0.0%)	1,194 (1.4%)	498 (0.6%)	2,758 (3.2%)	0 (0.0%)
AZT (N=67,524)	45,899 (68.0%)	0 (0.0%)	2,642 (3.9%)	9 (0.0%)	18,959 (28.1%)	15 (0.0%)
IPM (N=69,332)	64,088 (92.4%)	4 (0.0%)	4,462 (6.4%)	1 (0.0%)	777 (1.1%)	0 (0.0%)
MEPM (N=89,482)	88,752 (99.2%)	2 (0.0%)	174 (0.2%)	0 (0.0%)	554 (0.6%)	0 (0.0%)
AMK (N=86,575)	86,476 (99.9%)	0 (0.0%)	50 (0.1%)	0 (0.0%)	49 (0.1%)	0 (0.0%)
LVFX (N=87,034)	82,769 (95.1%)	0 (0.0%)	1,613 (1.9%)	140 (0.2%)	2,043 (2.3%)	469 (0.5%)

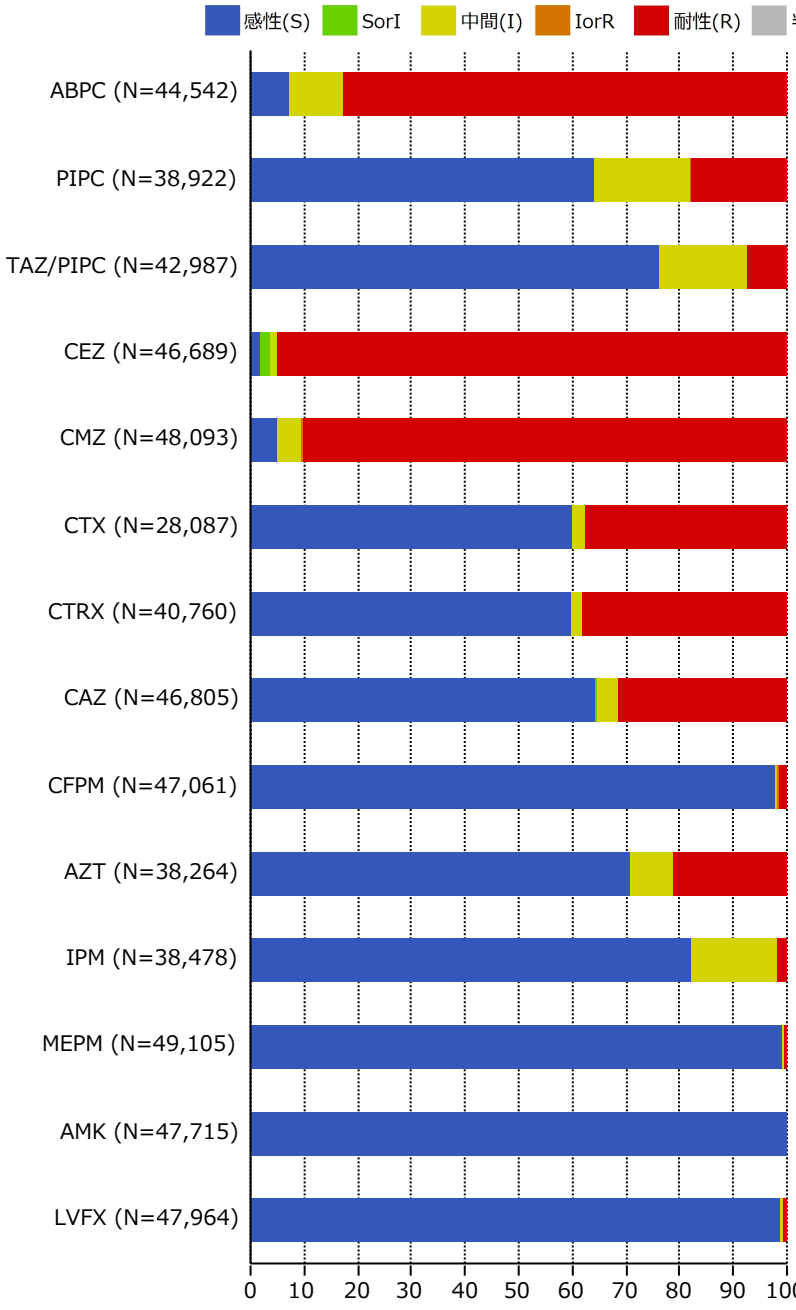
入院検体で、かつ検査法が微量液体希釈法又はEtestと設定されMIC値が報告されている検体を集計
30日単位で、抗菌薬感受性の違いも考慮して菌株数を集計する重複処理(巻末資料)が行われている
* S,I,Rの判定はCLSI 2012 (M100-S22）に準拠
† 菌名コード：2151，2155，2157～2161と報告された菌
集計株数が30株未満の場合には、集計結果を公表しない

本公表データは国内の全医療機関の数値を集計したデータではありません。 データ集計日 ： 2026年05月08日
公開情報掲載日： 2026年08月17日

Japan Nosocomial Infections Surveillance

7. 主要菌の抗菌薬感受性*

Klebsiella aerogenes †



	感性(S)	SorI	中間(I)	IorR	耐性(R)	判定不能
ABPC (N=44,542)	3,213 (7.2%)	0 (0.0%)	4,493 (10.1%)	63 (0.1%)	36,773 (82.6%)	0 (0.0%)
PIPC (N=38,922)	24,933 (64.1%)	0 (0.0%)	6,954 (17.9%)	43 (0.1%)	6,992 (18.0%)	0 (0.0%)
TAZ/PIPC (N=42,987)	32,717 (76.1%)	8 (0.0%)	7,005 (16.3%)	27 (0.1%)	3,223 (7.5%)	7 (0.0%)
CEZ (N=46,689)	798 (1.7%)	947 (2.0%)	591 (1.3%)	0 (0.0%)	44,347 (95.0%)	6 (0.0%)
CMZ (N=48,093)	2,360 (4.9%)	0 (0.0%)	2,234 (4.6%)	131 (0.3%)	43,368 (90.2%)	0 (0.0%)
CTX (N=28,087)	16,864 (60.0%)	1 (0.0%)	640 (2.3%)	13 (0.0%)	10,569 (37.6%)	0 (0.0%)
CTRX (N=40,760)	24,433 (59.9%)	1 (0.0%)	759 (1.9%)	15 (0.0%)	15,551 (38.2%)	1 (0.0%)
CAZ (N=46,805)	30,114 (64.3%)	73 (0.2%)	1,819 (3.9%)	12 (0.0%)	14,783 (31.6%)	4 (0.0%)
CFPM (N=47,061)	45,949 (97.6%)	0 (0.0%)	232 (0.5%)	105 (0.2%)	775 (1.6%)	0 (0.0%)
AZT (N=38,264)	27,056 (70.7%)	0 (0.0%)	3,041 (7.9%)	12 (0.0%)	8,139 (21.3%)	16 (0.0%)
IPM (N=38,478)	31,546 (82.0%)	8 (0.0%)	6,234 (16.2%)	1 (0.0%)	689 (1.8%)	0 (0.0%)
MEPM (N=49,105)	48,665 (99.1%)	0 (0.0%)	107 (0.2%)	0 (0.0%)	333 (0.7%)	0 (0.0%)
AMK (N=47,715)	47,676 (99.9%)	0 (0.0%)	21 (0.0%)	0 (0.0%)	18 (0.0%)	0 (0.0%)
LVFX (N=47,964)	47,233 (98.5%)	0 (0.0%)	294 (0.6%)	23 (0.0%)	354 (0.7%)	60 (0.1%)

入院検体で、かつ検査法が微量液体希釈法又はEtestと設定されMIC値が報告されている検体を集計
30日単位で、抗菌薬感受性の違いも考慮して菌株数を集計する重複処理(巻末資料)が行われている
* S,I,Rの判定はCLSI 2012 (M100-S22) に準拠
† 菌名コード：2152と報告された菌(旧名：*Enterobacter aerogenes*)
集計株数が30株未満の場合には、集計結果を公表しない

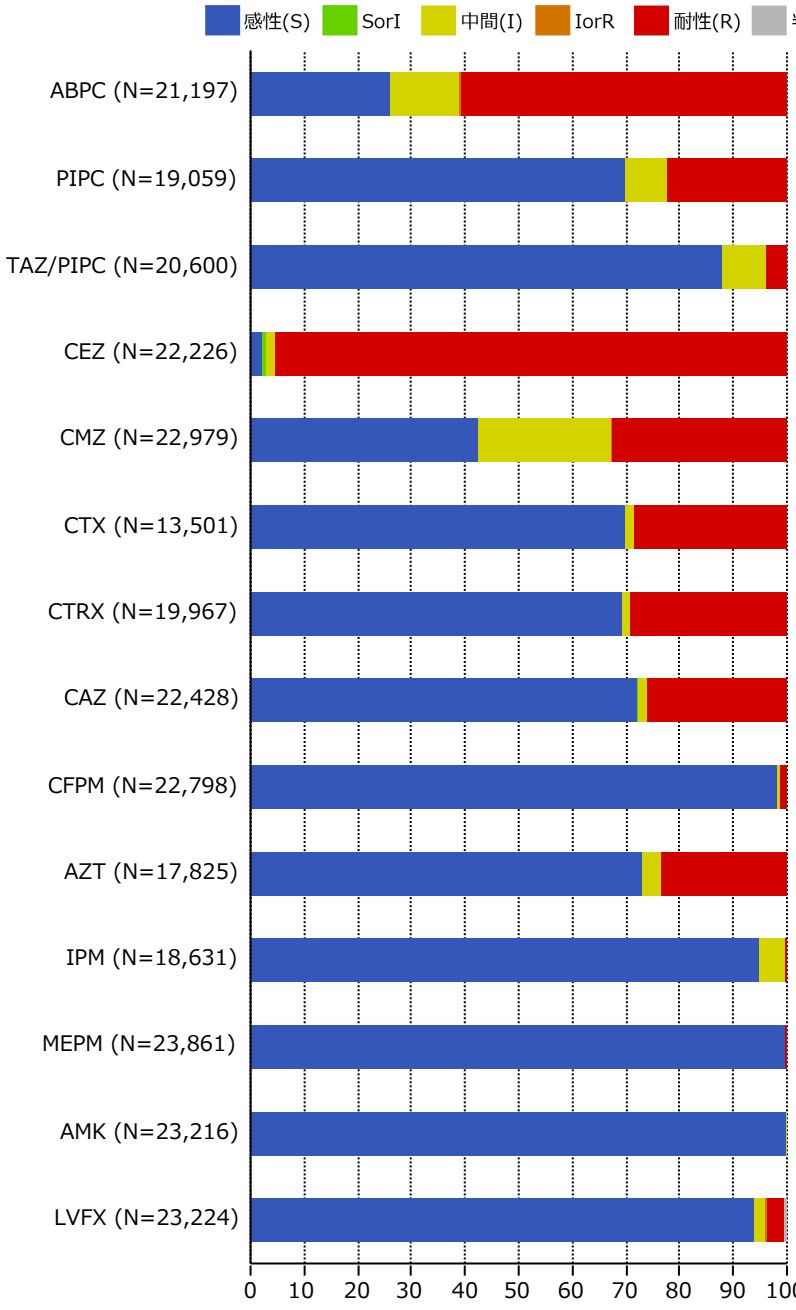
本公表データは国内の全医療機関の数値を集計したデータではありません。 データ集計日 ： 2026年05月08日
公開情報掲載日： 2026年08月17日

Japan Nosocomial Infections Surveillance

JANIS

7. 主要菌の抗菌薬感受性*

Citrobacter freundii †



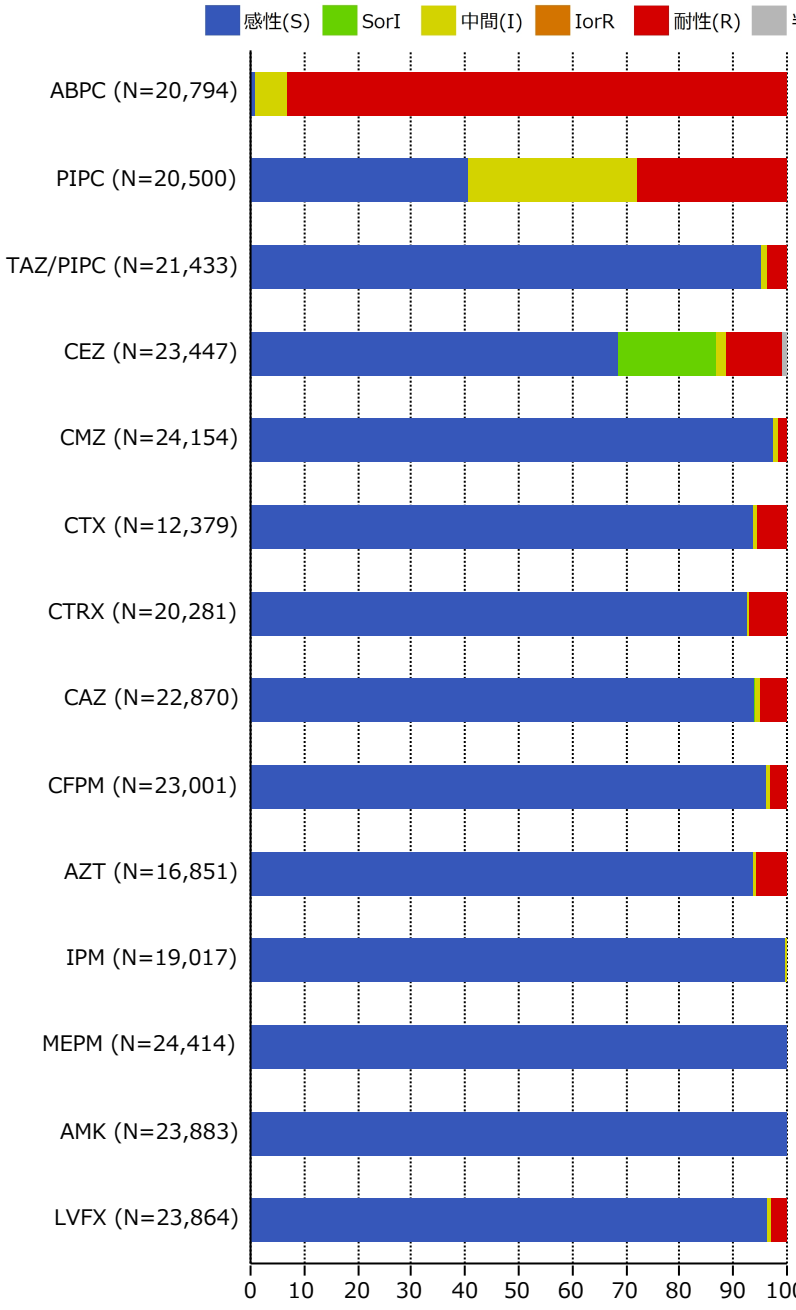
	感性(S)	SorI	中間(I)	IorR	耐性(R)	判定不能
ABPC (N=21,197)	5,510 (26.0%)	0 (0.0%)	2,734 (12.9%)	32 (0.2%)	12,919 (60.9%)	2 (0.0%)
PIPC (N=19,059)	13,300 (69.8%)	0 (0.0%)	1,477 (7.7%)	28 (0.1%)	4,254 (22.3%)	0 (0.0%)
TAZ/PIPC (N=20,600)	18,081 (87.8%)	4 (0.0%)	1,698 (8.2%)	15 (0.1%)	801 (3.9%)	1 (0.0%)
CEZ (N=22,226)	476 (2.1%)	209 (0.9%)	356 (1.6%)	1 (0.0%)	21,172 (95.3%)	12 (0.1%)
CMZ (N=22,979)	9,777 (42.5%)	0 (0.0%)	5,649 (24.6%)	40 (0.2%)	7,513 (32.7%)	0 (0.0%)
CTX (N=13,501)	9,414 (69.7%)	1 (0.0%)	223 (1.7%)	5 (0.0%)	3,856 (28.6%)	2 (0.0%)
CTRX (N=19,967)	13,838 (69.3%)	0 (0.0%)	282 (1.4%)	3 (0.0%)	5,843 (29.3%)	1 (0.0%)
CAZ (N=22,428)	16,145 (72.0%)	33 (0.1%)	366 (1.6%)	2 (0.0%)	5,879 (26.2%)	3 (0.0%)
CFPM (N=22,798)	22,380 (98.2%)	0 (0.0%)	102 (0.4%)	49 (0.2%)	267 (1.2%)	0 (0.0%)
AZT (N=17,825)	12,980 (72.8%)	0 (0.0%)	665 (3.7%)	2 (0.0%)	4,171 (23.4%)	7 (0.0%)
IPM (N=18,631)	17,636 (94.7%)	7 (0.0%)	928 (5.0%)	0 (0.0%)	59 (0.3%)	1 (0.0%)
MEPM (N=23,861)	23,779 (99.7%)	0 (0.0%)	10 (0.0%)	0 (0.0%)	72 (0.3%)	0 (0.0%)
AMK (N=23,216)	23,178 (99.8%)	0 (0.0%)	13 (0.1%)	0 (0.0%)	25 (0.1%)	0 (0.0%)
LVFX (N=23,224)	21,801 (93.9%)	0 (0.0%)	486 (2.1%)	40 (0.2%)	756 (3.3%)	141 (0.6%)

入院検体で、かつ検査法が微量液体希釈法又はEtestと設定されMIC値が報告されている検体を集計
30日単位で、抗菌薬感受性の違いも考慮して菌株数を集計する重複処理(巻末資料)が行われている
* S,I,Rの判定はCLSI 2012 (M100-S22）に準拠
† 菌名コード：2051と報告された菌
集計株数が30株未満の場合には、集計結果を公表しない

本公表データは国内の全医療機関の数値を集計したデータではありません。 データ集計日 ： 2026年05月08日
公開情報掲載日： 2026年08月17日

7. 主要菌の抗菌薬感受性*

Citrobacter koseri †



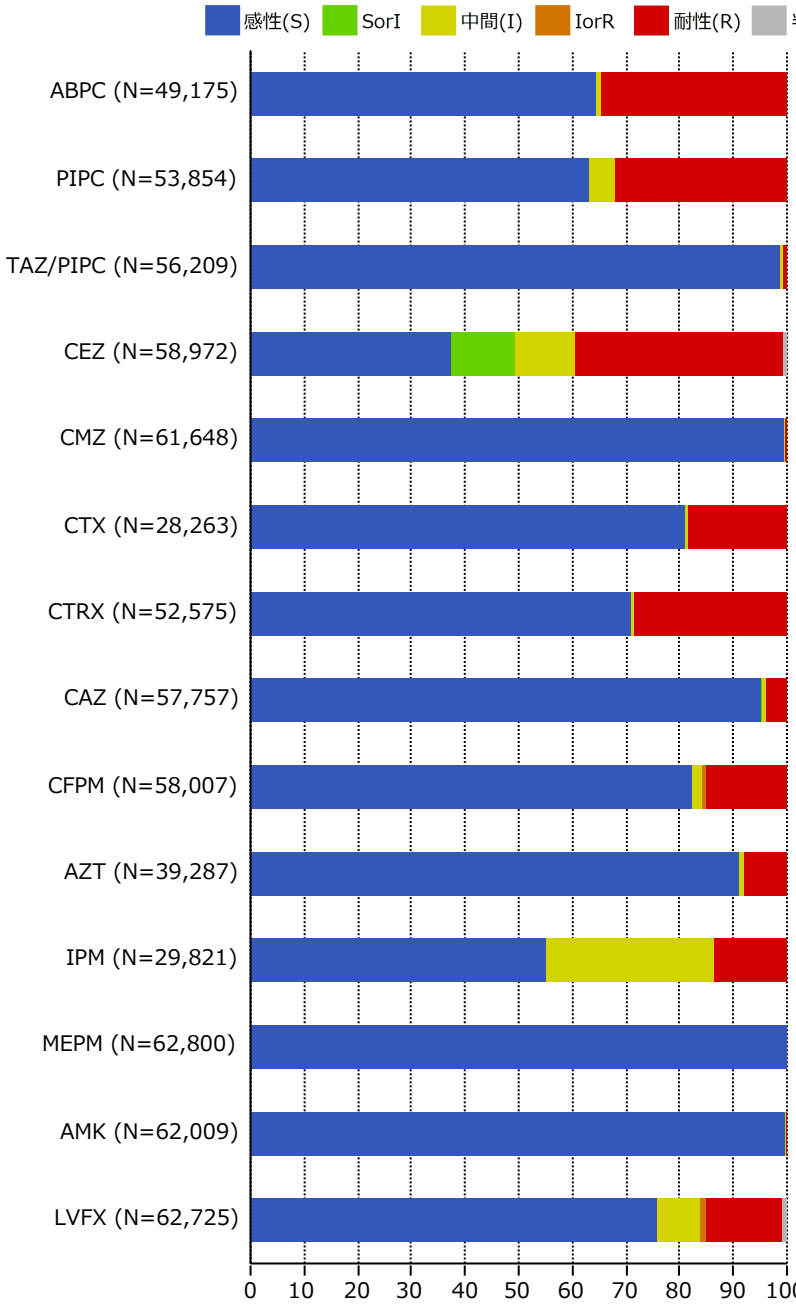
	感性(S)	SorI	中間(I)	IorR	耐性(R)	判定不能
ABPC (N=20,794)	190 (0.9%)	0 (0.0%)	1,226 (5.9%)	18 (0.1%)	19,360 (93.1%)	0 (0.0%)
PIPC (N=20,500)	8,296 (40.5%)	0 (0.0%)	6,458 (31.5%)	6 (0.0%)	5,740 (28.0%)	0 (0.0%)
TAZ/PIPC (N=21,433)	20,385 (95.1%)	3 (0.0%)	241 (1.1%)	1 (0.0%)	803 (3.7%)	0 (0.0%)
CEZ (N=23,447)	16,062 (68.5%)	4,249 (18.1%)	469 (2.0%)	0 (0.0%)	2,459 (10.5%)	208 (0.9%)
CMZ (N=24,154)	23,497 (97.3%)	0 (0.0%)	277 (1.1%)	0 (0.0%)	380 (1.6%)	0 (0.0%)
CTX (N=12,379)	11,602 (93.7%)	2 (0.0%)	86 (0.7%)	0 (0.0%)	689 (5.6%)	0 (0.0%)
CTRX (N=20,281)	18,775 (92.6%)	0 (0.0%)	49 (0.2%)	0 (0.0%)	1,457 (7.2%)	0 (0.0%)
CAZ (N=22,870)	21,477 (93.9%)	30 (0.1%)	196 (0.9%)	0 (0.0%)	1,162 (5.1%)	5 (0.0%)
CFPM (N=23,001)	22,107 (96.1%)	0 (0.0%)	130 (0.6%)	26 (0.1%)	738 (3.2%)	0 (0.0%)
AZT (N=16,851)	15,791 (93.7%)	0 (0.0%)	84 (0.5%)	0 (0.0%)	976 (5.8%)	0 (0.0%)
IPM (N=19,017)	18,966 (99.7%)	6 (0.0%)	29 (0.2%)	0 (0.0%)	16 (0.1%)	0 (0.0%)
MEPM (N=24,414)	24,388 (99.9%)	2 (0.0%)	8 (0.0%)	0 (0.0%)	16 (0.1%)	0 (0.0%)
AMK (N=23,883)	23,855 (99.9%)	0 (0.0%)	19 (0.1%)	0 (0.0%)	9 (0.0%)	0 (0.0%)
LVFX (N=23,864)	22,964 (96.2%)	0 (0.0%)	172 (0.7%)	23 (0.1%)	686 (2.9%)	19 (0.1%)

入院検体で、かつ検査法が微量液体希釈法又はEtestと設定されMIC値が報告されている検体を集計
30日単位で、抗菌薬感受性の違いも考慮して菌株数を集計する重複処理(巻末資料)が行われている
* S,I,Rの判定はCLSI 2012 (M100-S22）に準拠
† 菌名コード：2052と報告された菌
集計株数が30株未満の場合には、集計結果を公表しない

JANIS

7. 主要菌の抗菌薬感受性*

Proteus mirabilis †



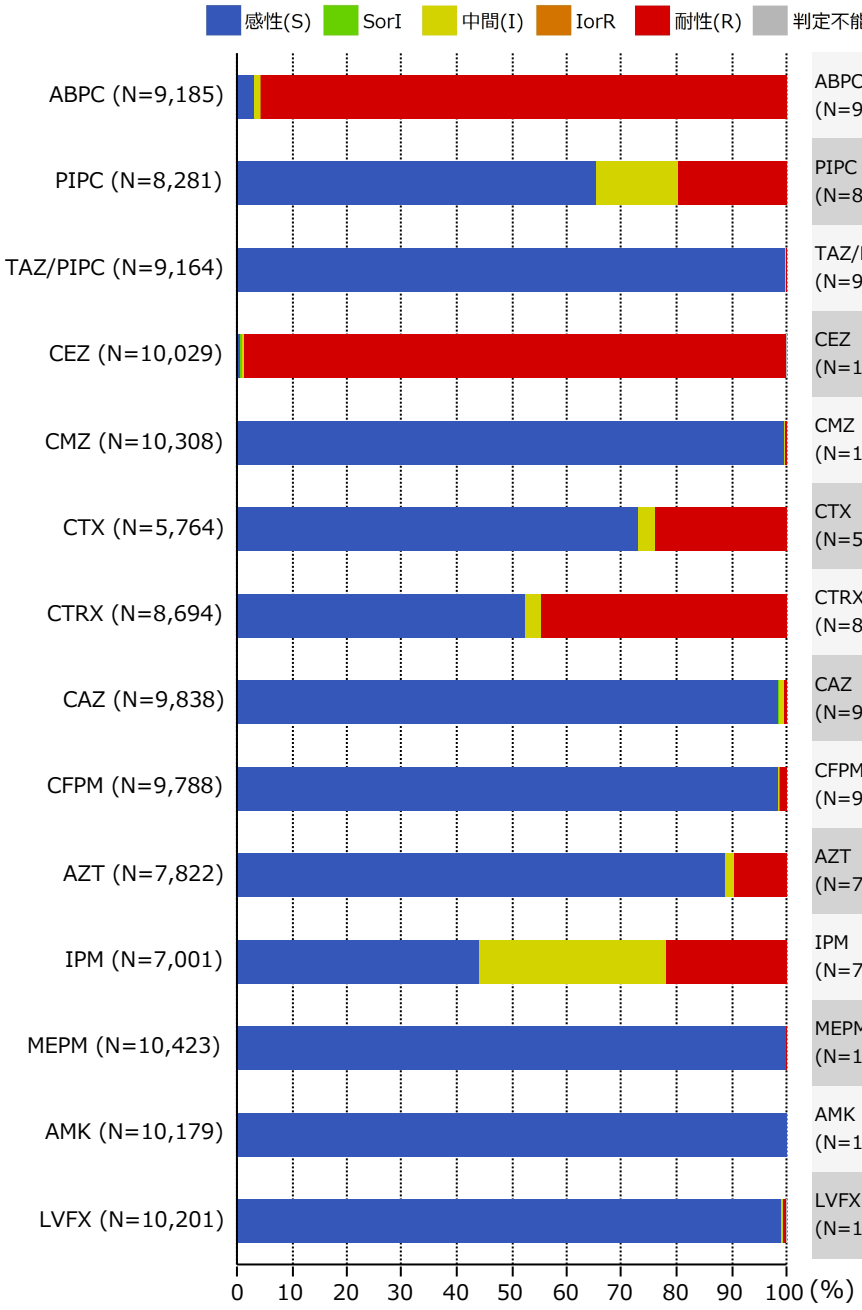
	感性(S)	SorI	中間(I)	IorR	耐性(R)	判定不能
ABPC (N=49,175)	31,682 (64.4%)	0 (0.0%)	401 (0.8%)	15 (0.0%)	17,074 (34.7%)	3 (0.0%)
PIPC (N=53,854)	33,952 (63.0%)	0 (0.0%)	2,518 (4.7%)	23 (0.0%)	17,361 (32.2%)	0 (0.0%)
TAZ/PIPC (N=56,209)	55,519 (98.8%)	5 (0.0%)	256 (0.5%)	5 (0.0%)	424 (0.8%)	0 (0.0%)
CEZ (N=58,972)	22,066 (37.4%)	7,069 (12.0%)	6,562 (11.1%)	0 (0.0%)	22,747 (38.6%)	528 (0.9%)
CMZ (N=61,648)	61,290 (99.4%)	0 (0.0%)	112 (0.2%)	6 (0.0%)	240 (0.4%)	0 (0.0%)
CTX (N=28,263)	22,853 (80.9%)	0 (0.0%)	175 (0.6%)	4 (0.0%)	5,227 (18.5%)	4 (0.0%)
CTRX (N=52,575)	37,294 (70.9%)	0 (0.0%)	251 (0.5%)	12 (0.0%)	15,013 (28.6%)	5 (0.0%)
CAZ (N=57,757)	54,976 (95.2%)	48 (0.1%)	409 (0.7%)	0 (0.0%)	2,321 (4.0%)	3 (0.0%)
CFPM (N=58,007)	47,664 (82.2%)	0 (0.0%)	1,088 (1.9%)	424 (0.7%)	8,831 (15.2%)	0 (0.0%)
AZT (N=39,287)	35,796 (91.1%)	0 (0.0%)	324 (0.8%)	1 (0.0%)	3,166 (8.1%)	0 (0.0%)
IPM (N=29,821)	16,466 (55.2%)	11 (0.0%)	9,299 (31.2%)	0 (0.0%)	4,044 (13.6%)	1 (0.0%)
MEPM (N=62,800)	62,749 (99.9%)	0 (0.0%)	24 (0.0%)	0 (0.0%)	27 (0.0%)	0 (0.0%)
AMK (N=62,009)	61,756 (99.6%)	0 (0.0%)	110 (0.2%)	1 (0.0%)	141 (0.2%)	1 (0.0%)
LVFX (N=62,725)	47,492 (75.7%)	0 (0.0%)	5,037 (8.0%)	618 (1.0%)	8,936 (14.2%)	642 (1.0%)

入院検体で、かつ検査法が微量液体希釈法又はEtestと設定されMIC値が報告されている検体を集計
30日単位で、抗菌薬感受性の違いも考慮して菌株数を集計する重複処理(巻末資料)が行われている
* S,I,Rの判定はCLSI 2012 (M100-S22）に準拠
† 菌名コード：2201と報告された菌
集計株数が30株未満の場合には、集計結果を公表しない

本公表データは国内の全医療機関の数値を集計したデータではありません。 データ集計日 ： 2026年05月08日
公開情報掲載日： 2026年08月17日

7. 主要菌の抗菌薬感受性*

Proteus vulgaris †



	感性(S)	SorI	中間(I)	IorR	耐性(R)	判定不能
ABPC (N=9,185)	286 (3.1%)	0 (0.0%)	97 (1.1%)	7 (0.1%)	8,795 (95.8%)	0 (0.0%)
PIPC (N=8,281)	5,405 (65.3%)	0 (0.0%)	1,233 (14.9%)	2 (0.0%)	1,641 (19.8%)	0 (0.0%)
TAZ/PIPC (N=9,164)	9,131 (99.6%)	2 (0.0%)	23 (0.3%)	0 (0.0%)	8 (0.1%)	0 (0.0%)
CEZ (N=10,029)	65 (0.6%)	31 (0.3%)	51 (0.5%)	0 (0.0%)	9,874 (98.5%)	8 (0.1%)
CMZ (N=10,308)	10,251 (99.4%)	0 (0.0%)	16 (0.2%)	3 (0.0%)	38 (0.4%)	0 (0.0%)
CTX (N=5,764)	4,197 (72.8%)	0 (0.0%)	187 (3.2%)	3 (0.1%)	1,377 (23.9%)	0 (0.0%)
CTRX (N=8,694)	4,555 (52.4%)	1 (0.0%)	247 (2.8%)	4 (0.0%)	3,886 (44.7%)	1 (0.0%)
CAZ (N=9,838)	9,667 (98.3%)	32 (0.3%)	76 (0.8%)	0 (0.0%)	63 (0.6%)	0 (0.0%)
CFPM (N=9,788)	9,614 (98.2%)	0 (0.0%)	32 (0.3%)	20 (0.2%)	122 (1.2%)	0 (0.0%)
AZT (N=7,822)	6,941 (88.7%)	0 (0.0%)	139 (1.8%)	1 (0.0%)	741 (9.5%)	0 (0.0%)
IPM (N=7,001)	3,089 (44.1%)	1 (0.0%)	2,371 (33.9%)	0 (0.0%)	1,540 (22.0%)	0 (0.0%)
MEPM (N=10,423)	10,413 (99.9%)	0 (0.0%)	4 (0.0%)	0 (0.0%)	6 (0.1%)	0 (0.0%)
AMK (N=10,179)	10,171 (99.9%)	0 (0.0%)	5 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (0.0%)	0 (0.0%)
LVFX (N=10,201)	10,096 (99.0%)	0 (0.0%)	46 (0.5%)	1 (0.0%)	50 (0.5%)	8 (0.1%)

入院検体で、かつ検査法が微量液体希釈法又はEtestと設定されMIC値が報告されている検体を集計
30日単位で、抗菌薬感受性の違いも考慮して菌株数を集計する重複処理(巻末資料)が行われている
* S,I,Rの判定はCLSI 2012 (M100-S22）に準拠
† 菌名コード：2202と報告された菌
集計株数が30株未満の場合には、集計結果を公表しない

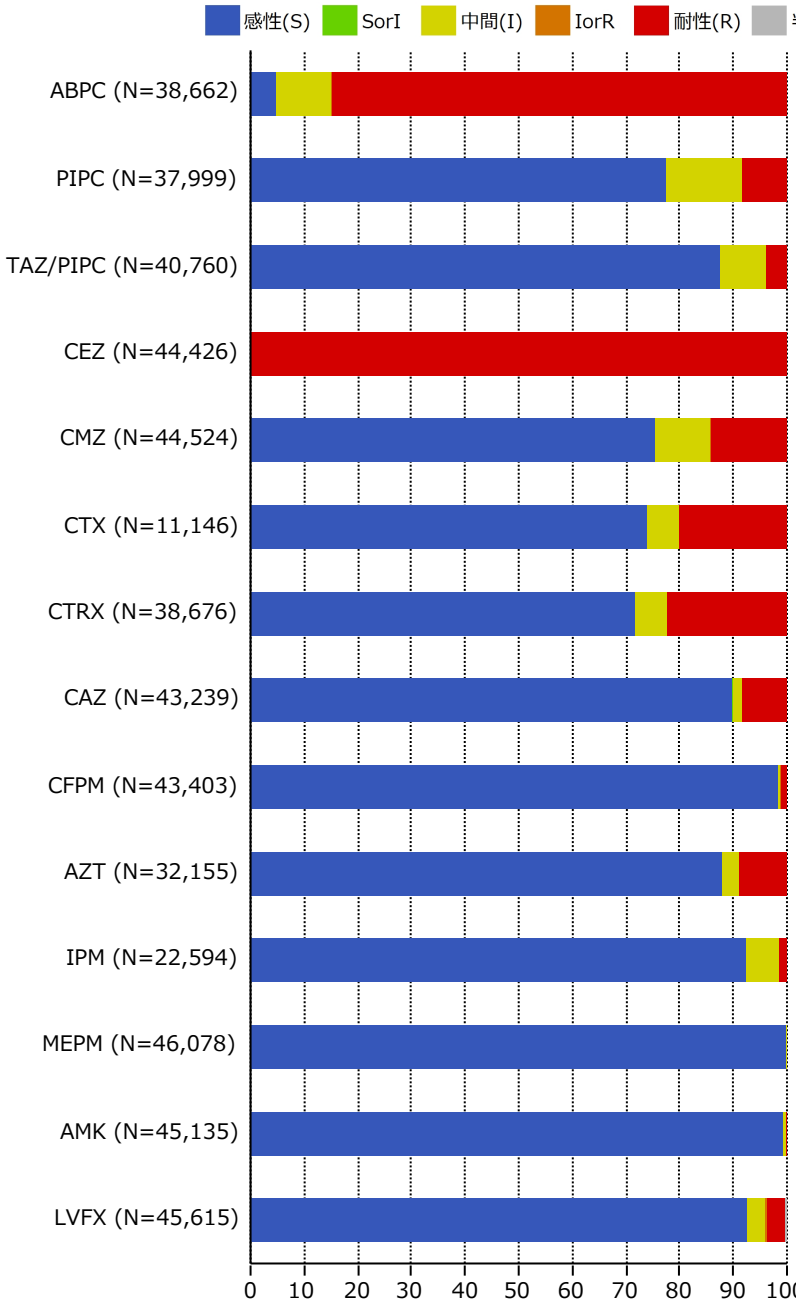
本公表データは国内の全医療機関の数値を集計したデータではありません。 データ集計日 ： 2026年05月08日
公開情報掲載日： 2026年08月17日

Japan Nosocomial Infections Surveillance

JANIS

7. 主要菌の抗菌薬感受性*

Serratia marcescens †



	感性(S)	SorI	中間(I)	IorR	耐性(R)	判定不能
ABPC (N=38,662)	1,847 (4.8%)	0 (0.0%)	4,001 (10.3%)	42 (0.1%)	32,771 (84.8%)	1 (0.0%)
PIPC (N=37,999)	29,440 (77.5%)	0 (0.0%)	5,354 (14.1%)	3 (0.0%)	3,202 (8.4%)	0 (0.0%)
TAZ/PIPC (N=40,760)	35,690 (87.6%)	3 (0.0%)	3,438 (8.4%)	4 (0.0%)	1,625 (4.0%)	0 (0.0%)
CEZ (N=44,426)	29 (0.1%)	5 (0.0%)	10 (0.0%)	1 (0.0%)	44,372 (99.9%)	9 (0.0%)
CMZ (N=44,524)	33,541 (75.3%)	0 (0.0%)	4,621 (10.4%)	79 (0.2%)	6,283 (14.1%)	0 (0.0%)
CTX (N=11,146)	8,235 (73.9%)	0 (0.0%)	647 (5.8%)	2 (0.0%)	2,258 (20.3%)	4 (0.0%)
CTRX (N=38,676)	27,745 (71.7%)	2 (0.0%)	2,269 (5.9%)	2 (0.0%)	8,657 (22.4%)	1 (0.0%)
CAZ (N=43,239)	38,797 (89.7%)	51 (0.1%)	750 (1.7%)	0 (0.0%)	3,637 (8.4%)	4 (0.0%)
CFPM (N=43,403)	42,663 (98.3%)	0 (0.0%)	185 (0.4%)	39 (0.1%)	516 (1.2%)	0 (0.0%)
AZT (N=32,155)	28,256 (87.9%)	0 (0.0%)	1,018 (3.2%)	0 (0.0%)	2,880 (9.0%)	1 (0.0%)
IPM (N=22,594)	20,865 (92.3%)	6 (0.0%)	1,355 (6.0%)	0 (0.0%)	366 (1.6%)	2 (0.0%)
MEPM (N=46,078)	45,984 (99.8%)	3 (0.0%)	33 (0.1%)	0 (0.0%)	58 (0.1%)	0 (0.0%)
AMK (N=45,135)	44,805 (99.3%)	0 (0.0%)	229 (0.5%)	0 (0.0%)	101 (0.2%)	0 (0.0%)
LVFX (N=45,615)	42,267 (92.7%)	0 (0.0%)	1,506 (3.3%)	74 (0.2%)	1,550 (3.4%)	218 (0.5%)

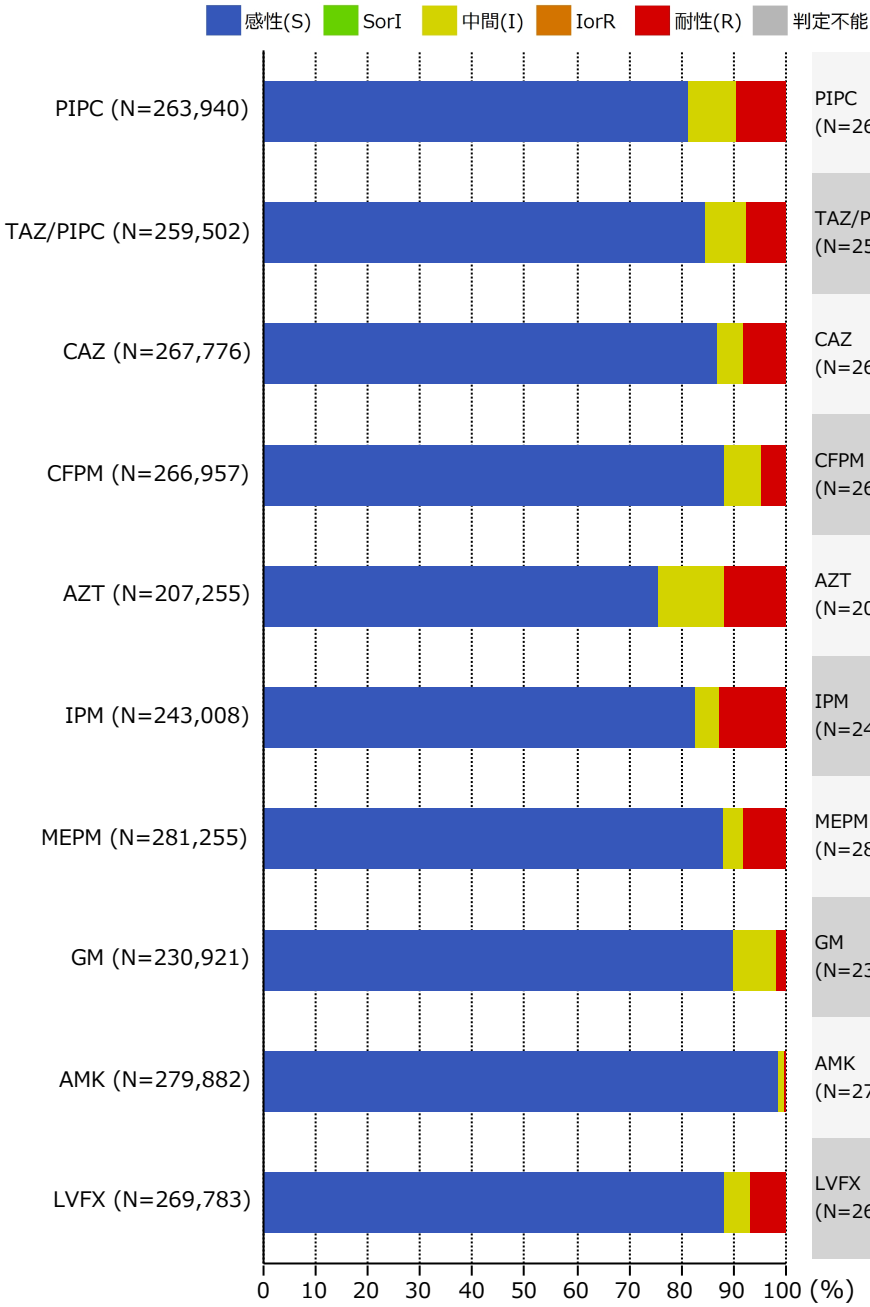
入院検体で、かつ検査法が微量液体希釈法又はEtestと設定されMIC値が報告されている検体を集計
30日単位で、抗菌薬感受性の違いも考慮して菌株数を集計する重複処理(巻末資料)が行われている
* S,I,Rの判定はCLSI 2012 (M100-S22）に準拠
† 菌名コード：2101と報告された菌
集計株数が30株未満の場合には、集計結果を公表しない

本公表データは国内の全医療機関の数値を集計したデータではありません。 データ集計日 ： 2026年05月08日
公開情報掲載日： 2026年08月17日

Japan Nosocomial Infections Surveillance

7. 主要菌の抗菌薬感受性*

Pseudomonas aeruginosa †



	感性(S)	SorI	中間(I)	IorR	耐性(R)	判定不能
PIPC (N=263,940)	214,327 (81.2%)	0 (0.0%)	23,989 (9.1%)	61 (0.0%)	25,562 (9.7%)	1 (0.0%)
TAZ/PIPC (N=259,502)	219,118 (84.4%)	36 (0.0%)	20,081 (7.7%)	54 (0.0%)	20,196 (7.8%)	17 (0.0%)
CAZ (N=267,776)	232,352 (86.8%)	0 (0.0%)	12,730 (4.8%)	102 (0.0%)	22,591 (8.4%)	1 (0.0%)
CFPM (N=266,957)	235,174 (88.1%)	0 (0.0%)	18,683 (7.0%)	37 (0.0%)	13,063 (4.9%)	0 (0.0%)
AZT (N=207,255)	156,514 (75.5%)	0 (0.0%)	25,826 (12.5%)	131 (0.1%)	24,533 (11.8%)	251 (0.1%)
IPM (N=243,008)	200,467 (82.5%)	0 (0.0%)	11,034 (4.5%)	61 (0.0%)	31,444 (12.9%)	2 (0.0%)
MEPM (N=281,255)	247,188 (87.9%)	0 (0.0%)	11,001 (3.9%)	45 (0.0%)	23,020 (8.2%)	1 (0.0%)
GM (N=230,921)	207,536 (89.9%)	0 (0.0%)	18,726 (8.1%)	5 (0.0%)	4,654 (2.0%)	0 (0.0%)
AMK (N=279,882)	275,712 (98.5%)	0 (0.0%)	2,767 (1.0%)	5 (0.0%)	1,396 (0.5%)	2 (0.0%)
LVFX (N=269,783)	237,773 (88.1%)	0 (0.0%)	12,840 (4.8%)	120 (0.0%)	19,012 (7.0%)	38 (0.0%)

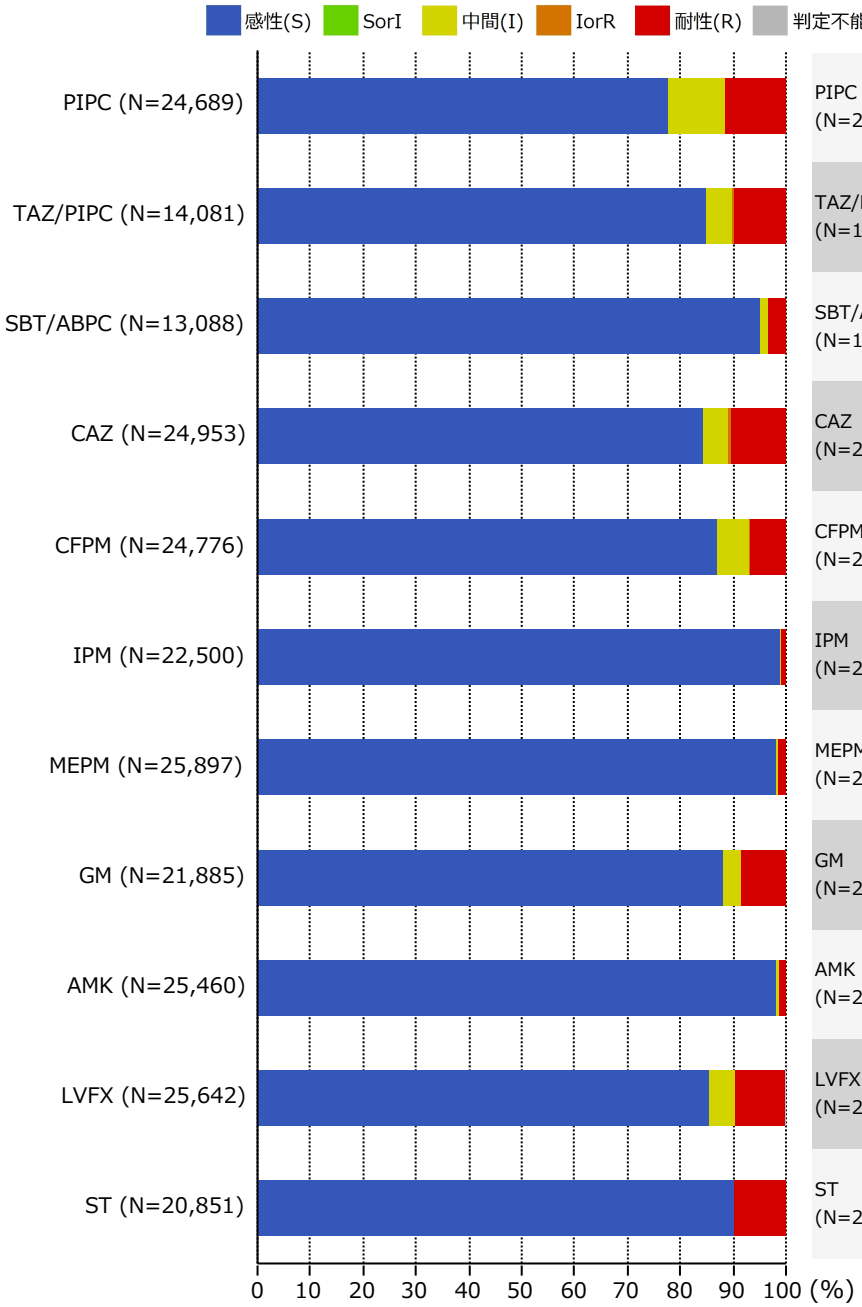
入院検体で、かつ検査法が微量液体希釈法又はEtestと設定されMIC値が報告されている検体を集計
30日単位で、抗菌薬感受性の違いも考慮して菌株数を集計する重複処理(巻末資料)が行われている
* S,I,Rの判定はCLSI 2012 (M100-S22）に準拠
† 菌名コード：4001と報告された菌
集計株数が30株未満の場合には、集計結果を公表しない

本公表データは国内の全医療機関の数値を集計したデータではありません。 データ集計日 ： 2026年05月08日
公開情報掲載日： 2026年08月17日

Japan Nosocomial Infections Surveillance

7. 主要菌の抗菌薬感受性*

Acinetobacter spp. †



	感性(S)	SorI	中間(I)	IorR	耐性(R)	判定不能
PIPC (N=24,689)	19,167 (77.6%)	0 (0.0%)	2,659 (10.8%)	15 (0.1%)	2,848 (11.5%)	0 (0.0%)
TAZ/PIPC (N=14,081)	11,962 (85.0%)	0 (0.0%)	672 (4.8%)	73 (0.5%)	1,373 (9.8%)	1 (0.0%)
SBT/ABPC (N=13,088)	12,430 (95.0%)	1 (0.0%)	190 (1.5%)	6 (0.0%)	459 (3.5%)	2 (0.0%)
CAZ (N=24,953)	21,054 (84.4%)	0 (0.0%)	1,143 (4.6%)	164 (0.7%)	2,591 (10.4%)	1 (0.0%)
CFPM (N=24,776)	21,530 (86.9%)	0 (0.0%)	1,494 (6.0%)	34 (0.1%)	1,717 (6.9%)	1 (0.0%)
IPM (N=22,500)	22,235 (98.8%)	0 (0.0%)	60 (0.3%)	0 (0.0%)	185 (0.8%)	20 (0.1%)
MEPM (N=25,897)	25,413 (98.1%)	0 (0.0%)	105 (0.4%)	3 (0.0%)	350 (1.4%)	26 (0.1%)
GM (N=21,885)	19,271 (88.1%)	0 (0.0%)	716 (3.3%)	5 (0.0%)	1,893 (8.6%)	0 (0.0%)
AMK (N=25,460)	24,990 (98.2%)	0 (0.0%)	120 (0.5%)	1 (0.0%)	349 (1.4%)	0 (0.0%)
LVFX (N=25,642)	21,911 (85.4%)	0 (0.0%)	1,237 (4.8%)	0 (0.0%)	2,447 (9.5%)	47 (0.2%)
ST (N=20,851)	18,808 (90.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2,043 (9.8%)	0 (0.0%)

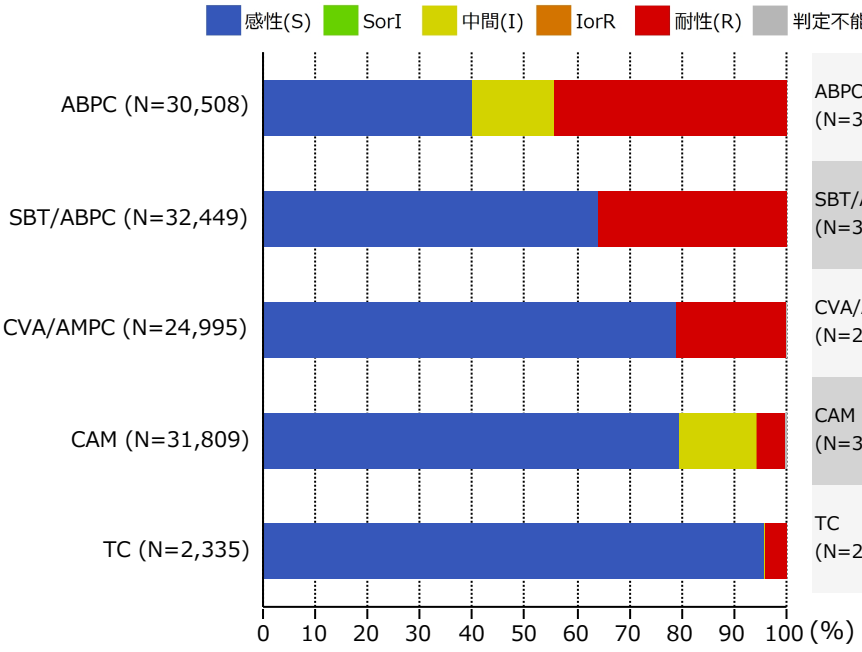
入院検体で、かつ検査法が微量液体希釈法又はEtestと設定されMIC値が報告されている検体を集計
30日単位で、抗菌薬感受性の違いも考慮して菌株数を集計する重複処理(巻末資料)が行われている
* S,I,Rの判定はCLSI 2012 (M100-S22）に準拠
† 菌名コード：4400～4403と報告された菌
集計株数が30株未満の場合には、集計結果を公表しない

本公表データは国内の全医療機関の数値を集計したデータではありません。
データ集計日 ： 2026年05月08日
公開情報掲載日： 2026年08月17日

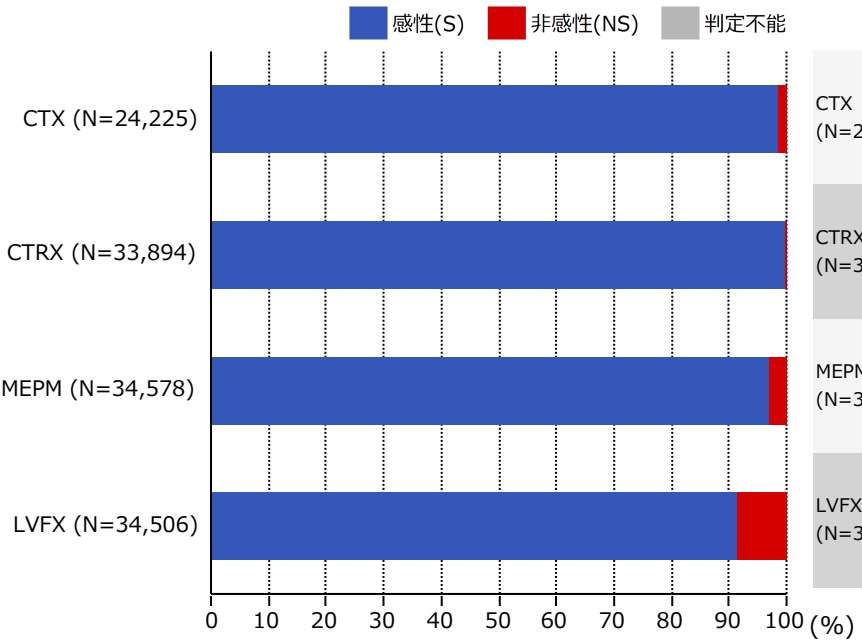
Japan Nosocomial Infections Surveillance

7. 主要菌の抗菌薬感受性*

Haemophilus influenzae †



	感性(S)	SorI	中間(I)	IorR	耐性(R)	判定不能
ABPC (N=30,508)	12,168 (39.9%)	0 (0.0%)	4,763 (15.6%)	0 (0.0%)	13,577 (44.5%)	0 (0.0%)
SBT/ABPC (N=32,449)	20,736 (63.9%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	11,713 (36.1%)	0 (0.0%)
CVA/AMPC (N=24,995)	19,690 (78.8%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	5,285 (21.1%)	20 (0.1%)
CAM (N=31,809)	25,241 (79.4%)	0 (0.0%)	4,752 (14.9%)	29 (0.1%)	1,707 (5.4%)	80 (0.3%)
TC (N=2,335)	2,233 (95.6%)	0 (0.0%)	4 (0.2%)	0 (0.0%)	98 (4.2%)	0 (0.0%)



	感性(S)	非感性(NS)	判定不能
CTX (N=24,225)	23,848 (98.4%)	377 (1.6%)	0 (0.0%)
CTRX (N=33,894)	33,765 (99.6%)	129 (0.4%)	0 (0.0%)
MEPM (N=34,578)	33,485 (96.8%)	1,086 (3.1%)	7 (0.0%)
LVFX (N=34,506)	31,500 (91.3%)	2,998 (8.7%)	8 (0.0%)

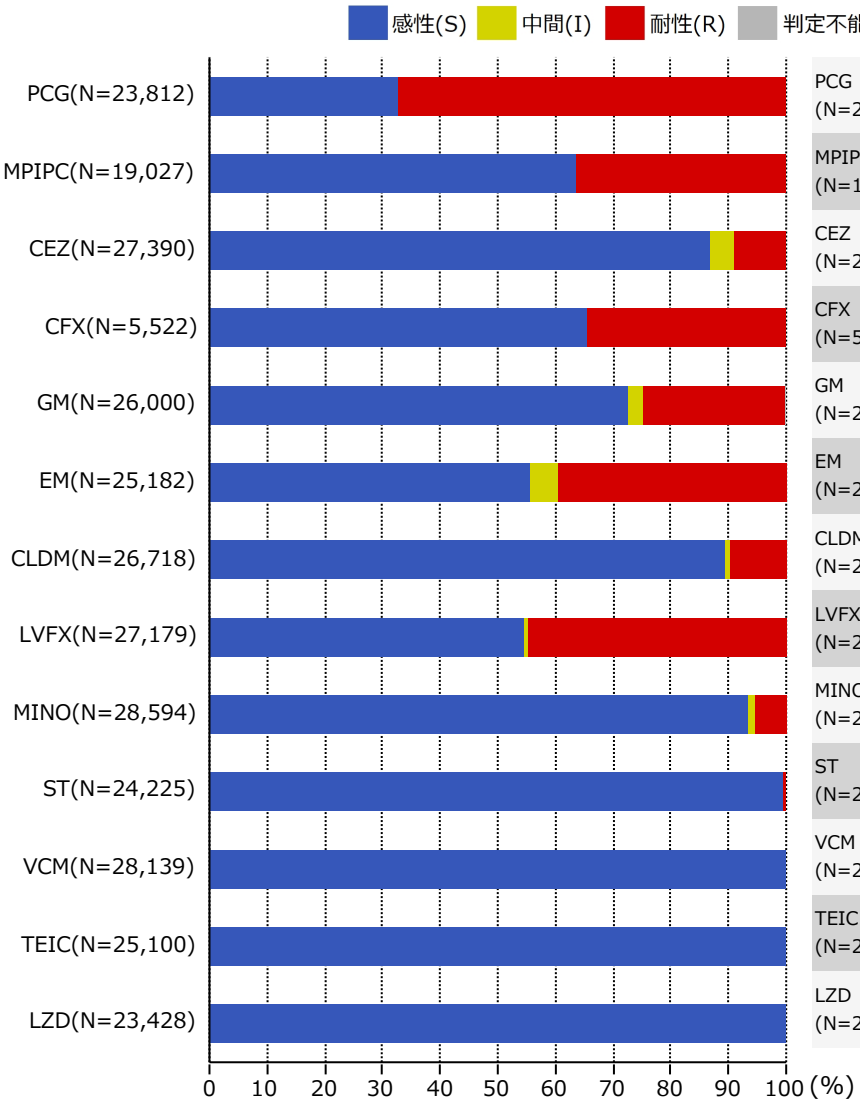
入院検体で、かつ検査法が微量液体希釈法又はEtestと設定されMIC値が報告されている検体を集計
30日単位で、抗菌薬感受性の違いも考慮して菌株数を集計する重複処理(巻末資料)が行われている
* S,I,RまたはS,NSの判定はCLSI 2012 (M100-S22) に準拠
† 菌名コード：3201, 3202, 3203, 3205, 3208, 3211, 3214, 3217, 3220, 3223と報告された菌
集計株数が30株未満の場合には、集計結果を公表しない

本公表データは国内の全医療機関の数値を集計したデータではありません。 データ集計日 ： 2026年05月08日
公開情報掲載日： 2026年08月17日

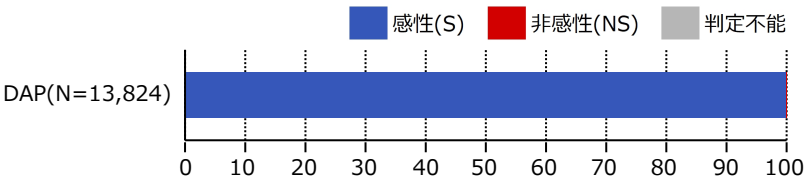
Japan Nosocomial Infections Surveillance

7. 主要菌の抗菌薬感受性* 【血液検体】

Staphylococcus aureus (ALL) †



	感性(S)	中間(I)	耐性(R)	判定不能
PCG (N=23,812)	7,802 (32.8%)	0 (0.0%)	16,009 (67.2%)	1 (0.0%)
MPIPC (N=19,027)	12,105 (63.6%)	0 (0.0%)	6,922 (36.4%)	0 (0.0%)
CEZ (N=27,390)	23,762 (86.8%)	1,133 (4.1%)	2,478 (9%)	17 (0.1%)
CFX (N=5,522)	3,610 (65.4%)	0 (0.0%)	1,912 (34.6%)	0 (0.0%)
GM (N=26,000)	18,858 (72.5%)	661 (2.5%)	6,407 (24.6%)	74 (0.3%)
EM (N=25,182)	14,031 (55.7%)	1,188 (4.7%)	9,963 (39.6%)	0 (0.0%)
CLDM (N=26,718)	23,862 (89.3%)	199 (0.7%)	2,657 (9.9%)	0 (0.0%)
LVFX (N=27,179)	14,852 (54.6%)	170 (0.6%)	12,157 (44.7%)	0 (0.0%)
MINO (N=28,594)	26,706 (93.4%)	343 (1.2%)	1,545 (5.4%)	0 (0.0%)
ST (N=24,225)	24,104 (99.5%)	0 (0.0%)	121 (0.5%)	0 (0.0%)
VCM (N=28,139)	28,138 (100%)	1 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
TEIC (N=25,100)	25,098 (100%)	1 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (0.0%)
LZD (N=23,428)	23,426 (100%)	0 (0.0%)	2 (0.0%)	0 (0.0%)



	感性(S)	非感性(NS)	判定不能
DAP (N=13,824)	13,799 (99.8%)	25 (0.2%)	0 (0.0%)

入院検体で、かつ検査法が微量液体希釈法又はEtestと設定されMIC値が報告されている検体を集計
患者毎に当該検査材料由来の各菌種の初回分離株を集計する重複処理(巻末資料)が行われている
* S,I,RまたはS,NSの判定はCLSI 2012 (M100-S22) に準拠
† 菌名コード：1301, 1303～1306と報告された菌
‡ 集計株数が30株未満の場合には、集計結果を公表しない

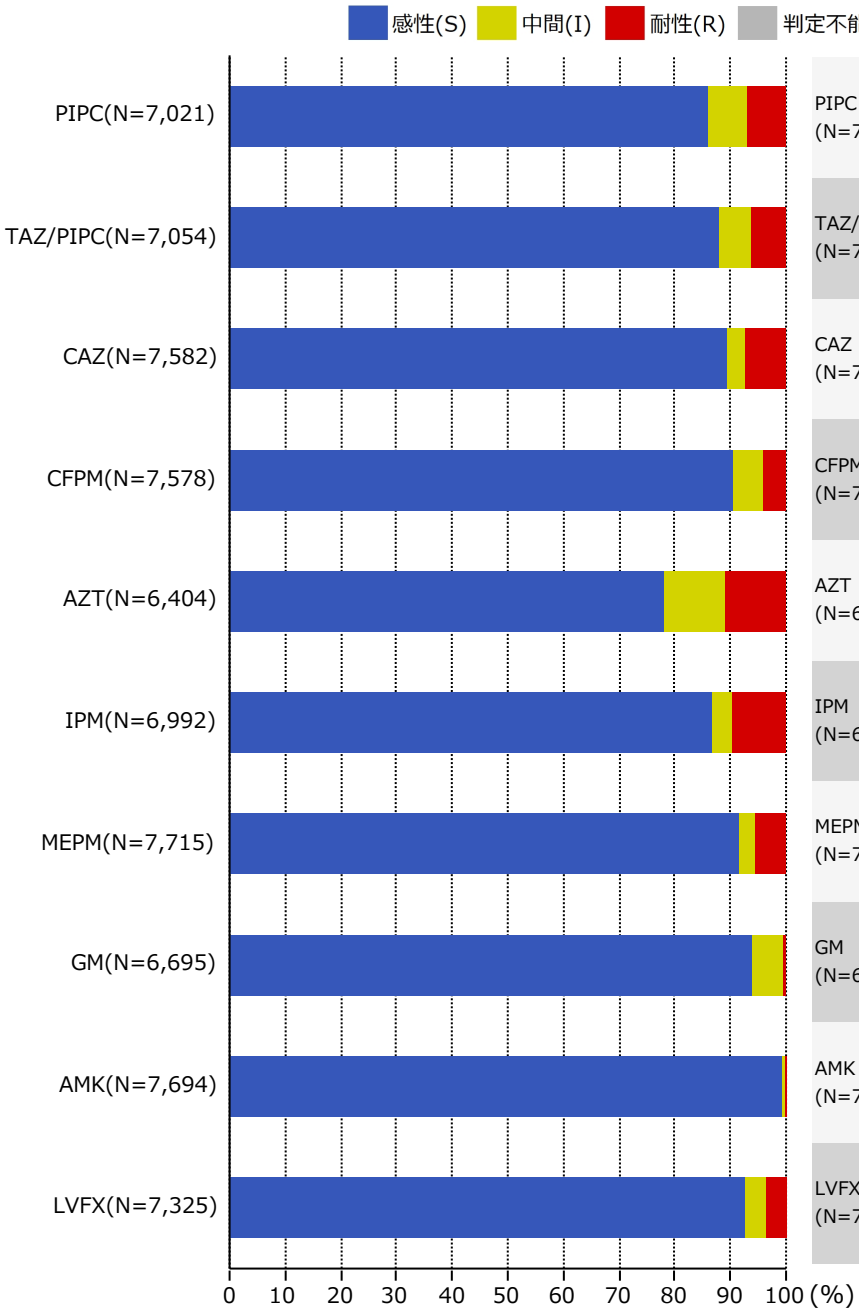
本公表データは国内の全医療機関の数値を集計したデータではありません。
データ集計日 ： 2026年05月08日
公開情報掲載日： 2026年08月17日

Japan Nosocomial Infections Surveillance

JANIS

7. 主要菌の抗菌薬感受性* 【血液検体】

Pseudomonas aeruginosa †



	感性(S)	中間(I)	耐性(R)	判定不能
PIPC (N=7,021)	6,036 (86%)	489 (7%)	496 (7.1%)	0 (0.0%)
TAZ/PIPC (N=7,054)	6,194 (87.8%)	405 (5.7%)	454 (6.4%)	1 (0.0%)
CAZ (N=7,582)	6,774 (89.3%)	254 (3.4%)	554 (7.3%)	0 (0.0%)
CFPM (N=7,578)	6,854 (90.4%)	406 (5.4%)	318 (4.2%)	0 (0.0%)
AZT (N=6,404)	4,990 (77.9%)	714 (11.1%)	694 (10.8%)	6 (0.1%)
IPM (N=6,992)	6,052 (86.6%)	254 (3.6%)	686 (9.8%)	0 (0.0%)
MEPM (N=7,715)	7,053 (91.4%)	219 (2.8%)	443 (5.7%)	0 (0.0%)
GM (N=6,695)	6,287 (93.9%)	359 (5.4%)	49 (0.7%)	0 (0.0%)
AMK (N=7,694)	7,643 (99.3%)	36 (0.5%)	15 (0.2%)	0 (0.0%)
LVFX (N=7,325)	6,777 (92.5%)	282 (3.8%)	266 (3.6%)	0 (0.0%)

入院検体で、かつ検査法が微量液体希釈法又はEtestと設定されMIC値が報告されている検体を集計
患者毎に当該検査材料由来の各菌種の初回分離株を集計する重複処理(巻末資料)が行われている
* S,I,Rの判定はCLSI 2012 (M100-S22) に準拠
† 菌名コード：4001と報告された菌
‡ 集計株数が30株未満の場合には、集計結果を公表しない

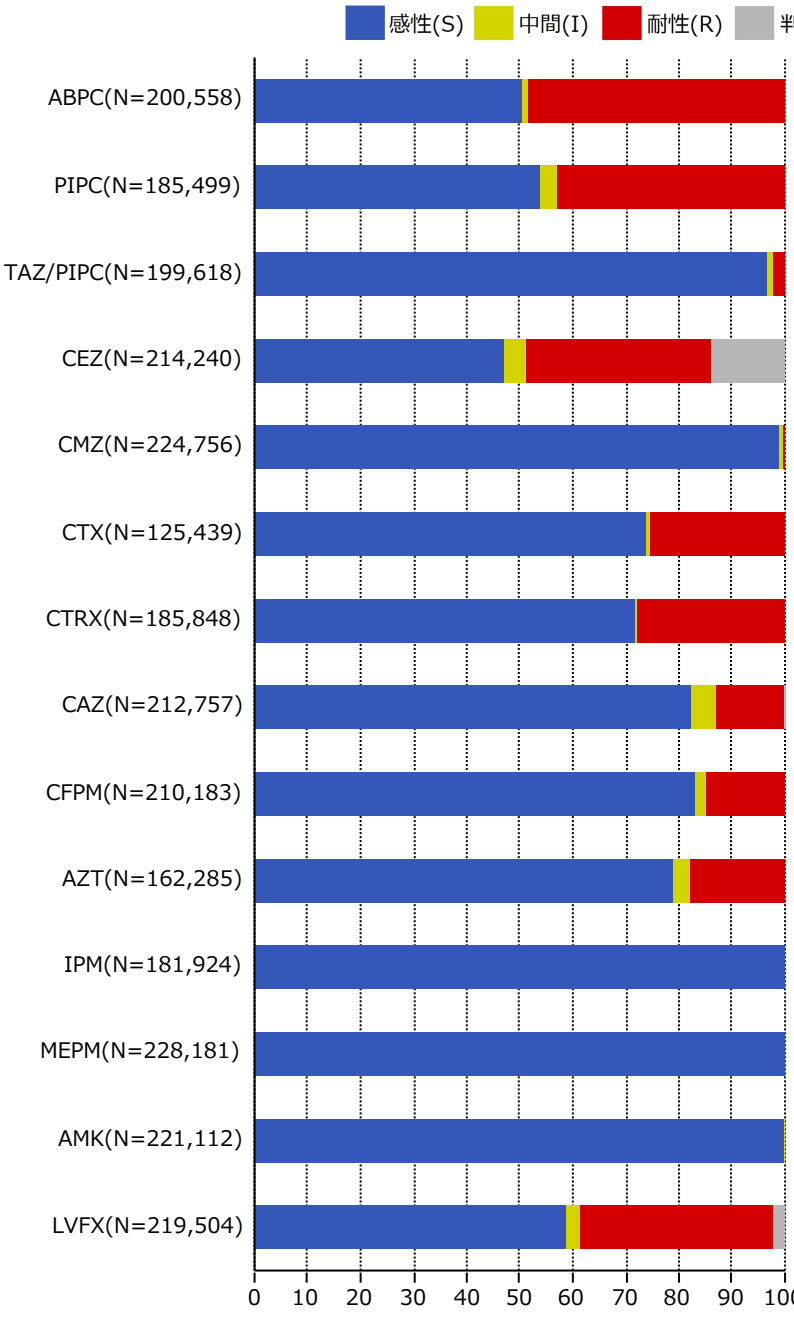
本公表データは国内の全医療機関の数値を集計したデータではありません。
データ集計日 ： 2026年05月08日
公開情報掲載日： 2026年08月17日

Japan Nosocomial Infections Surveillance

JANIS

7. 主要菌の抗菌薬感受性* 【尿検体】

Escherichia coli †



	感性(S)	中間(I)	耐性(R)	判定不能
ABPC (N=200,558)	101,382 (50.5%)	1,907 (1%)	97,266 (48.5%)	3 (0.0%)
PIPC (N=185,499)	99,949 (53.9%)	5,846 (3.2%)	79,703 (43%)	1 (0.0%)
TAZ/PIPC (N=199,618)	192,562 (96.5%)	2,585 (1.3%)	4,403 (2.2%)	68 (0.0%)
CEZ (N=214,240)	100,558 (46.9%)	8,853 (4.1%)	75,072 (35%)	29,757 (13.9%)
CMZ (N=224,756)	222,026 (98.8%)	1,508 (0.7%)	1,222 (0.5%)	0 (0.0%)
CTX (N=125,439)	92,525 (73.8%)	768 (0.6%)	32,117 (25.6%)	29 (0.0%)
CTRX (N=185,848)	133,343 (71.7%)	438 (0.2%)	52,034 (28%)	33 (0.0%)
CAZ (N=212,757)	174,948 (82.2%)	10,055 (4.7%)	27,403 (12.9%)	351 (0.2%)
CFPM (N=210,183)	174,513 (83%)	4,235 (2%)	31,434 (15%)	1 (0.0%)
AZT (N=162,285)	128,106 (78.9%)	4,994 (3.1%)	29,150 (18%)	35 (0.0%)
IPM (N=181,924)	181,563 (99.8%)	238 (0.1%)	61 (0.0%)	62 (0.0%)
MEPM (N=228,181)	228,081 (100%)	15 (0.0%)	85 (0.0%)	0 (0.0%)
AMK (N=221,112)	220,620 (99.8%)	303 (0.1%)	186 (0.1%)	3 (0.0%)
LVFX (N=219,504)	129,038 (58.8%)	5,397 (2.5%)	79,701 (36.3%)	5,368 (2.4%)

入院検体で、かつ検査法が微量液体希釈法又はEtestと設定されMIC値が報告されている検体を集計
患者毎に当該検査材料由来の各菌種の初回分離株を集計する重複処理(巻末資料)が行われている
* S,I,Rの判定はCLSI 2012 (M100-S22) に準拠
† 菌名コード：2001～2007と報告された菌
‡ 集計株数が30株未満の場合には、集計結果を公表しない

本公表データは国内の全医療機関の数値を集計したデータではありません。
データ集計日 ： 2026年05月08日
公開情報掲載日： 2026年08月17日

Japan Nosocomial Infections Surveillance

【巻末資料１　主要菌の菌名コード ／ 微量液体希釈法に基づく耐性菌の判定基準】

主要菌の菌名コード（薬剤感受性条件なし）

菌名	菌名コード Ver.6.1
Staphylococcus aureus	1301,1303-1306
Staphylococcus epidermidis	1312
Streptococcus pneumoniae	1131
Enterococcus faecalis	1201,1202
Enterococcus faecium	1205,1206
Escherichia coli	2001-2007
Klebsiella pneumoniae	2351
Enterobacter cloacae complex＊	2151,2155,2157-2161
Klebsiella aerogenes	2152
Enterobacterales	2000-2691,3150-3151
Pseudomonas aeruginosa	4001
Acinetobacter spp.	4400-4403

＊*Enterobacter cloacae* complex は、以下の菌名コードの菌種を含む
（Davin-Regli et al (2019), *Clinical Microbiology Reviews*）

2151　*Enterobacter cloacae*
2155　*Enterobacter asburiae*
2157　*Enterobacter hormaechei*
2158　*Enterobacter kobei*
2159　*Enterobacter ludwigii*
2160　*Enterobacter mori*
2161　*Enterobacter nimipressuralis*

微量液体希釈法に基づく耐性菌の判定基準

菌名 †	概要	微量液体希釈法の判定基準	菌名コード Ver.6.1
MRSA	MPIPC または CFX が耐性の *S. aureus* または選択培地で MRSA と確認された菌	MPIPC ≧4μg/mL CFX ≧8μg/mL	1301,1303
VRSA	VCM が微量液体希釈法で耐性の *S. aureus*	VCM ≧16μg/mL	1301,1303-1306
VRE	下記のいずれかの条件を満たす *Enterococcus* spp. ・VCM が微量液体希釈法で耐性 ・選択培地で VRE と確認された菌 注）種の同定が行われていない *Enterococcus* sp.は除く	VCM ≧16μg/mL	1201,1202,1205, 1206,1209,1210, 1213-1217
PRSP	PCG が微量液体希釈法で耐性の *S. pneumoniae* 注）無菌検体とは以下に該当する検査材料コードを示す 401（静脈血）,402（動脈血）,403（髄液）,404（胸水） 405（腹水）,406（関節液）,407（骨髄液）,408（心嚢水）	無菌検体 PCG ≧0.125μg/mL 無菌検体以外 PCG ≧4μg/mL	1131
MDRP	下記全てに該当する *P. aeruginosa* 1. カルバペネム系（IPM、MEPM の何れか）が耐性 2. アミノグリコシド系の AMK が中間・耐性 3. フルオロキノロン系（CPFX、LVFX の何れか）が耐性	1.IPM ≧8μg/mL MEPM ≧8μg/mL 2.AMK ≧32μg/mL 3.CPFX ≧2μg/mL LVFX ≧4μg/mL	4001
MDRA	下記全てに該当する *Acinetobacter* spp. 1. カルバペネム系（IPM、MEPM の何れか）が耐性 2. アミノグリコシド系の AMK が中間・耐性 3. フルオロキノロン系（CPFX、LVFX の何れか）が耐性	1.IPM ≧16μg/mL、 MEPM ≧16μg/mL ‡ 2.AMK ≧32μg/mL 3.CPFX ≧4μg /mL LVFX ≧8μg/mL ‡	4400-4403
CRE	MEPM が耐性の腸内細菌目細菌	1.MEPM ≧2μg/mL	2000-2691,3150-3151
カルバペネム耐性緑膿菌	IPM または MEPM が耐性の *P. aeruginosa*	IPM・MEPM ≧8μg/mL	4001
第三世代セファロスポリン 耐性肺炎桿菌	CTX または CTRX または CAZ が "R" の *K. pneumoniae*	CTX・CTRX≧4μg/mL ‡ CAZ ≧16μg/mL ‡	2351
第三世代セファロスポリン 耐性大腸菌	CTX または CTRX または CAZ が "R" の *E. coli*	CTX・CTRX≧4μg/mL ‡ CAZ ≧16μg/mL ‡	2001-2007
フルオロキノロン 耐性大腸菌	フルオロキノロン系（NFLX、OFLX、LVFX、LFLX、CPFX の何れか）が "R" の *E. coli*	NFLX ≧16μg/mL ‡ OFLX ≧8μg/mL ‡ LVFX ≧8μg/mL ‡ LFLX ≧8μg/mL ‡ CPFX ≧4μg/mL ‡	2001-2007

薬剤耐性菌の判定基準は、薬剤耐性菌判定基準（Ver.5.0）と 検査部門特定の耐性菌判定基準（Ver.5.0）を基に作成しており、
原則として感染症発生動向調査の基準（2026 年 4 月 6 日施行）に準拠している。
VRE、PRSP、CRE、および MDRP・MDRA の AMK の判定基準は CLSI の基準と異なることに注意。

†：耐性菌の菌名は以下の通り
MRSA：Methicillin-resistant *S. aureus*　メチシリン耐性黄色ブドウ球菌
VRSA：Vancomycin-resistant *S. aureus*　バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌
VRE：Vancomycin-resistant *Enterococcus* spp.　バンコマイシン耐性腸球菌
PRSP：Penicillin-resistant *S. pneumoniae*　ペニシリン耐性肺炎球菌
MDRP：Multidrug-resistant *P. aeruginosa*　多剤耐性緑膿菌
MDRA：Multidrug-resistant *Acinetobacter* spp.　多剤耐性アシネトバクター属
CRE：Carbapenem-resistant *Enterobacterales*　カルバペネム耐性腸内細菌目細菌

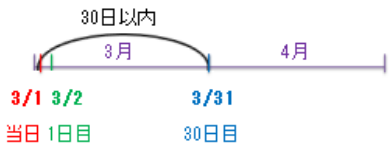
‡：JANIS 検査部門における判定基準であり、CLSI 2012（M100-S22）に準拠している。

【巻末資料２　公開情報の集計方法について】

1.　日数の数え方

検体提出日の翌日を 1 日目とする。検体提出日が 3 月 1 日とすると、1 日目が 3 月 2 日、30 日目が 3 月 31 日となる。

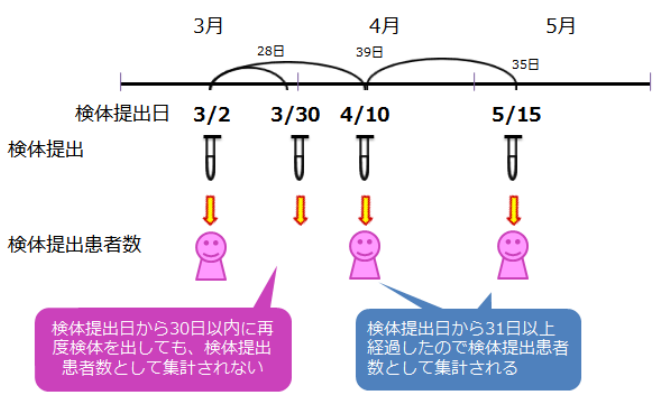
例)



2.　検体提出患者数

検体提出患者数は、検体の種類や菌分離の有無に関わらず検体(入院検体)が提出された患者の数である。
検体提出患者数は重複処理を行っており、30 日以内の同一患者からの複数の検体提出は 1 件とする。

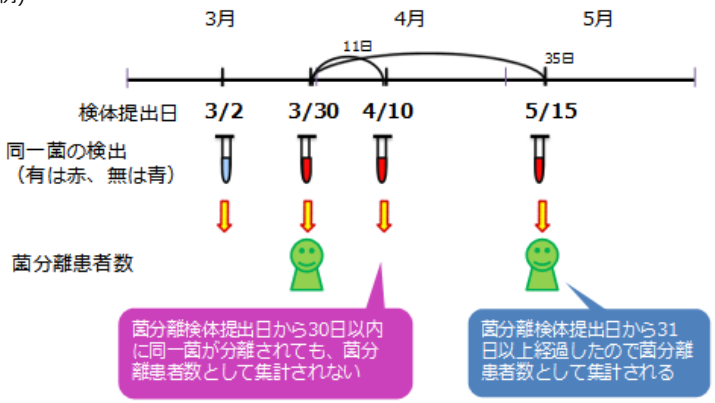
例)



3.　菌分離患者数

菌分離患者数も検体提出患者と同様の重複処理を行い、30 日以内に同一患者から同一菌が複数回検出された場合、菌分離患者数は 1 件とする。耐性菌分離患者数は、耐性菌の基準に合致する菌をまず抽出し、その中で上記重複処理を行っている。なお、年報の「2．データ提出医療機関数、検体数、分離菌数」「3．検体材料別分離菌数割合」で重複処理前の値と併記しているのは、上記重複処理を実施した後の値である。

例)



4.　分離率の算出

「4．主要菌分離患者数と全医療機関の分離率分布」「5.特定の耐性菌分離患者数と全医療機関の分離率分布」の各分離率は以下の算出式を用いている。なお、公開情報年報での全医療機関とは、集計対象医療機関を表す。

‡全体の分離率 ＝（集計対象医療機関の対象菌の分離患者数合計）÷（集計対象医療機関の検体提出患者数合計）×100

¶分離率 ＝（対象菌の分離患者数） ÷（検体提出患者数）×100

5.　抗菌薬感受性検査結果をもとにした同一菌と異なる菌との区別

30 日以内に同一患者から同一菌が検出された場合であっても、検査抗菌薬感受性結果に 1 つ以上不一致（下記①～④のいずれかに該当）がある場合は異なる菌株として集計される。

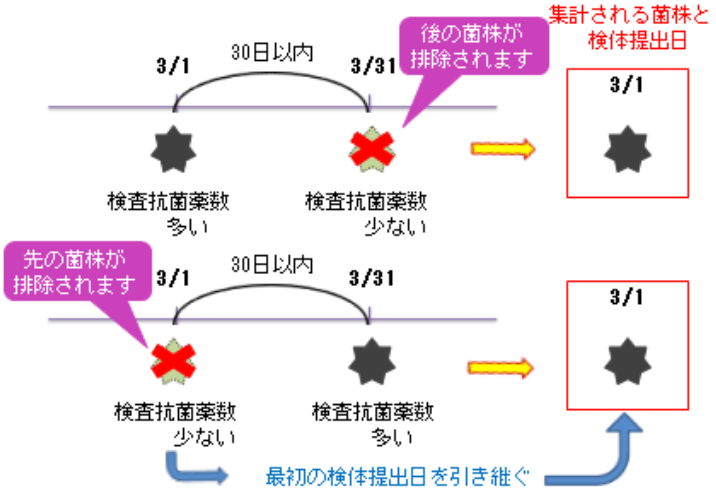
① MIC 値に 4 倍以上の違いがある
　ただし、MIC > 2 は MIC ≧ 4 と考え、判定時は MIC = 4 として扱う
　また、MIC < 16 は MIC ≦ 16 と考え、判定時は MIC = 16 として扱う
② SIR 判定では「S と R」の組み合わせ
③ +/- 判定では「-と++」または「+と+++」または「-と+++」の組み合わせ
④ 共通する検査抗菌薬数が 5 未満

【巻末資料２　公開情報の集計方法について】

6.　抗菌薬感受性結果の重複処理

検体提出日が先の菌株の検査抗菌薬数が（30 日以内の）後の菌株の検査抗菌薬数より多い場合、後の菌株の抗菌薬感受性検査結果は排除する。また、検体提出日が後の菌株の検査抗菌薬が（30 日以内の）先の菌株の検査抗菌薬より多い場合、先の菌株の抗菌薬感受性検査結果を排除するが、先の検査の検体提出日を引き継ぐ。

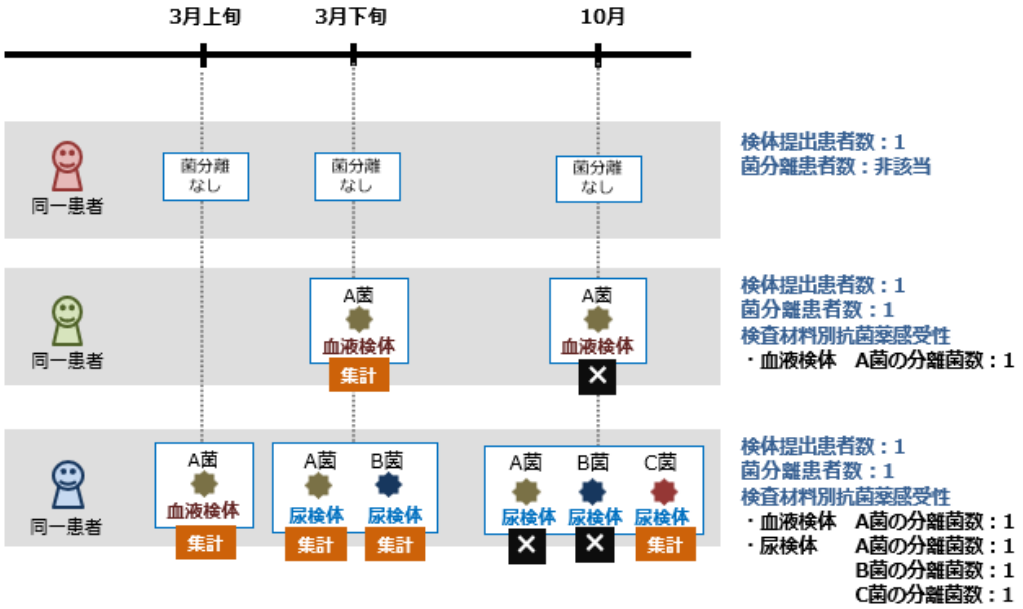
例）



7.　抗菌薬感受性結果の重複処理（検査材料別アンチバイオグラムの場合）

WHO GLASS 方式に準拠し、同一患者から同一検査材料由来の同一菌の抗菌薬感受性が複数回報告された場合は、抗菌薬感受性結果にかかわらず、初回の 1 件のみ集計する。
同一患者から異なる菌の抗菌薬感受性結果が報告された場合は、それぞれ初回の 1 件のみ集計する。

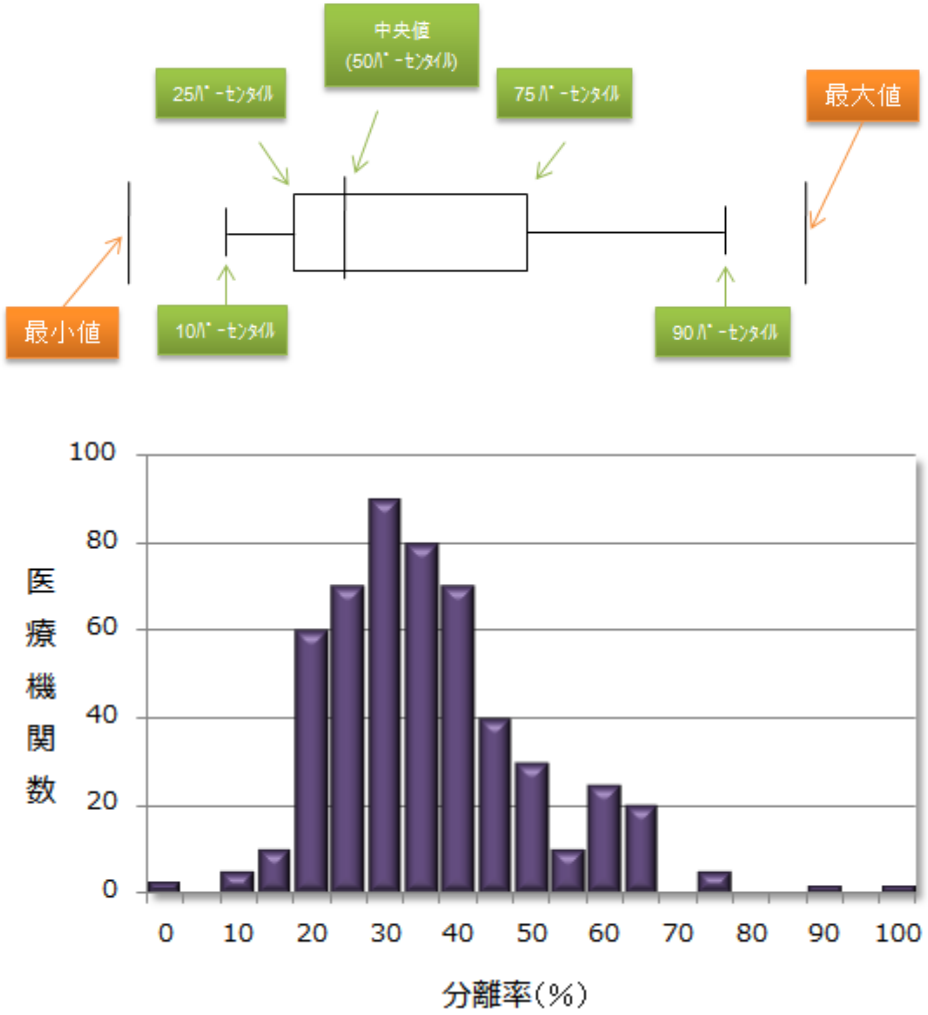
例）



【巻末資料３　箱ひげ図について】

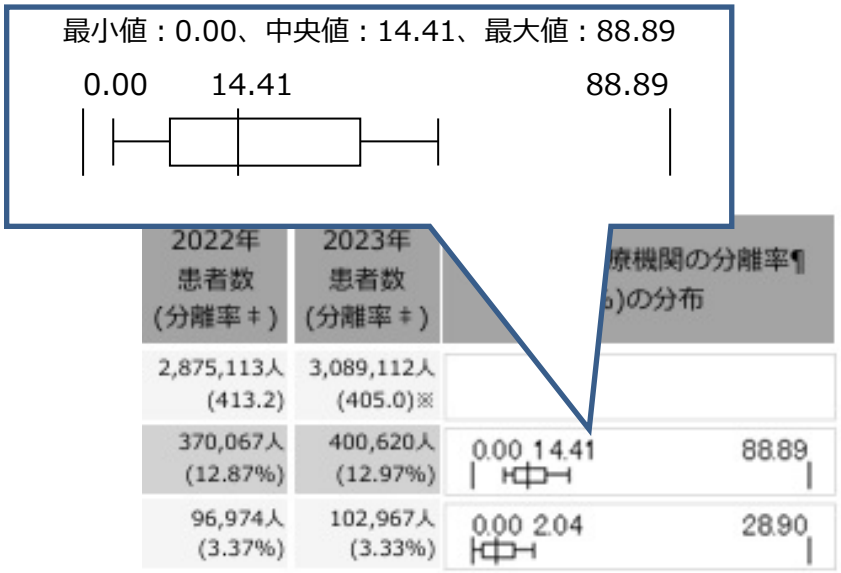
1.　箱ひげ図について

集計対象医療機関のデータのばらつきを示し、集計対象医療機関における自施設の位置を確認することができる。



※　パーセンタイル：値を小さいものから大きいものへと順番に並べ、全体を 100 として何番目であるかを表したもの。
例えば、10 パーセンタイルは、全体を 100 として小さいほうから数えて 10 番目の計測値を示している。

2.　公開情報の箱ひげ図



公開情報 2025 年 1 月～12 月 年報（集計対象医療機関・200 床以上）
院内感染対策サーベイランス 検査部門 【入院検体・CLSI 2012 版】

JANIS

Japan Nosocomial Infections Surveillance

【検査部門におけるサーベイランスの概要と目的】

本サーベイランスの目的は、細菌検査により検出される主要な細菌の分離頻度とその抗菌薬感受性を継続的に収集・解析し、医療機関における主要な細菌ならびに薬剤耐性菌の分離状況を明らかにすることである。

サーベイランスの対象となる主要菌ならびに薬剤耐性菌の分離率は、医療機関から提出された陰性検体を含むすべての細菌検査データを基に集計し、算出している。また検査材料別の分離菌割合や菌種別の分離患者数、集計医療機関の分離率分布を集計し、医療機関における主要菌ならびに薬剤耐性菌のベンチマークとなる情報を提供している。

【公開情報の一部改訂について】

- 特定の耐性菌の判定基準について

本年報より、特定の耐性菌の集計には、原則として 2025 年 4 月 7 日および 2026 年 4 月 6 日に改訂施行された感染症法による感染症発生動向調査の届出基準に準拠した判定基準を用いた。判定基準については巻末資料を参照のこと。

この基準改訂により、イミペネム耐性かつセフメタゾール耐性だがメロペネムに感性の株はカルバペネム耐性腸内細菌目細菌（CRE）と判定されなくなり、非無菌検体から分離された肺炎球菌をペニシリン耐性肺炎球菌（PRSP）と判定する基準が≧0.125μg/mL から≧4μg/mL へ厳格化された。また、カルバペネム耐性緑膿菌および多剤耐性緑膿菌（MDRP）でカルバペネム耐性と判定するための MIC 値が 16μg/mL から 8μg/mL に引き下げられた。

これに伴い、CRE、PRSP、カルバペネム耐性緑膿菌および MDRP の集計値は前年までの値と定義が異なるため、経年的な比較には注意を要する。

- 「7.主要菌の抗菌薬感受性」

全集計対象医療機関の年報の集計項目にあわせ、200 床以上についても本年報より従来の「7.主要菌の抗菌薬感受性」に加え、以下の検査材料別アンチバイオグラムを追加した。

・*Staphylococcus aureus*（ALL）【血液検体】
・*Pseudomonas aeruginosa*【血液検体】
・*Escherichia coli*【尿検体】

本公表データは国内の全医療機関の数値を集計したデータではありません　データ集計日：　2026 年 05 月 08 日
公開情報掲載日：　2026 年 08 月 17 日

【図表】

1. データ提出医療機関*数
2. データ提出医療機関数、検体数、分離菌数
3. 検査材料別分離菌数割合
4. 主要菌分離患者数と全医療機関*の分離率分布
5. 特定の耐性菌†分離患者数と全医療機関*の分離率分布
6. 特定の耐性菌†が分離された医療機関の割合
7. 主要菌の抗菌薬感受性

Staphylococcus aureus （ALL）
Staphylococcus aureus （Methicillin-susceptible *Staphylococcus aureus* : MSSA）
Staphylococcus aureus （Methicillin-resistant *Staphylococcus aureus* : MRSA†）
Staphylococcus epidermidis
Coagulase-negative staphylococci （CNS‡）
Enterococcus faecalis
Enterococcus faecium
Streptococcus pneumoniae
Streptococcus pyogenes
Streptococcus agalactiae
Escherichia coli
Klebsiella pneumoniae
Enterobacter cloacae
Enterobacter cloacae complex§
Klebsiella aerogenes
Citrobacter freundii
Citrobacter koseri
Proteus mirabilis
Proteus vulgaris
Serratia marcescens
Pseudomonas aeruginosa
Acinetobacter spp.
Haemophilus influenzae
Staphylococcus aureus（ALL）【血液検体】
Pseudomonas aeruginosa【血液検体】
Escherichia coli【尿検体】

＊ここではデータ提出医療機関ならびに全医療機関は、集計対象医療機関を表す
† 巻末資料【耐性菌の判定基準】参照
‡ *S. epidermidis* を除く Coagulase-negative staphylococci
§ *Enterobacter cloacae* complex は以下の菌種（菌名コード）を含む
（Davin-Regli et al （2019）,*Clinical Microbiology Reviews*）
Enterobacter cloacae（2151）、*Enterobacter asburiae*（2155）、*Enterobacter hormaechei*（2157）、*Enterobacter kobei*（2158）、*Enterobacter ludwigii*（2159）、*Enterobacter mori*（2160）、*Enterobacter nimipressuralis*（2161）

本公表データは国内の全医療機関の数値を集計したデータではありません
データ集計日： 2026 年 05 月 08 日
公開情報掲載日： 2026 年 08 月 17 日

Japan Nosocomial Infections Surveillance

【解説】

1. データ提出医療機関数

病床規模が 200 床以上の 2025 年年報（2025 年 1 月～12 月）の集計対象医療機関数は 1,504 施設で、前年より 24 施設増加した。これは、国内 200 床以上の医療機関 2,398 施設の 62.7%を占めていた。特に 500 床以上では国内 378 医療機関中 328（86.8%）が集計対象であった。

2. データ提出医療機関数、検体数、分離菌数

200 床以上の医療機関より入院患者由来の検体として 7,726,156 検体が報告され、30 日ごとの重複処理後では 4,353,874 検体となった。重複処理後の 4,353,874 検体のうち、細菌が分離されたものは 2,060,415 検体（陽性検体の割合：47.3%）、分離菌数は 4,097,681 株であった。

30 日ごとの重複処理後の検査材料の内訳は、血液検体が 1,159,287 検体（26.6%）と最も多く、次いで呼吸器系検体 1,133,815 検体（26.0%）、尿検体 923,888 検体（21.2%）、便検体 326,463 検体（7.5%）、髄液検体 57,806 検体（1.3%）であった。また、これらの検査材料以外であるその他の検体は 752,615 検体（17.3%）であった。

30 日ごとの重複処理後の検査材料別の陽性検体の割合は、呼吸器系検体が 67.2%で最も高く、次いで尿検体 61.2%、便検体 39.4%、血液検体 17.6%、髄液検体 4.2%の順であった。また、その他の検体では 52.9%であった。

3. 検査材料別分離菌数割合

検査材料別分離菌数割合は、起因菌や常在菌・汚染菌にかかわらず、各医療機関から報告されたすべての菌について 30 日ごとの重複処理前後の分離菌数割合を併記している。

血液検体分離菌のうち、重複処理前の上位 3 菌種は *E. coli* 69,137 株（16.2%）、*S. aureus* 60,909 株（14.3%）、*S. epidermidis* 45,649 株（10.7%）であったが、重複処理後では *E. coli* 39,699 株（16.0%）、*S. epidermidis* 28,517 株（11.5%）、*S. aureus* 28,104 株（11.3%）であった。

髄液検体分離菌のうち、重複処理前の上位 3 菌種は *S. epidermidis* 585 株（16.1%）、*S. epidermidis* を除く CNS 516 株（14.2%）、*S. aureus* 412 株（11.3%）であり、重複処理後でも *S. epidermidis* 430 株（16.0%）、*S. epidermidis* を除く CNS 335 株（12.4%）、*S. aureus* 303 株（11.3%）であった。

呼吸器系検体分離菌のうち、重複処理前の上位 3 菌種は *S. aureus* 300,806 株（13.3%）、α-*Streptococcus* 241,144 株（10.7%）、*P. aeruginosa* 148,587 株（6.6%）であったが、重複処

理後では *S. aureus* 221,490 株（12.3%）、α-*Streptococcus* 201,777 株（11.2%）、*Candida albicans* 108,702 株（6.0%）であった。

尿検体分離菌のうち、重複処理前の上位 3 菌種は *E. coli* 246,636 株（22.9%）、*E. faecalis* 94,876 株（8.8%）、*P. aeruginosa* 74,707 株（6.9%）であったが、重複処理後では *E. coli* 216,709 株（22.8%）、*E. faecalis* 85,737 株（9.0%）、*K. pneumoniae* 65,402 株（6.9%）であった。

4. 主要菌分離患者数と全医療機関の分離率分布

検体提出患者数は 2,634,540 人であった。

分離患者数が最も多かった *E. coli* は、検体提出患者のうち 14.40%にあたる 379,265 人より分離されており、次いで *S. aureus* が 323,942 人（12.30%）、*K. pneumoniae* 194,522 人（7.38%）の順であった。

前年と比較し、僅かではあるが分離率が減少したのは、*S. epidermidis*（-0.03%）、*Acinetobacter* spp.（-0.02%）、*E. cloacae* complex（-0.01%）であった。一方、他はすべて分離率が増加しており、0.1%以上増加したのは *K. pneumoniae*（+0.16%）、*P. aeruginosa*（+0.16%）、*E. faecalis*（+0.15%）、*E. coli*（+0.13%）であった。

5. 特定の耐性菌分離患者数と全医療機関の分離率分布

本年報より特定の耐性菌の分離患者数は、原則として 2026 年 4 月 6 日に施行された感染症発生動向調査に準拠した判定基準を用いて集計している。判定基準については巻末資料を参照のこと。

薬剤耐性菌のうち分離患者数が最も多かった MRSA は、検体提出患者の 5.30%にあたる 139,692 人より分離された。バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌（VRSA）の分離報告はなかった。

前年と比較し分離患者数が減少していたのは、バンコマイシン耐性腸球菌（VRE）1,180 人（0.04%）、ペニシリン耐性肺炎球菌（PRSP）864 人（0.03%）、多剤耐性アシネトバクター属（MDRA）22 人（0.001%）、カルバペネム耐性腸内細菌目細菌（CRE）2,394 人（0.09%）、フルオロキノロン耐性大腸菌 116,849 人（4.44%）であった。特に PRSP は前年に比べ 6,549 人（分離率 0.25%の減少）、CRE は 6,954 人（分離率 0.26%の減少）減少しているが、これは、本概要の冒頭に記載の通り、特定の耐性菌の判定基準変更の影響を受けていると考えられる。

なお、PRSP の分離患者数は、無菌検体の PCG 耐性（≧0.125μg/mL）と無菌検体以外の PCG 耐性（≧4μg/mL）を合計した人数となっており、CRE は MEPM 耐性（≧2μg/mL）のみ集計している。

また、CRE の分離率 0.09%とは検体提出患者数を分母とした場合であり、*Enterobacterales* 分離患者数を分母とした場合には 0.32%となる。

CRE の菌種別内訳は、*K. aerogenes* が 41.8%、*E. cloacae* が 31.5%、*K. pneumoniae* が 7.4%（*K. pneumoniae* subsp. *pneumoniae* に加えて *K. pneumoniae* subsp. *ozaenae* と *K. pneumoniae* subsp. *rhinoscleromatis* を含めると 7.5%）、*E. coli* が 3.8%と続いた。

フルオロキノロン耐性大腸菌は前年に比べ 946 人（分離率 0.03%の減少）の減少であったが、MRSA に次いで多く分離された。

多剤耐性緑膿菌（MDRP）とカルバペネム耐性緑膿菌の分離患者数は、前年に比べてそれぞれ 96 人の増加（分離率は変わらず）、4,704 人の増加（分離率 0.18%増加）となった。これも、本概要の冒頭に記載の通り、特定の耐性菌の判定基準変更の影響を受けていると考えられる。

第三世代セファロスポリン耐性の肺炎桿菌と大腸菌は、それぞれ 29,777 人（1.13%）、95,021 人（3.61%）より分離された。いずれも 2018 年から新たにセフトリアキソン（CTRX）が判定基準に追加されており、2017 年以前との単純な比較はできないことに注意が必要である。

6. 特定の耐性菌が分離された医療機関の割合

MRSA は集計対象となった 1,504 医療機関のうち、1,502（99.9%）から分離報告された。VRE は集計対象医療機関の 10.4%、MDRA は 1.1%からの報告であった。

PRSP は 407 医療機関（27.1%、前年は 71.6%）、CRE は 732 医療機関（48.7%、前年は 66.0%）からと、前年と比較し著しく分離報告が減少した一方、カルバペネム耐性緑膿菌は 1,406 医療機関（93.5%、前年は 90.5%）から、MDRP は 288 医療機関（19.1%、前年は 15.7%）から分離報告され、どちらも前年と比較して増加した。これらはいずれも前述の通り、特定の耐性菌の判定基準変更の影響によるものと考えられる。

第三世代セファロスポリン耐性の肺炎桿菌と大腸菌はそれぞれ 1,386 医療機関（92.2%）、1,471 医療機関（97.8%）から分離報告された。

フルオロキノロン耐性大腸菌は 1,357 医療機関（90.2%）から分離報告された。

7. 主要菌の抗菌薬感受性

主要菌の抗菌薬感受性は、原則 CLSI 2012（M100-S22）の判定基準に従った。

【すべての検査材料】

S. aureus（ALL）では、オキサシリン（MPIPC）の耐性率が 43.2%、セフォキシチン（CFX）の耐性率が 42.0%であった。ゲンタマイシン（GM）の耐性率は 24.4%、エリスロマイシン（EM）の耐性率は 45.8%、レボフロキサシン（LVFX）の耐性率は 51.8%であった。一方、バンコマイシン（VCM）は感性がほぼ 100%で耐性株の報告はなかったが、中等度耐性が 10 株報告された。テイコプラニン（TEIC）も感性はほぼ 100%であったが、中等度耐性が 4 株、耐性が 6 株報告された。リネゾリド（LZD）は耐性が 29 株で、ほぼ感性であった。ダプトマイシン（DAP）は感性が 99.9%で、0.1%（200 株）が非感性であった。

MSSA に対するペニシリン G（PCG）の耐性率は 50.6%、EM は 20.9%が耐性であった。セファゾリン（CEZ）は 99.9%が感性であり、LVFX は 79.7%が感性であった。

MRSA に対する VCM の感性率はほぼ 100%で、耐性株の報告はなかったが、8 株が中等度耐性であった。TEIC は 126,611 株のうち 2 株が中等度耐性、2 株が耐性であった。LZD は 18 株が耐性であったが、ほぼ感性であった。DAP は 99.8%が感性で、0.2%（148 株）が非感性であった。

S. epidermidis に対する MPIPC の感性率は 27.1%であった。VCM の感性率はほぼ 100%で、76,778 株中 4 株が中等度耐性、2 株が耐性であり、TEIC は 98.0%が感性であった。

S. epidermidis を除く CNS に対する MPIPC の感性率は 33.9%であった。VCM では 6 株が中等度耐性、6 株が耐性であったが、ほぼ感性であった。TEIC では 99.1%が感性であった。

腸球菌では、*E. faecalis* に対する PCG、アンピシリン（ABPC）の感性率がそれぞれ 98.5%、99.9%であったが、*E. faecium* に対してはそれぞれ 11.7%、12.4%であった。また、*E. faecalis* に対する VCM の感性率はほぼ 100%で、132,015 株のうち中等度耐性が 7 株、耐性が 13 株であり、*E. faecium* に対しては 98.6%が感性で、65,949 株のうち中等度耐性が 0.1%（40 株）で耐性が 1.3%（855 株）であった。

S. pneumoniae については CLSI 2012 の基準に準じて髄液検体由来株と髄液以外の検体由来株に分けて判定した。髄液検体由来株では髄膜炎（meningitis）の場合の判定基準を用い、髄液以外の検

本公表データは国内の全医療機関の数値を集計したデータではありません
データ集計日： 2026 年 05 月 08 日
公開情報掲載日： 2026 年 08 月 17 日

体由来株では髄膜炎以外（nonmeningitis）の場合の判定基準を用いた。なお、髄膜炎（meningitis）と髄膜炎以外（nonmeningitis）とで基準が異なる薬剤は PCG とセフォタキシム（CTX）、セフトリアキソン（CTRX）である。

髄液検体由来 *S. pneumoniae* に対する PCG の耐性（≧0.125μg/mL）率は 37.5%（21 株）であった。CTX の中等度耐性（1μg/mL）は 17.4%（8 株）だったが、耐性株の報告はなかった。CTRX は中等度耐性（1μg/mL）が 5.6%（3 株）、耐性（≧2μg/mL）は 3.7%（2 株）であった。メロペネム（MEPM）の中等度耐性は 11.9%（7 株）、耐性は 6.8%（4 株）であった。LVFX は感性が 96.3%、耐性は 3.7%（2 株）であった。VCM はすべて感性であった。

髄液以外の検体由来 *S. pneumoniae* に対する PCG の中等度耐性（4μg/mL）は 2.9%、耐性（≧8μg/mL）は 0.7%であった。CTX、CTRX の中等度耐性（2μg/mL）は 2.1%、2.4%であり、耐性（≧4μg/mL）は 2.4%、2.2%であった。MEPM の中等度耐性は 15.6%、耐性は 9.2%であった。LVFX の中等度耐性は 0.7%、耐性は 7.0%であった。VCM はほぼ感性であった（判定不能を除く）。

S. pyogenes に対する PCG、ABPC、CTX、CTRX はすべてが感性であった（判定不能を除く）。EM は 17.0%、クリンダマイシン（CLDM）は 9.9%が耐性であった。

S. agalactiae に対しては、PCG、ABPC、CTX、CTRX のそれぞれ 5.8%、1.4%、0.9%、0.6%が非感性で、EM 35.8%、CLDM 20.9%が耐性であった

集計を行った腸内細菌目細菌の 10 菌種（*E. coli*、 *K. pneumoniae*、 *E. cloacae* complex、*E. cloacae* 、*K. aerogenes*、*C. freundii*、*C. koseri*、*P. mirabilis*、*P. vulgaris*、*S. marcescens*）については、CLSI で 2010 年と 2011 年にセファロスポリン系抗菌薬とカルバペネム系抗菌薬のブレイクポイントが変更されたため、一部の薬剤で判定不能や S と I の区別が出来ない薬剤（特に CEZ）が引き続きみられた。

E. coli と *K. pneumoniae* に対する第三世代セファロスポリン系抗菌薬の CTX、CTRX およびセフタジジム（CAZ）の耐性率は、*E. coli* では 26.9%、29.7%、13.7%、*K. pneumoniae* では 15.0%、18.0%、12.5%であった。

腸内細菌科細菌の 10 菌種全体に対するカルバペネム系抗菌薬の感受性は、イミペネム（IPM）の耐性率が 1.1%であり、MEPM のそれは 0.3%であった。菌種別にみると、IPM の耐性率が高かったのは *P. vulgaris*、*P. mirabilis* で、それぞれ 25.1%、16.7%であったが、これらの菌種に対する MEPM の耐性率は 0.07%と 0.05%であった。一方、*E. cloacae*、*K. aerogenes*、*S. marcescens* に対して

は、IPM の耐性率が 1.2%、1.9%、2.1%であり、MEPM の耐性率は 0.6%、0.8%、0.1%であった。分離株数の多い *E. coli*、 *K. pneumoniae* に対する IPM の耐性率はそれぞれ 0.1%と 0.2%、MEPM の耐性率は 0.1%と 0.4%であった。

また、腸内細菌目細菌の 10 菌種全体に対する LVFX の耐性率は 17.4%であり、菌種別では、*E. coli* の 35.3%が最も高く、次いで *P. mirabilis* 12.3%、*K. pneumoniae* 6.2%であった。一方、最も低かったのは *P. vulgaris* で 0.4%、次いで *K. aerogenes* 0.7%、*E. cloacae* complex 2.1%であった。

P. aeruginosa に対する IPM、MEPM の感性率は、それぞれ 82.5%、87.9%であった。GM と AMK では 89.9%、98.5%が感性で、LVFX は 88.5%が感性であった。

Acinetobacter spp.に対する IPM、MEPM の感性率は、それぞれ 98.9%、98.0%であった。GM と AMK は 87.4%、98.0%、LVFX は 85.7%が感性であった。

H. influenzae に対する ABPC の感性率は 40.2%、スルバクタム/アンピシリン（SBT/ABPC）とクラブラン酸/アモキシシリン（CVA/AMPC）では、それぞれ 63.7%、78.9%が感性であった。

【検査材料別】

血液検体を集計対象とした *S. aureus*（ALL）では、MPIPC の耐性率が 35.6%、CFX の耐性率が 34.3%であった。GM の耐性率は 24.5%、EM の耐性率は 38.9%、LVFX の耐性率は 43.3%であった。VCM、TEIC はほぼ感性だが中等度耐性が 1 株ずつあった。LZD の耐性株は 2 株であった。DAP は感性が 99.8%で、0.2%（21 株）が非感性であった。

血液検体を集計対象とした *P. aeruginosa* に対する IPM、MEPM の感性率は、それぞれ 86.3%、91.4%であった。GM と AMK では 93.9%、99.3%が感性で、LVFX では 92.5%が感性であった。

尿検体を集計対象とした *E. coli* に対する第三世代セファロスポリン系抗菌薬の CTX、CTRX および CAZ の耐性率は、24.7%、26.6%、12.0%であった。セフメタゾール（CMZ）の耐性率は 0.5%、カルバペネム系抗菌薬である IPM の中等度耐性は 0.1%（193 株）、耐性は 0.04%（49 株）であった。MEPM の中等度耐性は 0.01%（12 株）、耐性は 0.04%（76 株）であった。LVFX に対する耐性率は 34.5%であった。

2025 年 1 月～12 月のうち、一部でもデータが未提出の 13 医療機関は集計対象外とした。下記の基準に該当する入院検体について医療機関に問い合わせを行った結果、提出されたデータに疑義が生じた 14 医療機関（微量液体希釈法での報告がない 8 医療機関を含む）についても集計から除外した。

集計対象条件

- 集計対象年 1 月～12 月のうち、一部でもデータが未提出の医療機関は集計から除外する
- 19 床以下の有床病床の報告は集計から除外する
- 提出されたデータに下記の疑義が生じた医療機関は集計から除外する

疑義データ問い合わせ項目

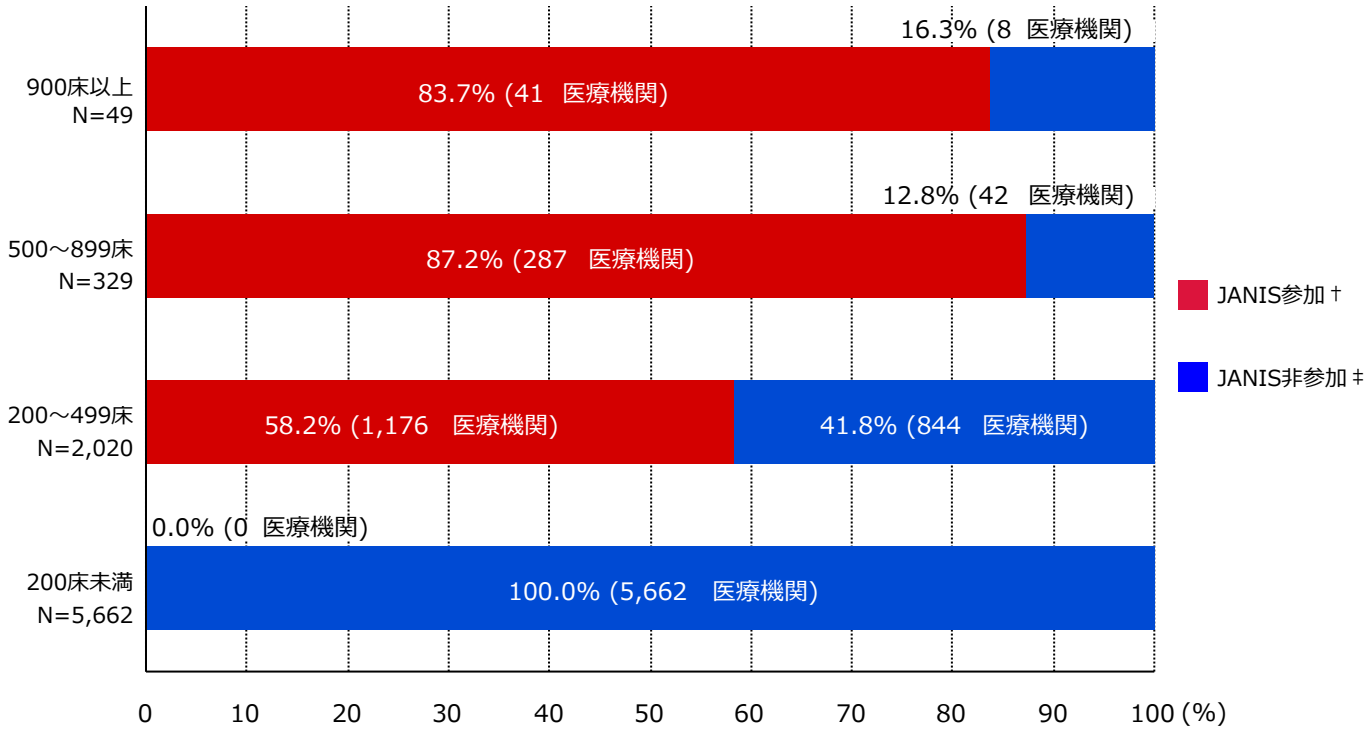
- 年間を通じて入院検体の報告がない
- 年間を通じて黄色ブドウ球菌、MRSA および大腸菌の報告がない
- 年間を通じて血液検体、尿検体、呼吸器系検体の報告がない
- 血液検体が年間 10 検体以上報告され、かつ陽性検体の割合が 50%以上
- 髄液検体が年間 5 検体以上報告され、かつ陽性検体の割合が 50%以上
- 微量液体希釈法での報告がない
- CRE の分離率が 5%以上
- 国内で過去に報告がない薬剤耐性菌（特殊な耐性を示す菌：カテゴリーA）に該当する薬剤耐性菌の報告がある
  - PCG、ABPC、VCM、LZD、CTX、CTRX 非感性の *S. pyogenes*
  - VCM、LZD 非感性の *S. agalactiae*
  - VCM、LZD 非感性の *S. pneumoniae*
  - VCM 耐性の *S. aureus*

注：VCM 耐性の *S. aureus* など「特殊な耐性を示す菌：カテゴリーA」（上記、疑義データ問い合わせ項目参照）については、耐性または非感性と報告したすべての医療機関に対して報告内容が正しいかどうか確認しているため、入力ミスなどはすべて除外されている。一方、「特殊な耐性を示す菌：カテゴリーA」以外の抗菌薬感受性結果については、医療機関からの報告をそのまま集計しているため、誤報告が含まれている可能性がある。

本公表データは国内の全医療機関の数値を集計したデータではありません
データ集計日： 2026 年 05 月 08 日
公開情報掲載日： 2026 年 08 月 17 日

Japan Nosocomial Infections Surveillance

1. データ提出医療機関*数(1,504医療機関)



*ここではデータ提出医療機関は集計対象医療機関を表す

†JANIS参加 = 2025年1～12月 集計対象医療機関数

‡JANIS非参加 =（2024年 全国医療機関数¶）－（2025年1～12月 集計対象医療機関数）

病床数	2024年 全国医療機関数¶	2025年1月～12月 集計対象医療機関数 (全国医療機関数に占める割合)
900床以上	49	41 (83.7%)
500～899床	329	287 (87.2%)
200～499床	2,020	1,176 (58.2%)
200床未満	5,662	0 (0.0%)
病床数不明	-	0 (-)
合計	8,060	1,504 (18.7%)

¶2024年医療施設(動態)調査を参照した

本公表データは国内の全医療機関の数値を集計したデータではありません。
データ集計日　：　2026年05月08日
公開情報掲載日：　2026年08月17日

Japan Nosocomial Infections Surveillance

JANIS

2. データ提出医療機関数、検体数、分離菌数

検査材料分類	集計対象医療機関数	検体数		陽性検体数		分離菌数	
		重複処理前	重複処理後	重複処理前	重複処理後	重複処理前	重複処理後
呼吸器系検体	1,504	1,766,594	1,133,815	1,080,645	761,563	2,259,408	1,802,874
尿検体	1,504	1,183,617	923,888	682,412	565,142	1,075,439	950,148
便検体	1,470	446,999	326,463	167,127	128,492	309,792	249,211
血液検体	1,497	2,987,104	1,159,287	375,976	204,420	425,920	247,868
髄液検体	1,183	78,600	57,806	3,286	2,431	3,633	2,692
その他	1,500	1,263,242	752,615	579,473	398,367	1,079,167	844,888
合計	1,504	7,726,156	4,353,874	2,888,919	2,060,415	5,153,359	4,097,681

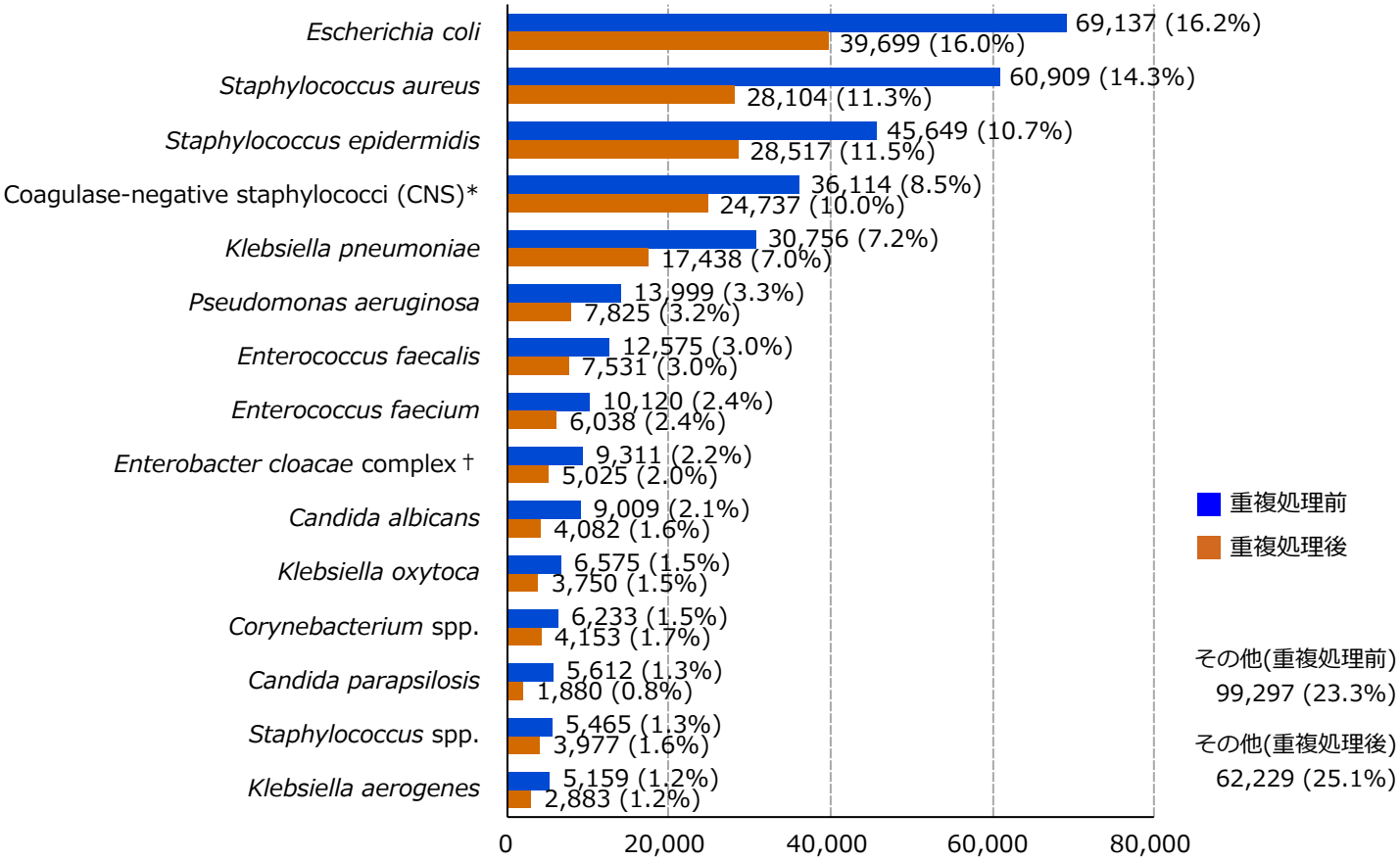
入院として報告された検体を集計
重複処理：30日単位で実施(巻末資料2参照)
集計対象菌：コメントのみ(菌名コード9999)の報告以外の全ての菌
検査材料分類は以下に該当する検査材料コードを集計
呼吸器系検体：
　101(喀出痰)、102(気管内採痰)、103(気管支洗浄液)、104(咽頭粘液)、105(鼻腔内)、106(口腔内)、
　107(生検材料(肺))、109(その他(呼吸器))、404(胸水)
尿検体：
　201(自然排尿)、202(採尿カテーテル)、203(留置カテーテル)、206(カテーテル尿(採尿、留置カテの区別不能))
便検体：
　301(糞便)
血液検体：
　401(静脈血)、402(動脈血)
髄液検体：
　403(髄液)
その他：上記以外の検査材料コード
検査材料コード：JANISホームページ＞各部門について＞検査部門　https://janis.mhlw.go.jp/section/kensa.html

本公表データは国内の全医療機関の数値を集計したデータではありません。
データ集計日　：　2026年05月08日
公開情報掲載日：　2026年08月17日

Japan Nosocomial Infections Surveillance

3. 検査材料別分離菌数割合

血液検体分離菌



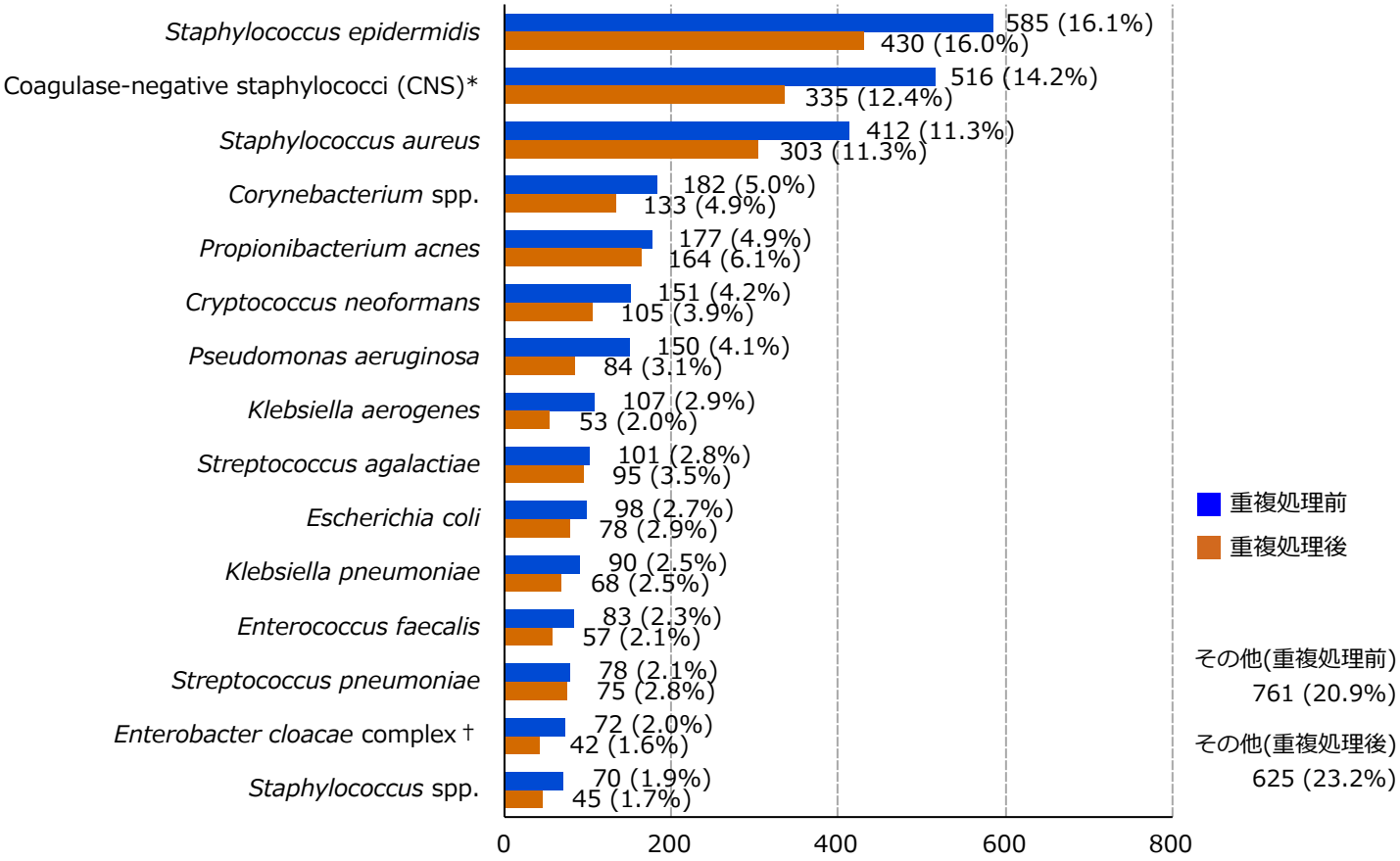
*菌名コード：1311, 1313～1325と報告された菌（1312：*Staphylococcus epidermidis*は対象外）
†菌名コード：2151，2155，2157～2161と報告された菌

入院検体のうち、起因菌・汚染菌にかかわらず報告されたすべての菌を集計
重複処理：30日単位で実施(巻末資料2参照)
分離菌数割合が四捨五入して小数第一位までの表示で[0.0%]になる菌、菌名コード9998(その他の菌種)、16位以下の菌は「その他」に集計
集計対象菌：菌名コード9996(ウイルスによる(疑いもふくむ))、9997(菌不明)、9999(コメントのみ)の報告以外の全ての菌
集計対象検査材料：静脈血(検査材料コード401)、動脈血(同402)
血液検体分離菌数割合 =（対象菌の血液検体分離菌数）÷（血液検体分離菌数合計）×100
菌名コード、検査材料コード
：JANISホームページ＞各部門について＞検査部門 https://janis.mhlw.go.jp/section/kensa.html

Japan Nosocomial Infections Surveillance

3. 検査材料別分離菌数割合

髄液検体分離菌



*菌名コード：1311, 1313～1325と報告された菌（1312：*Staphylococcus epidermidis*は対象外）
†菌名コード：2151，2155，2157～2161と報告された菌

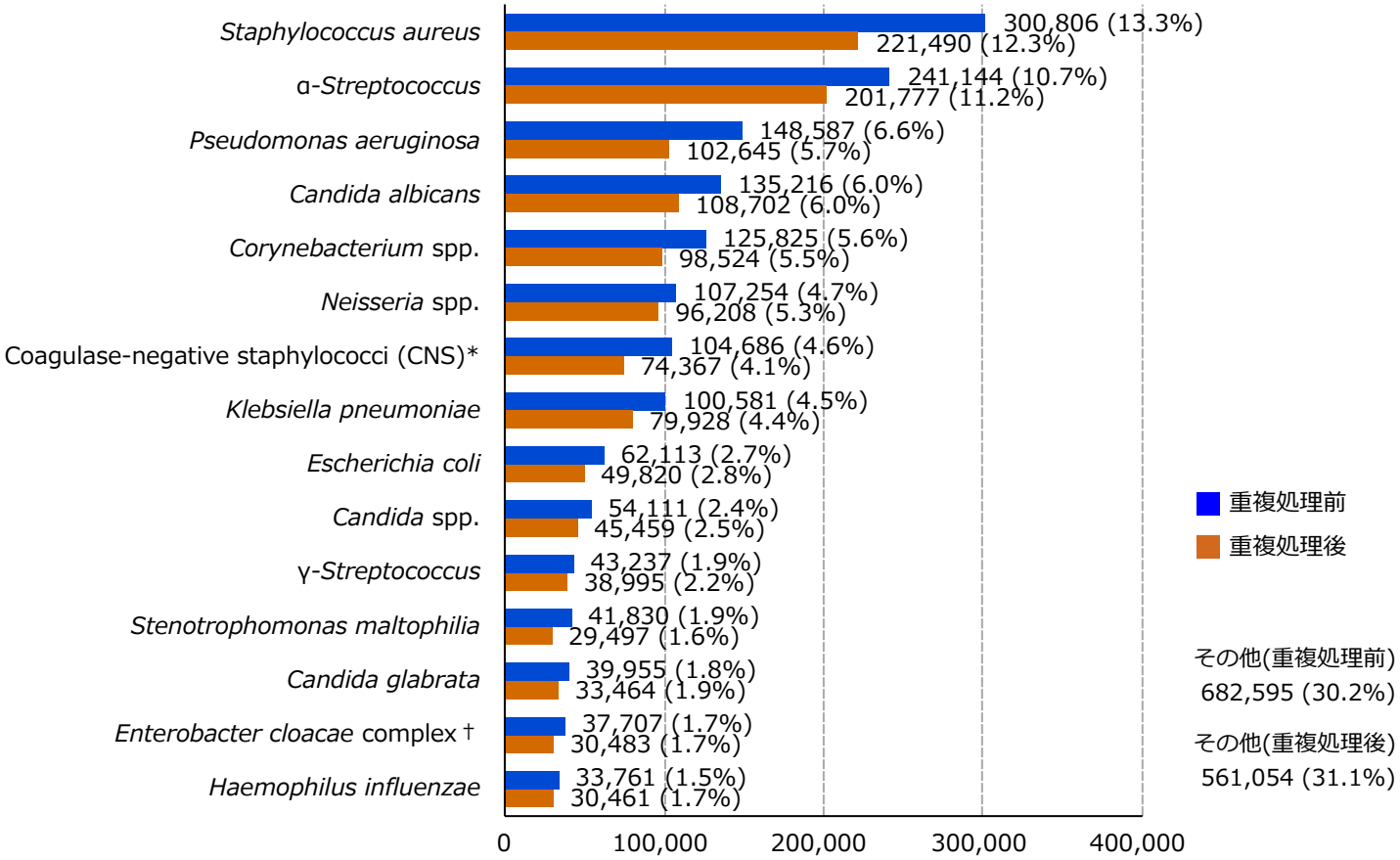
入院検体のうち、起因菌・汚染菌にかかわらず報告されたすべての菌を集計
重複処理：30日単位で実施(巻末資料2参照)
分離菌数割合が四捨五入して小数第一位までの表示で[0.0%]になる菌、菌名コード9998(その他の菌種)、16位以下の菌は「その他」に集計
集計対象菌：菌名コード9996(ウイルスによる(疑いもふくむ))、9997(菌不明)、9999(コメントのみ)の報告以外の全ての菌
集計対象検査材料：髄液(検査材料コード403)
髄液検体分離菌数割合 =（対象菌の髄液検体分離菌数）÷（髄液検体分離菌数合計）×100
菌名コード、検査材料コード
：JANISホームページ＞各部門について＞検査部門 https://janis.mhlw.go.jp/section/kensa.html

本公表データは国内の全医療機関の数値を集計したデータではありません。　データ集計日　：　2026年05月08日
公開情報掲載日：　2026年08月17日

Japan Nosocomial Infections Surveillance

3. 検査材料別分離菌数割合

呼吸器系検体分離菌



*菌名コード：1311, 1313～1325と報告された菌（1312：*Staphylococcus epidermidis*は対象外）
†菌名コード：2151，2155，2157～2161と報告された菌

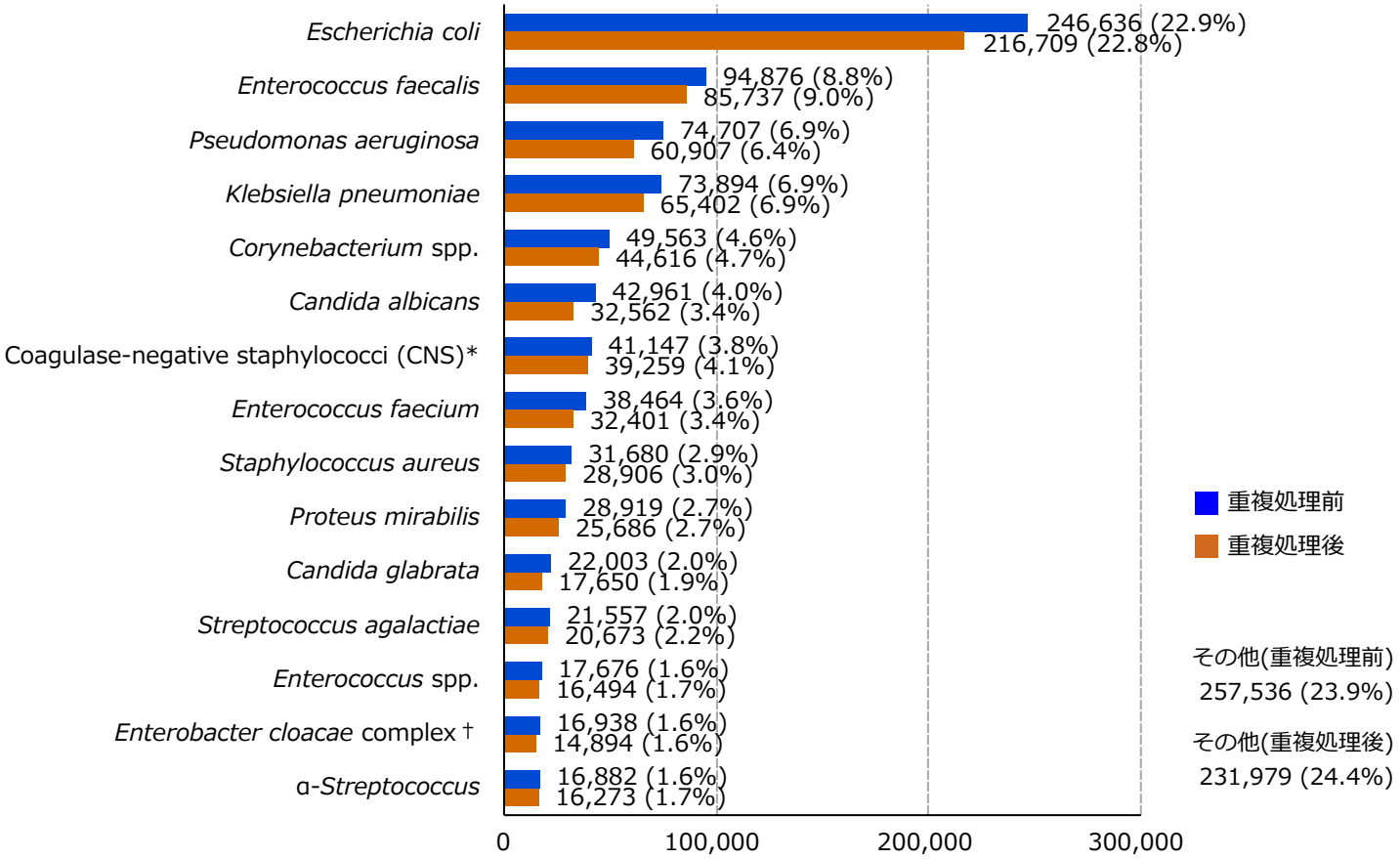
入院検体のうち、起因菌・常在菌にかかわらず報告されたすべての菌を集計
重複処理：30日単位で実施(巻末資料2参照)
分離菌数割合が四捨五入して小数第一位までの表示で[0.0%]になる菌、菌名コード9998(その他の菌種)、16位以下の菌は「その他」に集計
集計対象菌：菌名コード9996(ウイルスによる(疑いもふくむ))、9997(菌不明)、9999(コメントのみ)の報告以外の全ての菌
集計対象検査材料：喀出痰(検査材料コード101)、気管内採痰(同102)、気管支洗浄液(同103)、咽頭粘液(同104)、鼻腔内(同105)、口腔内(同106)、生検材料(肺)(同107)、その他(呼吸器)(同109)、胸水(同404)
呼吸器系検体分離菌数割合 =（対象菌の呼吸器系検体分離菌数）÷（呼吸器系検体分離菌数合計）×100
菌名コード、検査材料コード
：JANISホームページ＞各部門について＞検査部門 https://janis.mhlw.go.jp/section/kensa.html

本公表データは国内の全医療機関の数値を集計したデータではありません。
データ集計日　：　2026年05月08日
公開情報掲載日：　2026年08月17日

Japan Nosocomial Infections Surveillance

3. 検査材料別分離菌数割合

尿検体分離菌



*菌名コード：1311, 1313～1325と報告された菌（1312：*Staphylococcus epidermidis*は対象外）
†菌名コード：2151，2155，2157～2161と報告された菌

入院検体のうち、起因菌・汚染菌にかかわらず報告されたすべての菌を集計
重複処理：30日単位で実施(巻末資料2参照)
分離菌数割合が四捨五入して小数第一位までの表示で[0.0%]になる菌、菌名コード9998(その他の菌種)、16位以下の菌は「その他」に集計
集計対象菌：菌名コード9996(ウイルスによる(疑いもふくむ))、9997(菌不明)、9999(コメントのみ)の報告以外の全ての菌
集計対象検査材料：自然排尿(検査材料コード201)、採尿カテーテル尿(同202)、留置カテーテル尿(同203)、カテーテル尿(採尿、留置カテの区別不能)(同206)
尿検体分離菌数割合 =（対象菌の尿検体分離菌数）÷（尿検体分離菌数合計）×100
菌名コード、検査材料コード
：JANISホームページ＞各部門について＞検査部門 https://janis.mhlw.go.jp/section/kensa.html

Japan Nosocomial Infections Surveillance

JANIS

4. 主要菌分離患者数*と全医療機関†の分離率分布

	2021年 患者数 (分離率‡)	2022年 患者数 (分離率‡)	2023年 患者数 (分離率‡)	2024年 患者数 (分離率‡)	2025年 患者数 (分離率‡)	集計対象医療機関の分離率¶ (%)の分布
検体提出患者数 (100床あたり)	2,464,648人 (431.8)	2,537,523人 (443.3)	2,622,805人 (441.8)	2,633,266人 (439.3)	2,634,540人 (437.1)※	
S. aureus	305,116人 (12.38%)	311,251人 (12.27%)	320,112人 (12.20%)	323,417人 (12.28%)	323,942人 (12.30%)	0.00 12.78 51.02
S. epidermidis	89,094人 (3.61%)	88,844人 (3.50%)	92,045人 (3.51%)	91,007人 (3.46%)	90,392人 (3.43%)	0.00 2.26 26.51
S. pneumoniae	17,435人 (0.71%)	15,113人 (0.60%)	17,882人 (0.68%)	18,281人 (0.69%)	18,454人 (0.70%)	0.00 0.45 10.75
E. faecalis	135,511人 (5.50%)	138,061人 (5.44%)	144,827人 (5.52%)	146,062人 (5.55%)	150,021人 (5.69%)	0.00 5.34 31.90
E. faecium	59,134人 (2.40%)	61,388人 (2.42%)	65,389人 (2.49%)	68,258人 (2.59%)	70,644人 (2.68%)	0.00 2.29 13.21
E. coli	347,408人 (14.10%)	355,476人 (14.01%)	371,990人 (14.18%)	375,775人 (14.27%)	379,265人 (14.40%)	1.46 15.66 54.22
K. pneumoniae	154,979人 (6.29%)	165,034人 (6.50%)	181,655人 (6.93%)	190,289人 (7.23%)	194,522人 (7.38%)	0.00 7.82 32.44
E. cloacae complex	62,820人 (2.55%)	64,885人 (2.56%)	70,710人 (2.70%)	72,433人 (2.75%)	72,270人 (2.74%)	0.00 2.58 11.08
K. aerogenes	33,181人 (1.35%)	35,712人 (1.41%)	37,920人 (1.45%)	38,947人 (1.48%)	38,969人 (1.48%)	0.00 1.36 7.14
Enterobacterales	656,553人 (26.64%)	679,970人 (26.80%)	721,876人 (27.52%)	736,386人 (27.96%)	744,565人 (28.26%)	6.29 30.83 76.15
P. aeruginosa	161,762人 (6.56%)	166,936人 (6.58%)	178,528人 (6.81%)	186,123人 (7.07%)	190,440人 (7.23%)	0.00 6.78 58.94
Acinetobacter spp.	22,253人 (0.90%)	21,482人 (0.85%)	23,379人 (0.89%)	23,166人 (0.88%)	22,740人 (0.86%)	0.00 0.66 15.46

入院として報告された検体を集計

*分離患者数と検体提出患者数は30日ごとに重複処理(巻末参照)が行われている

† ここでは全医療機関は集計対象医療機関を表す

‡ ここでの分離率は全体の分離率を表す

全体の分離率

= (集計対象医療機関の対象菌の分離患者数合計) ÷ (集計対象医療機関の検体提出患者数合計) ×100

¶分離率 = (対象菌の分離患者数) ÷ (検体提出患者数) ×100

※病床数が登録されている医療機関のみが対象

本公表データは国内の全医療機関の数値を集計したデータではありません。
データ集計日　：　2026年05月08日
公開情報掲載日：　2026年08月17日

5. 特定の耐性菌分離患者数*と全医療機関†の分離率分布

	2021年 患者数 (分離率‡)	2022年 患者数 (分離率‡)	2023年 患者数 (分離率‡)	2024年 患者数 (分離率‡)	2025年 患者数 (分離率‡)	集計対象医療機関の分離率¶(%)の分布
検体提出患者数 (100床あたり)	2,464,648人 (431.8)	2,537,523人 (443.3)	2,622,805人 (441.8)	2,633,266人 (439.3)	2,634,540人 (437.1)※	
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)	135,984人 (5.52%)	135,670人 (5.35%)	139,030人 (5.30%)	139,376人 (5.29%)	139,692人 (5.30%)	0.00 5.38 43.54
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌(VRSA)	0人 (0.00%)	0人 (0.00%)	0人 (0.00%)	0人 (0.00%)	0人 (0.00%)	0.00
バンコマイシン耐性腸球菌(VRE)	1,379人 (0.06%)	1,699人 (0.07%)	1,440人 (0.05%)	1,711人 (0.06%)	1,180人 (0.04%)	0.00 0.00 4.10
ペニシリン耐性肺炎球菌(PRSP)	7,117人 (0.29%)	6,576人 (0.26%)	7,769人 (0.30%)	7,413人 (0.28%)	864人 (0.03%)	0.00 0.00 3.75
多剤耐性緑膿菌(MDRP)	700人 (0.03%)	618人 (0.02%)	525人 (0.02%)	503人 (0.02%)	599人 (0.02%)	0.00 0.00 1.63
多剤耐性アシネトバクター属(MDRA)	93人 (0.00%)	95人 (0.00%)	44人 (0.00%)	26人 (0.00%)	22人 (0.00%)	0.00 0.00 0.63
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌(CRE)	8,580人 (0.35%)	8,748人 (0.34%)	9,110人 (0.35%)	9,348人 (0.35%)	2,394人 (0.09%)	0.00 0.00 4.56
カルバペネム耐性緑膿菌	17,767人 (0.72%)	17,291人 (0.68%)	17,262人 (0.66%)	17,134人 (0.65%)	21,838人 (0.83%)	0.00 0.60 20.00
第三世代セファロスポリン耐性肺炎桿菌	17,248人 (0.70%)	19,761人 (0.78%)	24,073人 (0.92%)	27,201人 (1.03%)	29,777人 (1.13%)	0.00 0.72 17.93
第三世代セファロスポリン耐性大腸菌	80,274人 (3.26%)	82,887人 (3.27%)	87,645人 (3.34%)	92,315人 (3.51%)	95,021人 (3.61%)	0.00 3.43 40.99
フルオロキノロン耐性大腸菌	114,241人 (4.64%)	117,333人 (4.62%)	118,712人 (4.53%)	117,795人 (4.47%)	116,849人 (4.44%)	0.00 4.53 38.16

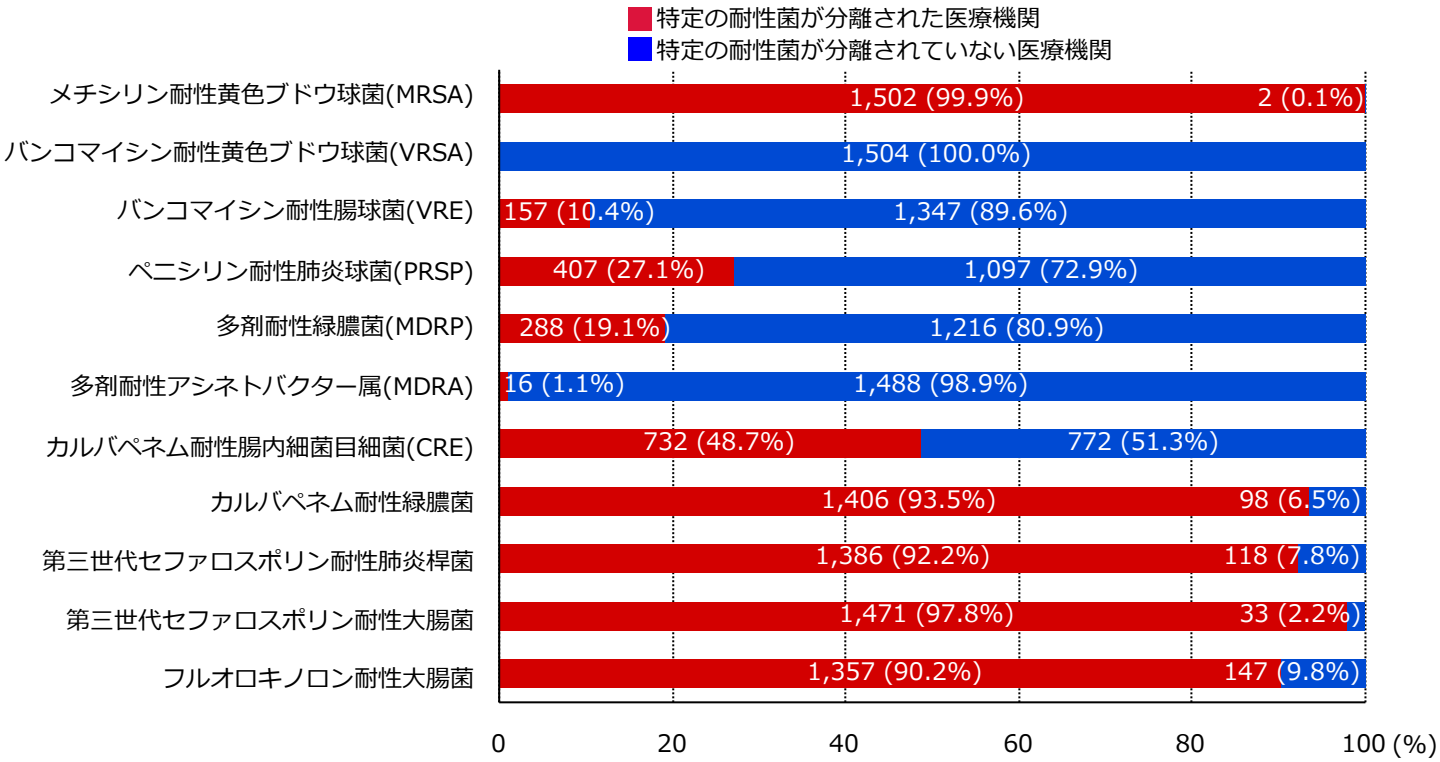
入院検体でかつ、検査法が原則微量液体希釈法又はEtestと設定されたMIC値が報告されている検体を集計
MRSAとVREは検査法によらず菌名コードで指定された場合はそれらを含む
*分離患者数と検体提出患者数は30日ごとに重複処理(巻末参照)が行われている
† ここでは全医療機関は集計対象医療機関を表す
‡ ここでの分離率は全体の分離率を表す
全体の分離率
= (集計対象医療機関の対象菌の分離患者数合計) ÷ (集計対象医療機関の検体提出患者数合計) ×100
¶分離率 = (対象菌の分離患者数) ÷ (検体提出患者数) ×100
※病床数が登録されている医療機関のみが対象

本公表データは国内の全医療機関の数値を集計したデータではありません。　データ集計日　：　2026年05月08日
公開情報掲載日：　2026年08月17日

Japan Nosocomial Infections Surveillance

6. 特定の耐性菌が分離された医療機関の割合

2025年 特定の耐性菌が分離された医療機関の割合 (N=1,504)



特定の耐性菌が分離された医療機関の割合 (過去5年間)

	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年
集計対象医療機関数	1,378	1,386	1,455	1,480	1,504
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)	99.9%	100.0%	99.9%	100.0%	99.9%
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌(VRSA)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
バンコマイシン耐性腸球菌(VRE)	12.4%	11.6%	11.3%	12.4%	10.4%
ペニシリン耐性肺炎球菌(PRSP)	69.8%	71.9%	73.1%	71.6%	27.1%
多剤耐性緑膿菌(MDRP)	22.4%	19.7%	17.1%	15.7%	19.1%
多剤耐性アシネトバクター属(MDRA)	1.2%	1.5%	1.0%	1.0%	1.1%
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌(CRE)	68.9%	70.1%	67.3%	66.0%	48.7%
カルバペネム耐性緑膿菌	91.4%	91.9%	90.3%	90.5%	93.5%
第三世代セファロスポリン耐性肺炎桿菌	86.2%	89.6%	90.0%	90.9%	92.2%
第三世代セファロスポリン耐性大腸菌	97.4%	97.8%	98.2%	98.0%	97.8%
フルオロキノロン耐性大腸菌	97.5%	98.0%	96.6%	91.3%	90.2%

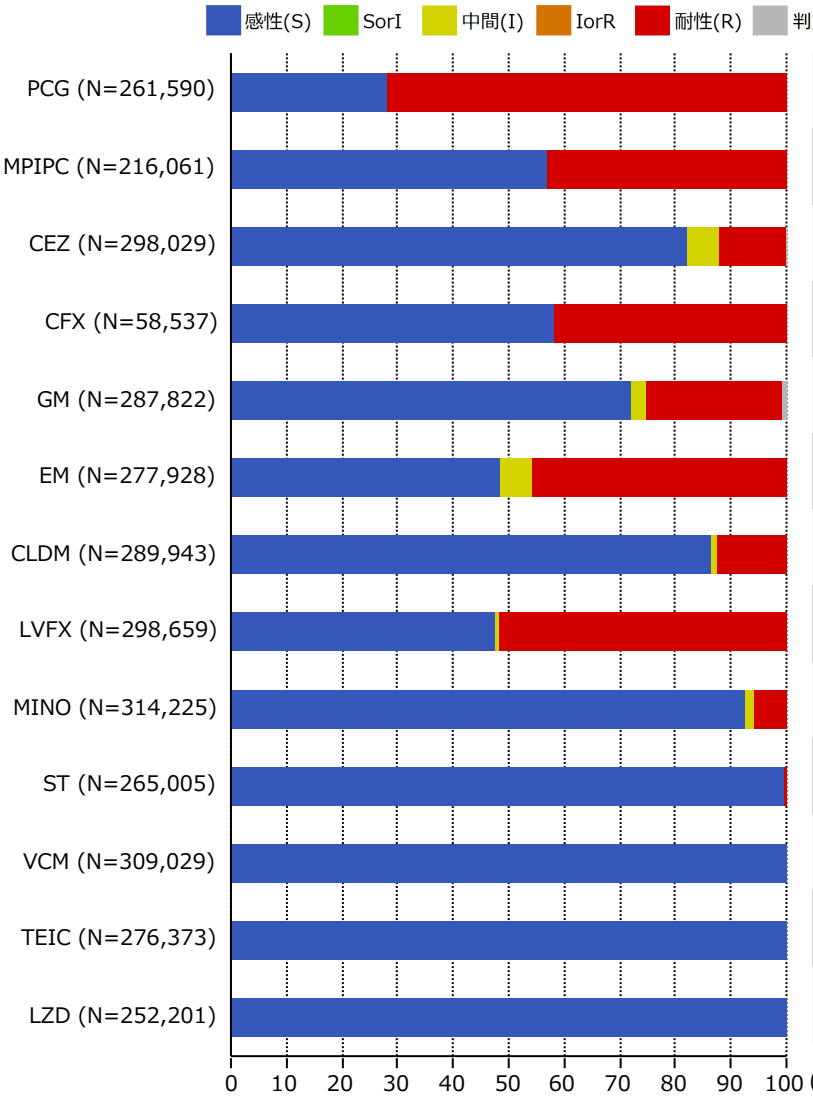
耐性菌判定薬剤(巻末資料参照)が未検査の場合、分離されていない医療機関として集計
入院検体でかつ、検査法が原則微量液体希釈法又はEtestと設定されたMIC値が報告されている検体を集計
MRSAとVREは検査法によらず菌名コードで指定された場合はそれらを含む
特定の耐性菌が検出された集計対象医療機関の割合
＝（特定の耐性菌が1株でも報告された医療機関数）÷（集計対象医療機関数）

本公表データは国内の全医療機関の数値を集計したデータではありません。　データ集計日　：　2026年05月08日
公開情報掲載日：　2026年08月17日

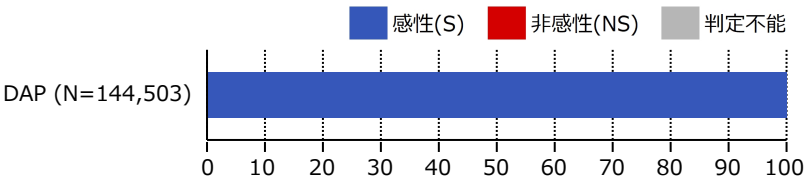
Japan Nosocomial Infections Surveillance

7. 主要菌の抗菌薬感受性*

Staphylococcus aureus (ALL) †



	感性(S)	SorI	中間(I)	IorR	耐性(R)	判定不能
PCG (N=261,590)	73,624 (28.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	187,963 (71.9%)	3 (0.0%)
MPIPC (N=216,061)	122,710 (56.8%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	93,266 (43.2%)	85 (0.0%)
CEZ (N=298,029)	244,596 (82.1%)	0 (0.0%)	17,182 (5.8%)	37 (0.0%)	36,032 (12.1%)	182 (0.1%)
CFX (N=58,537)	33,961 (58.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	24,575 (42.0%)	1 (0.0%)
GM (N=287,822)	207,325 (72.0%)	0 (0.0%)	7,813 (2.7%)	87 (0.0%)	70,118 (24.4%)	2,479 (0.9%)
EM (N=277,928)	134,514 (48.4%)	0 (0.0%)	15,959 (5.7%)	92 (0.0%)	127,363 (45.8%)	0 (0.0%)
CLDM (N=289,943)	250,332 (86.3%)	1 (0.0%)	2,917 (1.0%)	57 (0.0%)	36,601 (12.6%)	35 (0.0%)
LVFX (N=298,659)	142,018 (47.6%)	0 (0.0%)	1,780 (0.6%)	50 (0.0%)	154,810 (51.8%)	1 (0.0%)
MINO (N=314,225)	290,653 (92.5%)	0 (0.0%)	4,790 (1.5%)	16 (0.0%)	18,766 (6.0%)	0 (0.0%)
ST (N=265,005)	263,649 (99.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1,349 (0.5%)	7 (0.0%)
VCM (N=309,029)	309,019 (100%)	0 (0.0%)	10 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
TEIC (N=276,373)	276,350 (100%)	0 (0.0%)	4 (0.0%)	0 (0.0%)	6 (0.0%)	13 (0.0%)
LZD (N=252,201)	252,172 (100%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	29 (0.0%)	0 (0.0%)



	感性(S)	非感性(NS)	判定不能
DAP (N=144,503)	144,303 (99.9%)	200 (0.1%)	0 (0.0%)

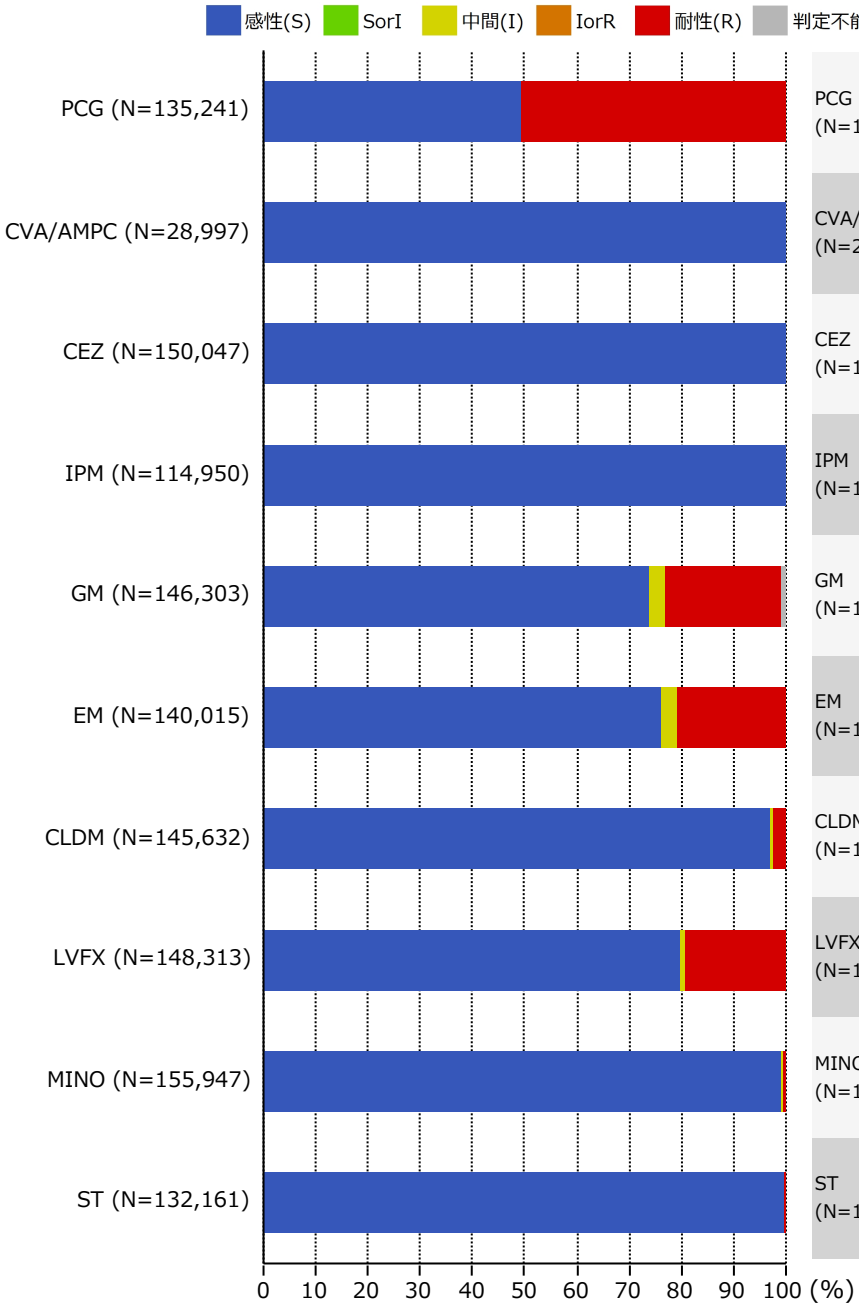
入院検体で、かつ検査法が微量液体希釈法又はEtestと設定されMIC値が報告されている検体を集計
30日単位で、抗菌薬感受性の違いも考慮して菌株数を集計する重複処理(巻末資料)が行われている
* S,I,RまたはS,NSの判定はCLSI 2012 (M100-S22) に準拠
† 菌名コード：1301, 1303～1306と報告された菌
集計株数が30株未満の場合には、集計結果を公表しない

本公表データは国内の全医療機関の数値を集計したデータではありません。 データ集計日 ： 2026年05月08日
公開情報掲載日： 2026年08月17日

Japan Nosocomial Infections Surveillance

7. 主要菌の抗菌薬感受性*

Staphylococcus aureus (MSSA) †



	感性(S)	SorI	中間(I)	IorR	耐性(R)	判定不能
PCG (N=135,241)	66,864 (49.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	68,374 (50.6%)	3 (0.0%)
CVA/AMPC (N=28,997)	28,977 (99.9%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	20 (0.1%)	0 (0.0%)
CEZ (N=150,047)	149,964 (99.9%)	0 (0.0%)	40 (0.0%)	1 (0.0%)	42 (0.0%)	0 (0.0%)
IPM (N=114,950)	114,911 (100%)	0 (0.0%)	13 (0.0%)	0 (0.0%)	26 (0.0%)	0 (0.0%)
GM (N=146,303)	107,884 (73.7%)	0 (0.0%)	4,293 (2.9%)	36 (0.0%)	32,581 (22.3%)	1,509 (1.0%)
EM (N=140,015)	106,397 (76.0%)	0 (0.0%)	4,337 (3.1%)	6 (0.0%)	29,275 (20.9%)	0 (0.0%)
CLDM (N=145,632)	141,179 (96.9%)	1 (0.0%)	676 (0.5%)	1 (0.0%)	3,762 (2.6%)	13 (0.0%)
LVFX (N=148,313)	118,156 (79.7%)	0 (0.0%)	1,325 (0.9%)	16 (0.0%)	28,816 (19.4%)	0 (0.0%)
MINO (N=155,947)	154,550 (99.1%)	0 (0.0%)	330 (0.2%)	0 (0.0%)	1,067 (0.7%)	0 (0.0%)
ST (N=132,161)	131,731 (99.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	428 (0.3%)	2 (0.0%)

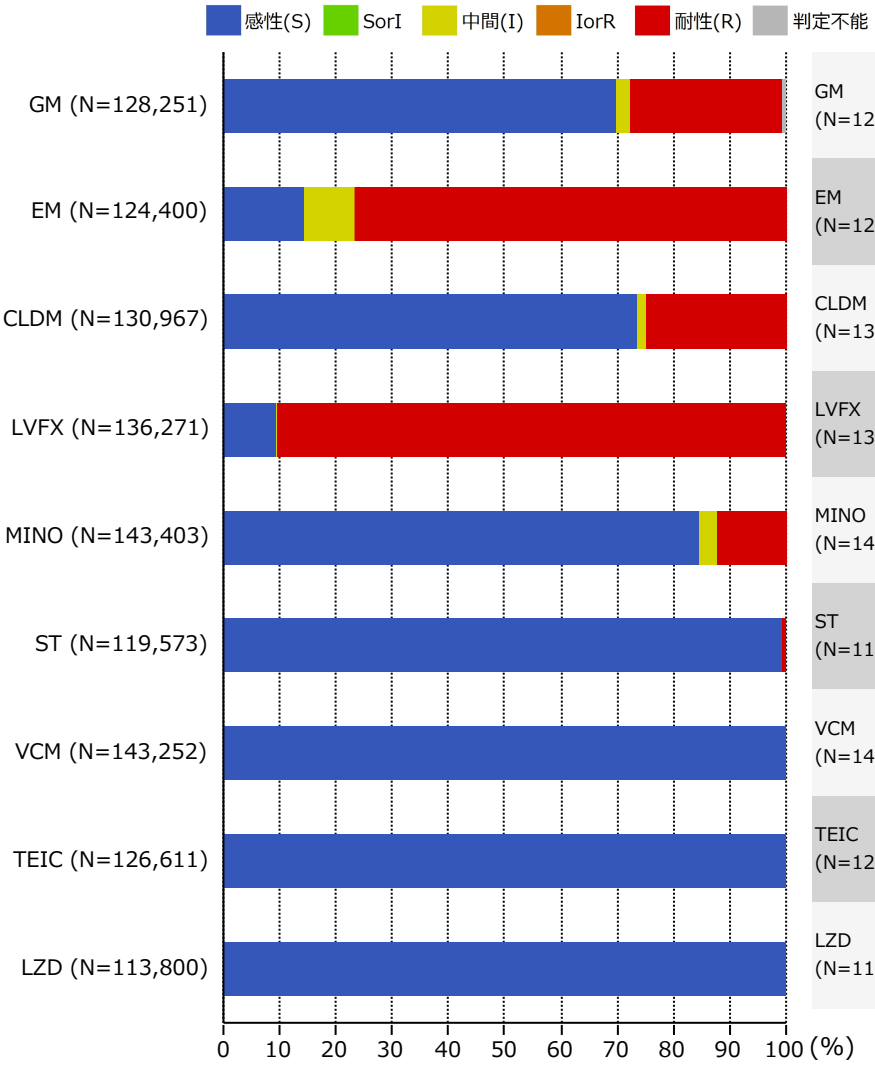
入院検体で、かつ検査法が微量液体希釈法又はEtestと設定されMIC値が報告されている検体を集計
30日単位で、抗菌薬感受性の違いも考慮して菌株数を集計する重複処理(巻末資料)が行われている
* S,I,Rの判定はCLSI 2012 (M100-S22）に準拠
† 菌名コード：1304, 1305, 1306と報告された菌、または菌名コード：1301と報告され抗菌薬コード：1208(オキサシリン)および抗菌薬コード：1606(セフォキシチン)の感受性結果「S」の菌(一方が「S」で他方が未測定の場合を含む)
集計株数が30株未満の場合には、集計結果を公表しない

本公表データは国内の全医療機関の数値を集計したデータではありません。 データ集計日 ： 2026年05月08日
公開情報掲載日： 2026年08月17日

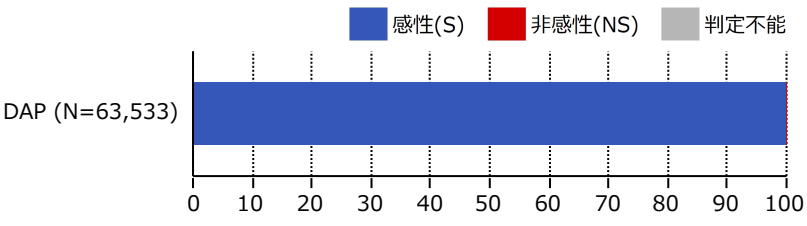
Japan Nosocomial Infections Surveillance

7. 主要菌の抗菌薬感受性*

Staphylococcus aureus (MRSA) †



	感性(S)	SorI	中間(I)	IorR	耐性(R)	判定不能
GM (N=128,251)	89,433 (69.7%)	0 (0.0%)	3,127 (2.4%)	37 (0.0%)	34,684 (27.0%)	970 (0.8%)
EM (N=124,400)	17,740 (14.3%)	0 (0.0%)	11,191 (9.0%)	77 (0.1%)	95,392 (76.7%)	0 (0.0%)
CLDM (N=130,967)	96,124 (73.4%)	0 (0.0%)	2,171 (1.7%)	45 (0.0%)	32,605 (24.9%)	22 (0.0%)
LVFX (N=136,271)	12,774 (9.4%)	0 (0.0%)	332 (0.2%)	34 (0.0%)	123,130 (90.4%)	1 (0.0%)
MINO (N=143,403)	121,374 (84.6%)	0 (0.0%)	4,418 (3.1%)	15 (0.0%)	17,596 (12.3%)	0 (0.0%)
ST (N=119,573)	118,688 (99.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	880 (0.7%)	5 (0.0%)
VCM (N=143,252)	143,244 (100%)	0 (0.0%)	8 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
TEIC (N=126,611)	126,594 (100%)	0 (0.0%)	2 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (0.0%)	13 (0.0%)
LZD (N=113,800)	113,782 (100%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	18 (0.0%)	0 (0.0%)



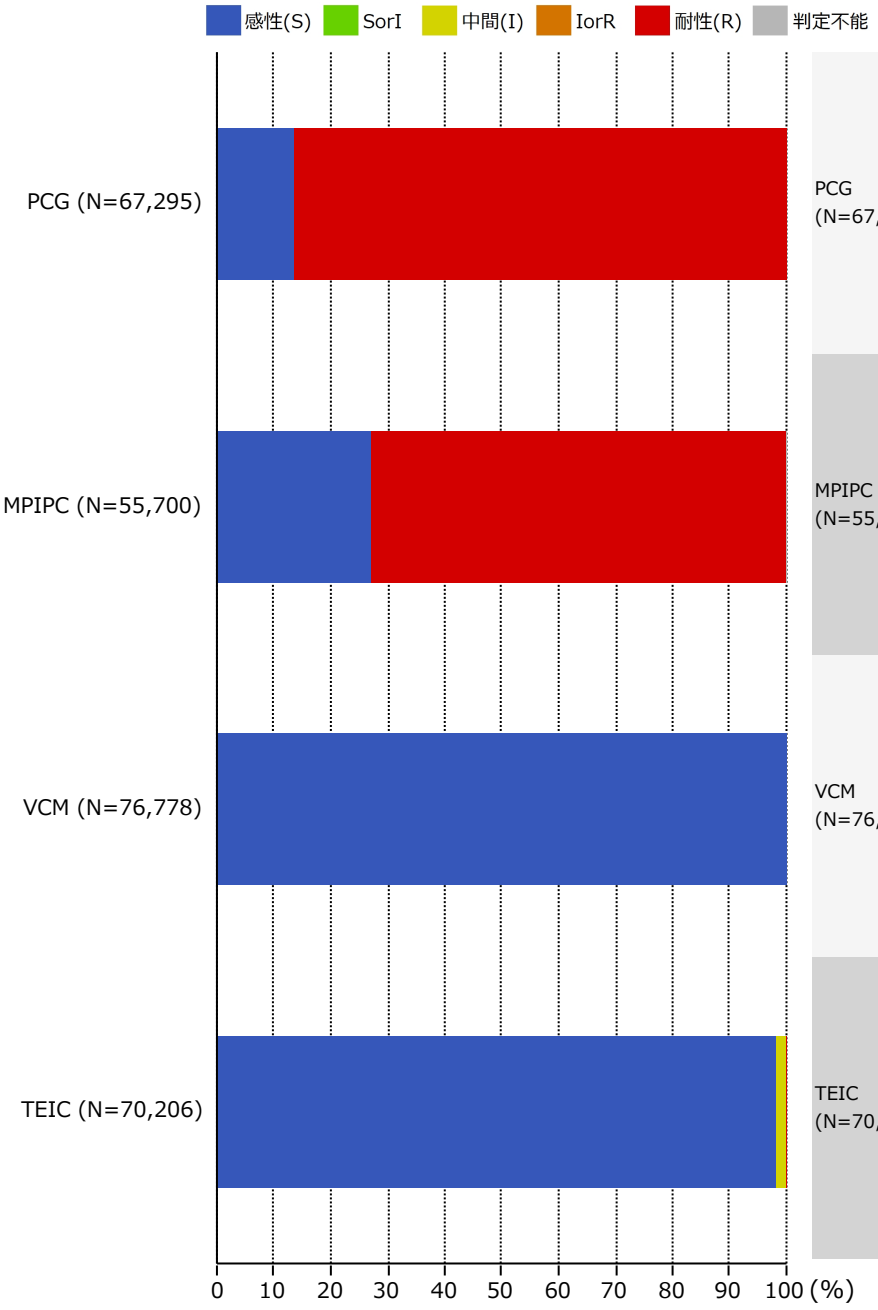
	感性(S)	非感性(NS)	判定不能
DAP (N=63,533)	63,385 (99.8%)	148 (0.2%)	0 (0.0%)

入院検体で、かつ検査法が微量液体希釈法又はEtestと設定されMIC値が報告されている検体を集計
30日単位で、抗菌薬感受性の違いも考慮して菌株数を集計する重複処理(巻末資料)が行われている
* S,I,RまたはS,NSの判定はCLSI 2012 (M100-S22) に準拠
† 菌名コード：1303と報告された菌、または菌名コード：1301と報告され抗菌薬コード：1208(オキサシリン)または抗菌薬コード：1606(セフォキシチン)の感受性結果「R」の菌
集計株数が30株未満の場合には、集計結果を公表しない

本公表データは国内の全医療機関の数値を集計したデータではありません。 データ集計日 ： 2026年05月08日
公開情報掲載日： 2026年08月17日

7. 主要菌の抗菌薬感受性*

Staphylococcus epidermidis †



	感性(S)	SorI	中間(I)	IorR	耐性(R)	判定不能
PCG (N=67,295)	9,093 (13.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	58,202 (86.5%)	0 (0.0%)
MPIPC (N=55,700)	15,119 (27.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	40,512 (72.7%)	69 (0.1%)
VCM (N=76,778)	76,772 (100%)	0 (0.0%)	4 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (0.0%)	0 (0.0%)
TEIC (N=70,206)	68,834 (98.0%)	0 (0.0%)	1,241 (1.8%)	0 (0.0%)	131 (0.2%)	0 (0.0%)

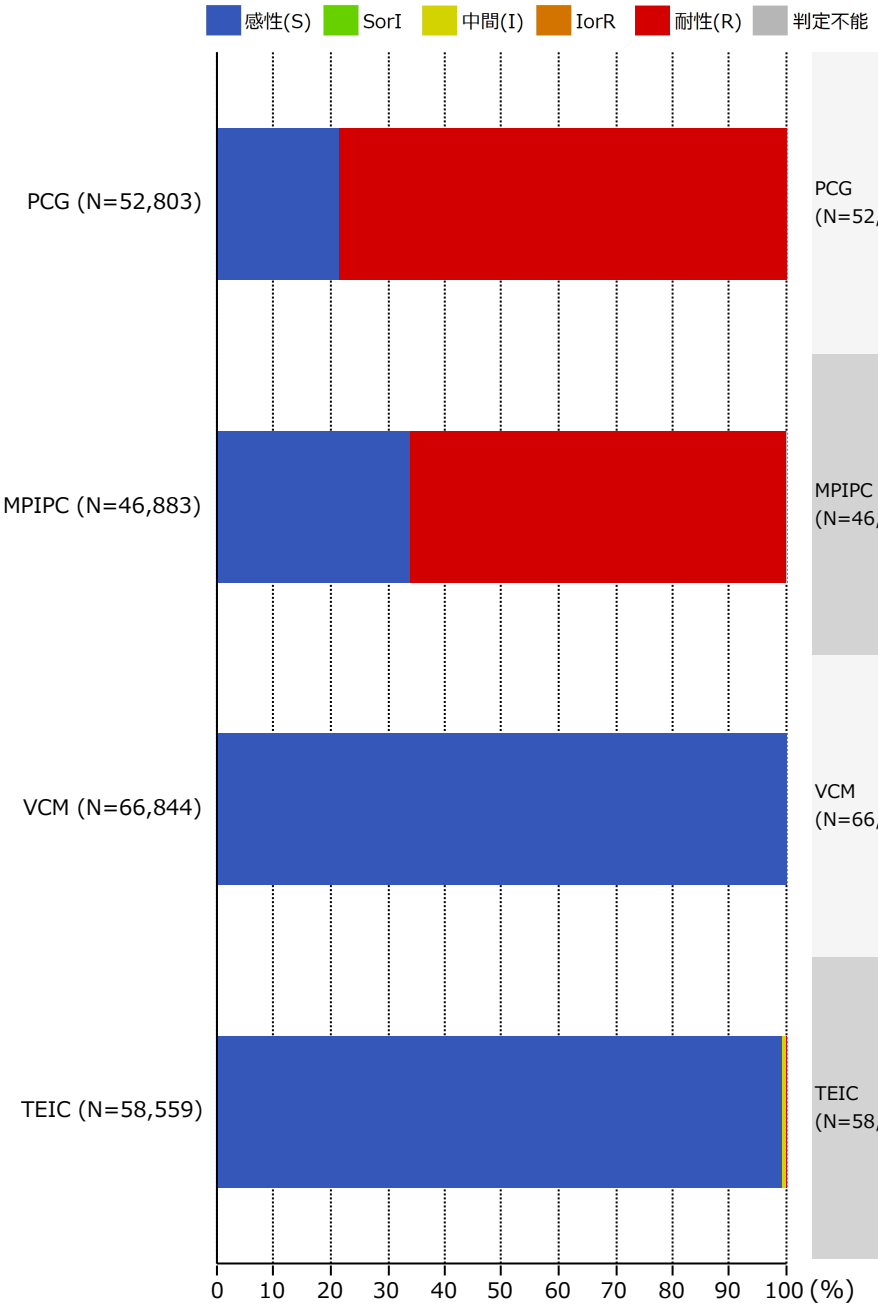
入院検体で、かつ検査法が微量液体希釈法又はEtestと設定されMIC値が報告されている検体を集計
30日単位で、抗菌薬感受性の違いも考慮して菌株数を集計する重複処理(巻末資料)が行われている
* S,I,Rの判定はCLSI 2012 (M100-S22）に準拠
† 菌名コード：1312と報告された菌
集計株数が30株未満の場合には、集計結果を公表しない

本公表データは国内の全医療機関の数値を集計したデータではありません。 データ集計日 ： 2026年05月08日
公開情報掲載日： 2026年08月17日

Japan Nosocomial Infections Surveillance

7. 主要菌の抗菌薬感受性*

Coagulase-negative staphylococci (CNS) †



	感性(S)	SorI	中間(I)	IorR	耐性(R)	判定不能
PCG (N=52,803)	11,348 (21.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	41,451 (78.5%)	4 (0.0%)
MPIPC (N=46,883)	15,904 (33.9%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	30,876 (65.9%)	103 (0.2%)
VCM (N=66,844)	66,827 (100%)	0 (0.0%)	6 (0.0%)	0 (0.0%)	6 (0.0%)	5 (0.0%)
TEIC (N=58,559)	58,028 (99.1%)	0 (0.0%)	399 (0.7%)	2 (0.0%)	115 (0.2%)	15 (0.0%)

入院検体で、かつ検査法が微量液体希釈法又はEtestと設定されMIC値が報告されている検体を集計
30日単位で、抗菌薬感受性の違いも考慮して菌株数を集計する重複処理(巻末資料)が行われている
* S,I,Rの判定はCLSI 2012 (M100-S22）に準拠
† 菌名コード：1311, 1313～1325と報告された菌(1312：*Staphylococcus epidermidis*は対象外)
集計株数が30株未満の場合には、集計結果を公表しない

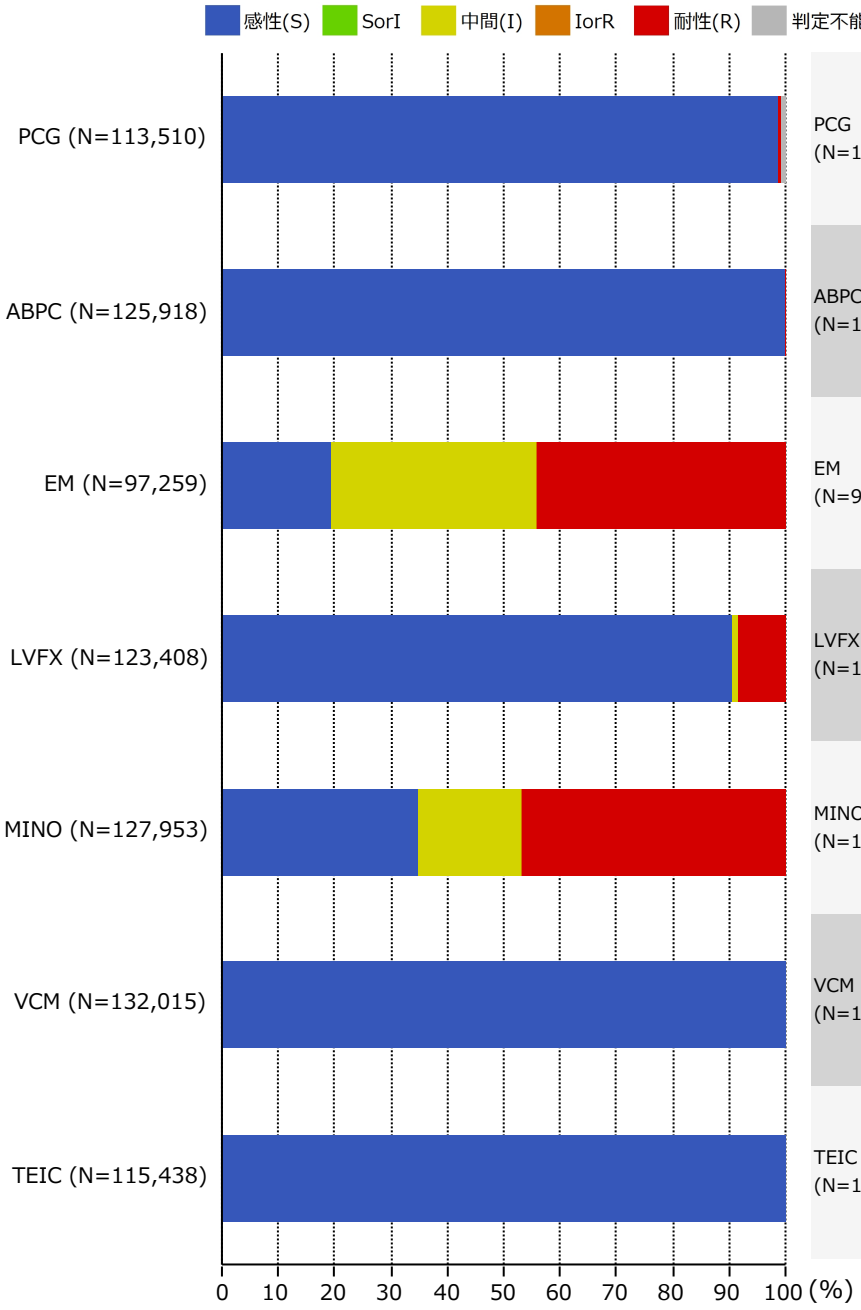
本公表データは国内の全医療機関の数値を集計したデータではありません。 データ集計日 ： 2026年05月08日
公開情報掲載日： 2026年08月17日

Japan Nosocomial Infections Surveillance

JANIS

7. 主要菌の抗菌薬感受性*

Enterococcus faecalis †



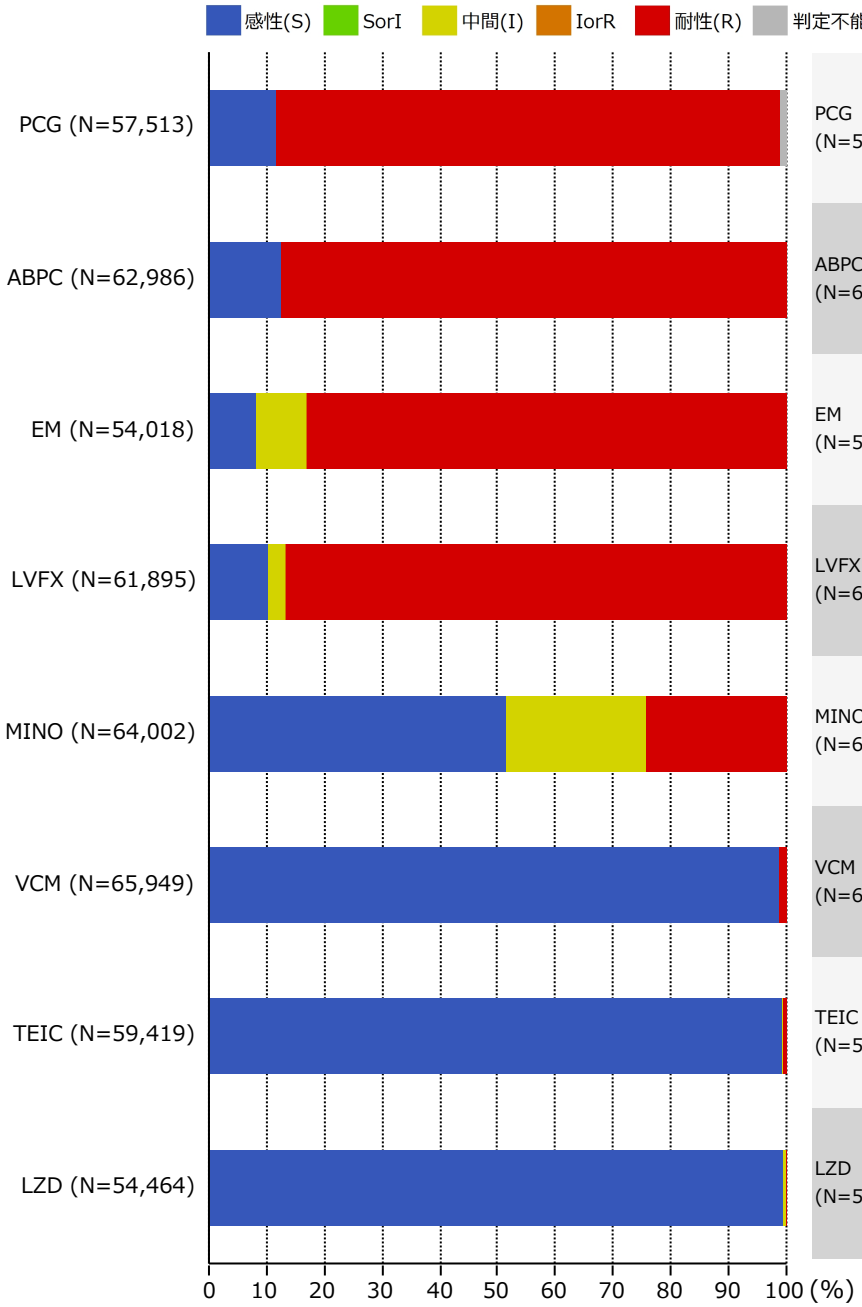
	感性(S)	SorI	中間(I)	IorR	耐性(R)	判定不能
PCG (N=113,510)	111,781 (98.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	820 (0.7%)	909 (0.8%)
ABPC (N=125,918)	125,755 (99.9%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	162 (0.1%)	1 (0.0%)
EM (N=97,259)	18,975 (19.5%)	0 (0.0%)	35,171 (36.2%)	134 (0.1%)	42,978 (44.2%)	1 (0.0%)
LVFX (N=123,408)	111,647 (90.5%)	0 (0.0%)	1,131 (0.9%)	11 (0.0%)	10,617 (8.6%)	2 (0.0%)
MINO (N=127,953)	44,585 (34.8%)	0 (0.0%)	23,328 (18.2%)	118 (0.1%)	59,920 (46.8%)	2 (0.0%)
VCM (N=132,015)	131,995 (100%)	0 (0.0%)	7 (0.0%)	0 (0.0%)	13 (0.0%)	0 (0.0%)
TEIC (N=115,438)	115,419 (100%)	0 (0.0%)	2 (0.0%)	0 (0.0%)	16 (0.0%)	1 (0.0%)

入院検体で、かつ検査法が微量液体希釈法又はEtestと設定されMIC値が報告されている検体を集計
30日単位で、抗菌薬感受性の違いも考慮して菌株数を集計する重複処理(巻末資料)が行われている
* S,I,Rの判定はCLSI 2012 (M100-S22）に準拠
† 菌名コード：1201, 1202と報告された菌
集計株数が30株未満の場合には、集計結果を公表しない

本公表データは国内の全医療機関の数値を集計したデータではありません。
データ集計日 ： 2026年05月08日
公開情報掲載日： 2026年08月17日

7. 主要菌の抗菌薬感受性*

Enterococcus faecium †



	感性(S)	SorI	中間(I)	IorR	耐性(R)	判定不能
PCG (N=57,513)	6,746 (11.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	50,078 (87.1%)	689 (1.2%)
ABPC (N=62,986)	7,813 (12.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	55,148 (87.6%)	25 (0.0%)
EM (N=54,018)	4,429 (8.2%)	0 (0.0%)	4,706 (8.7%)	70 (0.1%)	44,813 (83.0%)	0 (0.0%)
LVFX (N=61,895)	6,359 (10.3%)	0 (0.0%)	1,775 (2.9%)	62 (0.1%)	53,699 (86.8%)	0 (0.0%)
MINO (N=64,002)	32,912 (51.4%)	0 (0.0%)	15,425 (24.1%)	28 (0.0%)	15,637 (24.4%)	0 (0.0%)
VCM (N=65,949)	65,052 (98.6%)	0 (0.0%)	40 (0.1%)	2 (0.0%)	855 (1.3%)	0 (0.0%)
TEIC (N=59,419)	58,963 (99.2%)	0 (0.0%)	33 (0.1%)	1 (0.0%)	422 (0.7%)	0 (0.0%)
LZD (N=54,464)	54,115 (99.4%)	0 (0.0%)	319 (0.6%)	0 (0.0%)	30 (0.1%)	0 (0.0%)

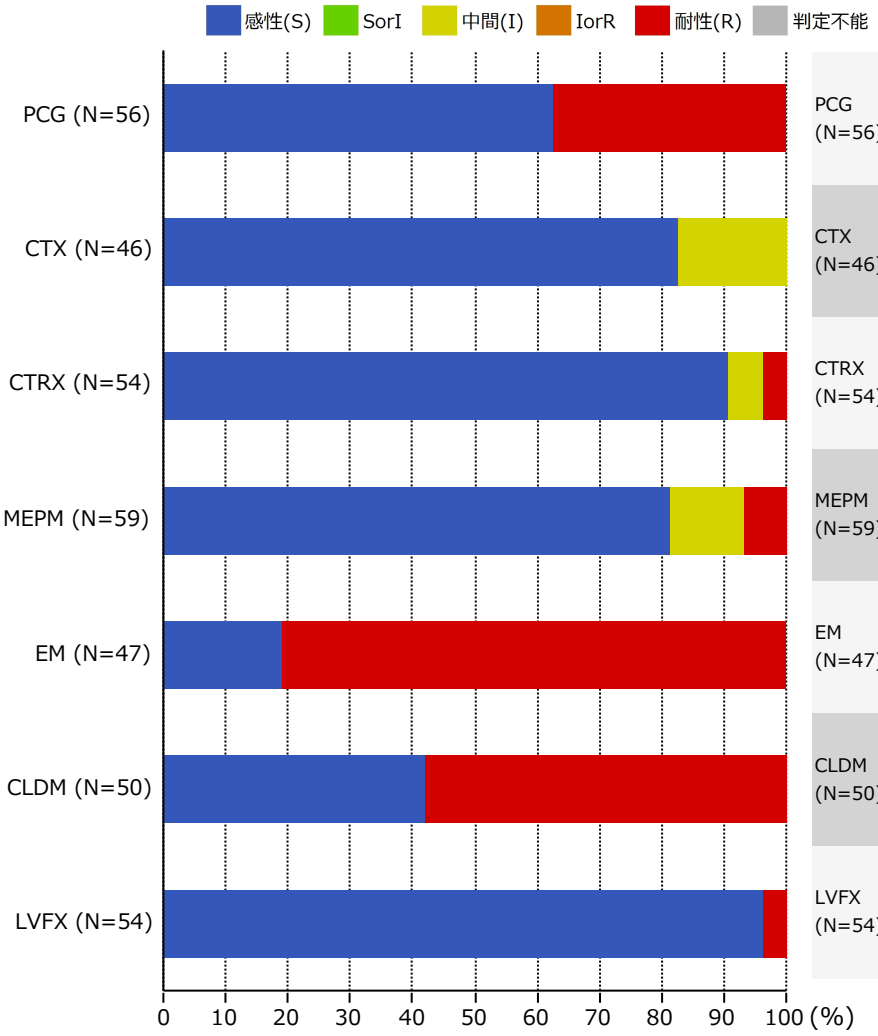
入院検体で、かつ検査法が微量液体希釈法又はEtestと設定されMIC値が報告されている検体を集計
30日単位で、抗菌薬感受性の違いも考慮して菌株数を集計する重複処理(巻末資料)が行われている
* S,I,Rの判定はCLSI 2012 (M100-S22）に準拠
† 菌名コード：1205, 1206と報告された菌
集計株数が30株未満の場合には、集計結果を公表しない

本公表データは国内の全医療機関の数値を集計したデータではありません。
データ集計日 ： 2026年05月08日
公開情報掲載日： 2026年08月17日

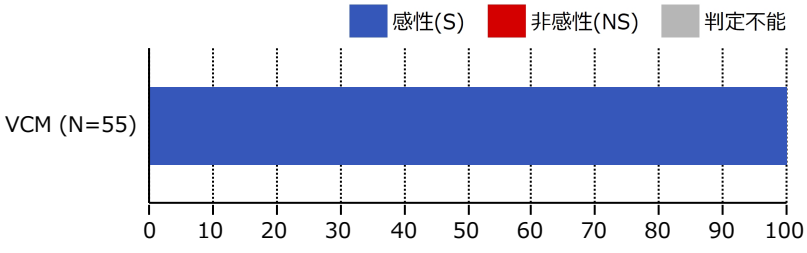
Japan Nosocomial Infections Surveillance

7. 主要菌の抗菌薬感受性*

Streptococcus pneumoniae(髄液検体) †



	感性(S)	SorI	中間(I)	IorR	耐性(R)	判定不能
PCG (N=56)	35 (62.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	21 (37.5%)	0 (0.0%)
CTX (N=46)	38 (82.6%)	0 (0.0%)	8 (17.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
CTRX (N=54)	49 (90.7%)	0 (0.0%)	3 (5.6%)	0 (0.0%)	2 (3.7%)	0 (0.0%)
MEPM (N=59)	48 (81.4%)	0 (0.0%)	7 (11.9%)	0 (0.0%)	4 (6.8%)	0 (0.0%)
EM (N=47)	9 (19.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	38 (80.9%)	0 (0.0%)
CLDM (N=50)	21 (42.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	29 (58.0%)	0 (0.0%)
LVFX (N=54)	52 (96.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (3.7%)	0 (0.0%)



	感性(S)	非感性(NS)	判定不能
VCM (N=55)	55 (100%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)

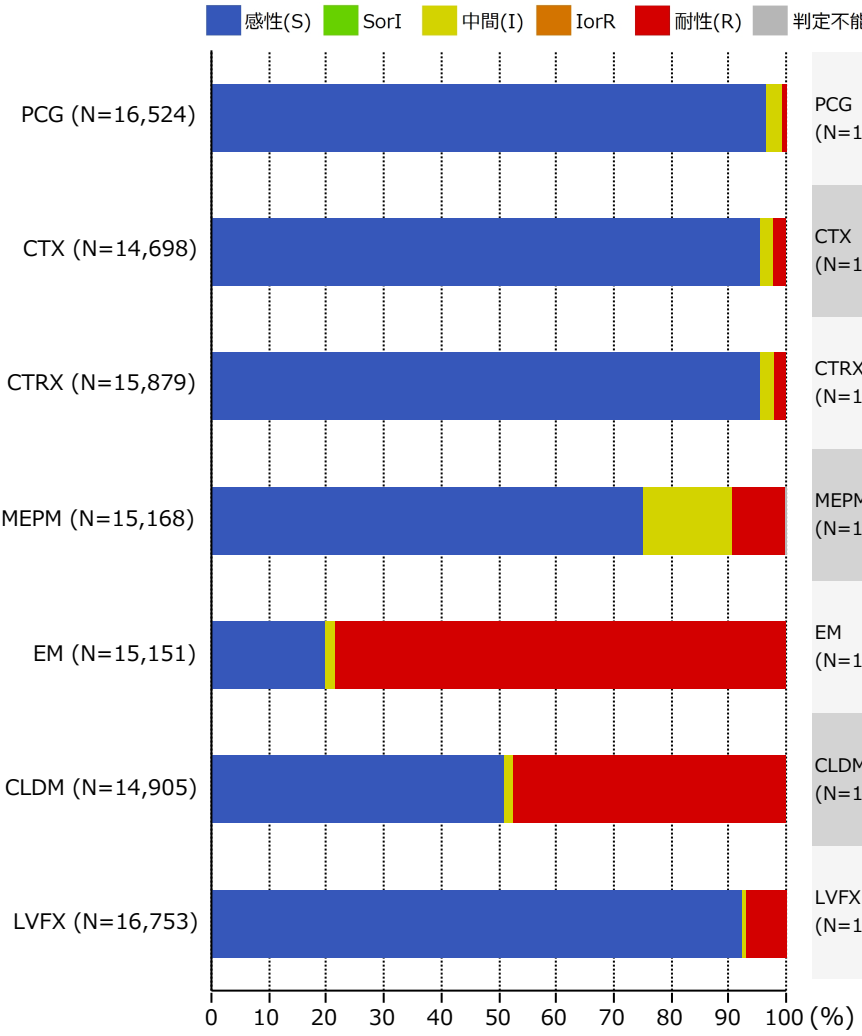
入院検体で、かつ検査法が微量液体希釈法又はEtestと設定されMIC値が報告されている検体を集計
30日単位で、抗菌薬感受性の違いも考慮して菌株数を集計する重複処理(巻末資料)が行われている
* S,I,RまたはS,NSの判定はCLSI 2012 (M100-S22) に準拠
† 菌名コード：1131と報告された菌
集計株数が30株未満の場合には、集計結果を公表しない

本公表データは国内の全医療機関の数値を集計したデータではありません。 データ集計日 ： 2026年05月08日
公開情報掲載日： 2026年08月17日

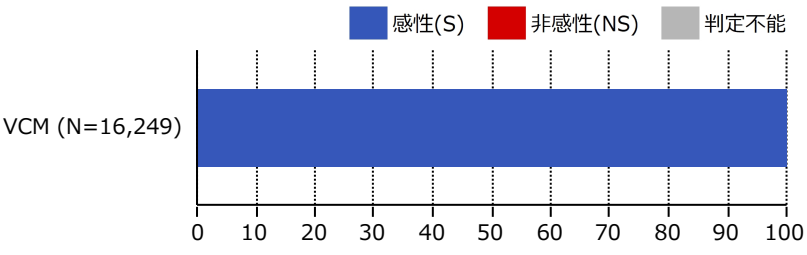
Japan Nosocomial Infections Surveillance

7. 主要菌の抗菌薬感受性*

Streptococcus pneumoniae(髄液検体以外) †



	感性(S)	SorI	中間(I)	IorR	耐性(R)	判定不能
PCG (N=16,524)	15,923 (96.4%)	0 (0.0%)	478 (2.9%)	0 (0.0%)	123 (0.7%)	0 (0.0%)
CTX (N=14,698)	14,036 (95.5%)	0 (0.0%)	310 (2.1%)	0 (0.0%)	352 (2.4%)	0 (0.0%)
CTRX (N=15,879)	15,145 (95.4%)	0 (0.0%)	389 (2.4%)	0 (0.0%)	344 (2.2%)	1 (0.0%)
MEPM (N=15,168)	11,375 (75.0%)	0 (0.0%)	2,365 (15.6%)	0 (0.0%)	1,400 (9.2%)	28 (0.2%)
EM (N=15,151)	3,007 (19.8%)	0 (0.0%)	258 (1.7%)	8 (0.1%)	11,878 (78.4%)	0 (0.0%)
CLDM (N=14,905)	7,600 (51.0%)	6 (0.0%)	219 (1.5%)	2 (0.0%)	7,078 (47.5%)	0 (0.0%)
LVFX (N=16,753)	15,460 (92.3%)	0 (0.0%)	120 (0.7%)	1 (0.0%)	1,172 (7.0%)	0 (0.0%)



	感性(S)	非感性(NS)	判定不能
VCM (N=16,249)	16,248 (100%)	0 (0.0%)	1 (0.0%)

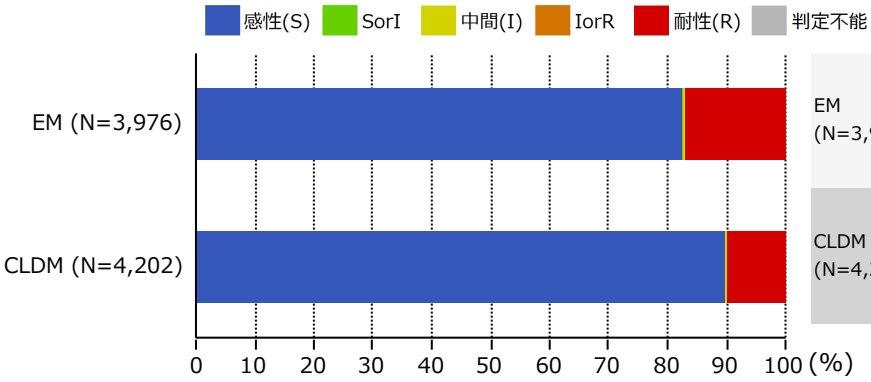
入院検体で、かつ検査法が微量液体希釈法又はEtestと設定されMIC値が報告されている検体を集計
30日単位で、抗菌薬感受性の違いも考慮して菌株数を集計する重複処理(巻末資料)が行われている
* S,I,RまたはS,NSの判定はCLSI 2012 (M100-S22) に準拠
† 菌名コード：1131と報告された菌
集計株数が30株未満の場合には、集計結果を公表しない

本公表データは国内の全医療機関の数値を集計したデータではありません。 データ集計日 ： 2026年05月08日
公開情報掲載日： 2026年08月17日

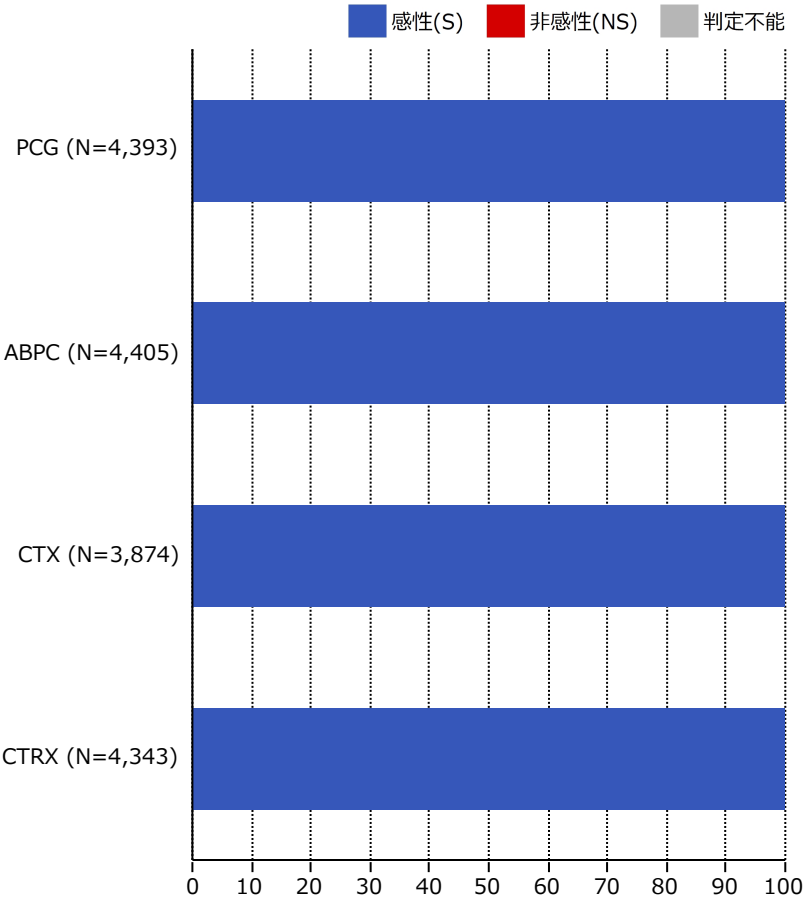
Japan Nosocomial Infections Surveillance

7. 主要菌の抗菌薬感受性*

Streptococcus pyogenes †



	感性(S)	SorI	中間(I)	IorR	耐性(R)	判定不能
EM (N=3,976)	3,275 (82.4%)	4 (0.1%)	21 (0.5%)	0 (0.0%)	676 (17.0%)	0 (0.0%)
CLDM (N=4,202)	3,766 (89.6%)	4 (0.1%)	18 (0.4%)	0 (0.0%)	414 (9.9%)	0 (0.0%)



	感性(S)	非感性(NS)	判定不能
PCG (N=4,393)	4,393 (100%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
ABPC (N=4,405)	4,403 (100%)	0 (0.0%)	2 (0.0%)
CTX (N=3,874)	3,874 (100%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
CTRX (N=4,343)	4,343 (100%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)

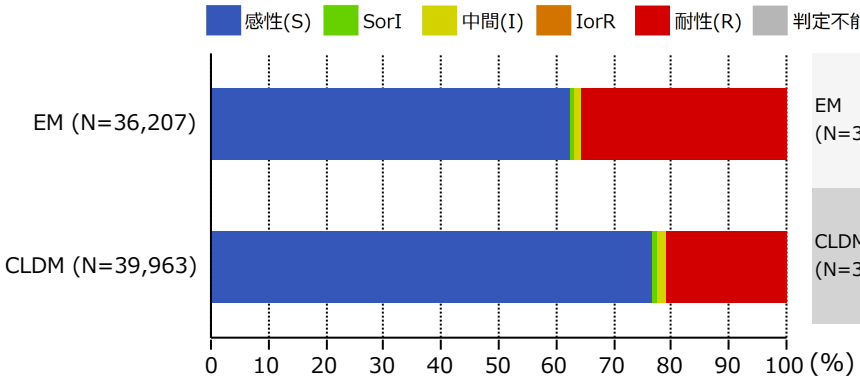
入院検体で、かつ検査法が微量液体希釈法又はEtestと設定されMIC値が報告されている検体を集計
30日単位で、抗菌薬感受性の違いも考慮して菌株数を集計する重複処理(巻末資料)が行われている
* S,I,RまたはS,NSの判定はCLSI 2012 (M100-S22) に準拠
† 菌名コード：1111と報告された菌
集計株数が30株未満の場合には、集計結果を公表しない

本公表データは国内の全医療機関の数値を集計したデータではありません。 データ集計日 ： 2026年05月08日
公開情報掲載日： 2026年08月17日

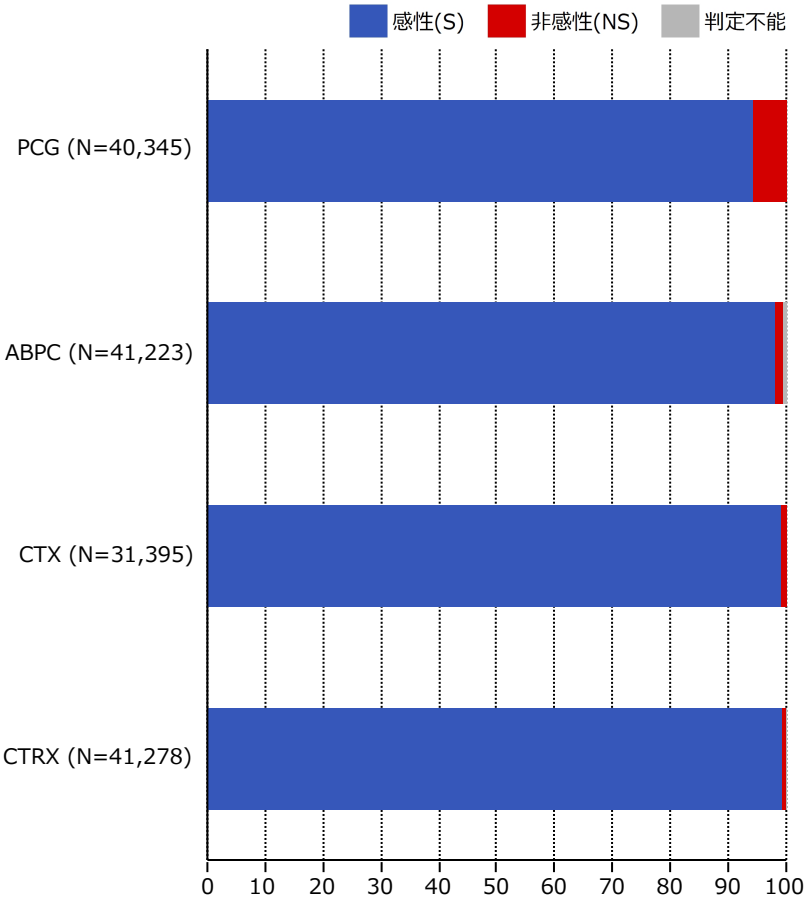
Japan Nosocomial Infections Surveillance

7. 主要菌の抗菌薬感受性*

Streptococcus agalactiae †



	感性(S)	SorI	中間(I)	IorR	耐性(R)	判定不能
EM (N=36,207)	22,621 (62.5%)	207 (0.6%)	414 (1.1%)	3 (0.0%)	12,962 (35.8%)	0 (0.0%)
CLDM (N=39,963)	30,565 (76.5%)	374 (0.9%)	676 (1.7%)	4 (0.0%)	8,344 (20.9%)	0 (0.0%)



	感性(S)	非感性(NS)	判定不能
PCG (N=40,345)	38,020 (94.2%)	2,322 (5.8%)	3 (0.0%)
ABPC (N=41,223)	40,402 (98.0%)	575 (1.4%)	246 (0.6%)
CTX (N=31,395)	31,109 (99.1%)	286 (0.9%)	0 (0.0%)
CTRX (N=41,278)	40,964 (99.2%)	266 (0.6%)	48 (0.1%)

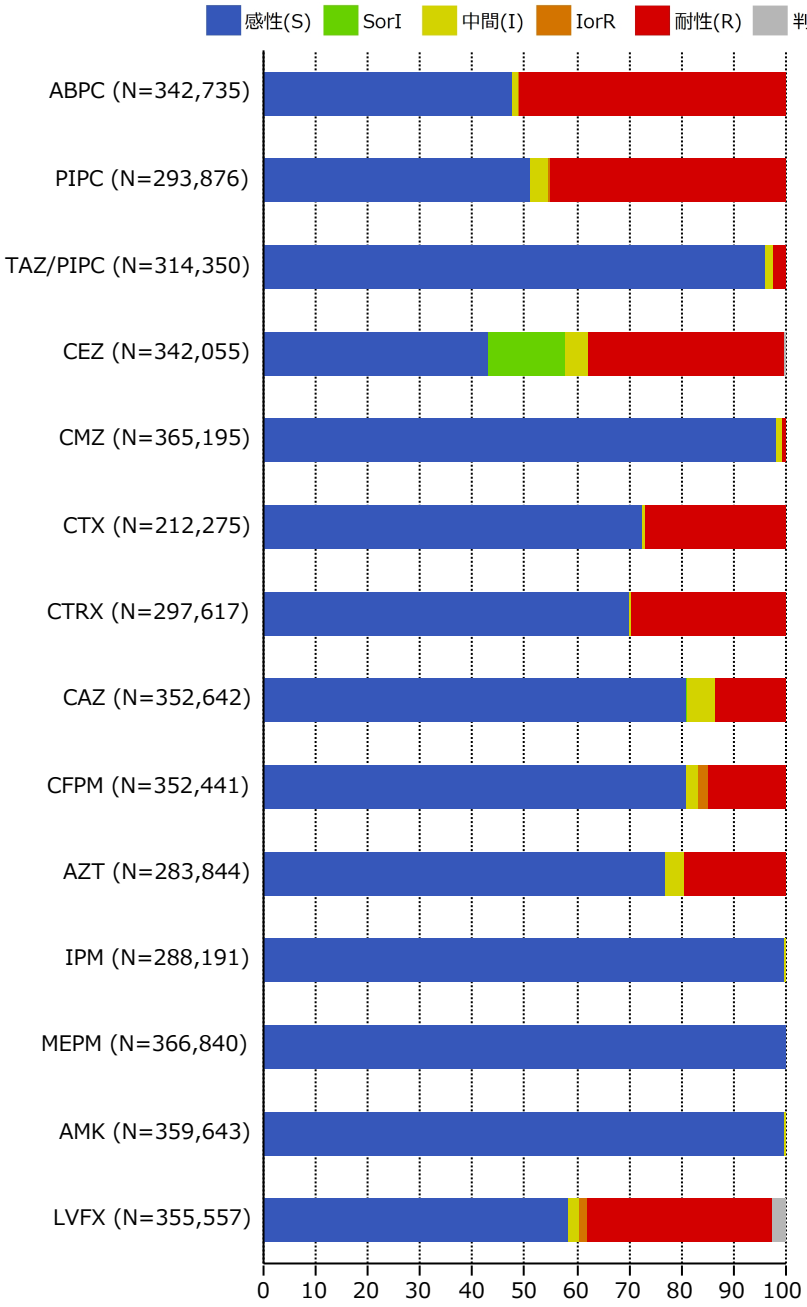
入院検体で、かつ検査法が微量液体希釈法又はEtestと設定されMIC値が報告されている検体を集計
30日単位で、抗菌薬感受性の違いも考慮して菌株数を集計する重複処理(巻末資料)が行われている
* S,I,RまたはS,NSの判定はCLSI 2012 (M100-S22）に準拠
† 菌名コード：1114と報告された菌
集計株数が30株未満の場合には、集計結果を公表しない

本公表データは国内の全医療機関の数値を集計したデータではありません。 データ集計日 ： 2026年05月08日
公開情報掲載日： 2026年08月17日

Japan Nosocomial Infections Surveillance

7. 主要菌の抗菌薬感受性*

Escherichia coli †



	感性(S)	SorI	中間(I)	IorR	耐性(R)	判定不能
ABPC (N=342,735)	163,414 (47.7%)	0 (0.0%)	3,777 (1.1%)	219 (0.1%)	175,319 (51.2%)	6 (0.0%)
PIPC (N=293,876)	150,513 (51.2%)	0 (0.0%)	9,638 (3.3%)	443 (0.2%)	133,282 (45.4%)	0 (0.0%)
TAZ/PIPC (N=314,350)	301,381 (95.9%)	100 (0.0%)	5,028 (1.6%)	25 (0.0%)	7,812 (2.5%)	4 (0.0%)
CEZ (N=342,055)	146,979 (43.0%)	50,415 (14.7%)	15,132 (4.4%)	2 (0.0%)	128,260 (37.5%)	1,267 (0.4%)
CMZ (N=365,195)	358,324 (98.1%)	3 (0.0%)	3,515 (1.0%)	125 (0.0%)	3,228 (0.9%)	0 (0.0%)
CTX (N=212,275)	153,502 (72.3%)	5 (0.0%)	1,588 (0.7%)	74 (0.0%)	57,105 (26.9%)	1 (0.0%)
CTRX (N=297,617)	208,312 (70.0%)	4 (0.0%)	927 (0.3%)	95 (0.0%)	88,278 (29.7%)	1 (0.0%)
CAZ (N=352,642)	285,000 (80.8%)	532 (0.2%)	18,615 (5.3%)	40 (0.0%)	48,293 (13.7%)	162 (0.0%)
CFPM (N=352,441)	284,752 (80.8%)	0 (0.0%)	8,222 (2.3%)	6,879 (2.0%)	52,586 (14.9%)	2 (0.0%)
AZT (N=283,844)	218,296 (76.9%)	0 (0.0%)	10,134 (3.6%)	57 (0.0%)	55,258 (19.5%)	99 (0.0%)
IPM (N=288,191)	287,304 (99.7%)	140 (0.0%)	514 (0.2%)	1 (0.0%)	231 (0.1%)	1 (0.0%)
MEPM (N=366,840)	366,334 (99.9%)	1 (0.0%)	93 (0.0%)	1 (0.0%)	411 (0.1%)	0 (0.0%)
AMK (N=359,643)	358,497 (99.7%)	0 (0.0%)	675 (0.2%)	0 (0.0%)	466 (0.1%)	5 (0.0%)
LVFX (N=355,557)	207,426 (58.3%)	2 (0.0%)	7,030 (2.0%)	5,413 (1.5%)	125,628 (35.3%)	10,058 (2.8%)

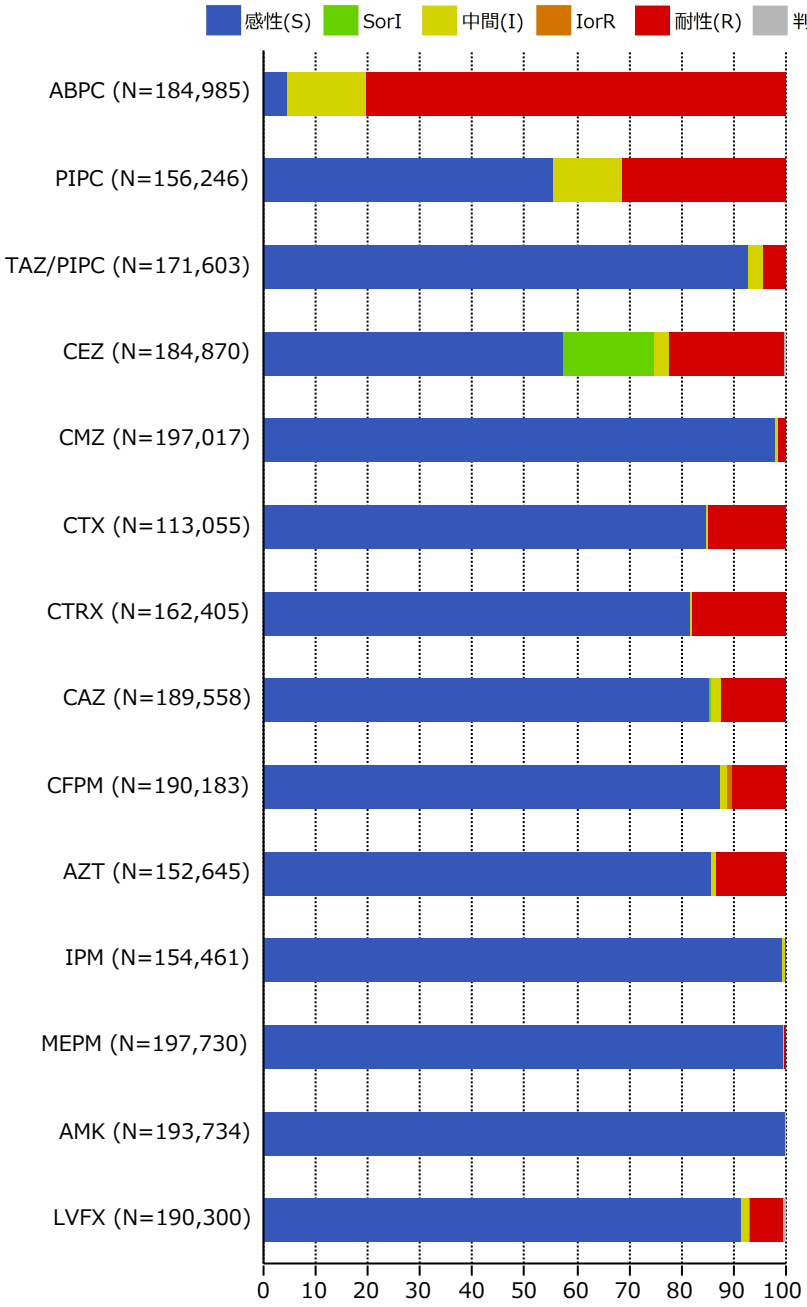
入院検体で、かつ検査法が微量液体希釈法又はEtestと設定されMIC値が報告されている検体を集計
30日単位で、抗菌薬感受性の違いも考慮して菌株数を集計する重複処理(巻末資料)が行われている
* S,I,Rの判定はCLSI 2012 (M100-S22）に準拠
† 菌名コード：2001～2007と報告された菌
集計株数が30株未満の場合には、集計結果を公表しない

本公表データは国内の全医療機関の数値を集計したデータではありません。 データ集計日 ： 2026年05月08日
公開情報掲載日： 2026年08月17日

Japan Nosocomial Infections Surveillance

7. 主要菌の抗菌薬感受性*

Klebsiella pneumoniae †



	感性(S)	SorI	中間(I)	IorR	耐性(R)	判定不能
ABPC (N=184,985)	8,533 (4.6%)	0 (0.0%)	27,893 (15.1%)	220 (0.1%)	148,335 (80.2%)	4 (0.0%)
PIPC (N=156,246)	86,658 (55.5%)	0 (0.0%)	20,451 (13.1%)	138 (0.1%)	48,999 (31.4%)	0 (0.0%)
TAZ/PIPC (N=171,603)	159,187 (92.8%)	45 (0.0%)	4,768 (2.8%)	32 (0.0%)	7,570 (4.4%)	1 (0.0%)
CEZ (N=184,870)	105,890 (57.3%)	32,253 (17.4%)	5,125 (2.8%)	0 (0.0%)	40,829 (22.1%)	773 (0.4%)
CMZ (N=197,017)	192,554 (97.7%)	0 (0.0%)	1,410 (0.7%)	52 (0.0%)	3,001 (1.5%)	0 (0.0%)
CTX (N=113,055)	95,654 (84.6%)	1 (0.0%)	461 (0.4%)	3 (0.0%)	16,936 (15.0%)	0 (0.0%)
CTRX (N=162,405)	132,699 (81.7%)	2 (0.0%)	411 (0.3%)	6 (0.0%)	29,287 (18.0%)	0 (0.0%)
CAZ (N=189,558)	161,582 (85.2%)	385 (0.2%)	3,748 (2.0%)	4 (0.0%)	23,784 (12.5%)	55 (0.0%)
CFPM (N=190,183)	166,034 (87.3%)	0 (0.0%)	2,460 (1.3%)	2,081 (1.1%)	19,607 (10.3%)	1 (0.0%)
AZT (N=152,645)	130,605 (85.6%)	1 (0.0%)	1,374 (0.9%)	4 (0.0%)	20,645 (13.5%)	16 (0.0%)
IPM (N=154,461)	153,293 (99.2%)	32 (0.0%)	795 (0.5%)	0 (0.0%)	338 (0.2%)	3 (0.0%)
MEPM (N=197,730)	196,798 (99.5%)	1 (0.0%)	219 (0.1%)	0 (0.0%)	712 (0.4%)	0 (0.0%)
AMK (N=193,734)	193,499 (99.9%)	0 (0.0%)	128 (0.1%)	0 (0.0%)	107 (0.1%)	0 (0.0%)
LVFX (N=190,300)	173,749 (91.3%)	0 (0.0%)	3,172 (1.7%)	468 (0.2%)	11,722 (6.2%)	1,189 (0.6%)

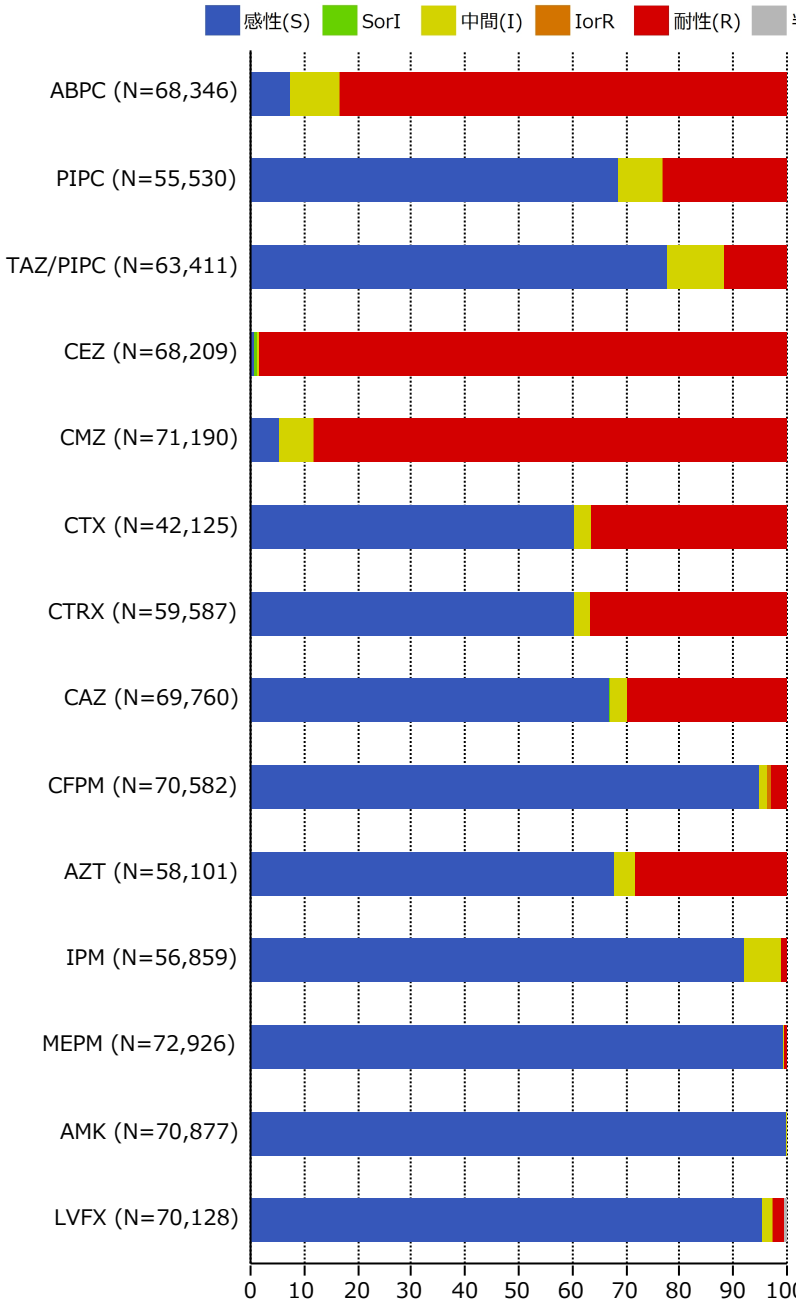
入院検体で、かつ検査法が微量液体希釈法又はEtestと設定されMIC値が報告されている検体を集計
30日単位で、抗菌薬感受性の違いも考慮して菌株数を集計する重複処理(巻末資料)が行われている
* S,I,Rの判定はCLSI 2012 (M100-S22）に準拠
† 菌名コード：2351と報告された菌
集計株数が30株未満の場合には、集計結果を公表しない

本公表データは国内の全医療機関の数値を集計したデータではありません。 データ集計日 ： 2026年05月08日
公開情報掲載日： 2026年08月17日

Japan Nosocomial Infections Surveillance

7. 主要菌の抗菌薬感受性*

Enterobacter cloacae †



	感性(S)	SorI	中間(I)	IorR	耐性(R)	判定不能
ABPC (N=68,346)	4,966 (7.3%)	0 (0.0%)	6,365 (9.3%)	93 (0.1%)	56,922 (83.3%)	0 (0.0%)
PIPC (N=55,530)	37,963 (68.4%)	0 (0.0%)	4,604 (8.3%)	80 (0.1%)	12,883 (23.2%)	0 (0.0%)
TAZ/PIPC (N=63,411)	49,222 (77.6%)	9 (0.0%)	6,654 (10.5%)	84 (0.1%)	7,427 (11.7%)	15 (0.0%)
CEZ (N=68,209)	465 (0.7%)	318 (0.5%)	290 (0.4%)	0 (0.0%)	67,129 (98.4%)	7 (0.0%)
CMZ (N=71,190)	3,833 (5.4%)	0 (0.0%)	4,414 (6.2%)	196 (0.3%)	62,747 (88.1%)	0 (0.0%)
CTX (N=42,125)	25,399 (60.3%)	0 (0.0%)	1,305 (3.1%)	13 (0.0%)	15,407 (36.6%)	1 (0.0%)
CTRX (N=59,587)	35,952 (60.3%)	1 (0.0%)	1,731 (2.9%)	24 (0.0%)	21,879 (36.7%)	0 (0.0%)
CAZ (N=69,760)	46,580 (66.8%)	129 (0.2%)	2,107 (3.0%)	7 (0.0%)	20,920 (30.0%)	17 (0.0%)
CFPM (N=70,582)	66,937 (94.8%)	0 (0.0%)	965 (1.4%)	469 (0.7%)	2,211 (3.1%)	0 (0.0%)
AZT (N=58,101)	39,288 (67.6%)	0 (0.0%)	2,280 (3.9%)	9 (0.0%)	16,509 (28.4%)	15 (0.0%)
IPM (N=56,859)	52,288 (92.0%)	4 (0.0%)	3,898 (6.9%)	1 (0.0%)	668 (1.2%)	0 (0.0%)
MEPM (N=72,926)	72,328 (99.2%)	2 (0.0%)	140 (0.2%)	0 (0.0%)	456 (0.6%)	0 (0.0%)
AMK (N=70,877)	70,804 (99.9%)	0 (0.0%)	37 (0.1%)	0 (0.0%)	36 (0.1%)	0 (0.0%)
LVFX (N=70,128)	66,945 (95.5%)	0 (0.0%)	1,194 (1.7%)	114 (0.2%)	1,456 (2.1%)	419 (0.6%)

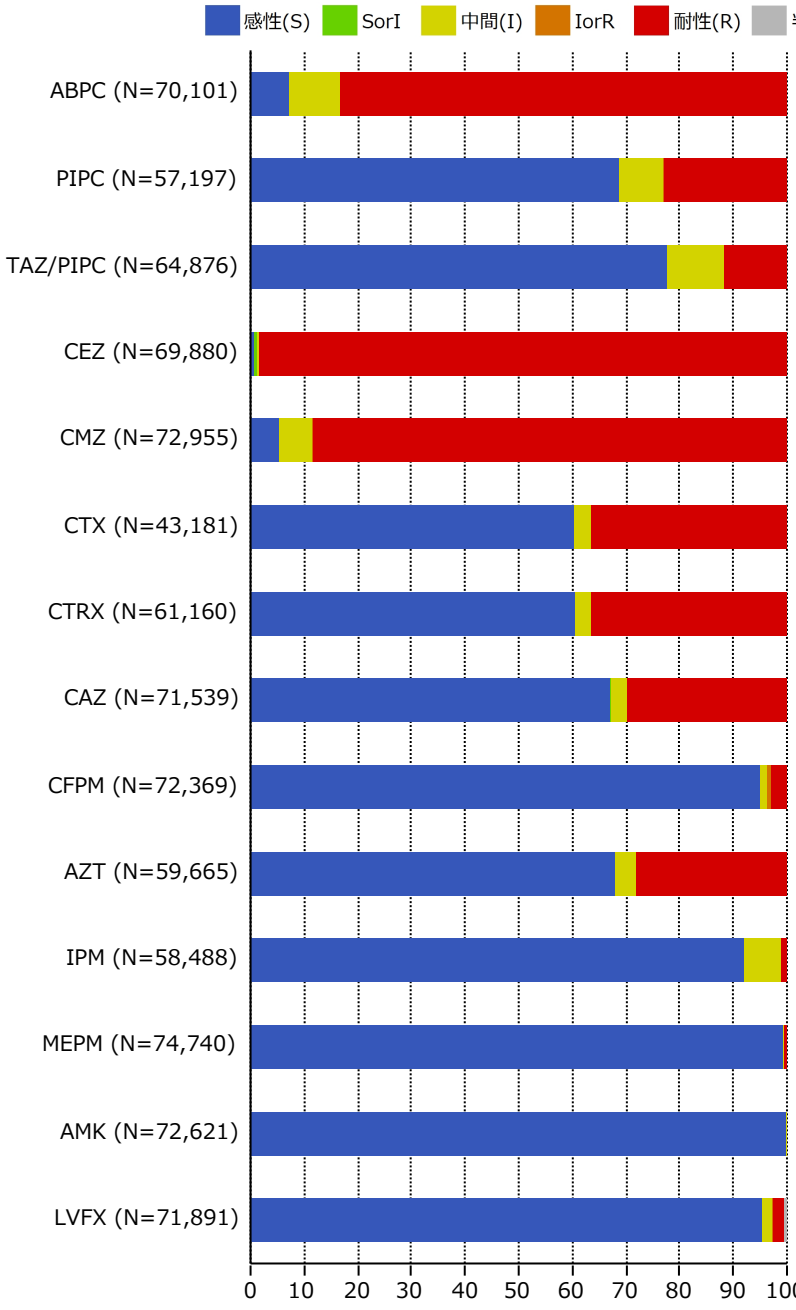
入院検体で、かつ検査法が微量液体希釈法又はEtestと設定されMIC値が報告されている検体を集計
30日単位で、抗菌薬感受性の違いも考慮して菌株数を集計する重複処理(巻末資料)が行われている
* S,I,Rの判定はCLSI 2012 (M100-S22）に準拠
† 菌名コード：2151と報告された菌
集計株数が30株未満の場合には、集計結果を公表しない

本公表データは国内の全医療機関の数値を集計したデータではありません。 データ集計日 ： 2026年05月08日
公開情報掲載日： 2026年08月17日

Japan Nosocomial Infections Surveillance

7. 主要菌の抗菌薬感受性*

Enterobacter cloacae complex †



	感性(S)	SorI	中間(I)	IorR	耐性(R)	判定不能
ABPC (N=70,101)	5,139 (7.3%)	0 (0.0%)	6,563 (9.4%)	93 (0.1%)	58,306 (83.2%)	0 (0.0%)
PIPC (N=57,197)	39,222 (68.6%)	0 (0.0%)	4,734 (8.3%)	80 (0.1%)	13,161 (23.0%)	0 (0.0%)
TAZ/PIPC (N=64,876)	50,424 (77.7%)	10 (0.0%)	6,782 (10.5%)	84 (0.1%)	7,561 (11.7%)	15 (0.0%)
CEZ (N=69,880)	480 (0.7%)	332 (0.5%)	297 (0.4%)	0 (0.0%)	68,763 (98.4%)	8 (0.0%)
CMZ (N=72,955)	3,913 (5.4%)	0 (0.0%)	4,478 (6.1%)	196 (0.3%)	64,368 (88.2%)	0 (0.0%)
CTX (N=43,181)	26,022 (60.3%)	0 (0.0%)	1,345 (3.1%)	13 (0.0%)	15,800 (36.6%)	1 (0.0%)
CTRX (N=61,160)	36,956 (60.4%)	1 (0.0%)	1,774 (2.9%)	24 (0.0%)	22,405 (36.6%)	0 (0.0%)
CAZ (N=71,539)	47,864 (66.9%)	129 (0.2%)	2,172 (3.0%)	7 (0.0%)	21,350 (29.8%)	17 (0.0%)
CFPM (N=72,369)	68,684 (94.9%)	0 (0.0%)	975 (1.3%)	472 (0.7%)	2,238 (3.1%)	0 (0.0%)
AZT (N=59,665)	40,458 (67.8%)	0 (0.0%)	2,336 (3.9%)	9 (0.0%)	16,847 (28.2%)	15 (0.0%)
IPM (N=58,488)	53,791 (92.0%)	4 (0.0%)	4,004 (6.8%)	1 (0.0%)	688 (1.2%)	0 (0.0%)
MEPM (N=74,740)	74,128 (99.2%)	2 (0.0%)	146 (0.2%)	0 (0.0%)	464 (0.6%)	0 (0.0%)
AMK (N=72,621)	72,543 (99.9%)	0 (0.0%)	41 (0.1%)	0 (0.0%)	37 (0.1%)	0 (0.0%)
LVFX (N=71,891)	68,629 (95.5%)	0 (0.0%)	1,235 (1.7%)	118 (0.2%)	1,490 (2.1%)	419 (0.6%)

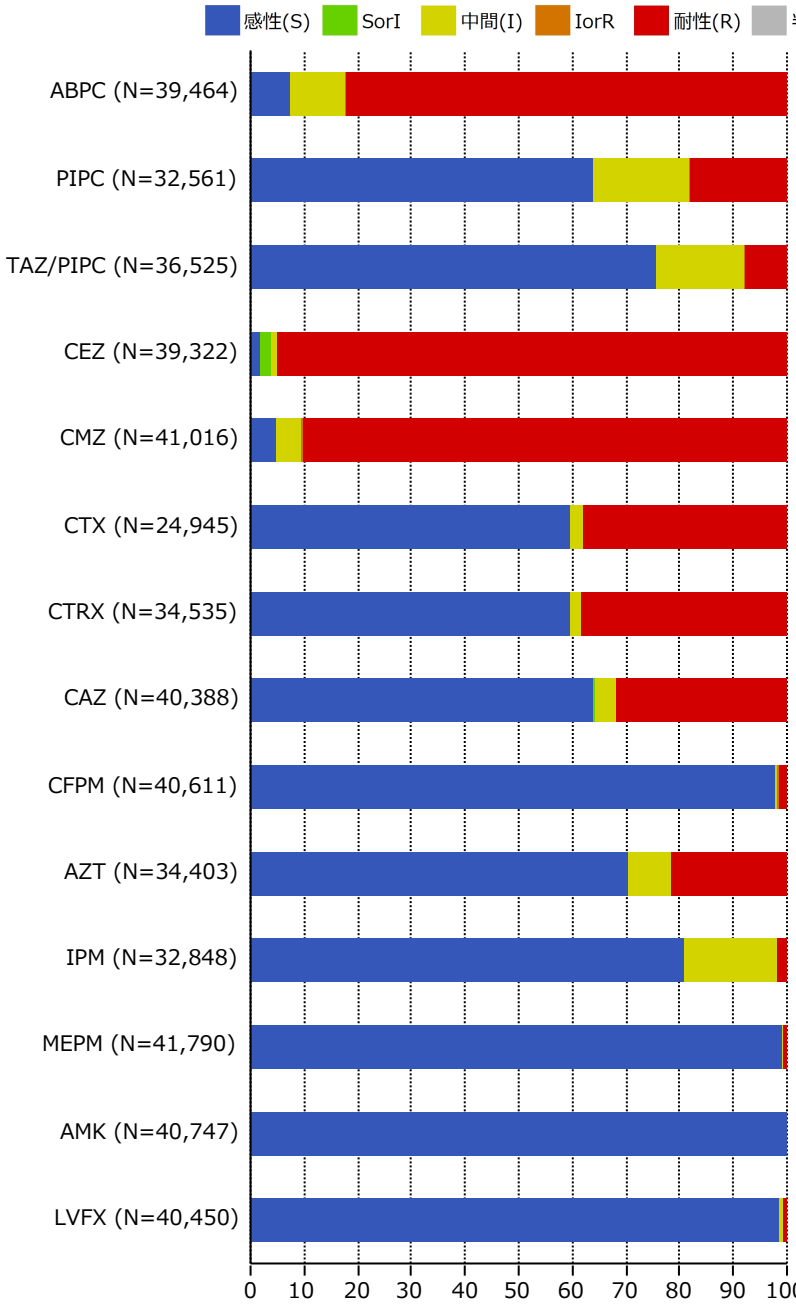
入院検体で、かつ検査法が微量液体希釈法又はEtestと設定されMIC値が報告されている検体を集計
30日単位で、抗菌薬感受性の違いも考慮して菌株数を集計する重複処理(巻末資料)が行われている
* S,I,Rの判定はCLSI 2012 (M100-S22）に準拠
† 菌名コード：2151，2155，2157～2161と報告された菌
集計株数が30株未満の場合には、集計結果を公表しない

本公表データは国内の全医療機関の数値を集計したデータではありません。 データ集計日 ： 2026年05月08日
公開情報掲載日： 2026年08月17日

Japan Nosocomial Infections Surveillance

7. 主要菌の抗菌薬感受性*

Klebsiella aerogenes †



	感性(S)	SorI	中間(I)	IorR	耐性(R)	判定不能
ABPC (N=39,464)	2,917 (7.4%)	0 (0.0%)	4,090 (10.4%)	61 (0.2%)	32,396 (82.1%)	0 (0.0%)
PIPC (N=32,561)	20,752 (63.7%)	0 (0.0%)	5,865 (18.0%)	43 (0.1%)	5,901 (18.1%)	0 (0.0%)
TAZ/PIPC (N=36,525)	27,568 (75.5%)	8 (0.0%)	6,026 (16.5%)	27 (0.1%)	2,890 (7.9%)	6 (0.0%)
CEZ (N=39,322)	683 (1.7%)	851 (2.2%)	444 (1.1%)	0 (0.0%)	37,340 (95.0%)	4 (0.0%)
CMZ (N=41,016)	1,940 (4.7%)	0 (0.0%)	1,953 (4.8%)	131 (0.3%)	36,992 (90.2%)	0 (0.0%)
CTX (N=24,945)	14,872 (59.6%)	0 (0.0%)	571 (2.3%)	13 (0.1%)	9,489 (38.0%)	0 (0.0%)
CTRX (N=34,535)	20,608 (59.7%)	0 (0.0%)	646 (1.9%)	15 (0.0%)	13,265 (38.4%)	1 (0.0%)
CAZ (N=40,388)	25,856 (64.0%)	73 (0.2%)	1,561 (3.9%)	12 (0.0%)	12,882 (31.9%)	4 (0.0%)
CFPM (N=40,611)	39,655 (97.6%)	0 (0.0%)	200 (0.5%)	100 (0.2%)	656 (1.6%)	0 (0.0%)
AZT (N=34,403)	24,176 (70.3%)	0 (0.0%)	2,746 (8.0%)	12 (0.0%)	7,453 (21.7%)	16 (0.0%)
IPM (N=32,848)	26,497 (80.7%)	8 (0.0%)	5,704 (17.4%)	1 (0.0%)	638 (1.9%)	0 (0.0%)
MEPM (N=41,790)	41,374 (99.0%)	0 (0.0%)	98 (0.2%)	0 (0.0%)	318 (0.8%)	0 (0.0%)
AMK (N=40,747)	40,714 (99.9%)	0 (0.0%)	18 (0.0%)	0 (0.0%)	15 (0.0%)	0 (0.0%)
LVFX (N=40,450)	39,855 (98.5%)	0 (0.0%)	238 (0.6%)	22 (0.1%)	276 (0.7%)	59 (0.1%)

入院検体で、かつ検査法が微量液体希釈法又はEtestと設定されMIC値が報告されている検体を集計
30日単位で、抗菌薬感受性の違いも考慮して菌株数を集計する重複処理(巻末資料)が行われている
* S,I,Rの判定はCLSI 2012 (M100-S22) に準拠
† 菌名コード：2152と報告された菌(旧名：*Enterobacter aerogenes*)
集計株数が30株未満の場合には、集計結果を公表しない

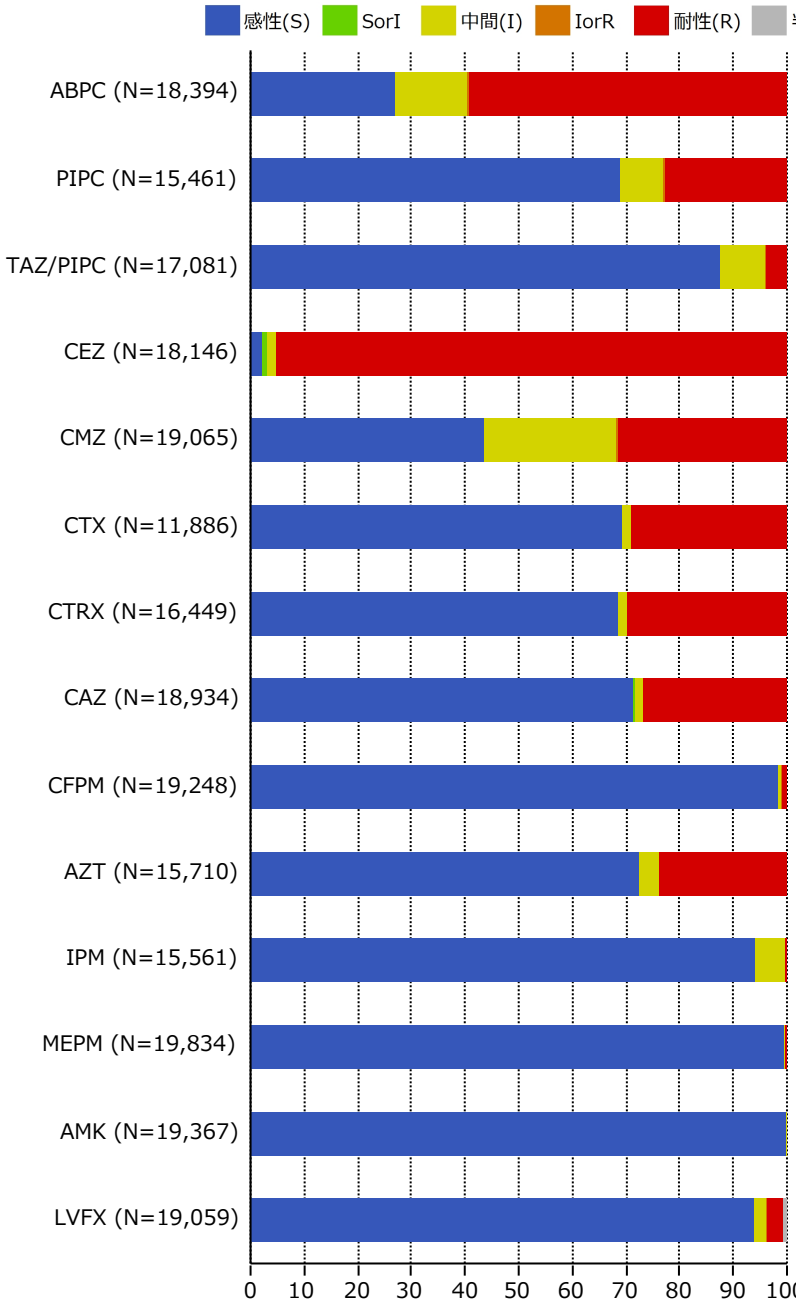
本公表データは国内の全医療機関の数値を集計したデータではありません。 データ集計日 ： 2026年05月08日
公開情報掲載日： 2026年08月17日

Japan Nosocomial Infections Surveillance

JANIS

7. 主要菌の抗菌薬感受性*

Citrobacter freundii †



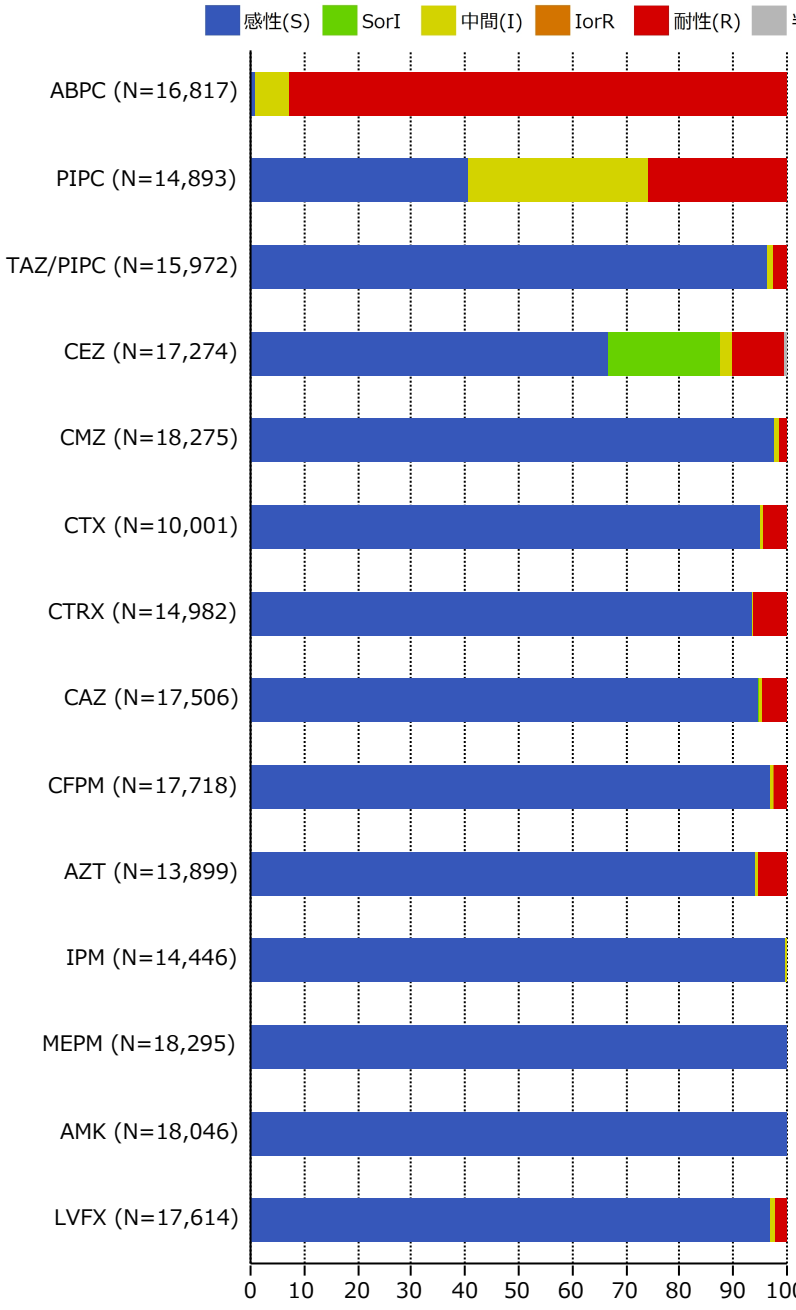
	感性(S)	SorI	中間(I)	IorR	耐性(R)	判定不能
ABPC (N=18,394)	4,960 (27.0%)	0 (0.0%)	2,487 (13.5%)	30 (0.2%)	10,915 (59.3%)	2 (0.0%)
PIPC (N=15,461)	10,664 (69.0%)	0 (0.0%)	1,237 (8.0%)	27 (0.2%)	3,533 (22.9%)	0 (0.0%)
TAZ/PIPC (N=17,081)	14,933 (87.4%)	4 (0.0%)	1,442 (8.4%)	14 (0.1%)	687 (4.0%)	1 (0.0%)
CEZ (N=18,146)	392 (2.2%)	173 (1.0%)	307 (1.7%)	1 (0.0%)	17,266 (95.2%)	7 (0.0%)
CMZ (N=19,065)	8,304 (43.6%)	0 (0.0%)	4,688 (24.6%)	40 (0.2%)	6,033 (31.6%)	0 (0.0%)
CTX (N=11,886)	8,222 (69.2%)	1 (0.0%)	201 (1.7%)	2 (0.0%)	3,460 (29.1%)	0 (0.0%)
CTRX (N=16,449)	11,269 (68.5%)	0 (0.0%)	247 (1.5%)	3 (0.0%)	4,930 (30.0%)	0 (0.0%)
CAZ (N=18,934)	13,507 (71.3%)	32 (0.2%)	307 (1.6%)	2 (0.0%)	5,083 (26.8%)	3 (0.0%)
CFPM (N=19,248)	18,924 (98.3%)	0 (0.0%)	87 (0.5%)	48 (0.2%)	189 (1.0%)	0 (0.0%)
AZT (N=15,710)	11,351 (72.3%)	0 (0.0%)	604 (3.8%)	2 (0.0%)	3,746 (23.8%)	7 (0.0%)
IPM (N=15,561)	14,647 (94.1%)	7 (0.0%)	849 (5.5%)	0 (0.0%)	57 (0.4%)	1 (0.0%)
MEPM (N=19,834)	19,753 (99.6%)	0 (0.0%)	10 (0.1%)	0 (0.0%)	71 (0.4%)	0 (0.0%)
AMK (N=19,367)	19,331 (99.8%)	0 (0.0%)	13 (0.1%)	0 (0.0%)	23 (0.1%)	0 (0.0%)
LVFX (N=19,059)	17,901 (93.9%)	0 (0.0%)	409 (2.1%)	37 (0.2%)	583 (3.1%)	129 (0.7%)

入院検体で、かつ検査法が微量液体希釈法又はEtestと設定されMIC値が報告されている検体を集計
30日単位で、抗菌薬感受性の違いも考慮して菌株数を集計する重複処理(巻末資料)が行われている
* S,I,Rの判定はCLSI 2012 (M100-S22）に準拠
† 菌名コード：2051と報告された菌
集計株数が30株未満の場合には、集計結果を公表しない

本公表データは国内の全医療機関の数値を集計したデータではありません。
データ集計日 ： 2026年05月08日
公開情報掲載日： 2026年08月17日

7. 主要菌の抗菌薬感受性*

Citrobacter koseri †



	感性(S)	SorI	中間(I)	IorR	耐性(R)	判定不能
ABPC (N=16,817)	159 (0.9%)	0 (0.0%)	1,057 (6.3%)	14 (0.1%)	15,587 (92.7%)	0 (0.0%)
PIPC (N=14,893)	6,045 (40.6%)	0 (0.0%)	4,970 (33.4%)	6 (0.0%)	3,872 (26.0%)	0 (0.0%)
TAZ/PIPC (N=15,972)	15,370 (96.2%)	3 (0.0%)	167 (1.0%)	1 (0.0%)	431 (2.7%)	0 (0.0%)
CEZ (N=17,274)	11,497 (66.6%)	3,614 (20.9%)	380 (2.2%)	0 (0.0%)	1,677 (9.7%)	106 (0.6%)
CMZ (N=18,275)	17,808 (97.4%)	0 (0.0%)	187 (1.0%)	0 (0.0%)	280 (1.5%)	0 (0.0%)
CTX (N=10,001)	9,482 (94.8%)	0 (0.0%)	65 (0.6%)	0 (0.0%)	454 (4.5%)	0 (0.0%)
CTRX (N=14,982)	13,997 (93.4%)	0 (0.0%)	38 (0.3%)	0 (0.0%)	947 (6.3%)	0 (0.0%)
CAZ (N=17,506)	16,549 (94.5%)	30 (0.2%)	122 (0.7%)	0 (0.0%)	800 (4.6%)	5 (0.0%)
CFPM (N=17,718)	17,169 (96.9%)	0 (0.0%)	87 (0.5%)	22 (0.1%)	440 (2.5%)	0 (0.0%)
AZT (N=13,899)	13,068 (94.0%)	0 (0.0%)	62 (0.4%)	0 (0.0%)	769 (5.5%)	0 (0.0%)
IPM (N=14,446)	14,402 (99.7%)	6 (0.0%)	24 (0.2%)	0 (0.0%)	14 (0.1%)	0 (0.0%)
MEPM (N=18,295)	18,271 (99.9%)	2 (0.0%)	8 (0.0%)	0 (0.0%)	14 (0.1%)	0 (0.0%)
AMK (N=18,046)	18,024 (99.9%)	0 (0.0%)	16 (0.1%)	0 (0.0%)	6 (0.0%)	0 (0.0%)
LVFX (N=17,614)	17,055 (96.8%)	0 (0.0%)	135 (0.8%)	19 (0.1%)	388 (2.2%)	17 (0.1%)

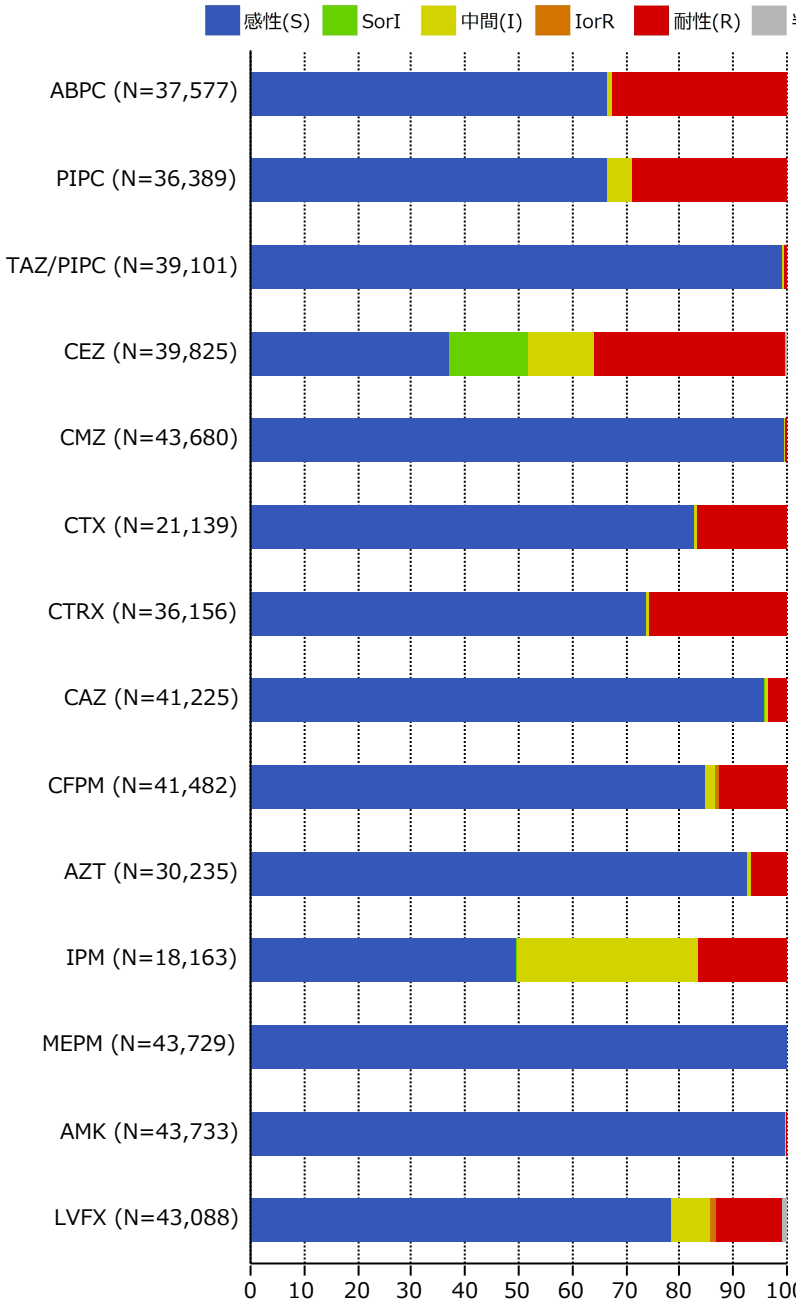
入院検体で、かつ検査法が微量液体希釈法又はEtestと設定されMIC値が報告されている検体を集計
30日単位で、抗菌薬感受性の違いも考慮して菌株数を集計する重複処理(巻末資料)が行われている
* S,I,Rの判定はCLSI 2012 (M100-S22）に準拠
† 菌名コード：2052と報告された菌
集計株数が30株未満の場合には、集計結果を公表しない

本公表データは国内の全医療機関の数値を集計したデータではありません。 データ集計日 ： 2026年05月08日
公開情報掲載日： 2026年08月17日

Japan Nosocomial Infections Surveillance

7. 主要菌の抗菌薬感受性*

Proteus mirabilis †



	感性(S)	SorI	中間(I)	IorR	耐性(R)	判定不能
ABPC (N=37,577)	25,002 (66.5%)	0 (0.0%)	283 (0.8%)	9 (0.0%)	12,280 (32.7%)	3 (0.0%)
PIPC (N=36,389)	24,153 (66.4%)	0 (0.0%)	1,666 (4.6%)	17 (0.0%)	10,553 (29.0%)	0 (0.0%)
TAZ/PIPC (N=39,101)	38,706 (99.0%)	5 (0.0%)	151 (0.4%)	0 (0.0%)	239 (0.6%)	0 (0.0%)
CEZ (N=39,825)	14,731 (37.0%)	5,848 (14.7%)	4,843 (12.2%)	0 (0.0%)	14,197 (35.6%)	206 (0.5%)
CMZ (N=43,680)	43,409 (99.4%)	0 (0.0%)	81 (0.2%)	3 (0.0%)	187 (0.4%)	0 (0.0%)
CTX (N=21,139)	17,477 (82.7%)	0 (0.0%)	119 (0.6%)	0 (0.0%)	3,543 (16.8%)	0 (0.0%)
CTRX (N=36,156)	26,653 (73.7%)	0 (0.0%)	175 (0.5%)	12 (0.0%)	9,316 (25.8%)	0 (0.0%)
CAZ (N=41,225)	39,432 (95.7%)	48 (0.1%)	262 (0.6%)	0 (0.0%)	1,481 (3.6%)	2 (0.0%)
CFPM (N=41,482)	35,077 (84.6%)	0 (0.0%)	801 (1.9%)	321 (0.8%)	5,283 (12.7%)	0 (0.0%)
AZT (N=30,235)	27,963 (92.5%)	0 (0.0%)	218 (0.7%)	1 (0.0%)	2,053 (6.8%)	0 (0.0%)
IPM (N=18,163)	9,005 (49.6%)	11 (0.1%)	6,115 (33.7%)	0 (0.0%)	3,032 (16.7%)	0 (0.0%)
MEPM (N=43,729)	43,685 (99.9%)	0 (0.0%)	21 (0.0%)	0 (0.0%)	23 (0.1%)	0 (0.0%)
AMK (N=43,733)	43,578 (99.6%)	0 (0.0%)	75 (0.2%)	1 (0.0%)	78 (0.2%)	1 (0.0%)
LVFX (N=43,088)	33,812 (78.5%)	0 (0.0%)	3,083 (7.2%)	489 (1.1%)	5,289 (12.3%)	415 (1.0%)

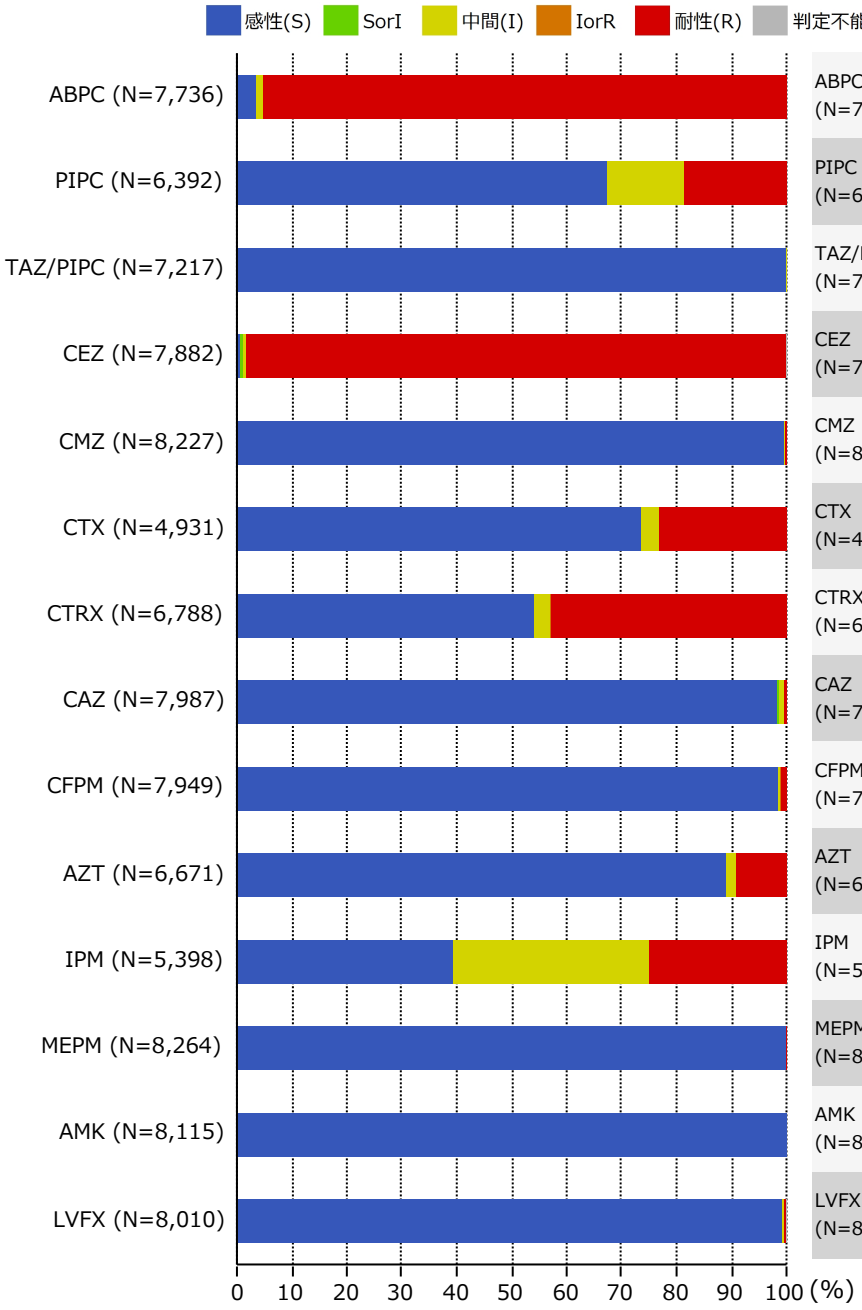
入院検体で、かつ検査法が微量液体希釈法又はEtestと設定されMIC値が報告されている検体を集計
30日単位で、抗菌薬感受性の違いも考慮して菌株数を集計する重複処理(巻末資料)が行われている
* S,I,Rの判定はCLSI 2012 (M100-S22）に準拠
† 菌名コード：2201と報告された菌
集計株数が30株未満の場合には、集計結果を公表しない

本公表データは国内の全医療機関の数値を集計したデータではありません。 データ集計日 ： 2026年05月08日
公開情報掲載日： 2026年08月17日

Japan Nosocomial Infections Surveillance

7. 主要菌の抗菌薬感受性*

Proteus vulgaris †



	感性(S)	SorI	中間(I)	IorR	耐性(R)	判定不能
ABPC (N=7,736)	273 (3.5%)	0 (0.0%)	89 (1.2%)	7 (0.1%)	7,367 (95.2%)	0 (0.0%)
PIPC (N=6,392)	4,304 (67.3%)	0 (0.0%)	892 (14.0%)	2 (0.0%)	1,194 (18.7%)	0 (0.0%)
TAZ/PIPC (N=7,217)	7,195 (99.7%)	2 (0.0%)	17 (0.2%)	0 (0.0%)	3 (0.0%)	0 (0.0%)
CEZ (N=7,882)	53 (0.7%)	30 (0.4%)	47 (0.6%)	0 (0.0%)	7,744 (98.2%)	8 (0.1%)
CMZ (N=8,227)	8,185 (99.5%)	0 (0.0%)	13 (0.2%)	0 (0.0%)	29 (0.4%)	0 (0.0%)
CTX (N=4,931)	3,622 (73.5%)	0 (0.0%)	160 (3.2%)	3 (0.1%)	1,146 (23.2%)	0 (0.0%)
CTRX (N=6,788)	3,672 (54.1%)	1 (0.0%)	197 (2.9%)	4 (0.1%)	2,913 (42.9%)	1 (0.0%)
CAZ (N=7,987)	7,846 (98.2%)	32 (0.4%)	63 (0.8%)	0 (0.0%)	46 (0.6%)	0 (0.0%)
CFPM (N=7,949)	7,824 (98.4%)	0 (0.0%)	20 (0.3%)	14 (0.2%)	91 (1.1%)	0 (0.0%)
AZT (N=6,671)	5,922 (88.8%)	0 (0.0%)	127 (1.9%)	1 (0.0%)	621 (9.3%)	0 (0.0%)
IPM (N=5,398)	2,121 (39.3%)	1 (0.0%)	1,922 (35.6%)	0 (0.0%)	1,354 (25.1%)	0 (0.0%)
MEPM (N=8,264)	8,254 (99.9%)	0 (0.0%)	4 (0.0%)	0 (0.0%)	6 (0.1%)	0 (0.0%)
AMK (N=8,115)	8,109 (99.9%)	0 (0.0%)	4 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (0.0%)	0 (0.0%)
LVFX (N=8,010)	7,931 (99.0%)	0 (0.0%)	36 (0.4%)	1 (0.0%)	36 (0.4%)	6 (0.1%)

入院検体で、かつ検査法が微量液体希釈法又はEtestと設定されMIC値が報告されている検体を集計
30日単位で、抗菌薬感受性の違いも考慮して菌株数を集計する重複処理(巻末資料)が行われている
* S,I,Rの判定はCLSI 2012 (M100-S22) に準拠
† 菌名コード：2202と報告された菌
集計株数が30株未満の場合には、集計結果を公表しない

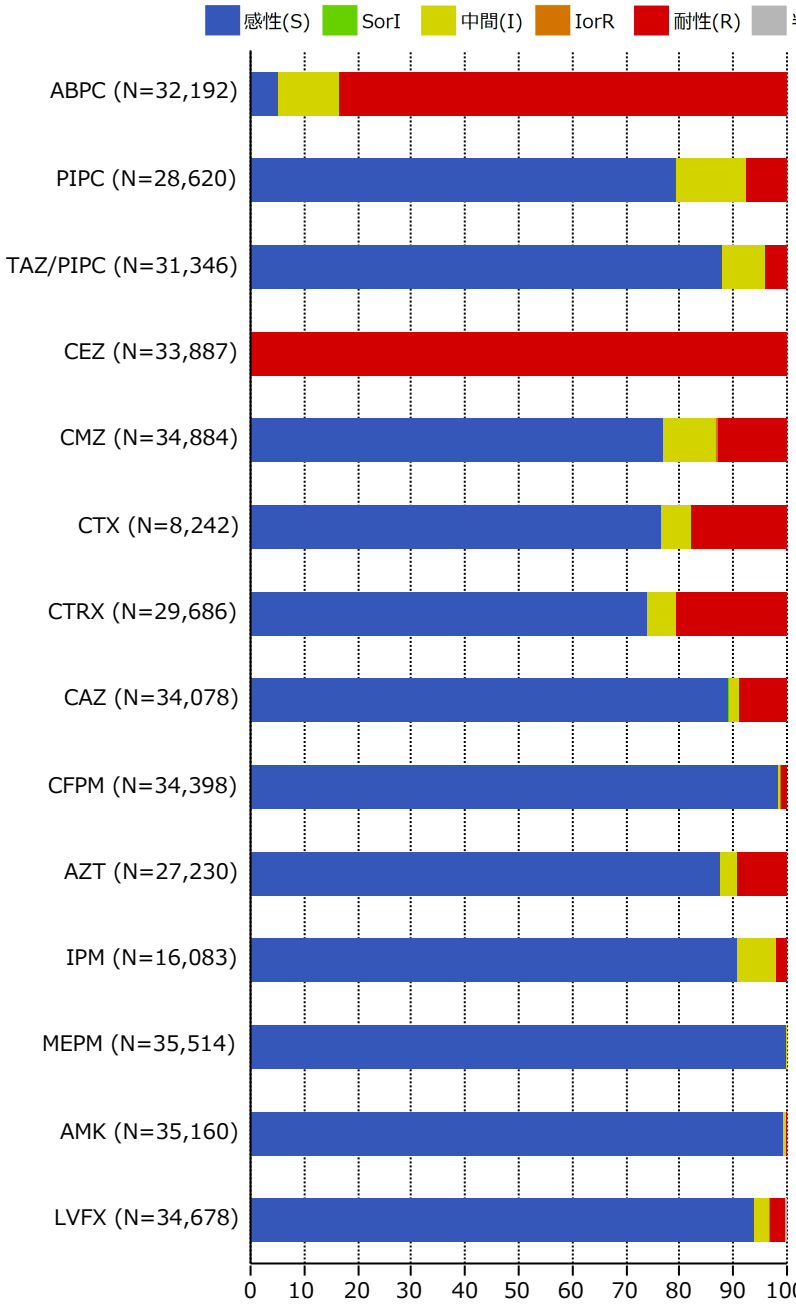
本公表データは国内の全医療機関の数値を集計したデータではありません。 データ集計日 ： 2026年05月08日
公開情報掲載日： 2026年08月17日

Japan Nosocomial Infections Surveillance

JANIS

7. 主要菌の抗菌薬感受性*

Serratia marcescens †



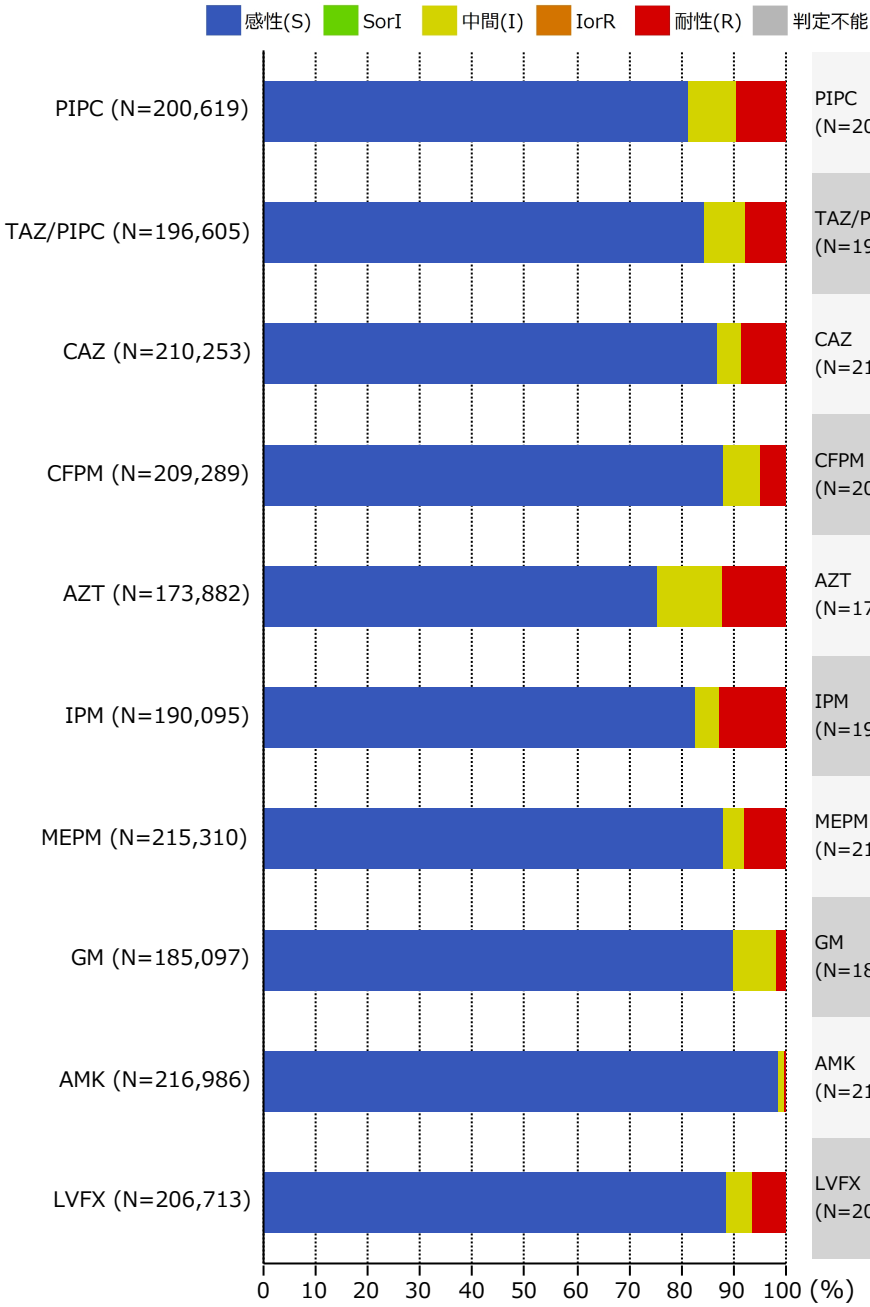
	感性(S)	SorI	中間(I)	IorR	耐性(R)	判定不能
ABPC (N=32,192)	1,670 (5.2%)	0 (0.0%)	3,627 (11.3%)	25 (0.1%)	26,869 (83.5%)	1 (0.0%)
PIPC (N=28,620)	22,663 (79.2%)	0 (0.0%)	3,748 (13.1%)	0 (0.0%)	2,209 (7.7%)	0 (0.0%)
TAZ/PIPC (N=31,346)	27,524 (87.8%)	3 (0.0%)	2,511 (8.0%)	2 (0.0%)	1,306 (4.2%)	0 (0.0%)
CEZ (N=33,887)	25 (0.1%)	4 (0.0%)	9 (0.0%)	1 (0.0%)	33,839 (99.9%)	9 (0.0%)
CMZ (N=34,884)	26,803 (76.8%)	0 (0.0%)	3,474 (10.0%)	78 (0.2%)	4,529 (13.0%)	0 (0.0%)
CTX (N=8,242)	6,310 (76.6%)	0 (0.0%)	460 (5.6%)	0 (0.0%)	1,472 (17.9%)	0 (0.0%)
CTRX (N=29,686)	21,911 (73.8%)	1 (0.0%)	1,668 (5.6%)	2 (0.0%)	6,104 (20.6%)	0 (0.0%)
CAZ (N=34,078)	30,313 (89.0%)	51 (0.1%)	632 (1.9%)	0 (0.0%)	3,081 (9.0%)	1 (0.0%)
CFPM (N=34,398)	33,800 (98.3%)	0 (0.0%)	144 (0.4%)	36 (0.1%)	418 (1.2%)	0 (0.0%)
AZT (N=27,230)	23,807 (87.4%)	0 (0.0%)	879 (3.2%)	0 (0.0%)	2,543 (9.3%)	1 (0.0%)
IPM (N=16,083)	14,579 (90.6%)	6 (0.0%)	1,161 (7.2%)	0 (0.0%)	336 (2.1%)	1 (0.0%)
MEPM (N=35,514)	35,438 (99.8%)	3 (0.0%)	27 (0.1%)	0 (0.0%)	46 (0.1%)	0 (0.0%)
AMK (N=35,160)	34,890 (99.2%)	0 (0.0%)	191 (0.5%)	0 (0.0%)	79 (0.2%)	0 (0.0%)
LVFX (N=34,678)	32,586 (94.0%)	0 (0.0%)	930 (2.7%)	55 (0.2%)	945 (2.7%)	162 (0.5%)

入院検体で、かつ検査法が微量液体希釈法又はEtestと設定されMIC値が報告されている検体を集計
30日単位で、抗菌薬感受性の違いも考慮して菌株数を集計する重複処理(巻末資料)が行われている
* S,I,Rの判定はCLSI 2012 (M100-S22）に準拠
† 菌名コード：2101と報告された菌
集計株数が30株未満の場合には、集計結果を公表しない

本公表データは国内の全医療機関の数値を集計したデータではありません。
データ集計日 ： 2026年05月08日
公開情報掲載日： 2026年08月17日

7. 主要菌の抗菌薬感受性*

Pseudomonas aeruginosa †



	感性(S)	SorI	中間(I)	IorR	耐性(R)	判定不能
PIPC (N=200,619)	162,961 (81.2%)	0 (0.0%)	18,292 (9.1%)	56 (0.0%)	19,309 (9.6%)	1 (0.0%)
TAZ/PIPC (N=196,605)	165,710 (84.3%)	36 (0.0%)	15,335 (7.8%)	52 (0.0%)	15,460 (7.9%)	12 (0.0%)
CAZ (N=210,253)	182,191 (86.7%)	0 (0.0%)	9,877 (4.7%)	90 (0.0%)	18,094 (8.6%)	1 (0.0%)
CFPM (N=209,289)	183,989 (87.9%)	0 (0.0%)	14,797 (7.1%)	37 (0.0%)	10,466 (5.0%)	0 (0.0%)
AZT (N=173,882)	131,012 (75.3%)	0 (0.0%)	21,466 (12.3%)	97 (0.1%)	21,056 (12.1%)	251 (0.1%)
IPM (N=190,095)	156,735 (82.5%)	0 (0.0%)	8,784 (4.6%)	47 (0.0%)	24,527 (12.9%)	2 (0.0%)
MEPM (N=215,310)	189,298 (87.9%)	0 (0.0%)	8,448 (3.9%)	34 (0.0%)	17,529 (8.1%)	1 (0.0%)
GM (N=185,097)	166,482 (89.9%)	0 (0.0%)	14,933 (8.1%)	3 (0.0%)	3,679 (2.0%)	0 (0.0%)
AMK (N=216,986)	213,800 (98.5%)	0 (0.0%)	2,125 (1.0%)	5 (0.0%)	1,055 (0.5%)	1 (0.0%)
LVFX (N=206,713)	182,921 (88.5%)	0 (0.0%)	9,962 (4.8%)	54 (0.0%)	13,746 (6.6%)	30 (0.0%)

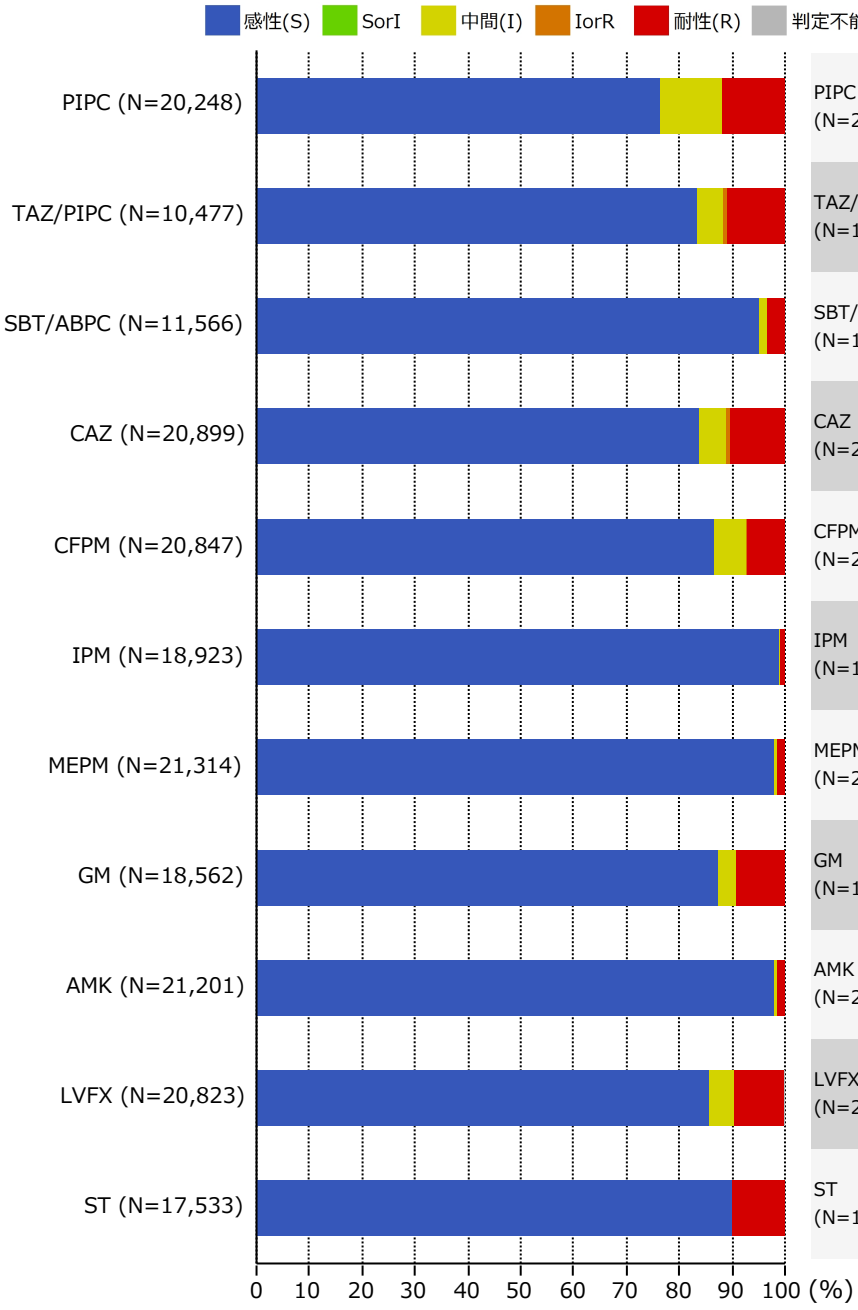
入院検体で、かつ検査法が微量液体希釈法又はEtestと設定されMIC値が報告されている検体を集計
30日単位で、抗菌薬感受性の違いも考慮して菌株数を集計する重複処理(巻末資料)が行われている
* S,I,Rの判定はCLSI 2012 (M100-S22）に準拠
† 菌名コード：4001と報告された菌
集計株数が30株未満の場合には、集計結果を公表しない

本公表データは国内の全医療機関の数値を集計したデータではありません。 データ集計日 ： 2026年05月08日
公開情報掲載日： 2026年08月17日

Japan Nosocomial Infections Surveillance

7. 主要菌の抗菌薬感受性*

Acinetobacter spp. †



	感性(S)	SorI	中間(I)	IorR	耐性(R)	判定不能
PIPC (N=20,248)	15,462 (76.4%)	0 (0.0%)	2,356 (11.6%)	13 (0.1%)	2,417 (11.9%)	0 (0.0%)
TAZ/PIPC (N=10,477)	8,728 (83.3%)	0 (0.0%)	527 (5.0%)	71 (0.7%)	1,150 (11.0%)	1 (0.0%)
SBT/ABPC (N=11,566)	10,992 (95.0%)	1 (0.0%)	165 (1.4%)	5 (0.0%)	403 (3.5%)	0 (0.0%)
CAZ (N=20,899)	17,529 (83.9%)	0 (0.0%)	1,035 (5.0%)	139 (0.7%)	2,195 (10.5%)	1 (0.0%)
CFPM (N=20,847)	18,033 (86.5%)	0 (0.0%)	1,272 (6.1%)	32 (0.2%)	1,509 (7.2%)	1 (0.0%)
IPM (N=18,923)	18,709 (98.9%)	0 (0.0%)	50 (0.3%)	0 (0.0%)	146 (0.8%)	18 (0.1%)
MEPM (N=21,314)	20,887 (98.0%)	0 (0.0%)	89 (0.4%)	3 (0.0%)	311 (1.5%)	24 (0.1%)
GM (N=18,562)	16,221 (87.4%)	0 (0.0%)	634 (3.4%)	3 (0.0%)	1,704 (9.2%)	0 (0.0%)
AMK (N=21,201)	20,781 (98.0%)	0 (0.0%)	101 (0.5%)	1 (0.0%)	318 (1.5%)	0 (0.0%)
LVFX (N=20,823)	17,841 (85.7%)	0 (0.0%)	973 (4.7%)	0 (0.0%)	1,964 (9.4%)	45 (0.2%)
ST (N=17,533)	15,783 (90.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1,750 (10.0%)	0 (0.0%)

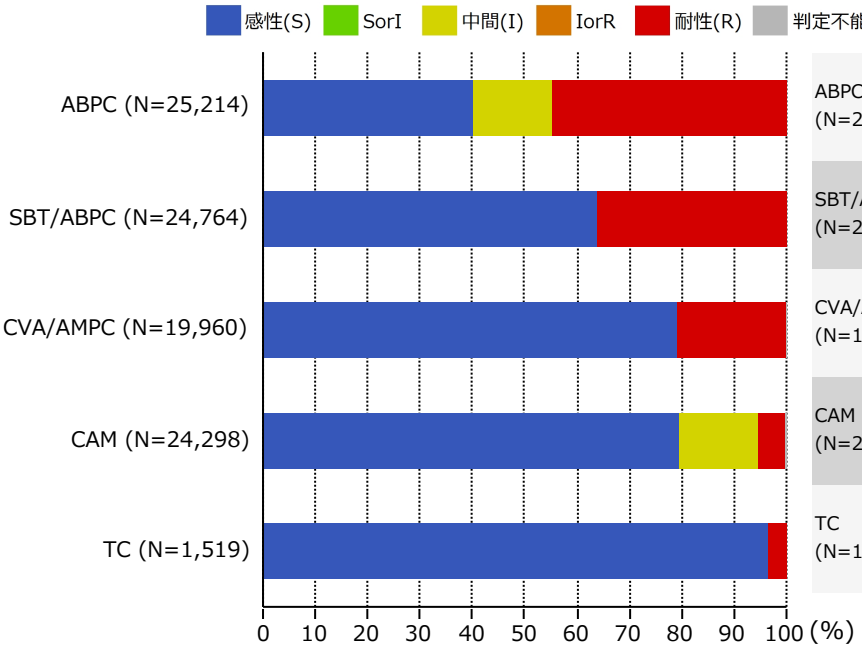
入院検体で、かつ検査法が微量液体希釈法又はEtestと設定されMIC値が報告されている検体を集計
30日単位で、抗菌薬感受性の違いも考慮して菌株数を集計する重複処理(巻末資料)が行われている
* S,I,Rの判定はCLSI 2012 (M100-S22）に準拠
† 菌名コード：4400～4403と報告された菌
集計株数が30株未満の場合には、集計結果を公表しない

本公表データは国内の全医療機関の数値を集計したデータではありません。
データ集計日 ： 2026年05月08日
公開情報掲載日： 2026年08月17日

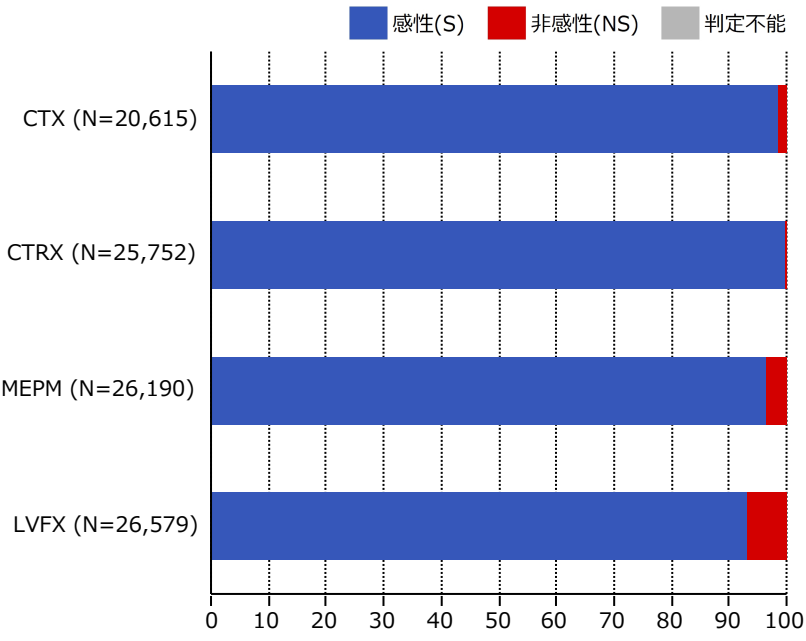
Japan Nosocomial Infections Surveillance

7. 主要菌の抗菌薬感受性*

Haemophilus influenzae †



	感性(S)	SorI	中間(I)	IorR	耐性(R)	判定不能
ABPC (N=25,214)	10,148 (40.2%)	0 (0.0%)	3,782 (15.0%)	0 (0.0%)	11,284 (44.8%)	0 (0.0%)
SBT/ABPC (N=24,764)	15,776 (63.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	8,988 (36.3%)	0 (0.0%)
CVA/AMPC (N=19,960)	15,753 (78.9%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	4,188 (21.0%)	19 (0.1%)
CAM (N=24,298)	19,288 (79.4%)	0 (0.0%)	3,659 (15.1%)	21 (0.1%)	1,261 (5.2%)	69 (0.3%)
TC (N=1,519)	1,462 (96.2%)	0 (0.0%)	2 (0.1%)	0 (0.0%)	55 (3.6%)	0 (0.0%)



	感性(S)	非感性(NS)	判定不能
CTX (N=20,615)	20,277 (98.4%)	338 (1.6%)	0 (0.0%)
CTRX (N=25,752)	25,643 (99.6%)	109 (0.4%)	0 (0.0%)
MEPM (N=26,190)	25,215 (96.3%)	968 (3.7%)	7 (0.0%)
LVFX (N=26,579)	24,747 (93.1%)	1,831 (6.9%)	1 (0.0%)

入院検体で、かつ検査法が微量液体希釈法又はEtestと設定されMIC値が報告されている検体を集計
30日単位で、抗菌薬感受性の違いも考慮して菌株数を集計する重複処理(巻末資料)が行われている
* S,I,RまたはS,NSの判定はCLSI 2012 (M100-S22) に準拠
† 菌名コード：3201, 3202, 3203, 3205, 3208, 3211, 3214, 3217, 3220, 3223と報告された菌
集計株数が30株未満の場合には、集計結果を公表しない

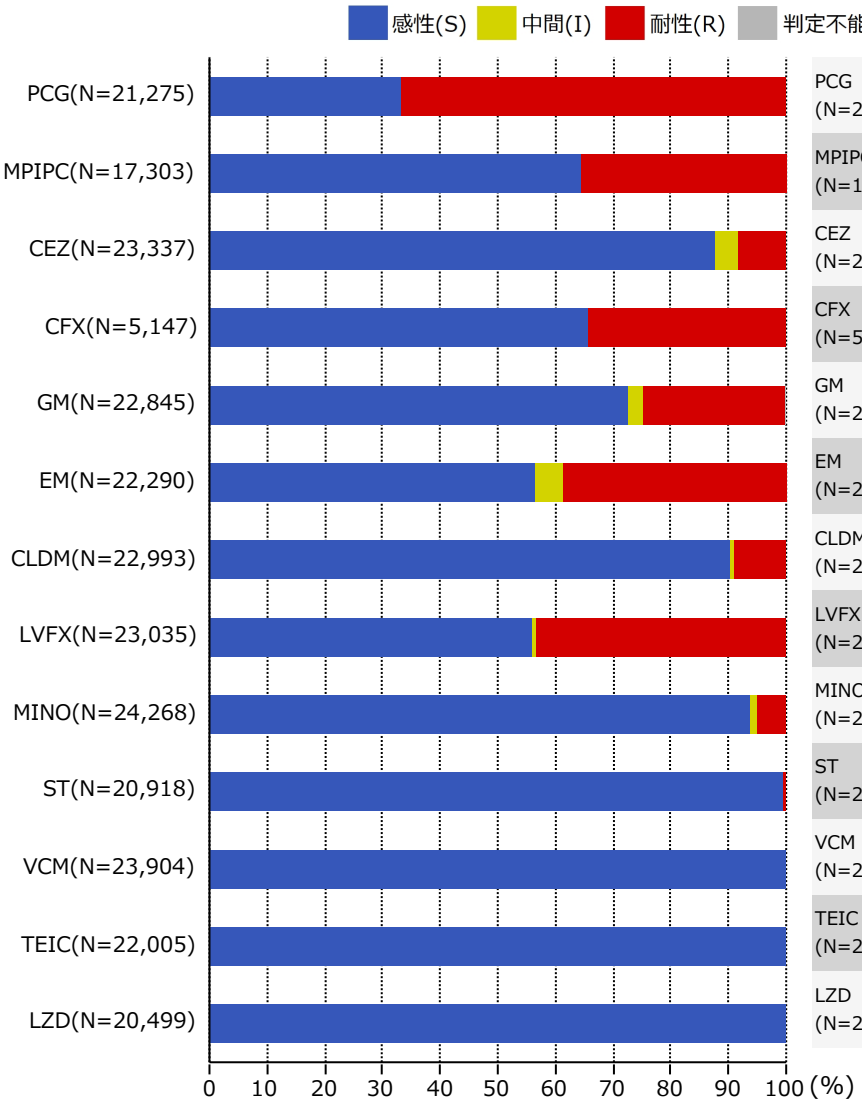
本公表データは国内の全医療機関の数値を集計したデータではありません。 データ集計日 ： 2026年05月08日
公開情報掲載日： 2026年08月17日

Japan Nosocomial Infections Surveillance

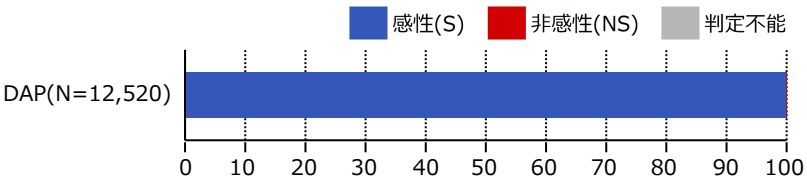
JANIS

7. 主要菌の抗菌薬感受性* 【血液検体】

Staphylococcus aureus (ALL) †



	感性(S)	中間(I)	耐性(R)	判定不能
PCG (N=21,275)	7,078 (33.3%)	0 (0.0%)	14,196 (66.7%)	1 (0.0%)
MPIPC (N=17,303)	11,145 (64.4%)	0 (0.0%)	6,158 (35.6%)	0 (0.0%)
CEZ (N=23,337)	20,451 (87.6%)	943 (4%)	1,929 (8.3%)	14 (0.1%)
CFX (N=5,147)	3,383 (65.7%)	0 (0.0%)	1,764 (34.3%)	0 (0.0%)
GM (N=22,845)	16,597 (72.7%)	584 (2.6%)	5,590 (24.5%)	74 (0.3%)
EM (N=22,290)	12,585 (56.5%)	1,041 (4.7%)	8,664 (38.9%)	0 (0.0%)
CLDM (N=22,993)	20,727 (90.1%)	169 (0.7%)	2,097 (9.1%)	0 (0.0%)
LVFX (N=23,035)	12,911 (56%)	143 (0.6%)	9,981 (43.3%)	0 (0.0%)
MINO (N=24,268)	22,748 (93.7%)	271 (1.1%)	1,249 (5.1%)	0 (0.0%)
ST (N=20,918)	20,809 (99.5%)	0 (0.0%)	109 (0.5%)	0 (0.0%)
VCM (N=23,904)	23,903 (100%)	1 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
TEIC (N=22,005)	22,003 (100%)	1 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (0.0%)
LZD (N=20,499)	20,497 (100%)	0 (0.0%)	2 (0.0%)	0 (0.0%)



	感性(S)	非感性(NS)	判定不能
DAP (N=12,520)	12,499 (99.8%)	21 (0.2%)	0 (0.0%)

入院検体で、かつ検査法が微量液体希釈法又はEtestと設定されMIC値が報告されている検体を集計
患者毎に当該検査材料由来の各菌種の初回分離株を集計する重複処理(巻末資料)が行われている
* S,I,RまたはS,NSの判定はCLSI 2012 (M100-S22) に準拠
† 菌名コード：1301, 1303～1306と報告された菌
‡ 集計株数が30株未満の場合には、集計結果を公表しない

本公表データは国内の全医療機関の数値を集計したデータではありません。
データ集計日 ： 2026年05月08日
公開情報掲載日： 2026年08月17日

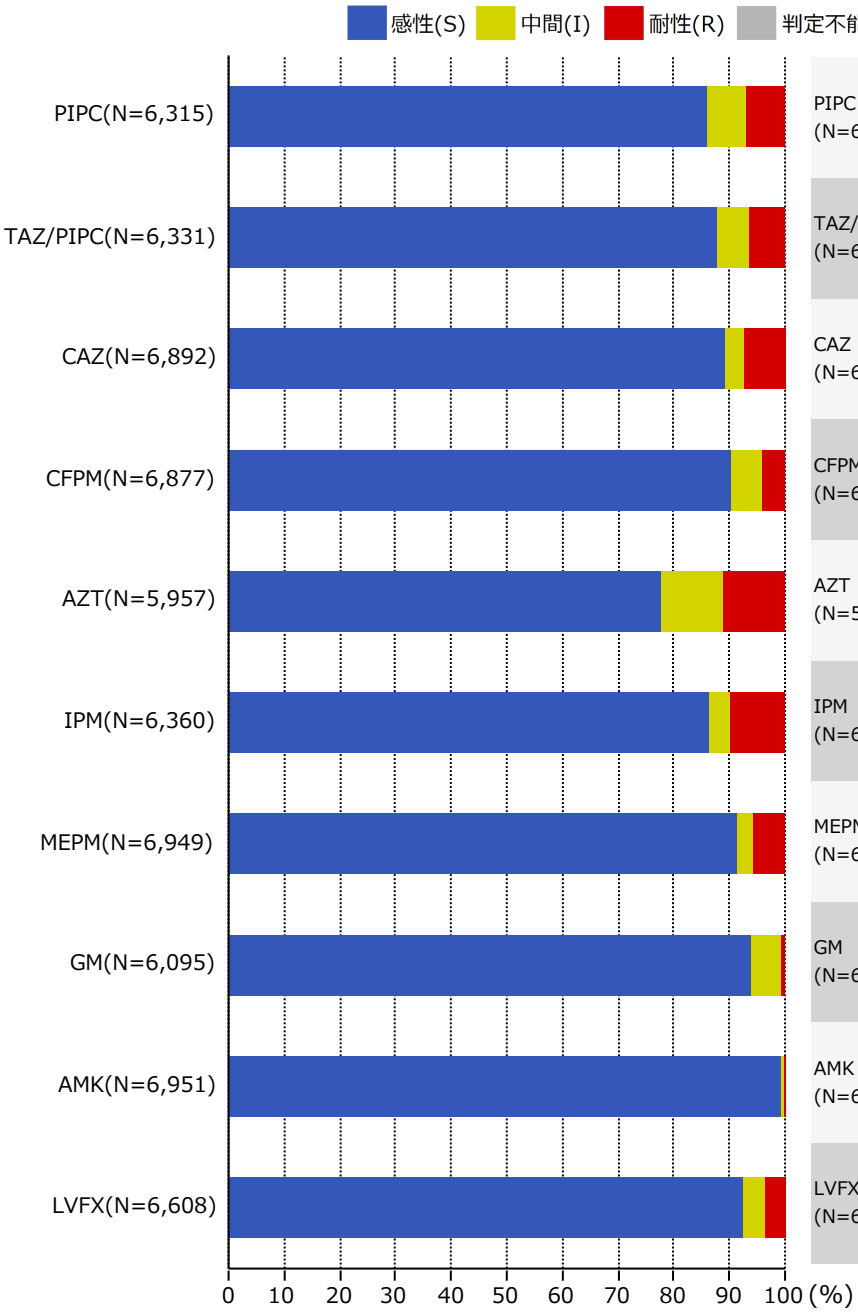
Japan Nosocomial Infections Surveillance

JANIS

Japan Nosocomial Infections Surveillance

7. 主要菌の抗菌薬感受性* 【血液検体】

Pseudomonas aeruginosa †



	感性(S)	中間(I)	耐性(R)	判定不能
PIPC (N=6,315)	5,430 (86%)	437 (6.9%)	448 (7.1%)	0 (0.0%)
TAZ/PIPC (N=6,331)	5,557 (87.8%)	358 (5.7%)	415 (6.6%)	1 (0.0%)
CAZ (N=6,892)	6,153 (89.3%)	231 (3.4%)	508 (7.4%)	0 (0.0%)
CFPM (N=6,877)	6,212 (90.3%)	368 (5.4%)	297 (4.3%)	0 (0.0%)
AZT (N=5,957)	4,627 (77.7%)	660 (11.1%)	664 (11.1%)	6 (0.1%)
IPM (N=6,360)	5,491 (86.3%)	235 (3.7%)	634 (10%)	0 (0.0%)
MEPM (N=6,949)	6,348 (91.4%)	194 (2.8%)	407 (5.9%)	0 (0.0%)
GM (N=6,095)	5,722 (93.9%)	326 (5.3%)	47 (0.8%)	0 (0.0%)
AMK (N=6,951)	6,902 (99.3%)	36 (0.5%)	13 (0.2%)	0 (0.0%)
LVFX (N=6,608)	6,112 (92.5%)	257 (3.9%)	239 (3.6%)	0 (0.0%)

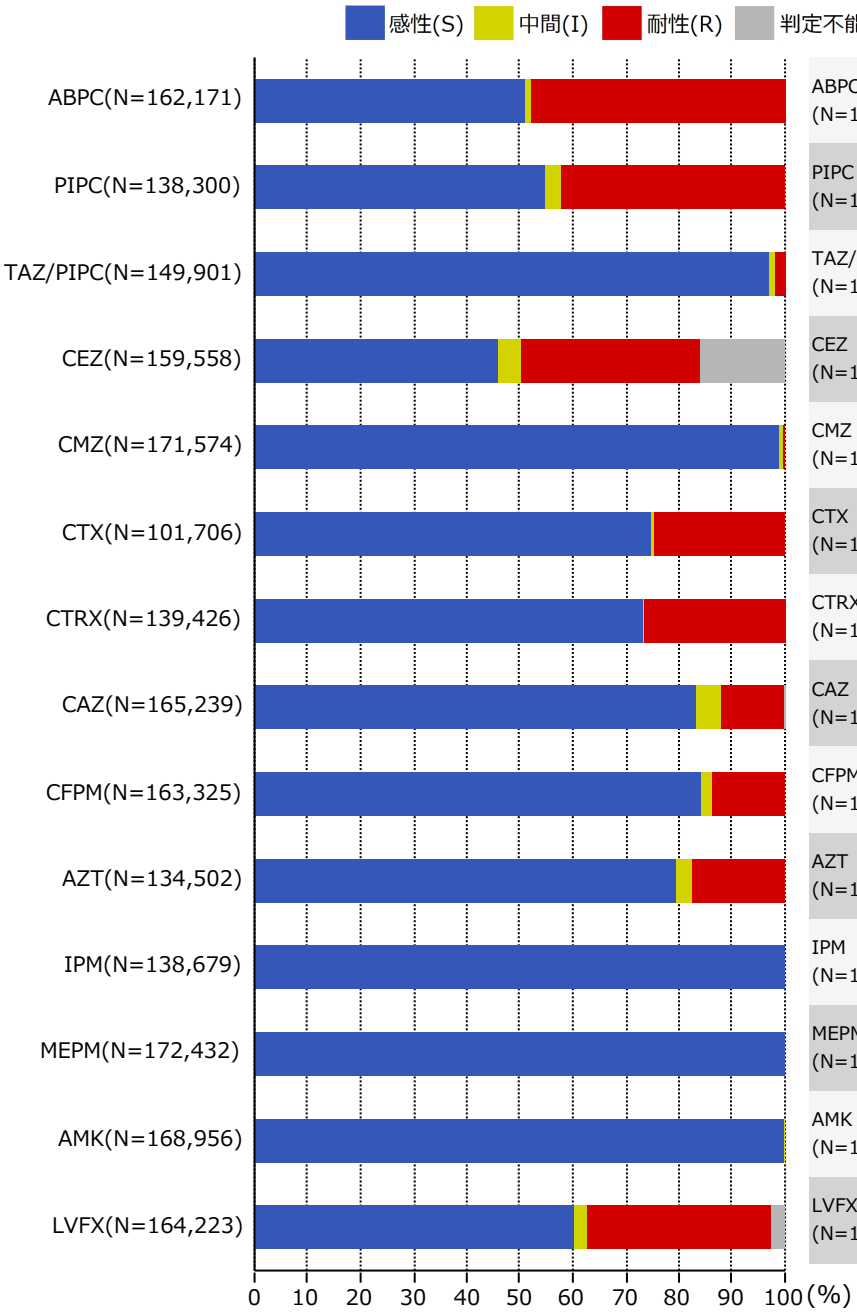
入院検体で、かつ検査法が微量液体希釈法又はEtestと設定されMIC値が報告されている検体を集計
患者毎に当該検査材料由来の各菌種の初回分離株を集計する重複処理(巻末資料)が行われている
* S,I,Rの判定はCLSI 2012 (M100-S22) に準拠
† 菌名コード：4001と報告された菌
‡ 集計株数が30株未満の場合には、集計結果を公表しない

本公表データは国内の全医療機関の数値を集計したデータではありません。
データ集計日 ： 2026年05月08日
公開情報掲載日： 2026年08月17日

JANIS

7. 主要菌の抗菌薬感受性* 【尿検体】

Escherichia coli †



	感性(S)	中間(I)	耐性(R)	判定不能
ABPC (N=162,171)	82,883 (51.1%)	1,570 (1%)	77,715 (47.9%)	3 (0.0%)
PIPC (N=138,300)	75,843 (54.8%)	4,156 (3%)	58,301 (42.2%)	0 (0.0%)
TAZ/PIPC (N=149,901)	145,183 (96.9%)	1,866 (1.2%)	2,786 (1.9%)	66 (0.0%)
CEZ (N=159,558)	73,169 (45.9%)	6,731 (4.2%)	53,961 (33.8%)	25,697 (16.1%)
CMZ (N=171,574)	169,394 (98.7%)	1,251 (0.7%)	929 (0.5%)	0 (0.0%)
CTX (N=101,706)	75,905 (74.6%)	645 (0.6%)	25,155 (24.7%)	1 (0.0%)
CTRX (N=139,426)	102,009 (73.2%)	356 (0.3%)	37,059 (26.6%)	2 (0.0%)
CAZ (N=165,239)	137,465 (83.2%)	7,626 (4.6%)	19,797 (12%)	351 (0.2%)
CFPM (N=163,325)	137,500 (84.2%)	3,138 (1.9%)	22,687 (13.9%)	0 (0.0%)
AZT (N=134,502)	106,897 (79.5%)	4,042 (3%)	23,528 (17.5%)	35 (0.0%)
IPM (N=138,679)	138,376 (99.8%)	193 (0.1%)	49 (0.0%)	61 (0.0%)
MEPM (N=172,432)	172,344 (99.9%)	12 (0.0%)	76 (0.0%)	0 (0.0%)
AMK (N=168,956)	168,595 (99.8%)	216 (0.1%)	142 (0.1%)	3 (0.0%)
LVFX (N=164,223)	99,068 (60.3%)	3,851 (2.3%)	56,688 (34.5%)	4,616 (2.8%)

入院検体で、かつ検査法が微量液体希釈法又はEtestと設定されMIC値が報告されている検体を集計
患者毎に当該検査材料由来の各菌種の初回分離株を集計する重複処理(巻末資料)が行われている
* S,I,Rの判定はCLSI 2012 (M100-S22) に準拠
† 菌名コード：2001～2007と報告された菌
‡ 集計株数が30株未満の場合には、集計結果を公表しない

本公表データは国内の全医療機関の数値を集計したデータではありません。
データ集計日 ： 2026年05月08日
公開情報掲載日： 2026年08月17日

Japan Nosocomial Infections Surveillance

【巻末資料１　主要菌の菌名コード ／ 微量液体希釈法に基づく耐性菌の判定基準】

主要菌の菌名コード（薬剤感受性条件なし）

菌名	菌名コード Ver.6.1
Staphylococcus aureus	1301,1303-1306
Staphylococcus epidermidis	1312
Streptococcus pneumoniae	1131
Enterococcus faecalis	1201,1202
Enterococcus faecium	1205,1206
Escherichia coli	2001-2007
Klebsiella pneumoniae	2351
Enterobacter cloacae complex＊	2151,2155,2157-2161
Klebsiella aerogenes	2152
Enterobacterales	2000-2691,3150-3151
Pseudomonas aeruginosa	4001
Acinetobacter spp.	4400-4403

＊*Enterobacter cloacae* complex は、以下の菌名コードの菌種を含む
（Davin-Regli et al (2019), *Clinical Microbiology Reviews*）

2151　*Enterobacter cloacae*
2155　*Enterobacter asburiae*
2157　*Enterobacter hormaechei*
2158　*Enterobacter kobei*
2159　*Enterobacter ludwigii*
2160　*Enterobacter mori*
2161　*Enterobacter nimipressuralis*

微量液体希釈法に基づく耐性菌の判定基準

菌名 †	概要	微量液体希釈法の判定基準	菌名コード Ver.6.1
MRSA	MPIPC または CFX が耐性の *S. aureus* または選択培地で MRSA と確認された菌	MPIPC ≧4μg/mL CFX ≧8μg/mL	1301,1303
VRSA	VCM が微量液体希釈法で耐性の *S. aureus*	VCM ≧16μg/mL	1301,1303-1306
VRE	下記のいずれかの条件を満たす *Enterococcus* spp. ・VCM が微量液体希釈法で耐性 ・選択培地で VRE と確認された菌 注）種の同定が行われていない *Enterococcus* sp.は除く	VCM ≧16μg/mL	1201,1202,1205, 1206,1209,1210, 1213-1217
PRSP	PCG が微量液体希釈法で耐性の *S. pneumoniae* 注）無菌検体とは以下に該当する検査材料コードを示す 401（静脈血）,402（動脈血）,403（髄液）,404（胸水） 405（腹水）,406（関節液）,407（骨髄液）,408（心嚢水）	無菌検体 PCG ≧0.125μg/mL 無菌検体以外 PCG ≧4μg/mL	1131
MDRP	下記全てに該当する *P. aeruginosa* 1. カルバペネム系（IPM、MEPM の何れか）が耐性 2. アミノグリコシド系の AMK が中間・耐性 3. フルオロキノロン系（CPFX、LVFX の何れか）が耐性	1.IPM ≧8μg/mL MEPM ≧8μg/mL 2.AMK ≧32μg/mL 3.CPFX ≧2μg/mL LVFX ≧4μg/mL	4001
MDRA	下記全てに該当する *Acinetobacter* spp. 1. カルバペネム系（IPM、MEPM の何れか）が耐性 2. アミノグリコシド系の AMK が中間・耐性 3. フルオロキノロン系（CPFX、LVFX の何れか）が耐性	1.IPM ≧16μg/mL、 MEPM ≧16μg/mL ‡ 2.AMK ≧32μg/mL 3.CPFX ≧4μg /mL LVFX ≧8μg/mL ‡	4400-4403
CRE	MEPM が耐性の腸内細菌目細菌	1.MEPM ≧2μg/mL	2000-2691,3150-3151
カルバペネム耐性緑膿菌	IPM または MEPM が耐性の *P. aeruginosa*	IPM・MEPM ≧8μg/mL	4001
第三世代セファロスポリン 耐性肺炎桿菌	CTX または CTRX または CAZ が "R" の *K. pneumoniae*	CTX・CTRX≧4μg/mL ‡ CAZ ≧16μg/mL ‡	2351
第三世代セファロスポリン 耐性大腸菌	CTX または CTRX または CAZ が "R" の *E. coli*	CTX・CTRX≧4μg/mL ‡ CAZ ≧16μg/mL ‡	2001-2007
フルオロキノロン 耐性大腸菌	フルオロキノロン系（NFLX、OFLX、LVFX、LFLX、CPFX の何れか）が "R" の *E. coli*	NFLX ≧16μg/mL ‡ OFLX ≧8μg/mL ‡ LVFX ≧8μg/mL ‡ LFLX ≧8μg/mL ‡ CPFX ≧4μg/mL ‡	2001-2007

薬剤耐性菌の判定基準は、薬剤耐性菌判定基準（Ver.5.0）と 検査部門特定の耐性菌判定基準（Ver.5.0）を基に作成しており、
原則として感染症発生動向調査の基準（2026 年 4 月 6 日施行）に準拠している。
VRE、PRSP、CRE、および MDRP・MDRA の AMK の判定基準は CLSI の基準と異なることに注意。

†：耐性菌の菌名は以下の通り
MRSA：Methicillin-resistant *S. aureus*　メチシリン耐性黄色ブドウ球菌
VRSA：Vancomycin-resistant *S. aureus*　バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌
VRE：Vancomycin-resistant *Enterococcus* spp.　バンコマイシン耐性腸球菌
PRSP：Penicillin-resistant *S. pneumoniae*　ペニシリン耐性肺炎球菌
MDRP：Multidrug-resistant *P. aeruginosa*　多剤耐性緑膿菌
MDRA：Multidrug-resistant *Acinetobacter* spp.　多剤耐性アシネトバクター属
CRE：Carbapenem-resistant *Enterobacterales*　カルバペネム耐性腸内細菌目細菌

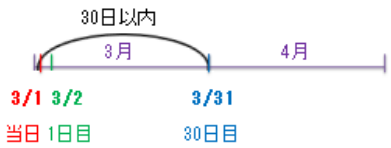
‡：JANIS 検査部門における判定基準であり、CLSI 2012（M100-S22）に準拠している。

【巻末資料２　公開情報の集計方法について】

1.　日数の数え方

検体提出日の翌日を 1 日目とする。検体提出日が 3 月 1 日とすると、1 日目が 3 月 2 日、30 日目が 3 月 31 日となる。

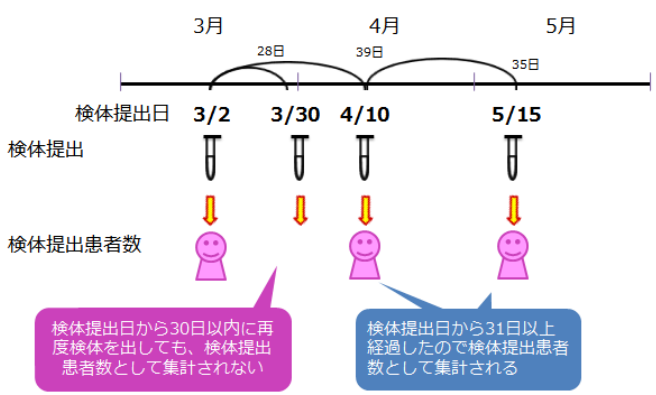
例)



2.　検体提出患者数

検体提出患者数は、検体の種類や菌分離の有無に関わらず検体(入院検体)が提出された患者の数である。
検体提出患者数は重複処理を行っており、30 日以内の同一患者からの複数の検体提出は 1 件とする。

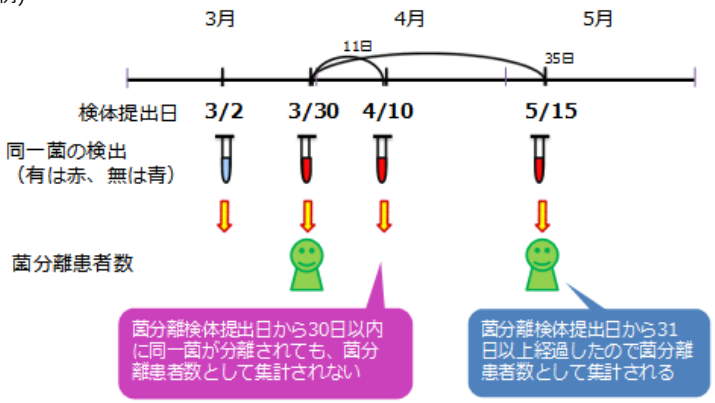
例)



3.　菌分離患者数

菌分離患者数も検体提出患者と同様の重複処理を行い、30 日以内に同一患者から同一菌が複数回検出された場合、菌分離患者数は 1 件とする。耐性菌分離患者数は、耐性菌の基準に合致する菌をまず抽出し、その中で上記重複処理を行っている。なお、年報の「2．データ提出医療機関数、検体数、分離菌数」「3．検体材料別分離菌数割合」で重複処理前の値と併記しているのは、上記重複処理を実施した後の値である。

例)



4.　分離率の算出

「4．主要菌分離患者数と全医療機関の分離率分布」「5.特定の耐性菌分離患者数と全医療機関の分離率分布」の各分離率は以下の算出式を用いている。なお、公開情報年報での全医療機関とは、集計対象医療機関を表す。

‡全体の分離率 ＝（集計対象医療機関の対象菌の分離患者数合計）÷（集計対象医療機関の検体提出患者数合計）×100

¶分離率 ＝（対象菌の分離患者数） ÷（検体提出患者数）×100

5.　抗菌薬感受性検査結果をもとにした同一菌と異なる菌との区別

30 日以内に同一患者から同一菌が検出された場合であっても、検査抗菌薬感受性結果に 1 つ以上不一致（下記①～④のいずれかに該当）がある場合は異なる菌株として集計される。

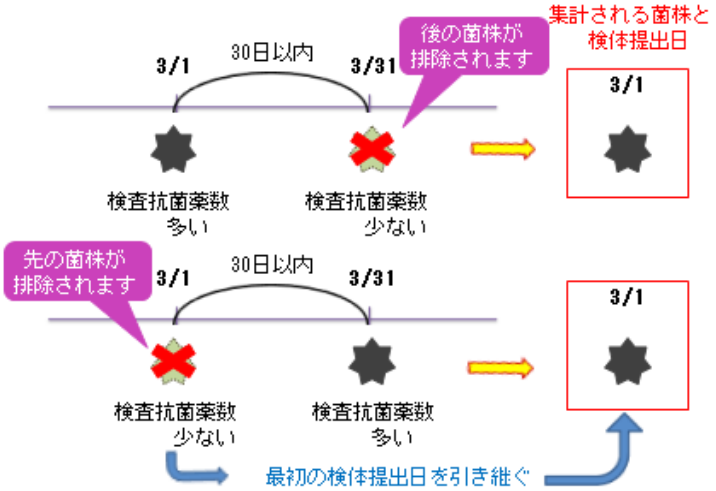
① MIC 値に 4 倍以上の違いがある
　ただし、MIC > 2 は MIC ≧ 4 と考え、判定時は MIC = 4 として扱う
　また、MIC < 16 は MIC ≦ 16 と考え、判定時は MIC = 16 として扱う
② SIR 判定では「S と R」の組み合わせ
③ +/- 判定では「-と++」または「+と+++」または「-と+++」の組み合わせ
④ 共通する検査抗菌薬数が 5 未満

【巻末資料２　公開情報の集計方法について】

6.　抗菌薬感受性結果の重複処理

検体提出日が先の菌株の検査抗菌薬数が（30 日以内の）後の菌株の検査抗菌薬数より多い場合、後の菌株の抗菌薬感受性検査結果は排除する。また、検体提出日が後の菌株の検査抗菌薬が（30 日以内の）先の菌株の検査抗菌薬より多い場合、先の菌株の抗菌薬感受性検査結果を排除するが、先の検査の検体提出日を引き継ぐ。

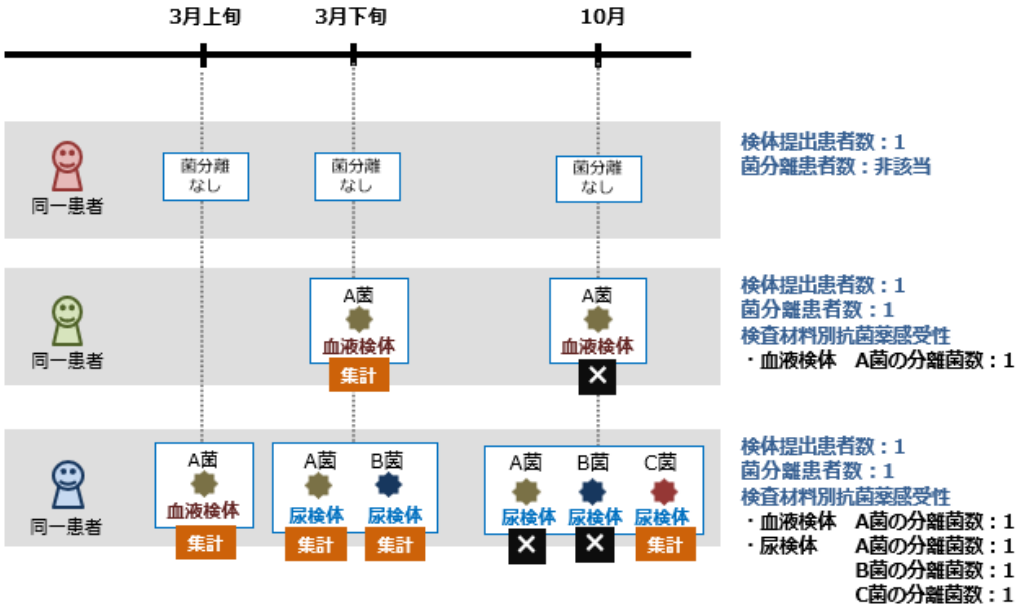
例）



7.　抗菌薬感受性結果の重複処理（検査材料別アンチバイオグラムの場合）

WHO GLASS 方式に準拠し、同一患者から同一検査材料由来の同一菌の抗菌薬感受性が複数回報告された場合は、抗菌薬感受性結果にかかわらず、初回の 1 件のみ集計する。
同一患者から異なる菌の抗菌薬感受性結果が報告された場合は、それぞれ初回の 1 件のみ集計する。

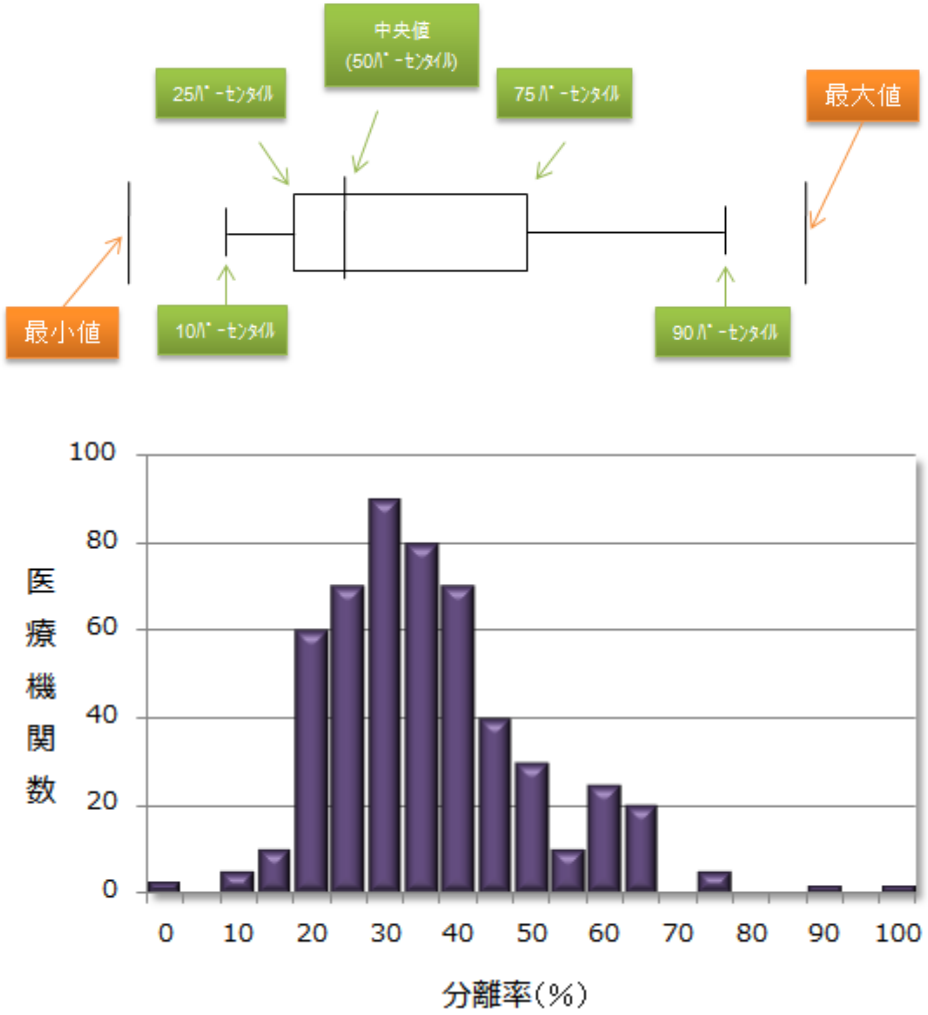
例）



【巻末資料３　箱ひげ図について】

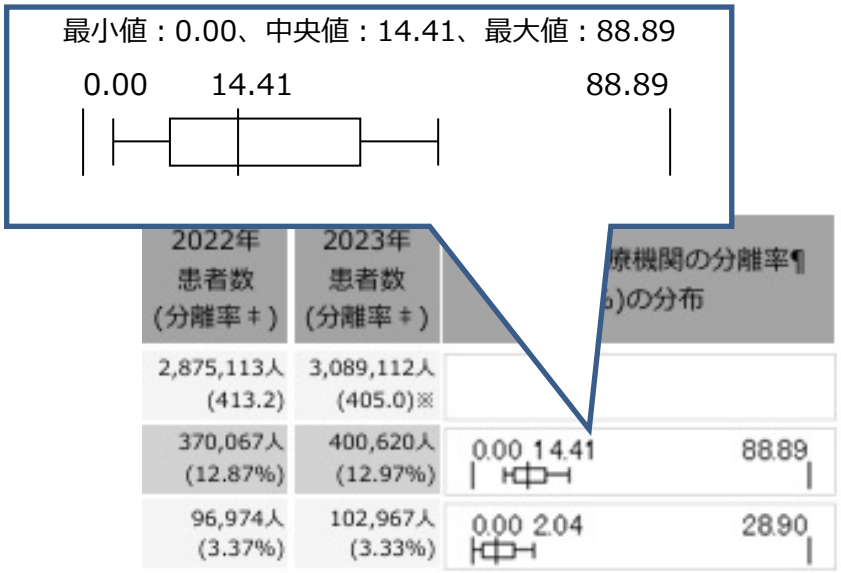
1.　箱ひげ図について

集計対象医療機関のデータのばらつきを示し、集計対象医療機関における自施設の位置を確認することができる。



※　パーセンタイル：値を小さいものから大きいものへと順番に並べ、全体を 100 として何番目であるかを表したもの。
例えば、10 パーセンタイルは、全体を 100 として小さいほうから数えて 10 番目の計測値を示している。

2.　公開情報の箱ひげ図



公開情報 2025 年 1 月～12 月 年報（集計対象医療機関・200 床未満）
院内感染対策サーベイランス 検査部門 【入院検体・CLSI 2012 版】

JANIS

Japan Nosocomial Infections Surveillance

【検査部門におけるサーベイランスの概要と目的】

本サーベイランスの目的は、細菌検査により検出される主要な細菌の分離頻度とその抗菌薬感受性を継続的に収集・解析し、医療機関における主要な細菌ならびに薬剤耐性菌の分離状況を明らかにすることである。

サーベイランスの対象となる主要菌ならびに薬剤耐性菌の分離率は、医療機関から提出された陰性検体を含むすべての細菌検査データを基に集計し、算出している。また検査材料別の分離菌割合や菌種別の分離患者数、集計医療機関の分離率分布を集計し、医療機関における主要菌ならびに薬剤耐性菌のベンチマークとなる情報を提供している。

【公開情報の一部改訂について】

- 特定の耐性菌の判定基準について

本年報より、特定の耐性菌の集計には、原則として 2025 年 4 月 7 日および 2026 年 4 月 6 日に改訂施行された感染症法による感染症発生動向調査の届出基準に準拠した判定基準を用いた。判定基準については巻末資料を参照のこと。

この基準改訂により、イミペネム耐性かつセフメタゾール耐性だがメロペネムに感性の株はカルバペネム耐性腸内細菌目細菌（CRE）と判定されなくなり、非無菌検体から分離された肺炎球菌をペニシリン耐性肺炎球菌（PRSP）と判定する基準が≧0.125μg/mL から≧4μg/mL へ厳格化された。また、カルバペネム耐性緑膿菌および多剤耐性緑膿菌（MDRP）でカルバペネム耐性と判定するための MIC 値が 16μg/mL から 8μg/mL に引き下げられた。

これに伴い、CRE、PRSP、カルバペネム耐性緑膿菌および MDRP の集計値は前年までの値と定義が異なるため、経年的な比較には注意を要する。

- 「7.主要菌の抗菌薬感受性」

全集計対象医療機関の年報の集計項目にあわせ、200 床未満についても本年報より従来の「7.主要菌の抗菌薬感受性」に加え、以下の検査材料別アンチバイオグラムを追加した。

・*Staphylococcus aureus*（ALL）【血液検体】
・*Pseudomonas aeruginosa*【血液検体】
・*Escherichia coli*【尿検体】

本公表データは国内の全医療機関の数値を集計したデータではありません　データ集計日：2026 年 05 月 08 日
公開情報掲載日：2026 年 08 月 17 日

【図表】

1. データ提出医療機関*数
2. データ提出医療機関数、検体数、分離菌数
3. 検査材料別分離菌数割合
4. 主要菌分離患者数と全医療機関*の分離率分布
5. 特定の耐性菌†分離患者数と全医療機関*の分離率分布
6. 特定の耐性菌†が分離された医療機関の割合
7. 主要菌の抗菌薬感受性
   Staphylococcus aureus （ALL）
   Staphylococcus aureus （Methicillin-susceptible *Staphylococcus aureus* : MSSA）
   Staphylococcus aureus （Methicillin-resistant *Staphylococcus aureus* : MRSA†）
   Staphylococcus epidermidis
   Coagulase-negative staphylococci （CNS‡）
   Enterococcus faecalis
   Enterococcus faecium
   Streptococcus pneumoniae
   Streptococcus pyogenes
   Streptococcus agalactiae
   Escherichia coli
   Klebsiella pneumoniae
   Enterobacter cloacae
   Enterobacter cloacae complex§
   Klebsiella aerogenes
   Citrobacter freundii
   Citrobacter koseri
   Proteus mirabilis
   Proteus vulgaris
   Serratia marcescens
   Pseudomonas aeruginosa
   Acinetobacter spp.
   Haemophilus influenzae
   Staphylococcus aureus（ALL）【血液検体】
   Pseudomonas aeruginosa【血液検体】
   Escherichia coli【尿検体】

＊ここではデータ提出医療機関ならびに全医療機関は、集計対象医療機関を表す
† 巻末資料【耐性菌の判定基準】参照
‡ *S. epidermidis* を除く Coagulase-negative staphylococci
§ *Enterobacter cloacae* complex は以下の菌種（菌名コード）を含む
（Davin-Regli et al （2019）,*Clinical Microbiology Reviews*）
Enterobacter cloacae（2151）、*Enterobacter asburiae*（2155）、*Enterobacter hormaechei*（2157）、*Enterobacter kobei*（2158）、*Enterobacter ludwigii*（2159）、*Enterobacter mori*（2160）、*Enterobacter nimipressuralis*（2161）

本公表データは国内の全医療機関の数値を集計したデータではありません
データ集計日： 2026 年 05 月 08 日
公開情報掲載日： 2026 年 08 月 17 日

Japan Nosocomial Infections Surveillance

【解説】

1. データ提出医療機関数

病床規模が 200 床未満の 2025 年年報（2025 年 1 月～12 月）の集計対象医療機関数は 1,687 医療機関であり、前年より 209 医療機関増加した。これは、国内 5,662 医療機関の 29.8%を占めていた。

2. データ提出医療機関数、検体数、分離菌数

200 床未満の医療機関より入院患者由来の検体として 1,248,105 検体が報告され、30 日ごとの重複処理後では 864,883 検体となった。重複処理後の 864,883 検体のうち、細菌が分離されたものは 529,776 検体（陽性検体の割合：61.3%）、分離菌数は 954,344 株であった。

30 日ごとの重複処理後の検査材料の内訳は、呼吸器系検体が 283,801 検体（32.8%）と最も多く、次いで尿検体 259,619 検体（30.0%）、血液検体 185,678 検体（21.5%）、便検体 46,418 検体（5.4%）、髄液検体 3,125 検体（0.4%）であった。また、これらの検査材料以外であるその他の検体は 86,242 検体（10.0%）であった。

検査材料別の陽性検体の割合（30 日ごとの重複処理後）は、呼吸器系検体が 78.9%で最も高く、次いで尿検体 74.8%、便検体 43.2%、血液検体 22.6%、髄液検体 6.2%の順であった。また、その他の検体では 57.3%であった。

3. 検査材料別分離菌数割合

検査材料別分離菌数割合は、起因菌や常在菌・汚染菌にかかわらず、各医療機関から報告されたすべての菌について 30 日ごとの重複処理前後の分離菌数割合を併記している。

血液検体分離菌のうち、重複処理前の上位 3 菌種は *E. coli* 17,297 株（21.3%）、*S. aureus* 11,486 株（14.1%）、*S. epidermidis* を除く CNS 9,141 株（11.2%）であったが、重複処理後では *E. coli* 10,085 株（20.7%）、*S. epidermidis* を除 CNS 5,916 株（12.1%）、*S. aureus* 5,908 株（12.1%）であった。

髄液検体分離菌のうち、重複処理前の上位 3 菌種は *S. epidermidis* を除く CNS 35 株（13.6%）、同率で *S. epidermidis* 35 株（13.6%）、次いで *E. coli* 31 株（12.1%）であったが、重複処理後では *S. epidermidis* を除く CNS 30 株 （13.3%）、*S. aureus* 27 株（12.0%）、*E. coli* 26 株（11.6%）であった。

呼吸器系検体分離菌のうち、重複処理前の上位 3 菌種は *S. aureus* 89,514 株（16.2%）、

α-*Streptococcus* 58,467 株（10.6%）、*P. aeruginosa* 50,765 株（9.2%）であり、重複処理後でも *S. aureus* 75,057 株（16.0%）、α-*Streptococcus* 50,727 株（10.8%）、*P. aeruginosa* 40,167 株（8.6%）であった。

尿検体分離菌のうち、重複処理前の上位 3 菌種は *E. coli* 95,635 株（27.2%）、*E. faecalis* 28,735 株（8.2%）、*K. pneumoniae* 28,590 株（8.1%）であり、重複処理後でも *E. coli* 85,963 株（27.4%）、*E. faecalis* 26,423 株（8.4%）、*K. pneumoniae* 25,856 株（8.2%）であった。

4. 主要菌分離患者数と全医療機関の分離率分布

検体提出患者数は 590,259 人であった。

分離患者数が最も多かった *E. coli* は、検体提出患者のうち 20.32%にあたる 119,915人より分離されており、次いで *S. aureus* 99,865人（16.92%）、*P. aeruginosa* 63,614 人（10.78%）の順であった。前年と比較し検体提出患者数は約 10%増加したが、*S. aureus*（-0.17%）、*S. epidermidis*（-0.11%）、*E. faecalis*（-0.18%）、*E. coli*（-0.18%）の分離率は-0.1%以上減少しており、0.1%以上増加したのは *K. pneumoniae*（+0.12%）のみであった。

5. 特定の耐性菌分離患者数と全医療機関の分離率分布

本年報より特定の耐性菌の分離患者数は、原則として 2026 年 4 月 6 日に施行された感染症発生動向調査に準拠した判定基準を用いて集計している。判定基準については巻末資料を参照のこと。

薬剤耐性菌のうち、分離患者数が最も多かった MRSA は、検体提出患者の 9.26%にあたる 54,676 人から分離された。多剤耐性アシネトバクター属（MDRA）、およびバンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌（VRSA）の分離報告はなかった。

前年と比較し分離患者数が減少していたのは、バンコマイシン耐性腸球菌（VRE）272 人（0.05%）、ペニシリン耐性肺炎球菌（PRSP）129 人（0.02%）、カルバペネム耐性腸内細菌目細菌（CRE）323 人（0.05%）であった。特に PRSP は前年に比べ 810 人（分離率 0.15%の減少）、CRE は 551 人（分離率 0.11%の減少）減少しているが、これは、本概要の冒頭に記載の通り、特定の耐性菌の判定基準変更の影響を受けていると考えられる。

なお、PRSP の分離患者数は、無菌検体の PCG 耐性（≧0.125μg/mL）と無菌検体以外の PCG 耐性（≧4μg/mL）を合計した人数となっており、CRE は MEPM 耐性（≧2μg/mL）のみ集計している。

また、CRE の分離率 0.05%とは検体提出患者数を分母とした場合であり、*Enterobacterales* 分離

患者数を分母とした場合には 0.14%となる。

CRE の菌種別内訳は、*K. aerogenes* が 36.3%、*E. cloacae* が 34.1%、*K. pneumoniae* が 10.1%（*K. pneumoniae* subsp. *ozaenae* と *K. pneumoniae* subsp. *Rhinoscleromatis* を含めると 10.2%）、*E. coli* が 4.6%と続いた。

多剤耐性緑膿菌（MDRP）とカルバペネム耐性緑膿菌の分離患者数は、前年に比べてそれぞれ 62 人の増加（分離率 0.01%増加）、2,259 人の増加（分離率 0.30%増加）となった。これも、本概要の冒頭に記載の通り、特定の耐性菌の判定基準変更の影響を受けていると考えられる。

第三世代セファロスポリン耐性の肺炎桿菌と大腸菌は、それぞれ 13,388 人（2.27%）、39,526 人（6.70%）より分離された。いずれも 2018 年から新たにセフトリアキソン（CTRX）が判定基準に追加されており、2017 年以前との単純な比較はできないことに注意が必要である。

フルオロキノロン耐性大腸菌は 49,238 人（8.34%）と MRSA に次いで多く分離された。

6. 特定の耐性菌が分離された医療機関の割合

MRSA は集計対象となった 1,687 医療機関のうち 1,660 医療機関（98.4%）から分離報告され、27 医療機関からの分離報告はなかった。VRE は集計対象医療機関の 3.3%からの報告であった。

PRSP は 65 医療機関（3.9%、前年は 24.7%）、CRE は 181 医療機関（10.7%、前年は 20.6%）からと、前年と比較し著しく分離報告が減少した一方、カルバペネム耐性緑膿菌は 1,198 医療機関（71.0%、前年は 63.2%）、MDRP は 91 医療機関（5.4%、前年は 4.2%）より分離報告され、どちらも前年と比較して増加した。これらはいずれも前述の通り、特定の耐性菌の判定基準変更の影響によるものと考えられる

第三世代セファロスポリン耐性の肺炎桿菌と大腸菌はそれぞれ 1,263 医療機関（74.9%）、1,575 医療機関（93.4%）から分離報告された。

フルオロキノロン耐性大腸菌は 1,493 医療機関（88.5%）から分離報告された。

7. 主要菌の抗菌薬感受性

主要菌の抗菌薬感受性は、原則 CLSI 2012（M100-S22）の判定基準に従った。

【すべての検査材料】

S. aureus（ALL）では、オキサシリン（MPIPC）の耐性率が 53.1%、セフォキシチン（CFX）の耐性率が 52.6%であった。ゲンタマイシン（GM）の耐性率は 24.6%、エリスロマイシン（EM）の耐性率は 51.2%、レボフロキサシン（LVFX）の耐性率は 61.7%であった。一方、バンコマイシン（VCM）は感性がほぼ 100%で耐性株の報告はなかったが、中等度耐性が 6 株報告された。テイコプラニン（TEIC）は感性が 99.9%で、中等度耐性が 4 株報告された（判定不能を除く）。リネゾリド（LZD）は 8 株が耐性であったが、ほぼ感性であった。ダプトマイシン（DAP）は感性が 99.7%で、0.3%（62 株）が非感性であった。

MSSA に対するペニシリン G（PCG）の耐性率は 51.5%、EM は 20.0%が耐性であった。セファゾリン（CEZ）の感性はほぼ 100%であったが、中等度耐性が 4 株、耐性が 6 株報告された。LVFX は 78.1%が感性であった。

MRSA に対する VCM は感性がほぼ 100%で耐性株の報告はなかったが、中等度耐性が 4 株報告された。TEIC は 37,477 株のうち中等度耐性が 4 株あったが、耐性株の報告はなかった。LZD は 6 株が耐性であったが、ほぼ感性であった。DAP は 99.6%が感性で、0.4%（50 株）が非感性であった。

S. epidermidis に対する MPIPC の感性率は 27.1%であった。VCM は 13,206 株中 1 株を除くすべてが感性、TEIC は 99.1%が感性であった。

S. epidermidis を除く CNS に対する MPIPC の感性率は 38.2%であったが、VCM の感性率は 99.9%、3 株が中等度耐性、20 株が耐性であった。TEIC では 99.1%が感性であった。

腸球菌では、*E. faecalis* に対する PCG、アンピシリン（ABPC）の感性率がそれぞれ 99.4%、99.8%であったが、*E. faecium* に対してはいずれも 5.6%であった。また、*E. faecalis* に対する VCM の感性率はほぼ 100%であったが、32,662 株のうち中等度耐性が 2 株、耐性が 6 株報告された。
E. faecium に対しては 98.9%が感性で、12,657 株のうち中等度耐性が 0.1%（12 株）で、耐性が 1.0%（128 株）であった。

本公表データは国内の全医療機関の数値を集計したデータではありません
データ集計日： 2026 年 05 月 08 日
公開情報掲載日： 2026 年 08 月 17 日

S. pneumoniae については CLSI 2012 の基準に準じて髄液検体由来株と髄液以外の検体由来株に分けて判定した。髄液検体由来株では髄膜炎（meningitis）の場合の判定基準を用い、髄液以外の検体由来株では髄膜炎以外（nonmeningitis）の場合の判定基準を用いた。なお、髄膜炎（meningitis）と髄膜炎以外（nonmeningitis）とで判定基準が異なる薬剤は PCG とセフォタキシム（CTX）、セフトリアキソン（CTRX）である。

髄液検体由来の *S. pneumoniae* は、各抗菌薬の集計株数が 30 株未満であったため非公開とした。

髄液以外の検体由来の *S. pneumoniae* に対する PCG の中等度耐性（4μg/mL）は 3.2%（75 株）、耐性（≧8μg/mL）は 1.6%（37 株）であった。

CTX、CTRX の中等度耐性（2μg/mL）は 1.2%、3.1%であり、耐性（≧4μg/mL）は 3.3%、5.4%であった。メロペネム（MEPM）の中等度耐性は 15.5%、耐性は 7.3%であった。LVFX の中等度耐性は 0.5%、耐性は 12.0%であった。VCM はすべて感性であった。

S. pyogenes に対する PCG、ABPC、CTX、CTRX はすべてが感性であった（判定不能を除く）。EM は 14.1%、クリンダマイシン（CLDM）は 7.7%が耐性であった。

S. agalactiae に対しては、PCG、ABPC、CTX、CTRX のそれぞれ 7.9%、1.1%、1.0%、0.5%が非感性で、EM 34.7%、CLDM 19.5%が耐性であった

集計を行った腸内細菌目細菌の 10 菌種（*E. coli*、 *K. pneumoniae*、 *E. cloacae* complex、*E. cloacae* 、*K. aerogenes*、*C. freundii*、*C. koseri*、*P. mirabilis*、*P. vulgaris*、*S. marcescens*）については、CLSI で 2010 年と 2011 年にセファロスポリン系抗菌薬とカルバペネム系抗菌薬のブレイクポイントが変更されたため、一部の薬剤で判定不能や S と I の区別ができない薬剤（特に CEZ）が引き続きみられた。

E. coli と *K. pneumoniae* に対する第三世代セファロスポリン系抗菌薬である CTX、CTRX およびセフタジジム（CAZ）の耐性率は、*E. coli* では 33.5%、37.6%、18.6%、*K. pneumoniae* では 21.3%、25.8%、18.7%であった。

腸内細菌目細菌の 10 菌種全体に対するカルバペネム系抗菌薬の感受性は、イミペネム（IPM）の耐性率が 0.83%であり、MEPM のそれは 0.14%であった。菌種別にみると、IPM 耐性率が高かったのは *P. vulgaris*、*P. mirabilis* で、それぞれ 11.6%、8.7%であったが、MEPM に関しては *P. vulgaris* は耐性株の報告はなく、*P. mirabilis* の耐性率は 0.02%であった。

一方、*E. cloacae*、*K. aerogenes*、*S. marcescens* に対しては、IPM の耐性率が 0.8%、0.9%、

本公表データは国内の全医療機関の数値を集計したデータではありません
データ集計日： 2026 年 05 月 08 日
公開情報掲載日： 2026 年 08 月 17 日

0.5%であり、MEPM の耐性率は 0.6%、0.2%、0.1%であった。

分離株数の多い *E. coli* および *K. pneumoniae* に対する IPM の耐性率はそれぞれ 0.04%と 0.1%、MEPM の耐性率は 0.03%と 0.2%であった。

また、腸内細菌目細菌 10 菌種全体に対する LVFX の耐性率は 24.8%であり、菌種別では、*E. coli* の 45.1%が最も高く、次いで *P. mirabilis* 18.6%、*K. pneumoniae* 8.6%であった。一方、最も低かったのは *P. vulgaris* で 0.6%、次いで *K. aerogenes* 1.0%、*E. cloacae* complex 3.7%であった。

P. aeruginosa に対する IPM、MEPM の感性率は、それぞれ 82.6%、87.8%であった。GM と AMK は 89.6%、98.4%、LVFX は 87.0%が感性であった。

Acinetobacter spp.に対する IPM、MEPM の感性率は、それぞれ 98.6%、98.8%であった。GM と AMK は 91.8%、98.8%、LVFX は 84.5%が感性であった。

H. influenzae に対する ABPC の感性率は 38.2%、スルバクタム/アンピシリン（SBT/ABPC）とクラブラン酸/アモキシシリン（CVA/AMPC）では、それぞれ 64.5%、78.2%が感性であった。

【検査材料別】

血液検体を集計対象とした *S. aureus*（ALL）では、MPIPC の耐性率が 44.3%、CFX の耐性率が 39.5%であった。GM の耐性率は 25.9%、EM の耐性率は 44.9%、LVFX の耐性率は 52.5%であった。VCM、TEIC、LZD はすべて感性であった。DAP は感性が 99.7%で、0.3%（4 株）が非感性であった。

血液検体を集計対象とした *P. aeruginosa* に対する IPM、MEPM の感性率は、それぞれ 88.8%、92.0%であった。GM と AMK では 94.2%、99.7%が感性で、LVFX では 92.7%が感性であった。

尿検体を集計対象とした *E. coli* に対する第三世代セファロスポリン系抗菌薬の CTX、CTRX および CAZ の耐性率は、29.3%、32.3%、16.0%であった。セフメタゾール（CMZ）の耐性率は 0.6%、カルバペネム系抗菌薬である IPM の中等度耐性は 0.1%（45 株）、耐性は 0.03%（12 株）であった。MEPM の中等度耐性は 0.01%（3 株）、耐性は 0.02%（9 株）であった。LVFX に対する耐性率は 41.6%であった。

本公表データは国内の全医療機関の数値を集計したデータではありません
データ集計日： 2026 年 05 月 08 日
公開情報掲載日： 2026 年 08 月 17 日

2025 年 1 月～12 月のうち、一部でもデータが未提出の 54 医療機関は集計対象外とした。下記の基準に該当する入院検体について医療機関に問い合わせを行った結果、提出されたデータに疑義が生じた 34 医療機関（微量液体希釈法での報告がない 25 医療機関を含む）についても集計から除外した。

集計対象条件

- 集計対象年 1 月～12 月のうち、一部でもデータが未提出の医療機関は集計から除外する
- 19 床以下の有床病床の報告は集計から除外する
- 提出されたデータに下記の疑義が生じた医療機関は集計から除外する

疑義データ問い合わせ項目

- 年間を通じて入院検体の報告がない
- 年間を通じて黄色ブドウ球菌、MRSA および大腸菌の報告がない
- 年間を通じて血液検体、尿検体、呼吸器系検体の報告がない
- 血液検体が年間 10 検体以上報告され、かつ陽性検体の割合が 50%以上
- 髄液検体が年間 5 検体以上報告され、かつ陽性検体の割合が 50%以上
- 微量液体希釈法での報告がない
- CRE の分離率が 5%以上
- 国内で過去に報告がない薬剤耐性菌（特殊な耐性を示す菌：カテゴリーA）に該当する薬剤耐性菌の報告がある
  - PCG、ABPC、VCM、LZD、CTX、CTRX 非感性の *S. pyogenes*
  - VCM、LZD 非感性の *S. agalactiae*
  - VCM、LZD 非感性の *S. pneumoniae*
  - VCM 耐性の *S. aureus*

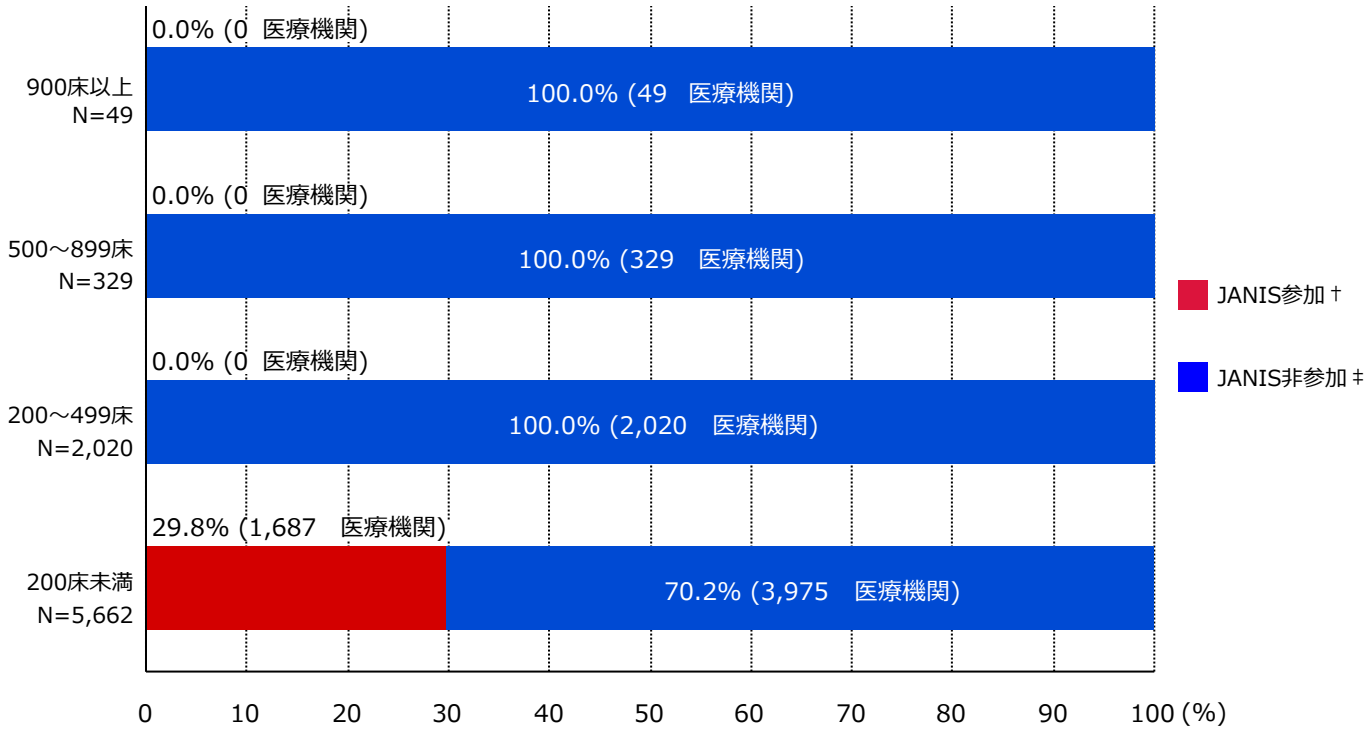
注：VCM 耐性の *S. aureus* など「特殊な耐性を示す菌：カテゴリーA」（上記、疑義データ問い合わせ項目参照）については、耐性または非感性と報告した全ての医療機関に対して報告内容が正しいかどうか確認しているため、入力ミスなどはすべて除外されている。
一方、「特殊な耐性を示す菌：カテゴリーA」以外の抗菌薬感受性結果については、医療機関からの報告をそのまま集計しているため、誤報告が含まれている可能性がある。

Japan Nosocomial Infections Surveillance

JANIS

Japan Nosocomial Infections Surveillance

1. データ提出医療機関*数(1,687医療機関)



*ここではデータ提出医療機関は集計対象医療機関を表す

†JANIS参加 = 2025年1～12月 集計対象医療機関数

‡JANIS非参加 =（2024年 全国医療機関数¶）－（2025年1～12月 集計対象医療機関数）

病床数	2024年 全国医療機関数¶	2025年1月～12月 集計対象医療機関数 (全国医療機関数に占める割合)
900床以上	49	0 (0.0%)
500～899床	329	0 (0.0%)
200～499床	2,020	0 (0.0%)
200床未満	5,662	1,687 (29.8%)
病床数不明	-	0 (-)
合計	8,060	1,687 (20.9%)

¶2024年医療施設(動態)調査を参照した

本公表データは国内の全医療機関の数値を集計したデータではありません。
データ集計日 ： 2026年05月08日
公開情報掲載日： 2026年08月17日

JANIS

2. データ提出医療機関数、検体数、分離菌数

検査材料分類	集計対象医療機関数	検体数		陽性検体数		分離菌数	
		重複処理前	重複処理後	重複処理前	重複処理後	重複処理前	重複処理後
呼吸器系検体	1,678	364,022	283,801	279,756	223,974	551,501	469,250
尿検体	1,677	309,856	259,619	226,942	194,279	352,086	313,957
便検体	1,600	56,395	46,418	23,959	20,061	39,858	34,155
血液検体	1,646	396,566	185,678	71,194	41,871	81,380	48,725
髄液検体	508	4,030	3,125	233	194	257	225
その他	1,671	117,236	86,242	62,494	49,397	102,709	88,032
合計	1,687	1,248,105	864,883	664,578	529,776	1,127,791	954,344

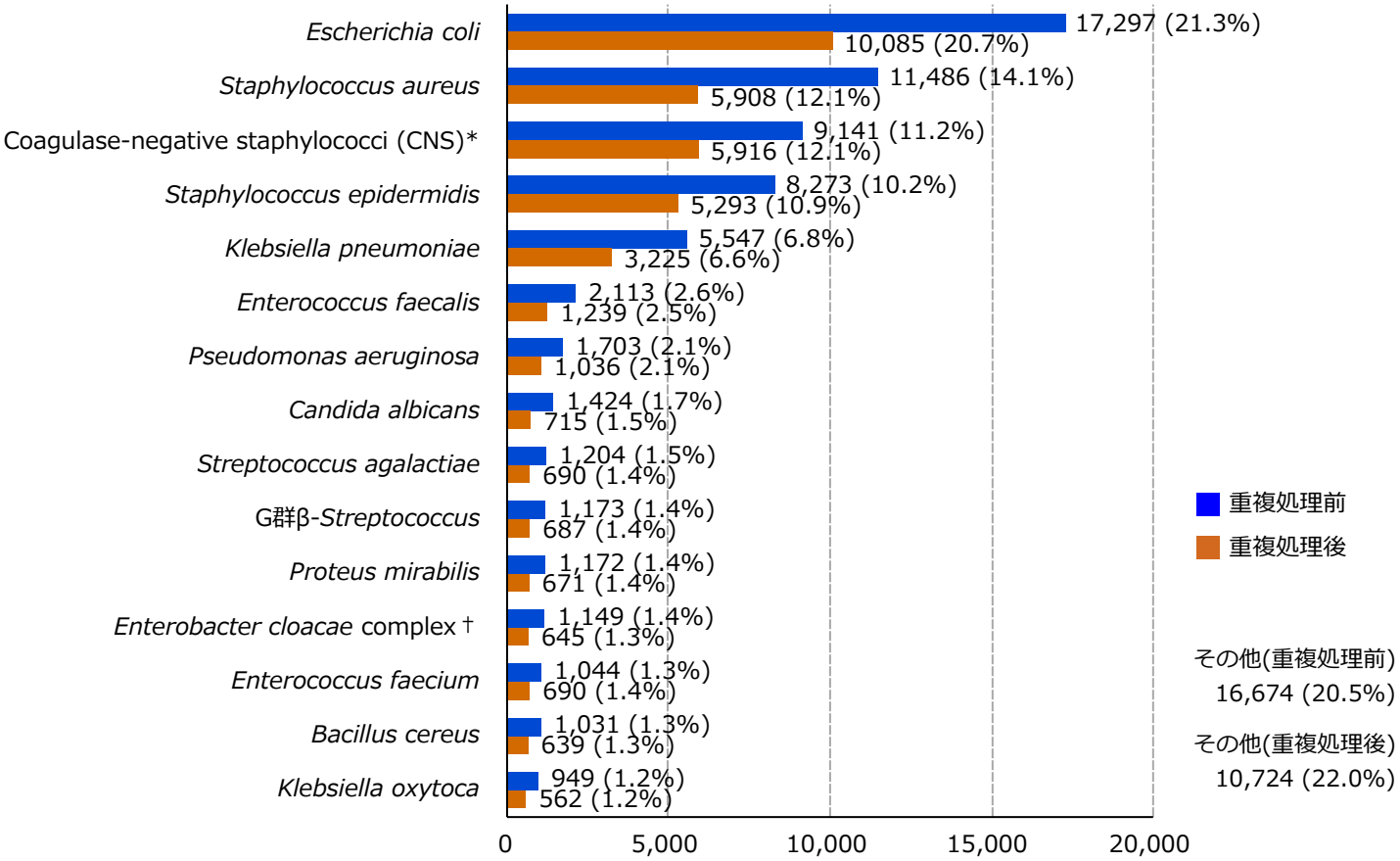
入院として報告された検体を集計
重複処理：30日単位で実施(巻末資料2参照)
集計対象菌：コメントのみ(菌名コード9999)の報告以外の全ての菌
検査材料分類は以下に該当する検査材料コードを集計
呼吸器系検体：
　101(喀出痰)、102(気管内採痰)、103(気管支洗浄液)、104(咽頭粘液)、105(鼻腔内)、106(口腔内)、
　107(生検材料(肺))、109(その他(呼吸器))、404(胸水)
尿検体：
　201(自然排尿)、202(採尿カテーテル)、203(留置カテーテル)、206(カテーテル尿(採尿、留置カテの区別不能))
便検体：
　301(糞便)
血液検体：
　401(静脈血)、402(動脈血)
髄液検体：
　403(髄液)
その他：上記以外の検査材料コード
検査材料コード：JANISホームページ＞各部門について＞検査部門　https://janis.mhlw.go.jp/section/kensa.html

本公表データは国内の全医療機関の数値を集計したデータではありません。
データ集計日　：　2026年05月08日
公開情報掲載日：　2026年08月17日

Japan Nosocomial Infections Surveillance

3. 検査材料別分離菌数割合

血液検体分離菌



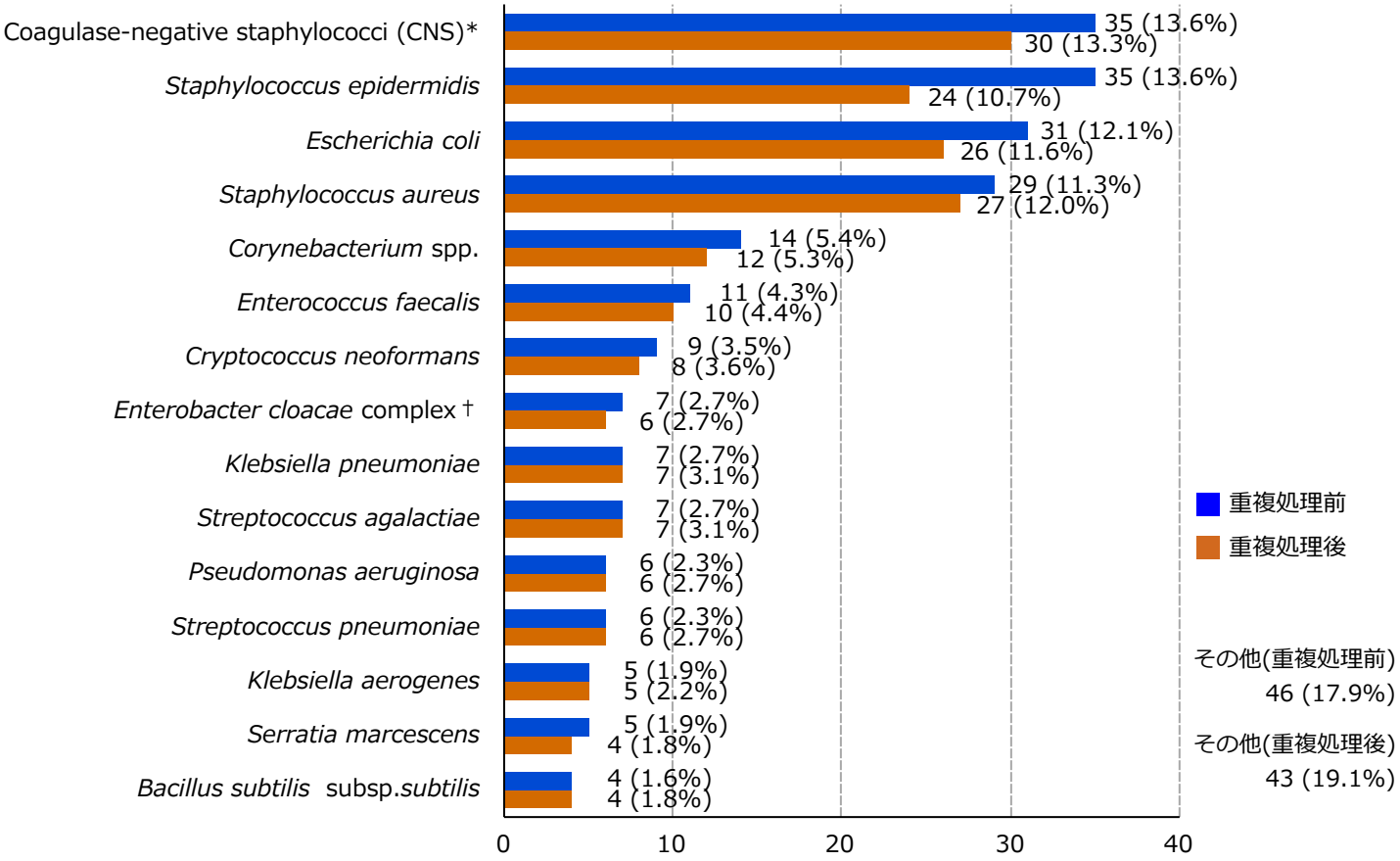
*菌名コード：1311, 1313～1325と報告された菌（1312：*Staphylococcus epidermidis*は対象外）
†菌名コード：2151，2155，2157～2161と報告された菌

入院検体のうち、起因菌・汚染菌にかかわらず報告されたすべての菌を集計
重複処理：30日単位で実施(巻末資料2参照)
分離菌数割合が四捨五入して小数第一位までの表示で[0.0%]になる菌、菌名コード9998(その他の菌種)、16位以下の菌は「その他」に集計
集計対象菌：菌名コード9996(ウイルスによる(疑いもふくむ))、9997(菌不明)、9999(コメントのみ)の報告以外の全ての菌
集計対象検査材料：静脈血(検査材料コード401)、動脈血(同402)
血液検体分離菌数割合 =（対象菌の血液検体分離菌数）÷（血液検体分離菌数合計）×100
菌名コード、検査材料コード
：JANISホームページ＞各部門について＞検査部門 https://janis.mhlw.go.jp/section/kensa.html

Japan Nosocomial Infections Surveillance

3. 検査材料別分離菌数割合

髄液検体分離菌



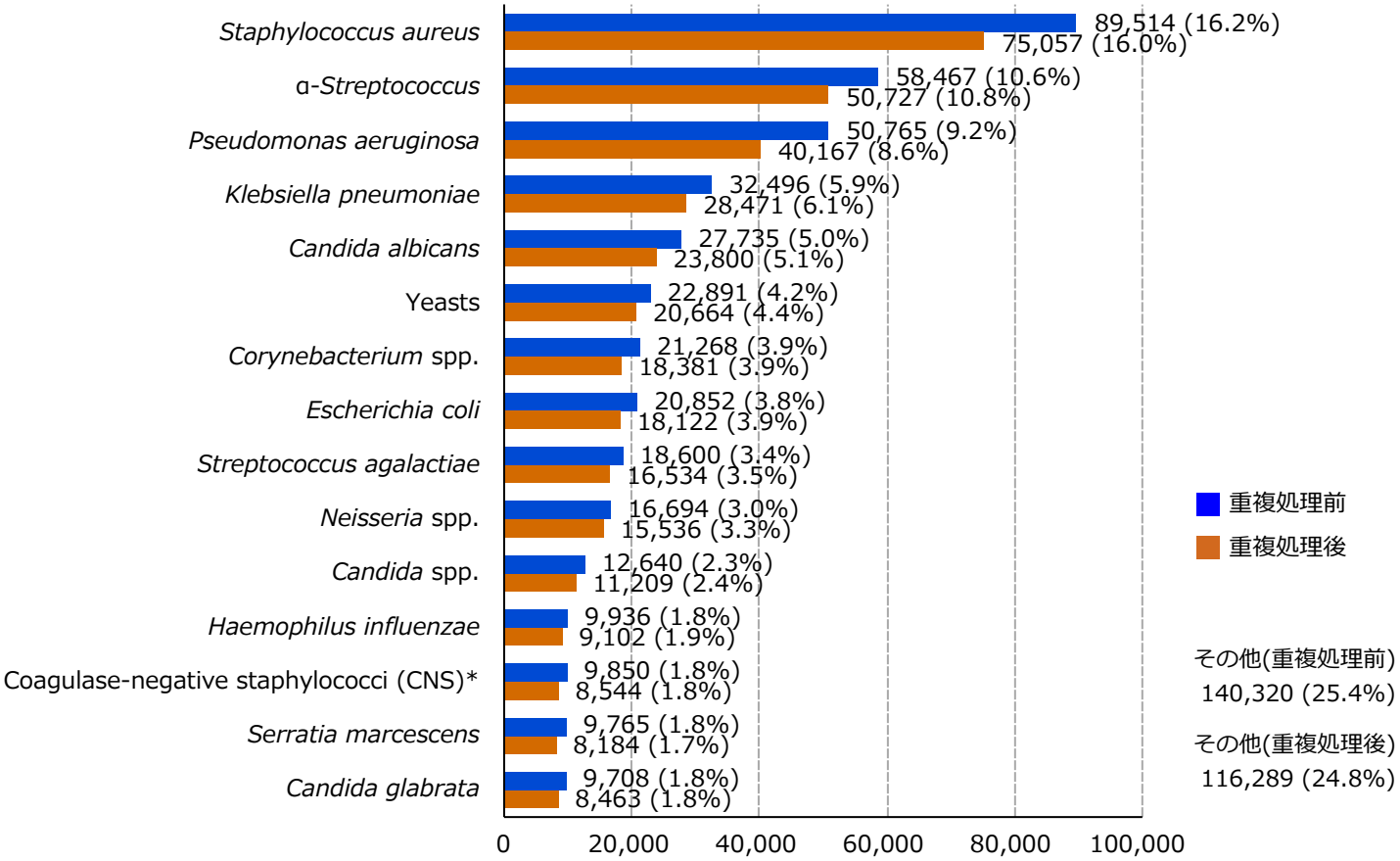
*菌名コード：1311, 1313～1325と報告された菌（1312：*Staphylococcus epidermidis*は対象外）
†菌名コード：2151，2155，2157～2161と報告された菌

入院検体のうち、起因菌・汚染菌にかかわらず報告されたすべての菌を集計
重複処理：30日単位で実施(巻末資料2参照)
分離菌数割合が四捨五入して小数第一位までの表示で[0.0%]になる菌、菌名コード9998(その他の菌種)、16位以下の菌は「その他」に集計
集計対象菌：菌名コード9996(ウイルスによる(疑いもふくむ))、9997(菌不明)、9999(コメントのみ)の報告以外の全ての菌
集計対象検査材料：髄液(検査材料コード403)
髄液検体分離菌数割合 =（対象菌の髄液検体分離菌数）÷（髄液検体分離菌数合計）×100
菌名コード、検査材料コード
：JANISホームページ＞各部門について＞検査部門 https://janis.mhlw.go.jp/section/kensa.html

Japan Nosocomial Infections Surveillance

3. 検査材料別分離菌数割合

呼吸器系検体分離菌



*菌名コード：1311, 1313～1325と報告された菌（1312：*Staphylococcus epidermidis*は対象外）

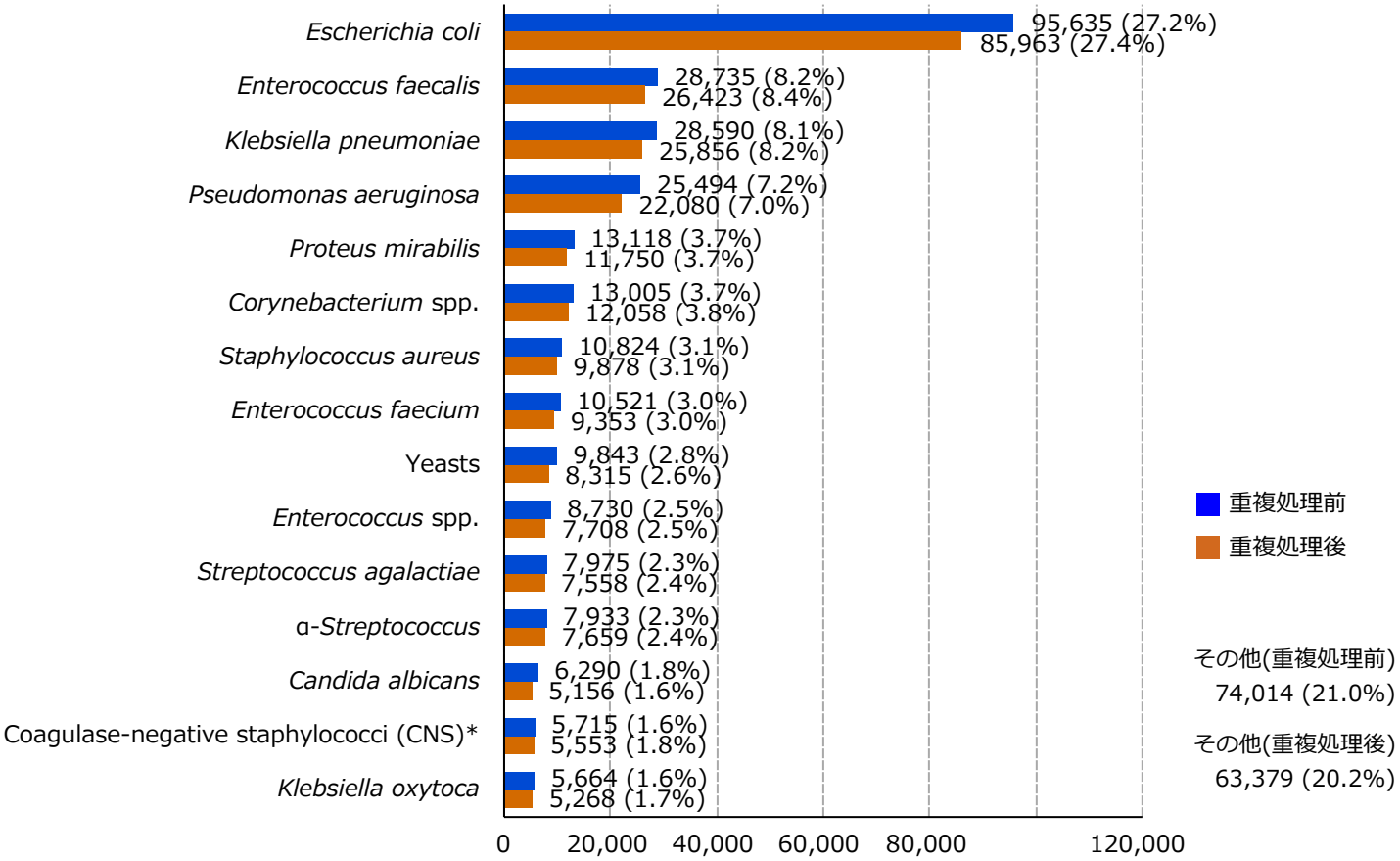
入院検体のうち、起因菌・常在菌にかかわらず報告されたすべての菌を集計
重複処理：30日単位で実施(巻末資料2参照)
分離菌数割合が四捨五入して小数第一位までの表示で[0.0%]になる菌、菌名コード9998(その他の菌種)、16位以下の菌は「その他」に集計
集計対象菌：菌名コード9996(ウイルスによる(疑いもふくむ))、9997(菌不明)、9999(コメントのみ)の報告以外の全ての菌
集計対象検査材料：喀出痰(検査材料コード101)、気管内採痰(同102)、気管支洗浄液(同103)、咽頭粘液(同104)、鼻腔内(同105)、口腔内(同106)、生検材料(肺)(同107)、その他(呼吸器)(同109)、胸水(同404)
呼吸器系検体分離菌数割合 =（対象菌の呼吸器系検体分離菌数）÷（呼吸器系検体分離菌数合計）×100
菌名コード、検査材料コード
：JANISホームページ＞各部門について＞検査部門 https://janis.mhlw.go.jp/section/kensa.html

本公表データは国内の全医療機関の数値を集計したデータではありません。
データ集計日　：　2026年05月08日
公開情報掲載日：　2026年08月17日

Japan Nosocomial Infections Surveillance

3. 検査材料別分離菌数割合

尿検体分離菌



*菌名コード：1311, 1313～1325と報告された菌（1312：*Staphylococcus epidermidis*は対象外）

入院検体のうち、起因菌・汚染菌にかかわらず報告されたすべての菌を集計
重複処理：30日単位で実施(巻末資料2参照)
分離菌数割合が四捨五入して小数第一位までの表示で[0.0%]になる菌、菌名コード9998(その他の菌種)、16位以下の菌は「その他」に集計
集計対象菌：菌名コード9996(ウイルスによる(疑いもふくむ))、9997(菌不明)、9999(コメントのみ)の報告以外の全ての菌
集計対象検査材料：自然排尿(検査材料コード201)、採尿カテーテル尿(同202)、留置カテーテル尿(同203)、カテーテル尿(採尿、留置カテの区別不能)(同206)
尿検体分離菌数割合 =（対象菌の尿検体分離菌数）÷（尿検体分離菌数合計）×100
菌名コード、検査材料コード
：JANISホームページ＞各部門について＞検査部門 https://janis.mhlw.go.jp/section/kensa.html

Japan Nosocomial Infections Surveillance

JANIS

4. 主要菌分離患者数*と全医療機関†の分離率分布

	2021年 患者数 (分離率‡)	2022年 患者数 (分離率‡)	2023年 患者数 (分離率‡)	2024年 患者数 (分離率‡)	2025年 患者数 (分離率‡)	集計対象医療機関の分離率¶ (%)の分布
検体提出患者数 (100床あたり)	323,452人 (281.3)	337,590人 (273.6)	466,307人 (276.0)	537,036人 (282.9)	590,259人 (277.8)※	
S. aureus	55,796人 (17.25%)	58,816人 (17.42%)	80,508人 (17.27%)	91,790人 (17.09%)	99,865人 (16.92%)	0.00 16.42 68.00
S. epidermidis	7,269人 (2.25%)	8,130人 (2.41%)	10,922人 (2.34%)	12,750人 (2.37%)	13,383人 (2.27%)	0.00 1.58 47.41
S. pneumoniae	1,826人 (0.56%)	1,639人 (0.49%)	2,653人 (0.57%)	3,048人 (0.57%)	3,423人 (0.58%)	0.00 0.29 33.33
E. faecalis	18,614人 (5.75%)	20,227人 (5.99%)	28,157人 (6.04%)	32,319人 (6.02%)	34,483人 (5.84%)	0.00 5.22 44.13
E. faecium	6,885人 (2.13%)	7,123人 (2.11%)	9,856人 (2.11%)	11,957人 (2.23%)	13,309人 (2.25%)	0.00 1.65 13.06
E. coli	65,106人 (20.13%)	68,486人 (20.29%)	95,342人 (20.45%)	110,074人 (20.50%)	119,915人 (20.32%)	0.00 20.19 50.35
K. pneumoniae	28,223人 (8.73%)	30,572人 (9.06%)	44,823人 (9.61%)	52,857人 (9.84%)	58,789人 (9.96%)	0.00 9.09 47.76
E. cloacae complex	7,991人 (2.47%)	8,517人 (2.52%)	11,912人 (2.55%)	14,206人 (2.65%)	15,605人 (2.64%)	0.00 2.25 17.24
K. aerogenes	3,607人 (1.12%)	4,166人 (1.23%)	5,982人 (1.28%)	6,897人 (1.28%)	7,572人 (1.28%)	0.00 1.05 33.33
Enterobacterales	118,858人 (36.75%)	126,497人 (37.47%)	178,472人 (38.27%)	207,108人 (38.57%)	228,017人 (38.63%)	0.00 38.91 86.15
P. aeruginosa	32,852人 (10.16%)	35,260人 (10.44%)	49,868人 (10.69%)	57,671人 (10.74%)	63,614人 (10.78%)	0.00 9.09 78.40
Acinetobacter spp.	2,994人 (0.93%)	3,224人 (0.96%)	4,586人 (0.98%)	5,157人 (0.96%)	5,337人 (0.90%)	0.00 0.54 16.87

入院として報告された検体を集計

*分離患者数と検体提出患者数は30日ごとに重複処理(巻末参照)が行われている

† ここでは全医療機関は集計対象医療機関を表す

‡ ここでの分離率は全体の分離率を表す

全体の分離率

= (集計対象医療機関の対象菌の分離患者数合計) ÷ (集計対象医療機関の検体提出患者数合計) ×100

¶分離率 = (対象菌の分離患者数) ÷ (検体提出患者数) ×100

※病床数が登録されている医療機関のみが対象

本公表データは国内の全医療機関の数値を集計したデータではありません。
データ集計日　：　2026年05月08日
公開情報掲載日：　2026年08月17日

JANIS

5. 特定の耐性菌分離患者数*と全医療機関†の分離率分布

	2021年 患者数 (分離率‡)	2022年 患者数 (分離率‡)	2023年 患者数 (分離率‡)	2024年 患者数 (分離率‡)	2025年 患者数 (分離率‡)	集計対象医療機関の分離率¶(%)の分布
検体提出患者数 (100床あたり)	323,452人 (281.3)	337,590人 (273.6)	466,307人 (276.0)	537,036人 (282.9)	590,259人 (277.8)※	
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)	31,874人 (9.85%)	33,048人 (9.79%)	44,713人 (9.59%)	50,543人 (9.41%)	54,676人 (9.26%)	0.00 8.45 58.00
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌(VRSA)	0人 (0.00%)	0人 (0.00%)	0人 (0.00%)	0人 (0.00%)	0人 (0.00%)	0.00
バンコマイシン耐性腸球菌(VRE)	111人 (0.03%)	220人 (0.07%)	202人 (0.04%)	286人 (0.05%)	272人 (0.05%)	0.00 0.00 6.78
ペニシリン耐性肺炎球菌(PRSP)	710人 (0.22%)	608人 (0.18%)	877人 (0.19%)	939人 (0.17%)	129人 (0.02%)	0.00 0.00 3.77
多剤耐性緑膿菌(MDRP)	100人 (0.03%)	111人 (0.03%)	126人 (0.03%)	114人 (0.02%)	176人 (0.03%)	0.00 0.00 7.33
多剤耐性アシネトバクター属(MDRA)	4人 (0.00%)	6人 (0.00%)	1人 (0.00%)	1人 (0.00%)	0人 (0.00%)	0.00
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌(CRE)	450人 (0.14%)	568人 (0.17%)	745人 (0.16%)	874人 (0.16%)	323人 (0.05%)	0.00 0.00 4.51
カルバペネム耐性緑膿菌	3,353人 (1.04%)	3,498人 (1.04%)	4,653人 (1.00%)	5,124人 (0.95%)	7,383人 (1.25%)	0.00 0.61 30.52
第三世代セファロスポリン耐性肺炎桿菌	4,650人 (1.44%)	5,310人 (1.57%)	8,586人 (1.84%)	11,293人 (2.10%)	13,388人 (2.27%)	0.00 0.98 31.34
第三世代セファロスポリン耐性大腸菌	20,123人 (6.22%)	21,373人 (6.33%)	29,995人 (6.43%)	36,335人 (6.77%)	39,526人 (6.70%)	0.00 5.73 30.72
フルオロキノロン耐性大腸菌	27,433人 (8.48%)	28,718人 (8.51%)	39,486人 (8.47%)	45,028人 (8.38%)	49,238人 (8.34%)	0.00 7.81 36.25

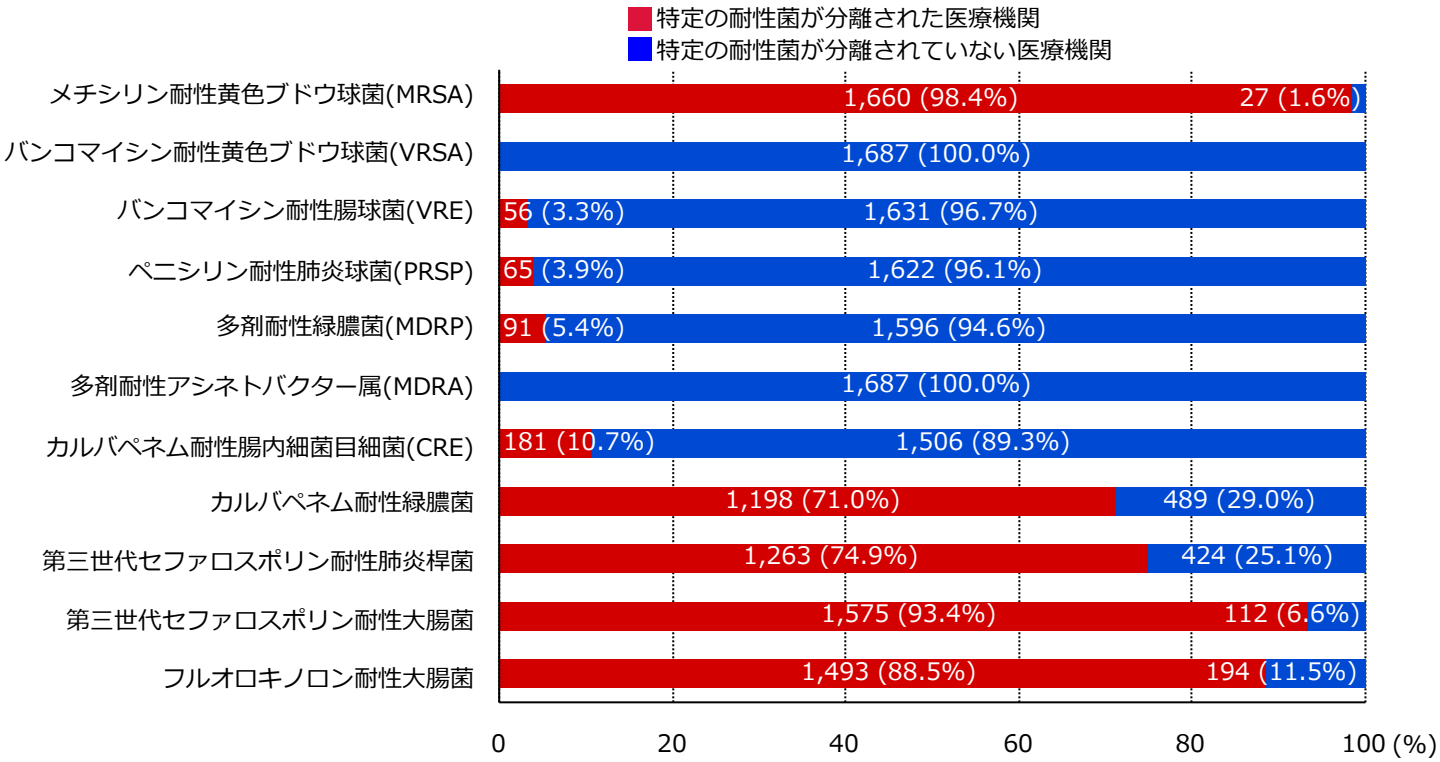
入院検体でかつ、検査法が原則微量液体希釈法又はEtestと設定されたMIC値が報告されている検体を集計
MRSAとVREは検査法によらず菌名コードで指定された場合はそれらを含む
*分離患者数と検体提出患者数は30日ごとに重複処理(巻末参照)が行われている
† ここでは全医療機関は集計対象医療機関を表す
‡ ここでの分離率は全体の分離率を表す
全体の分離率
= (集計対象医療機関の対象菌の分離患者数合計) ÷ (集計対象医療機関の検体提出患者数合計) ×100
¶分離率 = (対象菌の分離患者数) ÷ (検体提出患者数) ×100
※病床数が登録されている医療機関のみが対象

本公表データは国内の全医療機関の数値を集計したデータではありません。　データ集計日　：　2026年05月08日
公開情報掲載日：　2026年08月17日

Japan Nosocomial Infections Surveillance

6. 特定の耐性菌が分離された医療機関の割合

2025年 特定の耐性菌が分離された医療機関の割合 (N=1,687)



特定の耐性菌が分離された医療機関の割合 (過去5年間)

	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年
集計対象医療機関数	842	903	1,297	1,478	1,687
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)	99.6%	99.3%	98.8%	98.8%	98.4%
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌(VRSA)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
バンコマイシン耐性腸球菌(VRE)	3.8%	3.9%	3.2%	4.1%	3.3%
ペニシリン耐性肺炎球菌(PRSP)	26.6%	26.1%	27.1%	24.7%	3.9%
多剤耐性緑膿菌(MDRP)	6.7%	6.5%	4.9%	4.2%	5.4%
多剤耐性アシネトバクター属(MDRA)	0.1%	0.4%	0.1%	0.1%	0.0%
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌(CRE)	19.8%	22.1%	20.4%	20.6%	10.7%
カルバペネム耐性緑膿菌	67.2%	67.2%	64.8%	63.2%	71.0%
第三世代セファロスポリン耐性肺炎桿菌	68.3%	69.5%	70.3%	74.1%	74.9%
第三世代セファロスポリン耐性大腸菌	93.8%	94.4%	93.4%	93.8%	93.4%
フルオロキノロン耐性大腸菌	95.4%	94.9%	94.3%	89.1%	88.5%

耐性菌判定薬剤(巻末資料参照)が未検査の場合、分離されていない医療機関として集計
入院検体でかつ、検査法が原則微量液体希釈法又はEtestと設定されたMIC値が報告されている検体を集計
MRSAとVREは検査法によらず菌名コードで指定された場合はそれらを含む
特定の耐性菌が検出された集計対象医療機関の割合
＝（特定の耐性菌が1株でも報告された医療機関数）÷（集計対象医療機関数）

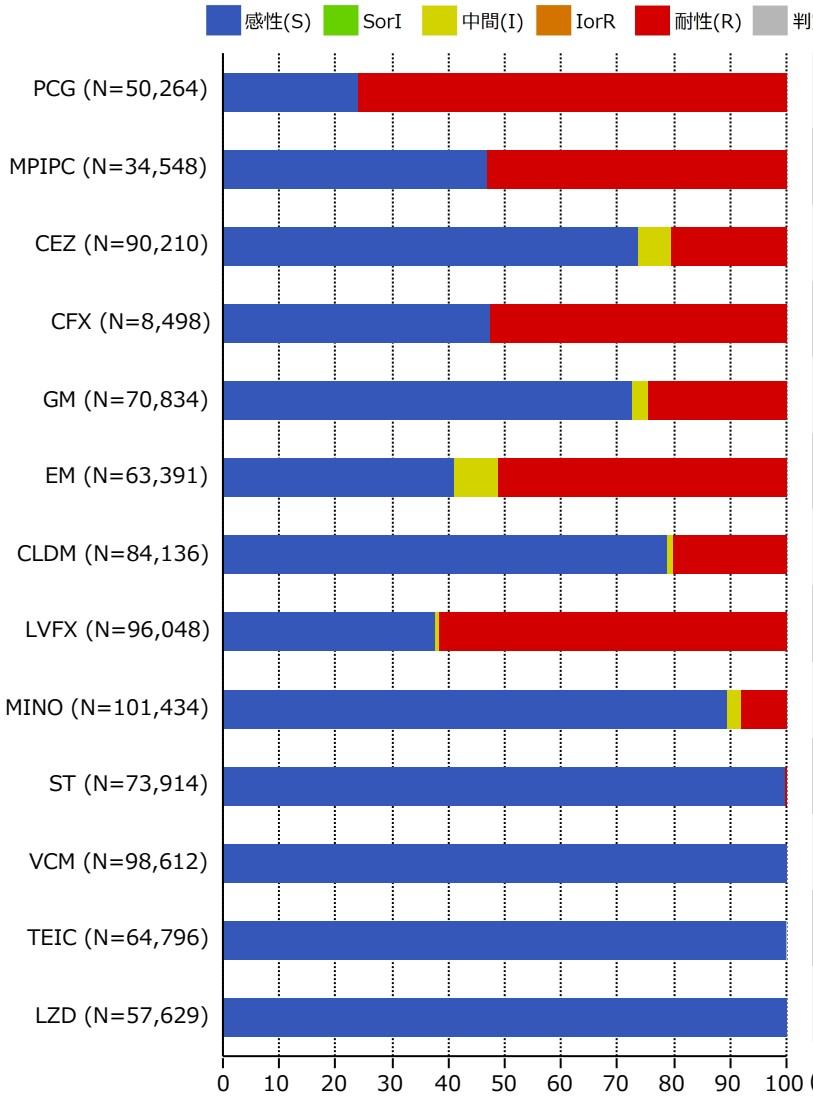
本公表データは国内の全医療機関の数値を集計したデータではありません。　データ集計日　：　2026年05月08日
公開情報掲載日：　2026年08月17日

Japan Nosocomial Infections Surveillance

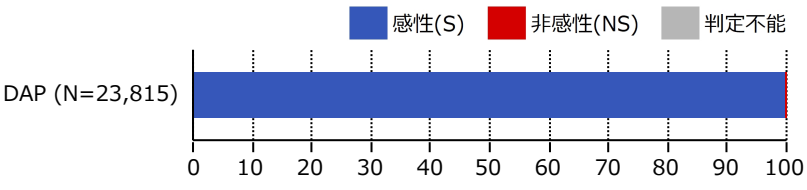
JANIS

7. 主要菌の抗菌薬感受性*

Staphylococcus aureus (ALL) †



	感性(S)	SorI	中間(I)	IorR	耐性(R)	判定不能
PCG (N=50,264)	12,082 (24.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	38,181 (76.0%)	1 (0.0%)
MPIPC (N=34,548)	16,194 (46.9%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	18,353 (53.1%)	1 (0.0%)
CEZ (N=90,210)	66,268 (73.5%)	0 (0.0%)	5,347 (5.9%)	26 (0.0%)	18,540 (20.6%)	29 (0.0%)
CFX (N=8,498)	4,028 (47.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	4,470 (52.6%)	0 (0.0%)
GM (N=70,834)	51,322 (72.5%)	1 (0.0%)	2,058 (2.9%)	3 (0.0%)	17,450 (24.6%)	0 (0.0%)
EM (N=63,391)	26,076 (41.1%)	1 (0.0%)	4,861 (7.7%)	14 (0.0%)	32,439 (51.2%)	0 (0.0%)
CLDM (N=84,136)	66,210 (78.7%)	1 (0.0%)	892 (1.1%)	0 (0.0%)	17,033 (20.2%)	0 (0.0%)
LVFX (N=96,048)	36,179 (37.7%)	0 (0.0%)	569 (0.6%)	24 (0.0%)	59,276 (61.7%)	0 (0.0%)
MINO (N=101,434)	90,706 (89.4%)	0 (0.0%)	2,539 (2.5%)	0 (0.0%)	8,189 (8.1%)	0 (0.0%)
ST (N=73,914)	73,598 (99.6%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	316 (0.4%)	0 (0.0%)
VCM (N=98,612)	98,606 (100%)	0 (0.0%)	6 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
TEIC (N=64,796)	64,745 (99.9%)	0 (0.0%)	4 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	47 (0.1%)
LZD (N=57,629)	57,621 (100%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	8 (0.0%)	0 (0.0%)



	感性(S)	非感性(NS)	判定不能
DAP (N=23,815)	23,753 (99.7%)	62 (0.3%)	0 (0.0%)

入院検体で、かつ検査法が微量液体希釈法又はEtestと設定されMIC値が報告されている検体を集計
30日単位で、抗菌薬感受性の違いも考慮して菌株数を集計する重複処理(巻末資料)が行われている
* S,I,RまたはS,NSの判定はCLSI 2012 (M100-S22）に準拠
† 菌名コード：1301, 1303～1306と報告された菌
集計株数が30株未満の場合には、集計結果を公表しない

本公表データは国内の全医療機関の数値を集計したデータではありません。 データ集計日 ： 2026年05月08日
公開情報掲載日： 2026年08月17日

Japan Nosocomial Infections Surveillance

7. 主要菌の抗菌薬感受性*

Staphylococcus aureus (MSSA) †



	感性(S)	SorI	中間(I)	IorR	耐性(R)	判定不能
PCG (N=22,284)	10,804 (48.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	11,479 (51.5%)	1 (0.0%)
CVA/AMPC (N=3,729)	3,711 (99.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (0.1%)	15 (0.4%)
CEZ (N=38,013)	38,003 (100%)	0 (0.0%)	4 (0.0%)	0 (0.0%)	6 (0.0%)	0 (0.0%)
IPM (N=27,316)	27,312 (100%)	0 (0.0%)	2 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (0.0%)	0 (0.0%)
GM (N=29,822)	22,009 (73.8%)	1 (0.0%)	1,110 (3.7%)	1 (0.0%)	6,701 (22.5%)	0 (0.0%)
EM (N=26,127)	19,917 (76.2%)	1 (0.0%)	980 (3.8%)	1 (0.0%)	5,228 (20.0%)	0 (0.0%)
CLDM (N=34,296)	32,452 (94.6%)	1 (0.0%)	147 (0.4%)	0 (0.0%)	1,696 (4.9%)	0 (0.0%)
LVFX (N=38,987)	30,462 (78.1%)	0 (0.0%)	393 (1.0%)	3 (0.0%)	8,129 (20.9%)	0 (0.0%)
MINO (N=40,848)	40,486 (99.1%)	0 (0.0%)	122 (0.3%)	0 (0.0%)	240 (0.6%)	0 (0.0%)
ST (N=30,011)	29,955 (99.8%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	56 (0.2%)	0 (0.0%)

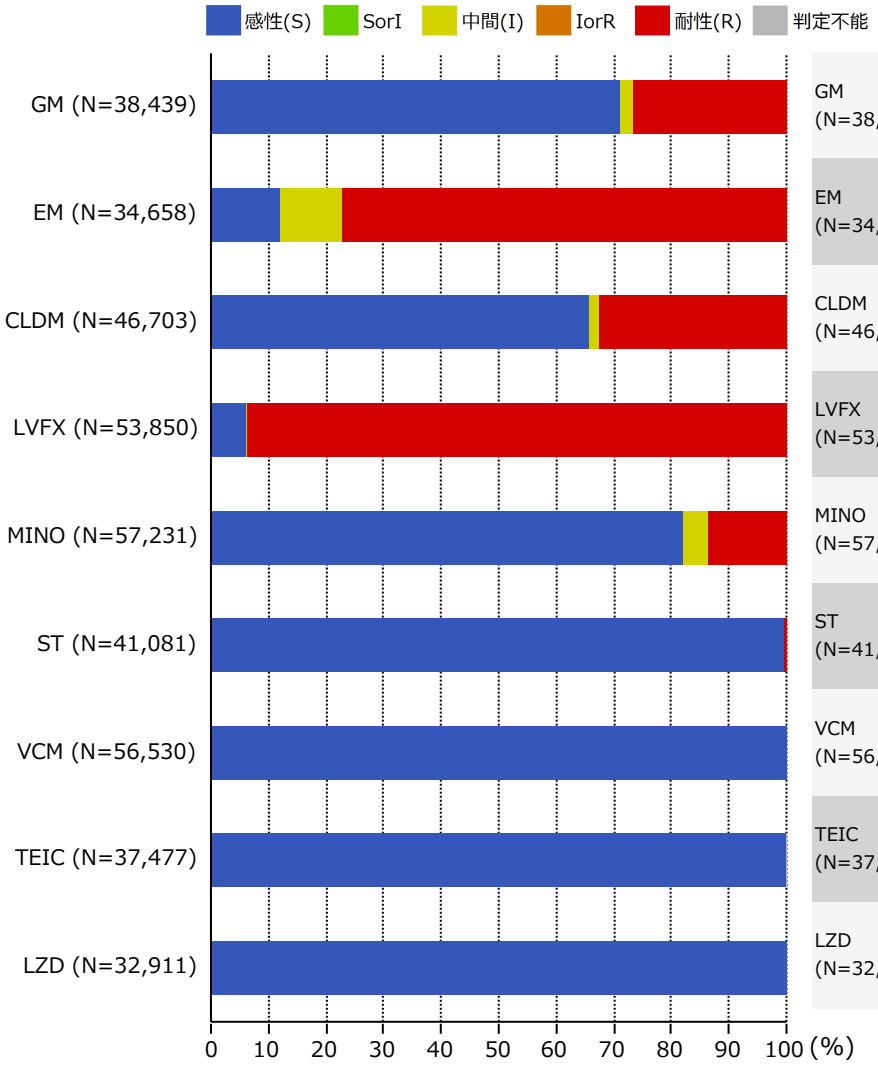
入院検体で、かつ検査法が微量液体希釈法又はEtestと設定されMIC値が報告されている検体を集計
30日単位で、抗菌薬感受性の違いも考慮して菌株数を集計する重複処理(巻末資料)が行われている
* S,I,Rの判定はCLSI 2012 (M100-S22）に準拠
† 菌名コード：1304, 1305, 1306と報告された菌、または菌名コード：1301と報告され抗菌薬コード：1208(オキサシリン)および抗菌薬コード：1606(セフォキシチン)の感受性結果「S」の菌(一方が「S」で他方が未測定の場合を含む)
集計株数が30株未満の場合には、集計結果を公表しない

本公表データは国内の全医療機関の数値を集計したデータではありません。 データ集計日 ： 2026年05月08日
公開情報掲載日： 2026年08月17日

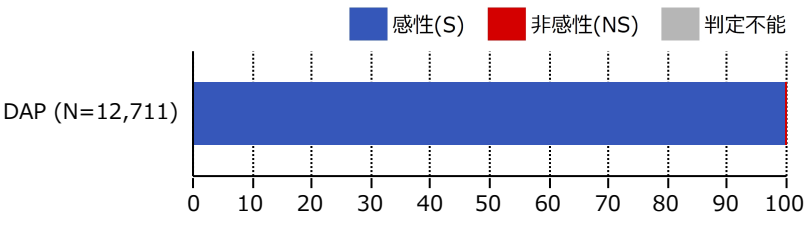
Japan Nosocomial Infections Surveillance

7. 主要菌の抗菌薬感受性*

Staphylococcus aureus (MRSA) †



	感性(S)	SorI	中間(I)	IorR	耐性(R)	判定不能
GM (N=38,439)	27,305 (71.0%)	0 (0.0%)	857 (2.2%)	2 (0.0%)	10,275 (26.7%)	0 (0.0%)
EM (N=34,658)	4,160 (12.0%)	0 (0.0%)	3,728 (10.8%)	13 (0.0%)	26,757 (77.2%)	0 (0.0%)
CLDM (N=46,703)	30,705 (65.7%)	0 (0.0%)	727 (1.6%)	0 (0.0%)	15,271 (32.7%)	0 (0.0%)
LVFX (N=53,850)	3,264 (6.1%)	0 (0.0%)	118 (0.2%)	21 (0.0%)	50,447 (93.7%)	0 (0.0%)
MINO (N=57,231)	46,909 (82.0%)	0 (0.0%)	2,399 (4.2%)	0 (0.0%)	7,923 (13.8%)	0 (0.0%)
ST (N=41,081)	40,834 (99.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	247 (0.6%)	0 (0.0%)
VCM (N=56,530)	56,526 (100%)	0 (0.0%)	4 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
TEIC (N=37,477)	37,440 (99.9%)	0 (0.0%)	4 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	33 (0.1%)
LZD (N=32,911)	32,905 (100%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	6 (0.0%)	0 (0.0%)



	感性(S)	非感性(NS)	判定不能
DAP (N=12,711)	12,661 (99.6%)	50 (0.4%)	0 (0.0%)

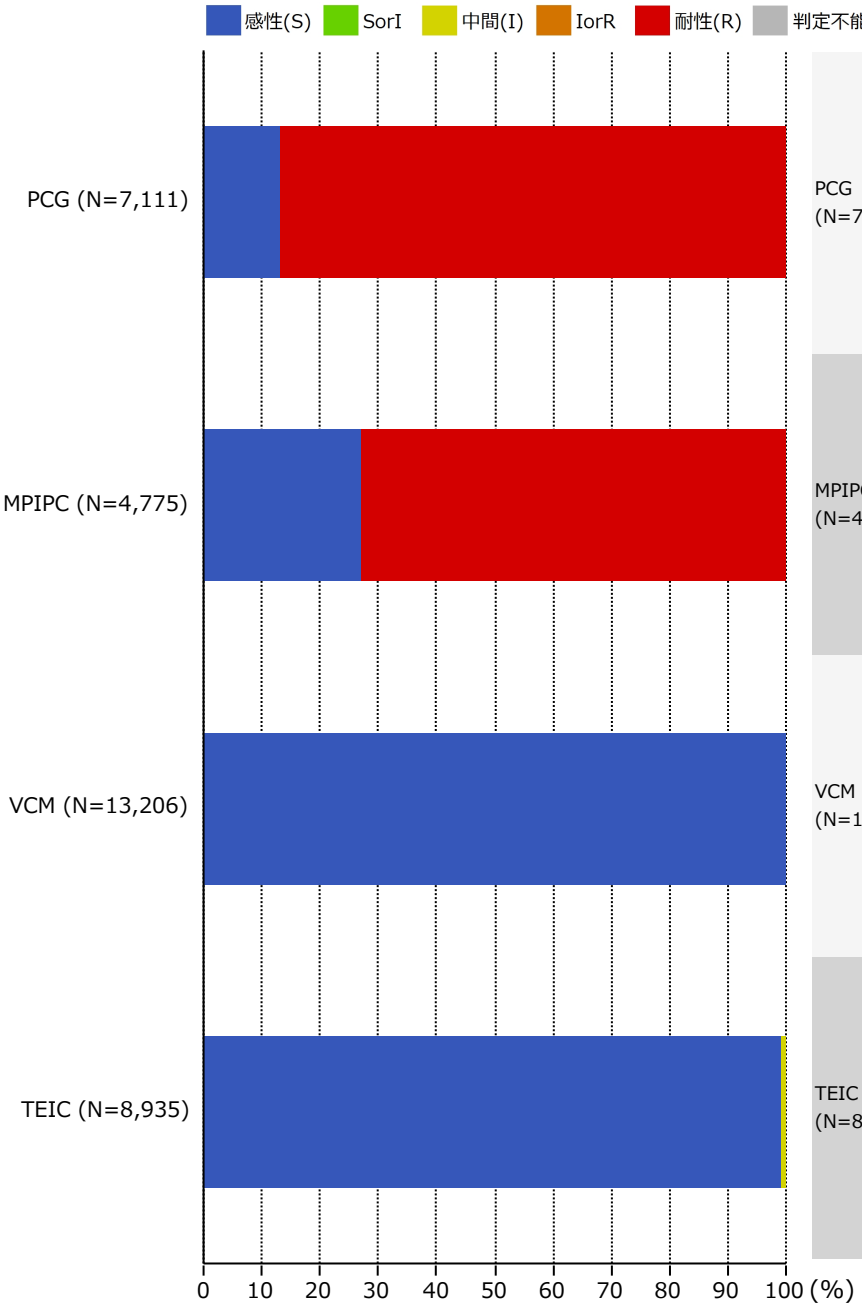
入院検体で、かつ検査法が微量液体希釈法又はEtestと設定されMIC値が報告されている検体を集計
30日単位で、抗菌薬感受性の違いも考慮して菌株数を集計する重複処理(巻末資料)が行われている
* S,I,RまたはS,NSの判定はCLSI 2012 (M100-S22）に準拠
† 菌名コード：1303と報告された菌、または菌名コード：1301と報告され抗菌薬コード：1208(オキサシリン)または抗菌薬コード：1606(セフォキシチン)の感受性結果「R」の菌
集計株数が30株未満の場合には、集計結果を公表しない

本公表データは国内の全医療機関の数値を集計したデータではありません。 データ集計日 ： 2026年05月08日
公開情報掲載日： 2026年08月17日

Japan Nosocomial Infections Surveillance

7. 主要菌の抗菌薬感受性*

Staphylococcus epidermidis †



	感性(S)	SorI	中間(I)	IorR	耐性(R)	判定不能
PCG (N=7,111)	937 (13.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	6,174 (86.8%)	0 (0.0%)
MPIPC (N=4,775)	1,292 (27.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3,482 (72.9%)	1 (0.0%)
VCM (N=13,206)	13,205 (100%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (0.0%)	0 (0.0%)
TEIC (N=8,935)	8,855 (99.1%)	0 (0.0%)	75 (0.8%)	0 (0.0%)	4 (0.0%)	1 (0.0%)

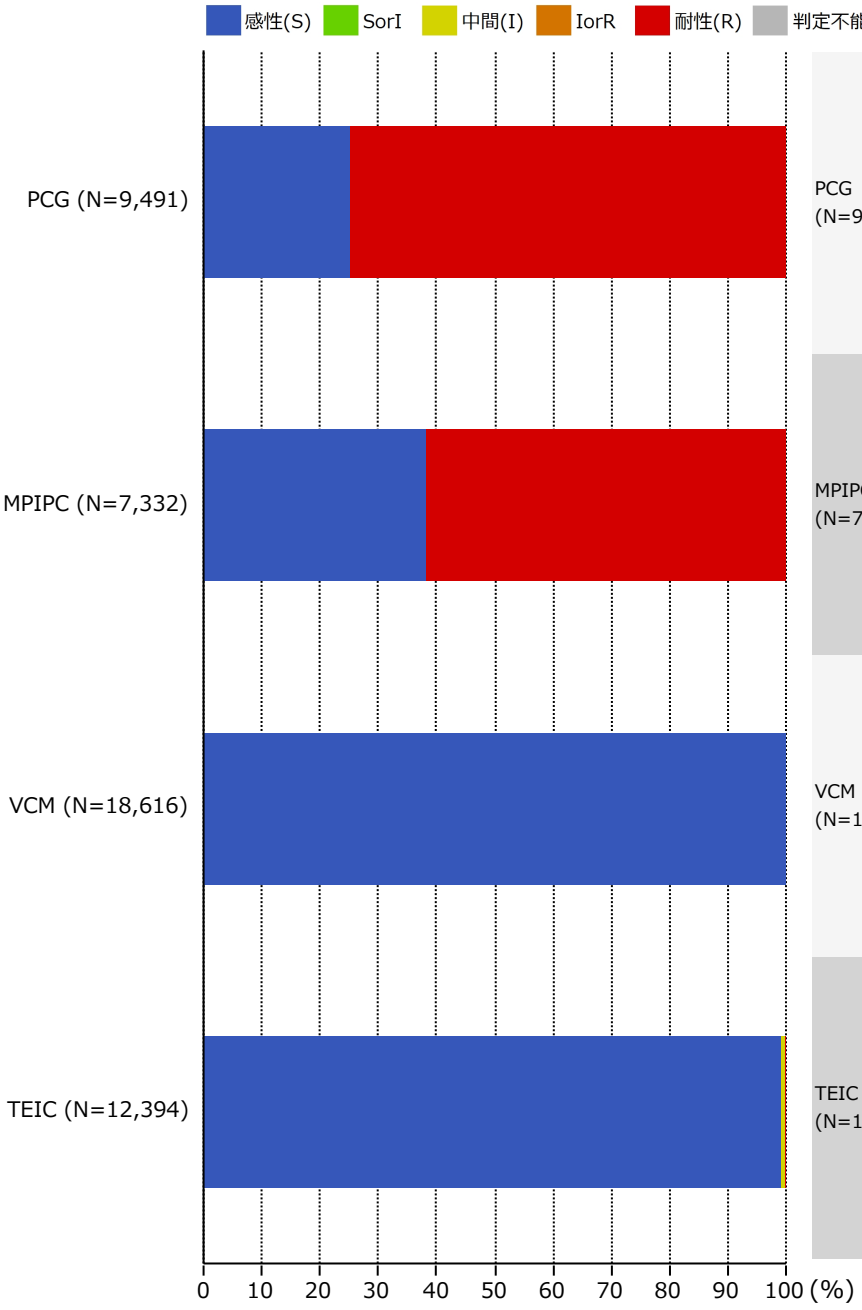
入院検体で、かつ検査法が微量液体希釈法又はEtestと設定されMIC値が報告されている検体を集計
30日単位で、抗菌薬感受性の違いも考慮して菌株数を集計する重複処理(巻末資料)が行われている
* S,I,Rの判定はCLSI 2012 (M100-S22）に準拠
† 菌名コード：1312と報告された菌
集計株数が30株未満の場合には、集計結果を公表しない

本公表データは国内の全医療機関の数値を集計したデータではありません。 データ集計日 ： 2026年05月08日
公開情報掲載日： 2026年08月17日

Japan Nosocomial Infections Surveillance

7. 主要菌の抗菌薬感受性*

Coagulase-negative staphylococci (CNS) †



	感性(S)	SorI	中間(I)	IorR	耐性(R)	判定不能
PCG (N=9,491)	2,401 (25.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	7,089 (74.7%)	1 (0.0%)
MPIPC (N=7,332)	2,802 (38.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	4,530 (61.8%)	0 (0.0%)
VCM (N=18,616)	18,592 (99.9%)	0 (0.0%)	3 (0.0%)	0 (0.0%)	20 (0.1%)	1 (0.0%)
TEIC (N=12,394)	12,288 (99.1%)	0 (0.0%)	79 (0.6%)	0 (0.0%)	26 (0.2%)	1 (0.0%)

入院検体で、かつ検査法が微量液体希釈法又はEtestと設定されMIC値が報告されている検体を集計
30日単位で、抗菌薬感受性の違いも考慮して菌株数を集計する重複処理(巻末資料)が行われている
* S,I,Rの判定はCLSI 2012 (M100-S22）に準拠
† 菌名コード：1311, 1313～1325と報告された菌(1312：*Staphylococcus epidermidis*は対象外)
集計株数が30株未満の場合には、集計結果を公表しない

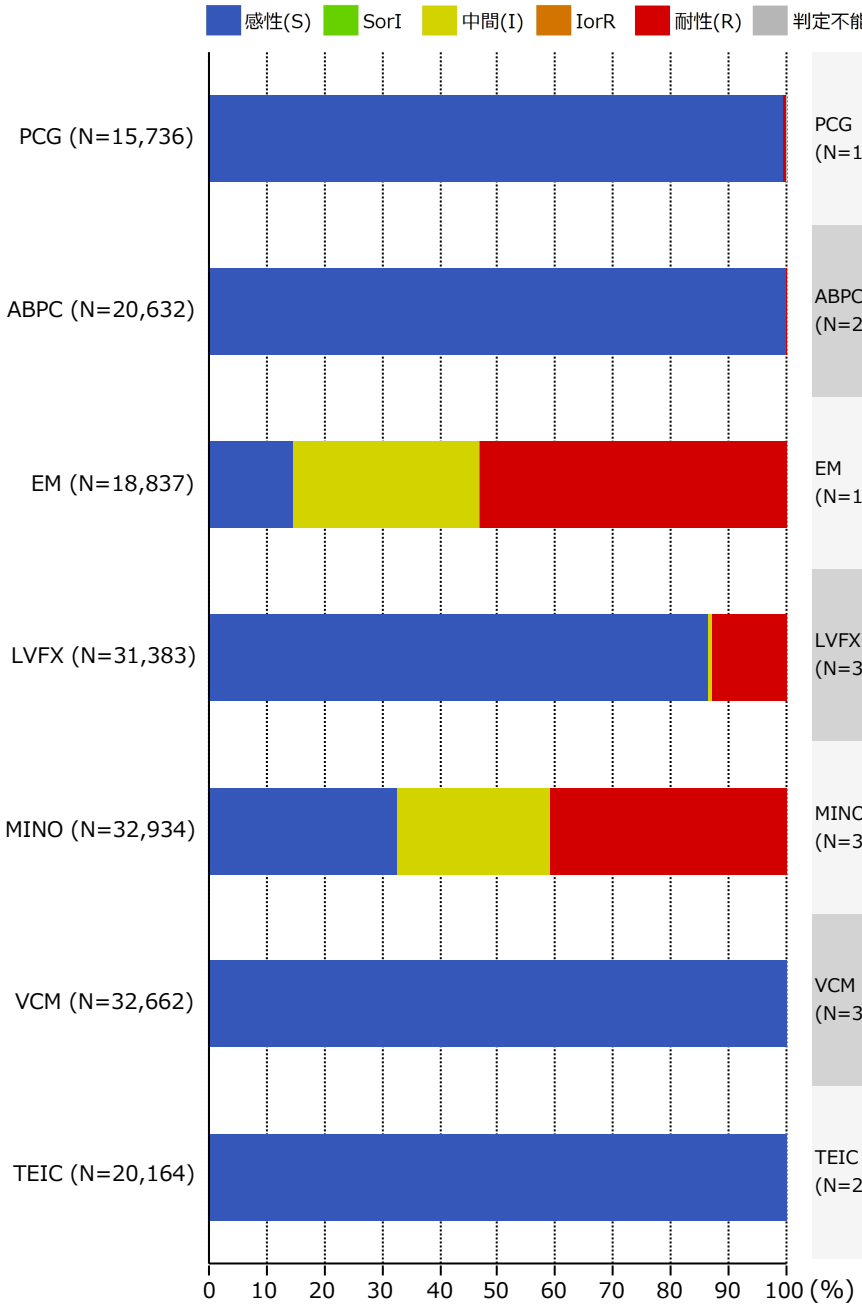
本公表データは国内の全医療機関の数値を集計したデータではありません。
データ集計日 ： 2026年05月08日
公開情報掲載日： 2026年08月17日

Japan Nosocomial Infections Surveillance

JANIS

7. 主要菌の抗菌薬感受性*

Enterococcus faecalis †



	感性(S)	SorI	中間(I)	IorR	耐性(R)	判定不能
PCG (N=15,736)	15,635 (99.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	93 (0.6%)	8 (0.1%)
ABPC (N=20,632)	20,600 (99.8%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	32 (0.2%)	0 (0.0%)
EM (N=18,837)	2,740 (14.5%)	0 (0.0%)	6,078 (32.3%)	21 (0.1%)	9,998 (53.1%)	0 (0.0%)
LVFX (N=31,383)	27,049 (86.2%)	0 (0.0%)	263 (0.8%)	0 (0.0%)	4,058 (12.9%)	13 (0.0%)
MINO (N=32,934)	10,745 (32.6%)	0 (0.0%)	8,678 (26.3%)	5 (0.0%)	13,506 (41.0%)	0 (0.0%)
VCM (N=32,662)	32,654 (100%)	0 (0.0%)	2 (0.0%)	0 (0.0%)	6 (0.0%)	0 (0.0%)
TEIC (N=20,164)	20,160 (100%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	4 (0.0%)	0 (0.0%)

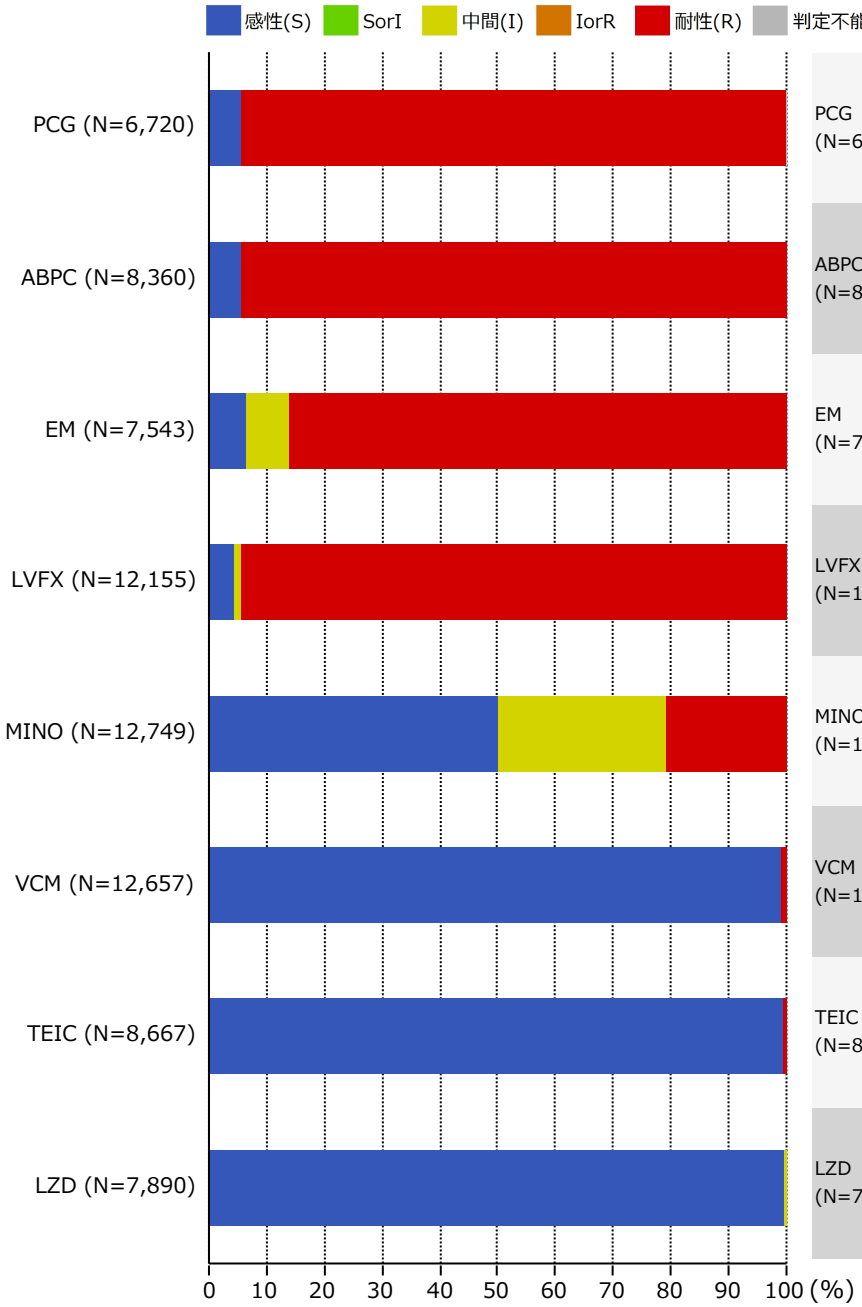
入院検体で、かつ検査法が微量液体希釈法又はEtestと設定されMIC値が報告されている検体を集計
30日単位で、抗菌薬感受性の違いも考慮して菌株数を集計する重複処理(巻末資料)が行われている
* S,I,Rの判定はCLSI 2012 (M100-S22）に準拠
† 菌名コード：1201, 1202と報告された菌
集計株数が30株未満の場合には、集計結果を公表しない

本公表データは国内の全医療機関の数値を集計したデータではありません。
データ集計日 ： 2026年05月08日
公開情報掲載日： 2026年08月17日

Japan Nosocomial Infections Surveillance

7. 主要菌の抗菌薬感受性*

Enterococcus faecium †



	感性(S)	SorI	中間(I)	IorR	耐性(R)	判定不能
PCG (N=6,720)	379 (5.6%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	6,336 (94.3%)	5 (0.1%)
ABPC (N=8,360)	469 (5.6%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	7,889 (94.4%)	2 (0.0%)
EM (N=7,543)	488 (6.5%)	0 (0.0%)	560 (7.4%)	1 (0.0%)	6,494 (86.1%)	0 (0.0%)
LVFX (N=12,155)	538 (4.4%)	0 (0.0%)	149 (1.2%)	0 (0.0%)	11,466 (94.3%)	2 (0.0%)
MINO (N=12,749)	6,378 (50.0%)	0 (0.0%)	3,703 (29.0%)	0 (0.0%)	2,668 (20.9%)	0 (0.0%)
VCM (N=12,657)	12,517 (98.9%)	0 (0.0%)	12 (0.1%)	0 (0.0%)	128 (1.0%)	0 (0.0%)
TEIC (N=8,667)	8,601 (99.2%)	0 (0.0%)	3 (0.0%)	0 (0.0%)	63 (0.7%)	0 (0.0%)
LZD (N=7,890)	7,845 (99.4%)	0 (0.0%)	45 (0.6%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)

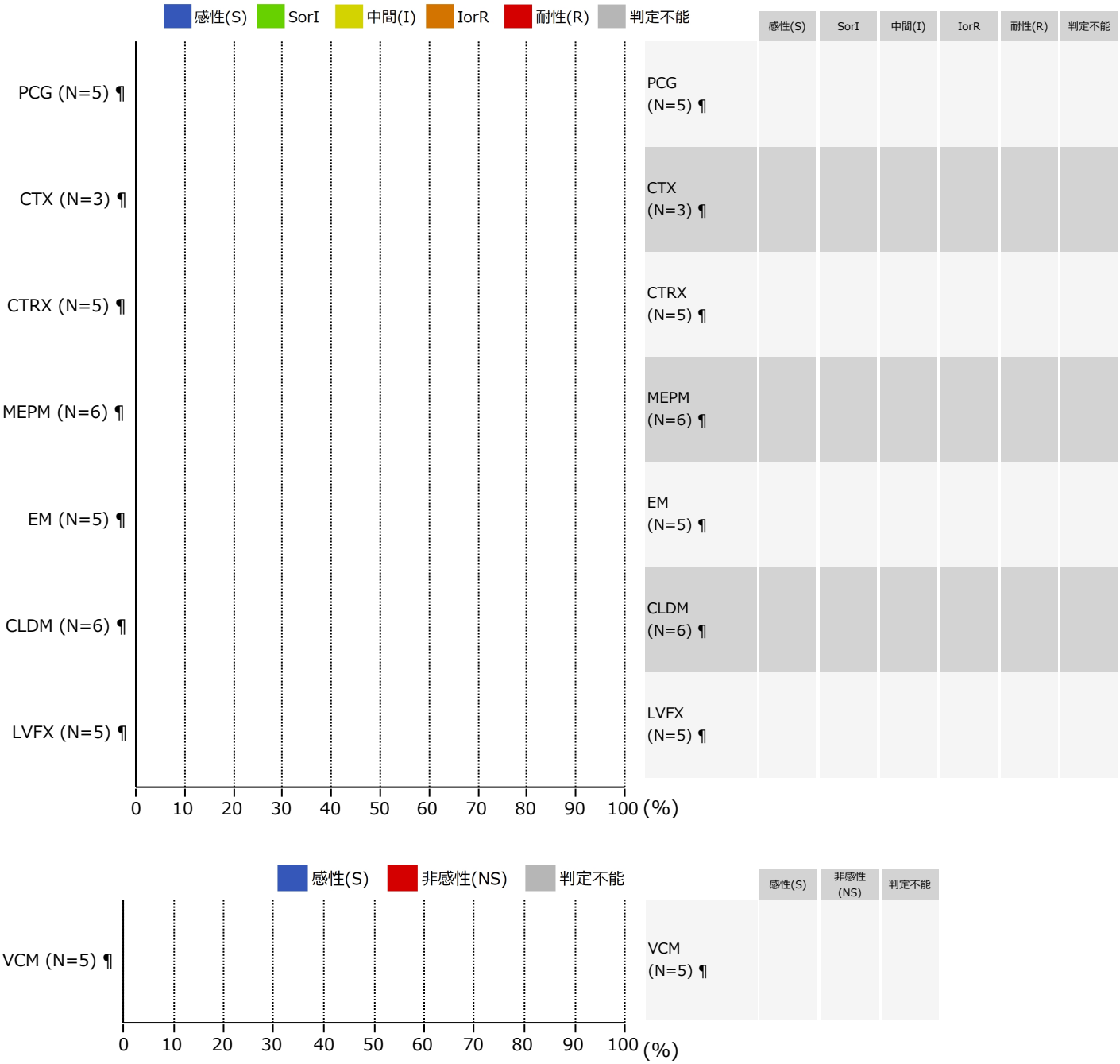
入院検体で、かつ検査法が微量液体希釈法又はEtestと設定されMIC値が報告されている検体を集計
30日単位で、抗菌薬感受性の違いも考慮して菌株数を集計する重複処理(巻末資料)が行われている
* S,I,Rの判定はCLSI 2012 (M100-S22）に準拠
† 菌名コード：1205, 1206と報告された菌
集計株数が30株未満の場合には、集計結果を公表しない

本公表データは国内の全医療機関の数値を集計したデータではありません。
データ集計日 ： 2026年05月08日
公開情報掲載日： 2026年08月17日

Japan Nosocomial Infections Surveillance

7. 主要菌の抗菌薬感受性*

Streptococcus pneumoniae(髄液検体) †



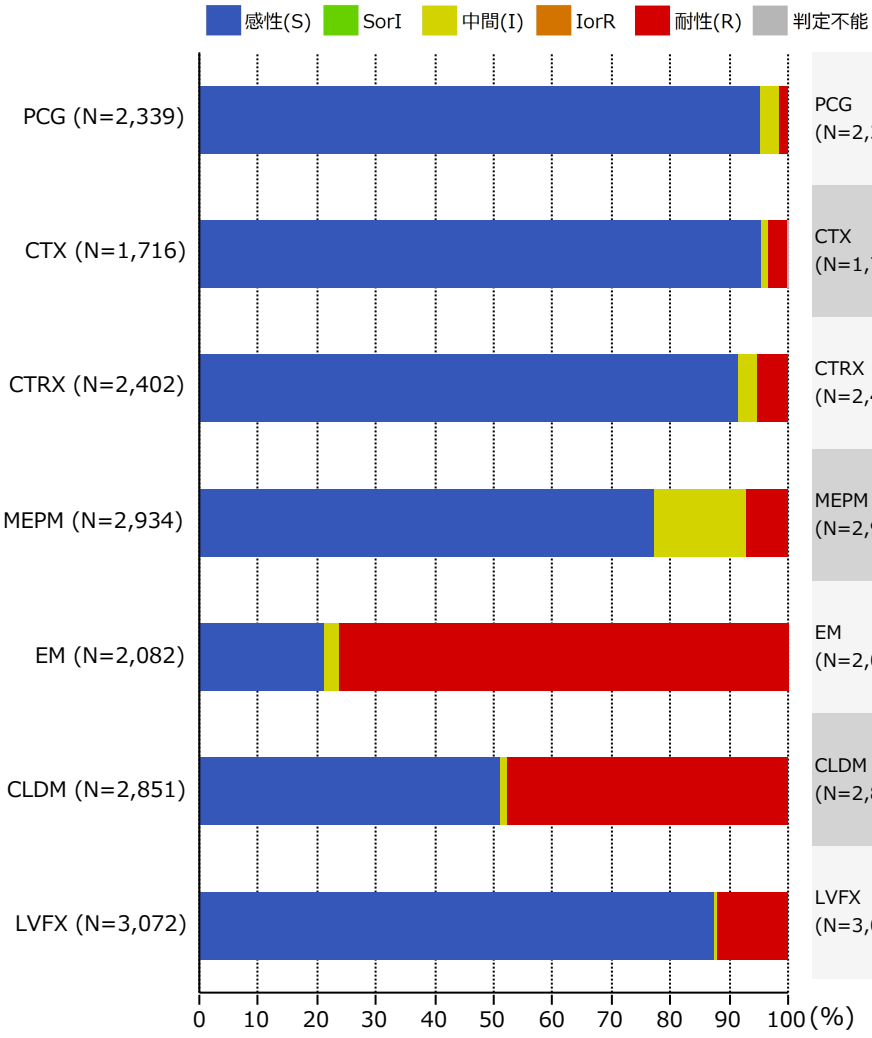
入院検体で、かつ検査法が微量液体希釈法又はEtestと設定されMIC値が報告されている検体を集計
30日単位で、抗菌薬感受性の違いも考慮して菌株数を集計する重複処理(巻末資料)が行われている
* S,I,RまたはS,NSの判定はCLSI 2012 (M100-S22) に準拠
† 菌名コード：1131と報告された菌
¶集計株数が30株未満の場合には、集計結果を公表しない

本公表データは国内の全医療機関の数値を集計したデータではありません。 データ集計日 ： 2026年05月08日
公開情報掲載日： 2026年08月17日

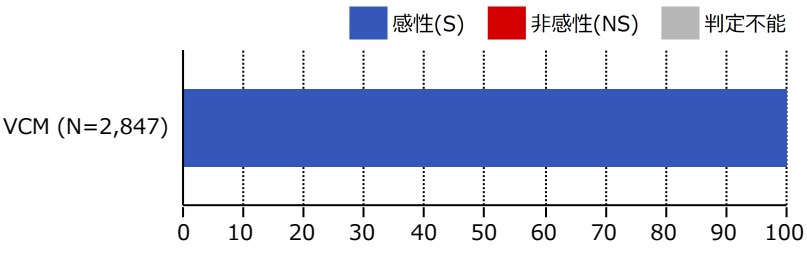
Japan Nosocomial Infections Surveillance

7. 主要菌の抗菌薬感受性*

Streptococcus pneumoniae(髄液検体以外) †



	感性(S)	SorI	中間(I)	IorR	耐性(R)	判定不能
PCG (N=2,339)	2,227 (95.2%)	0 (0.0%)	75 (3.2%)	0 (0.0%)	37 (1.6%)	0 (0.0%)
CTX (N=1,716)	1,637 (95.4%)	0 (0.0%)	20 (1.2%)	0 (0.0%)	56 (3.3%)	3 (0.2%)
CTRX (N=2,402)	2,199 (91.5%)	0 (0.0%)	74 (3.1%)	0 (0.0%)	129 (5.4%)	0 (0.0%)
MEPM (N=2,934)	2,265 (77.2%)	0 (0.0%)	455 (15.5%)	0 (0.0%)	214 (7.3%)	0 (0.0%)
EM (N=2,082)	443 (21.3%)	0 (0.0%)	50 (2.4%)	0 (0.0%)	1,589 (76.3%)	0 (0.0%)
CLDM (N=2,851)	1,458 (51.1%)	1 (0.0%)	30 (1.1%)	0 (0.0%)	1,362 (47.8%)	0 (0.0%)
LVFX (N=3,072)	2,683 (87.3%)	0 (0.0%)	16 (0.5%)	0 (0.0%)	370 (12.0%)	3 (0.1%)



	感性(S)	非感性(NS)	判定不能
VCM (N=2,847)	2,847 (100%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)

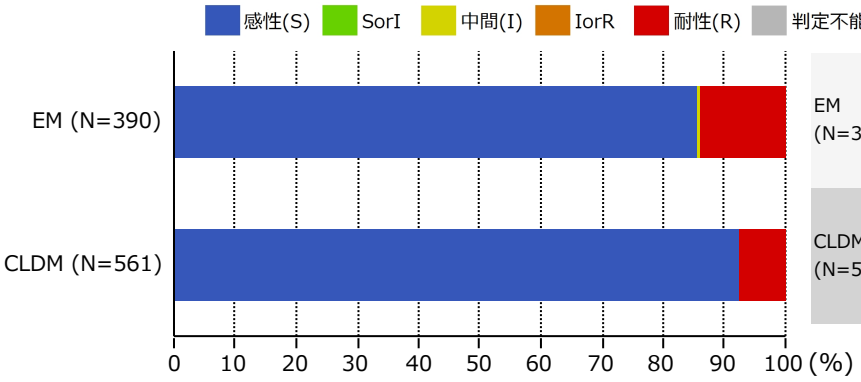
入院検体で、かつ検査法が微量液体希釈法又はEtestと設定されMIC値が報告されている検体を集計
30日単位で、抗菌薬感受性の違いも考慮して菌株数を集計する重複処理(巻末資料)が行われている
* S,I,RまたはS,NSの判定はCLSI 2012 (M100-S22) に準拠
† 菌名コード：1131と報告された菌
集計株数が30株未満の場合には、集計結果を公表しない

本公表データは国内の全医療機関の数値を集計したデータではありません。 データ集計日 ： 2026年05月08日
公開情報掲載日： 2026年08月17日

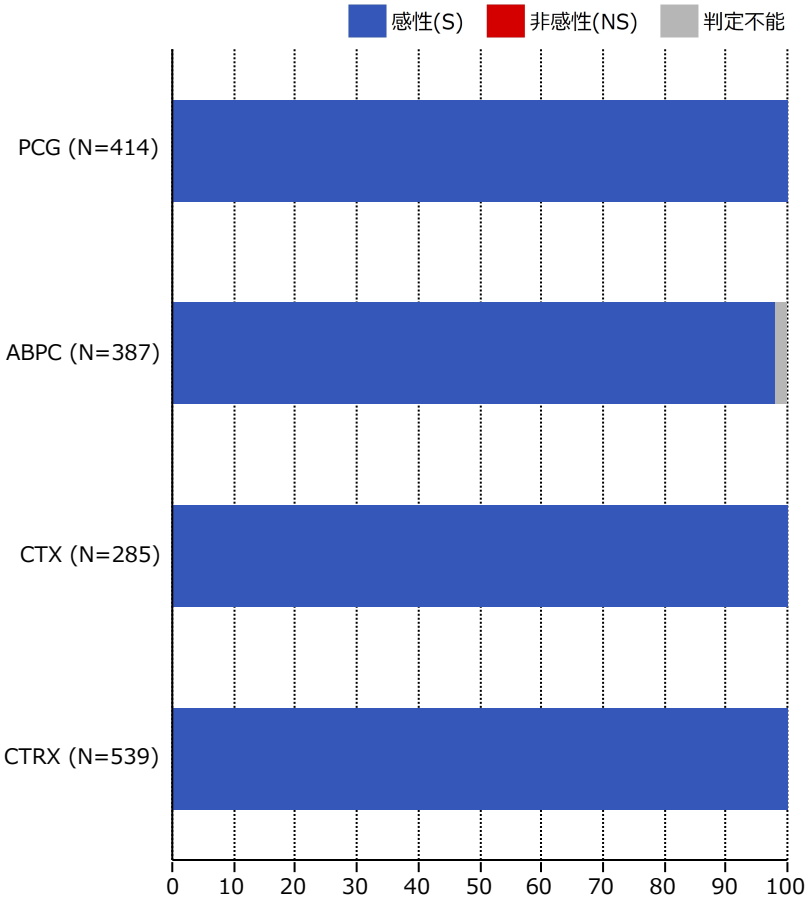
Japan Nosocomial Infections Surveillance

7. 主要菌の抗菌薬感受性*

Streptococcus pyogenes †



	感性(S)	SorI	中間(I)	IorR	耐性(R)	判定不能
EM (N=390)	333 (85.4%)	0 (0.0%)	2 (0.5%)	0 (0.0%)	55 (14.1%)	0 (0.0%)
CLDM (N=561)	518 (92.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	43 (7.7%)	0 (0.0%)



	感性(S)	非感性(NS)	判定不能
PCG (N=414)	414 (100%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
ABPC (N=387)	379 (97.9%)	0 (0.0%)	8 (2.1%)
CTX (N=285)	285 (100%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
CTRX (N=539)	539 (100%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)

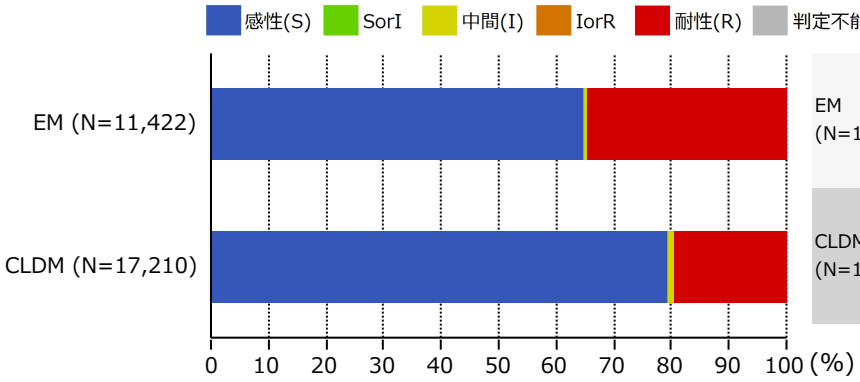
入院検体で、かつ検査法が微量液体希釈法又はEtestと設定されMIC値が報告されている検体を集計
30日単位で、抗菌薬感受性の違いも考慮して菌株数を集計する重複処理(巻末資料)が行われている
* S,I,RまたはS,NSの判定はCLSI 2012 (M100-S22) に準拠
† 菌名コード：1111と報告された菌
集計株数が30株未満の場合には、集計結果を公表しない

本公表データは国内の全医療機関の数値を集計したデータではありません。 データ集計日 ： 2026年05月08日
公開情報掲載日： 2026年08月17日

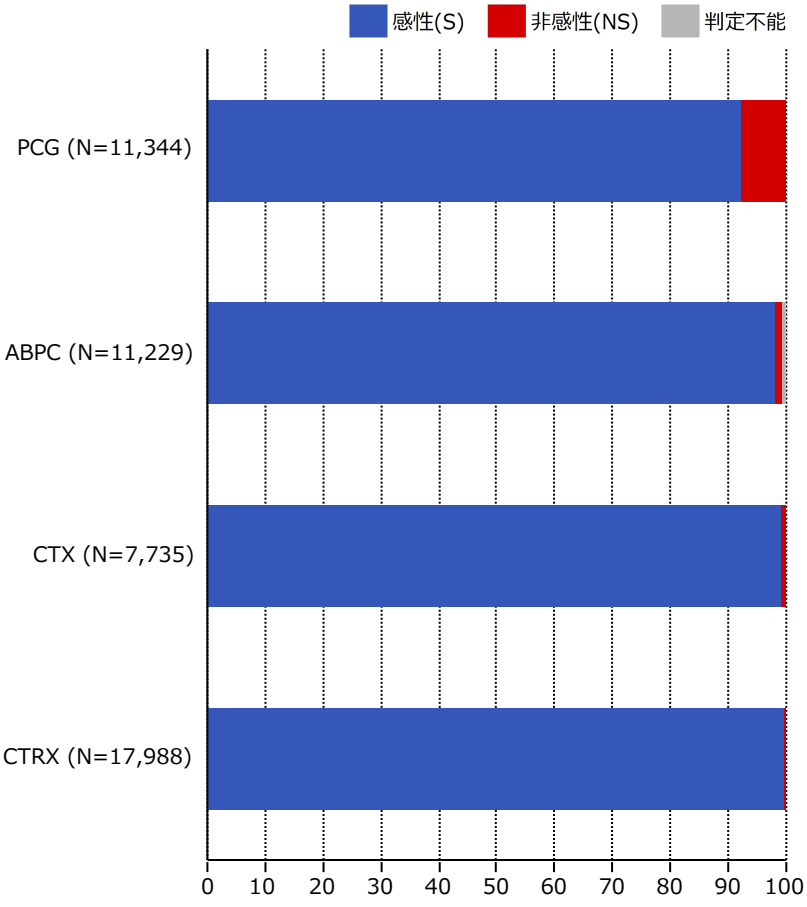
Japan Nosocomial Infections Surveillance

7. 主要菌の抗菌薬感受性*

Streptococcus agalactiae †



	感性(S)	SorI	中間(I)	IorR	耐性(R)	判定不能
EM (N=11,422)	7,386 (64.7%)	9 (0.1%)	67 (0.6%)	0 (0.0%)	3,960 (34.7%)	0 (0.0%)
CLDM (N=17,210)	13,637 (79.2%)	11 (0.1%)	214 (1.2%)	0 (0.0%)	3,348 (19.5%)	0 (0.0%)



	感性(S)	非感性(NS)	判定不能
PCG (N=11,344)	10,445 (92.1%)	898 (7.9%)	1 (0.0%)
ABPC (N=11,229)	11,011 (98.1%)	124 (1.1%)	94 (0.8%)
CTX (N=7,735)	7,659 (99.0%)	75 (1.0%)	1 (0.0%)
CTRX (N=17,988)	17,907 (99.5%)	81 (0.5%)	0 (0.0%)

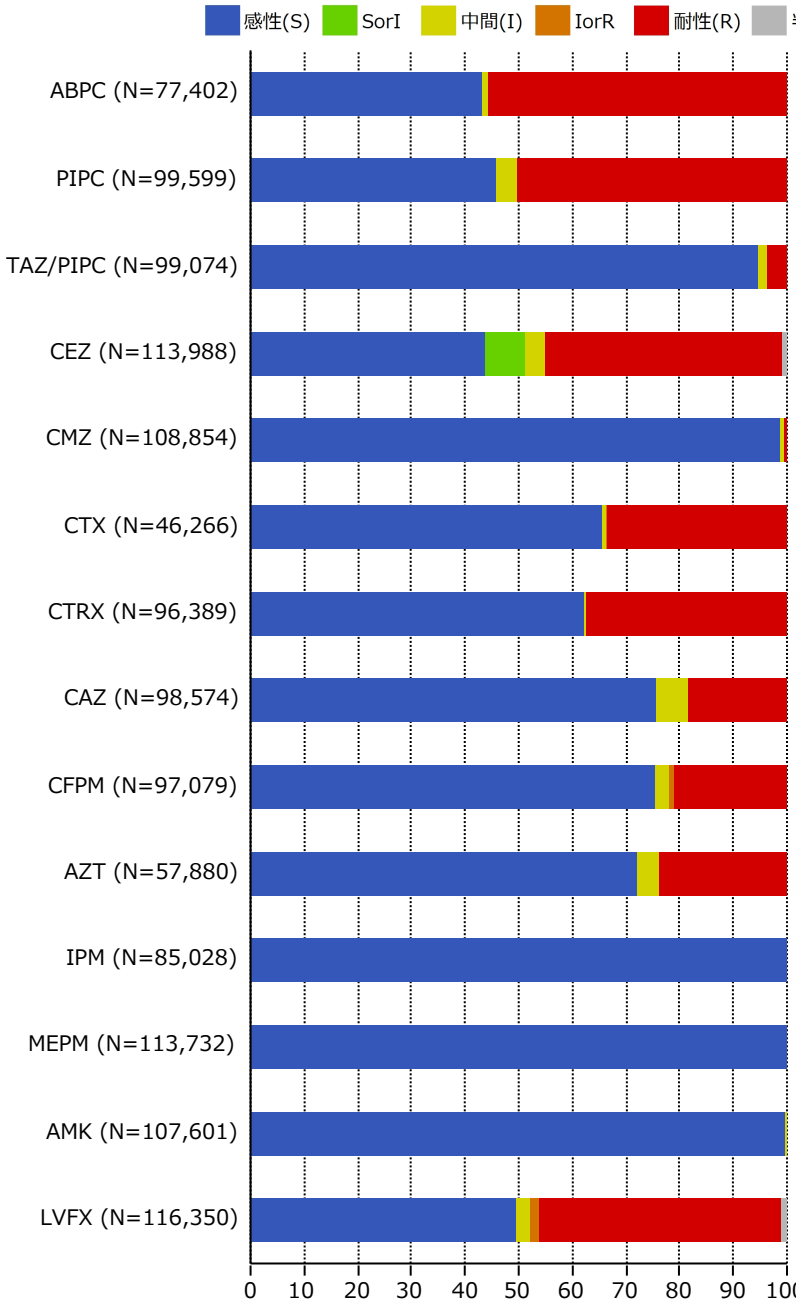
入院検体で、かつ検査法が微量液体希釈法又はEtestと設定されMIC値が報告されている検体を集計
30日単位で、抗菌薬感受性の違いも考慮して菌株数を集計する重複処理(巻末資料)が行われている
* S,I,RまたはS,NSの判定はCLSI 2012 (M100-S22）に準拠
† 菌名コード：1114と報告された菌
集計株数が30株未満の場合には、集計結果を公表しない

本公表データは国内の全医療機関の数値を集計したデータではありません。 データ集計日 ： 2026年05月08日
公開情報掲載日： 2026年08月17日

Japan Nosocomial Infections Surveillance

7. 主要菌の抗菌薬感受性*

Escherichia coli †



	感性(S)	SorI	中間(I)	IorR	耐性(R)	判定不能
ABPC (N=77,402)	33,410 (43.2%)	0 (0.0%)	746 (1.0%)	15 (0.0%)	43,231 (55.9%)	0 (0.0%)
PIPC (N=99,599)	45,503 (45.7%)	0 (0.0%)	3,844 (3.9%)	7 (0.0%)	50,244 (50.4%)	1 (0.0%)
TAZ/PIPC (N=99,074)	93,614 (94.5%)	0 (0.0%)	1,718 (1.7%)	2 (0.0%)	3,737 (3.8%)	3 (0.0%)
CEZ (N=113,988)	49,846 (43.7%)	8,430 (7.4%)	4,311 (3.8%)	0 (0.0%)	50,147 (44.0%)	1,254 (1.1%)
CMZ (N=108,854)	107,341 (98.6%)	0 (0.0%)	700 (0.6%)	5 (0.0%)	808 (0.7%)	0 (0.0%)
CTX (N=46,266)	30,370 (65.6%)	8 (0.0%)	265 (0.6%)	79 (0.2%)	15,506 (33.5%)	38 (0.1%)
CTRX (N=96,389)	59,887 (62.1%)	12 (0.0%)	201 (0.2%)	0 (0.0%)	36,250 (37.6%)	39 (0.0%)
CAZ (N=98,574)	74,478 (75.6%)	0 (0.0%)	5,772 (5.9%)	0 (0.0%)	18,324 (18.6%)	0 (0.0%)
CFPM (N=97,079)	73,121 (75.3%)	0 (0.0%)	2,685 (2.8%)	878 (0.9%)	20,393 (21.0%)	2 (0.0%)
AZT (N=57,880)	41,742 (72.1%)	0 (0.0%)	2,296 (4.0%)	0 (0.0%)	13,842 (23.9%)	0 (0.0%)
IPM (N=85,028)	84,910 (99.9%)	2 (0.0%)	85 (0.1%)	0 (0.0%)	30 (0.0%)	1 (0.0%)
MEPM (N=113,732)	113,686 (100%)	1 (0.0%)	12 (0.0%)	0 (0.0%)	33 (0.0%)	0 (0.0%)
AMK (N=107,601)	107,183 (99.6%)	0 (0.0%)	278 (0.3%)	0 (0.0%)	139 (0.1%)	1 (0.0%)
LVFX (N=116,350)	57,604 (49.5%)	0 (0.0%)	3,034 (2.6%)	1,812 (1.6%)	52,465 (45.1%)	1,435 (1.2%)

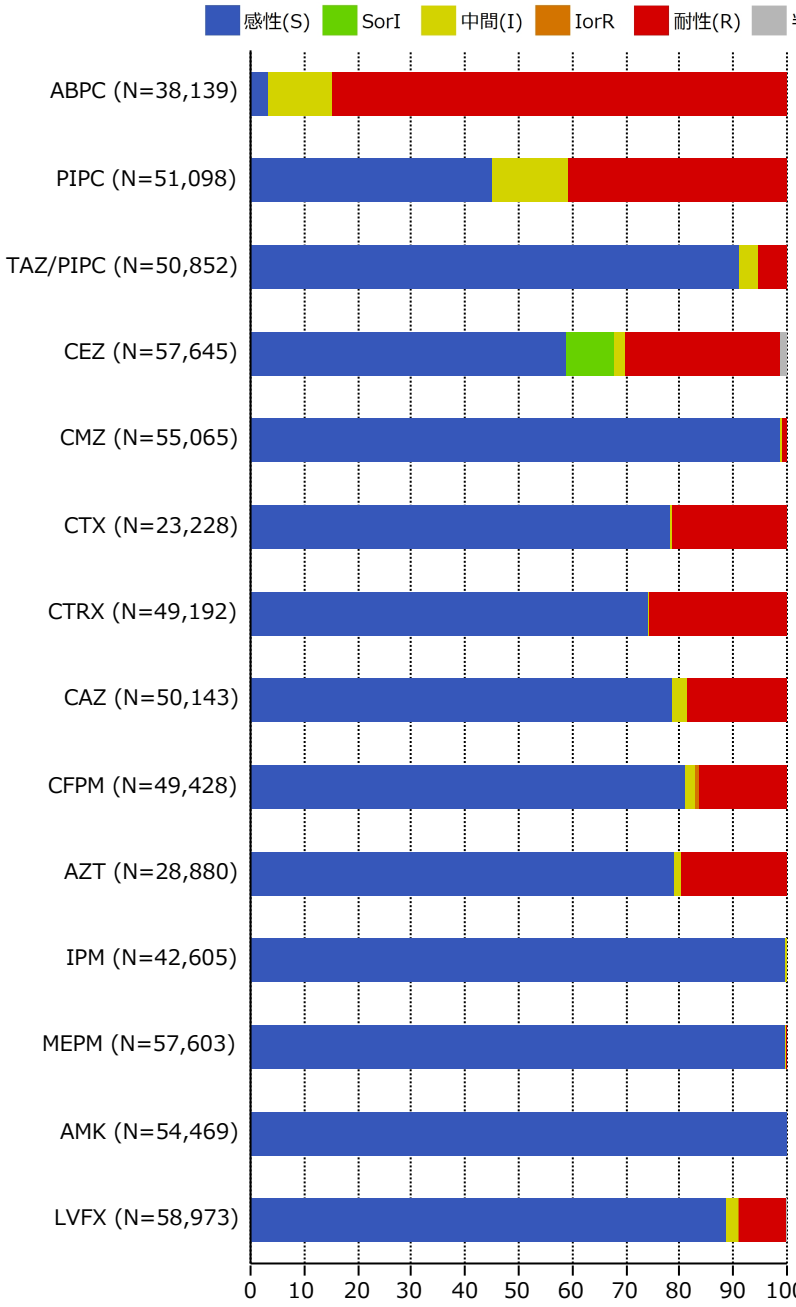
入院検体で、かつ検査法が微量液体希釈法又はEtestと設定されMIC値が報告されている検体を集計
30日単位で、抗菌薬感受性の違いも考慮して菌株数を集計する重複処理(巻末資料)が行われている
* S,I,Rの判定はCLSI 2012 (M100-S22）に準拠
† 菌名コード：2001～2007と報告された菌
集計株数が30株未満の場合には、集計結果を公表しない

本公表データは国内の全医療機関の数値を集計したデータではありません。 データ集計日 ： 2026年05月08日
公開情報掲載日： 2026年08月17日

Japan Nosocomial Infections Surveillance

7. 主要菌の抗菌薬感受性*

Klebsiella pneumoniae †



	感性(S)	SorI	中間(I)	IorR	耐性(R)	判定不能
ABPC (N=38,139)	1,211 (3.2%)	0 (0.0%)	4,596 (12.1%)	18 (0.0%)	32,314 (84.7%)	0 (0.0%)
PIPC (N=51,098)	23,022 (45.1%)	0 (0.0%)	7,208 (14.1%)	5 (0.0%)	20,863 (40.8%)	0 (0.0%)
TAZ/PIPC (N=50,852)	46,306 (91.1%)	0 (0.0%)	1,733 (3.4%)	0 (0.0%)	2,812 (5.5%)	1 (0.0%)
CEZ (N=57,645)	33,883 (58.8%)	5,094 (8.8%)	1,229 (2.1%)	0 (0.0%)	16,654 (28.9%)	785 (1.4%)
CMZ (N=55,065)	54,253 (98.5%)	0 (0.0%)	244 (0.4%)	0 (0.0%)	568 (1.0%)	0 (0.0%)
CTX (N=23,228)	18,142 (78.1%)	10 (0.0%)	71 (0.3%)	27 (0.1%)	4,954 (21.3%)	24 (0.1%)
CTRX (N=49,192)	36,392 (74.0%)	6 (0.0%)	86 (0.2%)	0 (0.0%)	12,686 (25.8%)	22 (0.0%)
CAZ (N=50,143)	39,390 (78.6%)	0 (0.0%)	1,364 (2.7%)	0 (0.0%)	9,389 (18.7%)	0 (0.0%)
CFPM (N=49,428)	39,950 (80.8%)	0 (0.0%)	960 (1.9%)	347 (0.7%)	8,171 (16.5%)	0 (0.0%)
AZT (N=28,880)	22,786 (78.9%)	0 (0.0%)	345 (1.2%)	0 (0.0%)	5,749 (19.9%)	0 (0.0%)
IPM (N=42,605)	42,455 (99.6%)	0 (0.0%)	122 (0.3%)	0 (0.0%)	27 (0.1%)	1 (0.0%)
MEPM (N=57,603)	57,472 (99.8%)	0 (0.0%)	29 (0.1%)	0 (0.0%)	102 (0.2%)	0 (0.0%)
AMK (N=54,469)	54,400 (99.9%)	0 (0.0%)	42 (0.1%)	0 (0.0%)	27 (0.0%)	0 (0.0%)
LVFX (N=58,973)	52,322 (88.7%)	0 (0.0%)	1,274 (2.2%)	150 (0.3%)	5,048 (8.6%)	179 (0.3%)

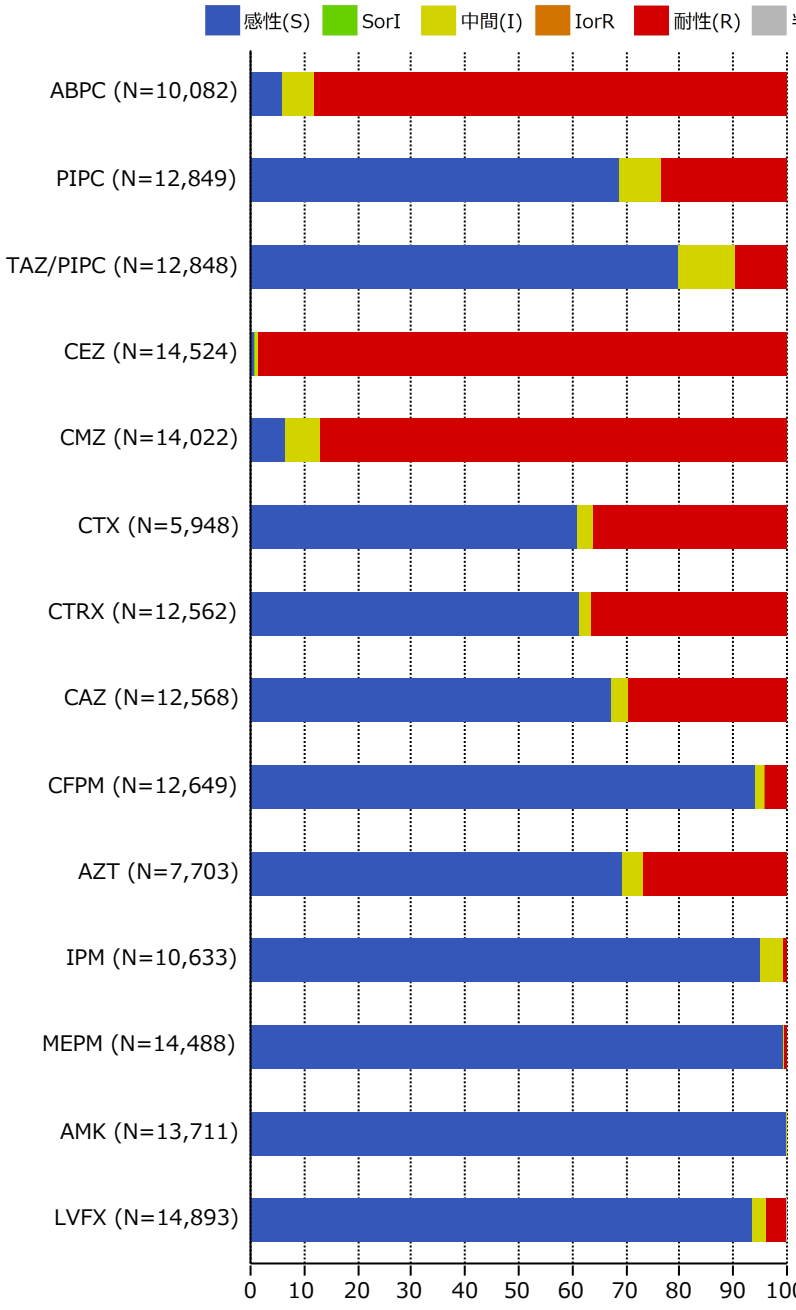
入院検体で、かつ検査法が微量液体希釈法又はEtestと設定されMIC値が報告されている検体を集計
30日単位で、抗菌薬感受性の違いも考慮して菌株数を集計する重複処理(巻末資料)が行われている
* S,I,Rの判定はCLSI 2012 (M100-S22）に準拠
† 菌名コード：2351と報告された菌
集計株数が30株未満の場合には、集計結果を公表しない

本公表データは国内の全医療機関の数値を集計したデータではありません。 データ集計日 ： 2026年05月08日
公開情報掲載日： 2026年08月17日

Japan Nosocomial Infections Surveillance

7. 主要菌の抗菌薬感受性*

Enterobacter cloacae †



	感性(S)	SorI	中間(I)	IorR	耐性(R)	判定不能
ABPC (N=10,082)	590 (5.9%)	0 (0.0%)	620 (6.1%)	1 (0.0%)	8,871 (88.0%)	0 (0.0%)
PIPC (N=12,849)	8,825 (68.7%)	0 (0.0%)	1,010 (7.9%)	0 (0.0%)	3,014 (23.5%)	0 (0.0%)
TAZ/PIPC (N=12,848)	10,248 (79.8%)	0 (0.0%)	1,359 (10.6%)	0 (0.0%)	1,241 (9.7%)	0 (0.0%)
CEZ (N=14,524)	96 (0.7%)	40 (0.3%)	54 (0.4%)	0 (0.0%)	14,331 (98.7%)	3 (0.0%)
CMZ (N=14,022)	906 (6.5%)	0 (0.0%)	912 (6.5%)	3 (0.0%)	12,201 (87.0%)	0 (0.0%)
CTX (N=5,948)	3,615 (60.8%)	1 (0.0%)	173 (2.9%)	1 (0.0%)	2,156 (36.2%)	2 (0.0%)
CTRX (N=12,562)	7,709 (61.4%)	1 (0.0%)	271 (2.2%)	0 (0.0%)	4,579 (36.5%)	2 (0.0%)
CAZ (N=12,568)	8,452 (67.3%)	0 (0.0%)	389 (3.1%)	0 (0.0%)	3,727 (29.7%)	0 (0.0%)
CFPM (N=12,649)	11,889 (94.0%)	0 (0.0%)	214 (1.7%)	26 (0.2%)	520 (4.1%)	0 (0.0%)
AZT (N=7,703)	5,338 (69.3%)	0 (0.0%)	299 (3.9%)	0 (0.0%)	2,066 (26.8%)	0 (0.0%)
IPM (N=10,633)	10,090 (94.9%)	0 (0.0%)	454 (4.3%)	0 (0.0%)	89 (0.8%)	0 (0.0%)
MEPM (N=14,488)	14,370 (99.2%)	0 (0.0%)	28 (0.2%)	0 (0.0%)	90 (0.6%)	0 (0.0%)
AMK (N=13,711)	13,691 (99.9%)	0 (0.0%)	8 (0.1%)	0 (0.0%)	12 (0.1%)	0 (0.0%)
LVFX (N=14,893)	13,920 (93.5%)	0 (0.0%)	375 (2.5%)	22 (0.1%)	548 (3.7%)	28 (0.2%)

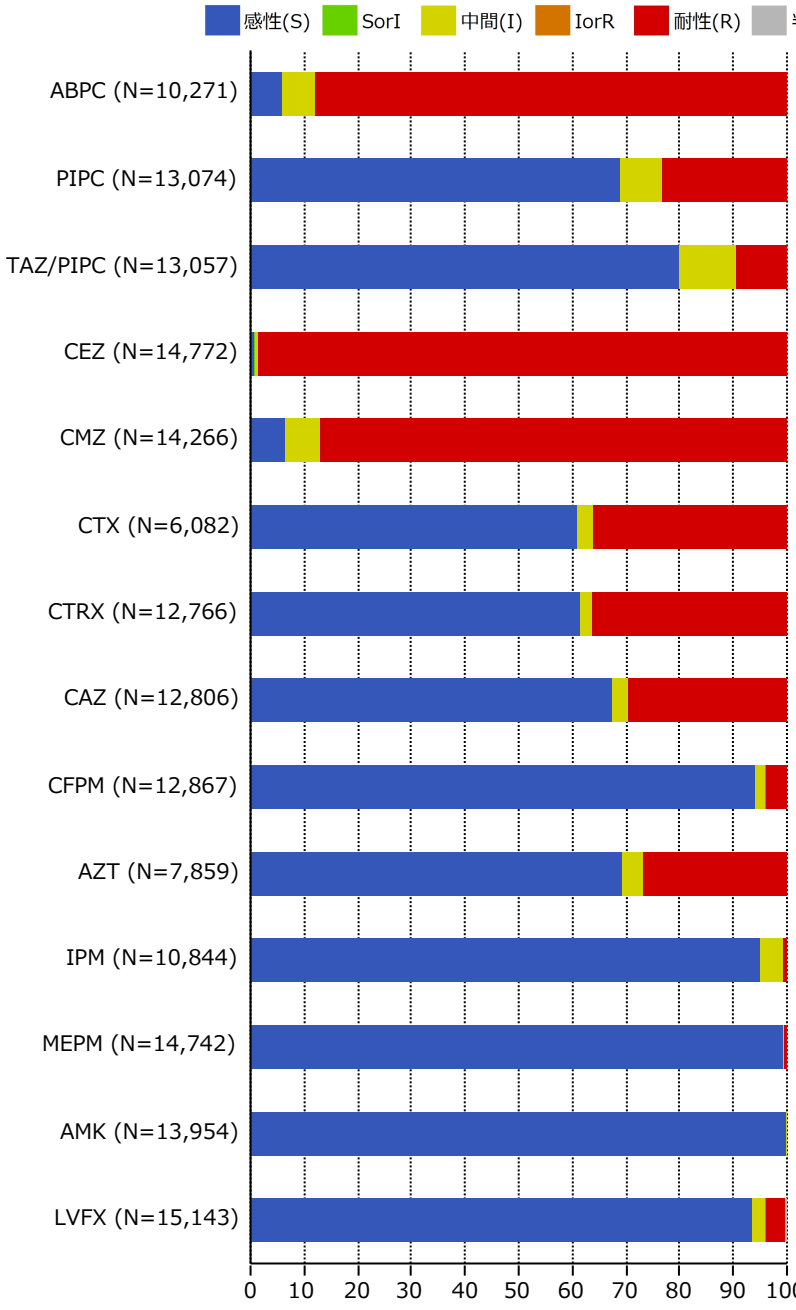
入院検体で、かつ検査法が微量液体希釈法又はEtestと設定されMIC値が報告されている検体を集計
30日単位で、抗菌薬感受性の違いも考慮して菌株数を集計する重複処理(巻末資料)が行われている
* S,I,Rの判定はCLSI 2012 (M100-S22）に準拠
† 菌名コード：2151と報告された菌
集計株数が30株未満の場合には、集計結果を公表しない

本公表データは国内の全医療機関の数値を集計したデータではありません。 データ集計日 ： 2026年05月08日
公開情報掲載日： 2026年08月17日

Japan Nosocomial Infections Surveillance

7. 主要菌の抗菌薬感受性*

Enterobacter cloacae complex †



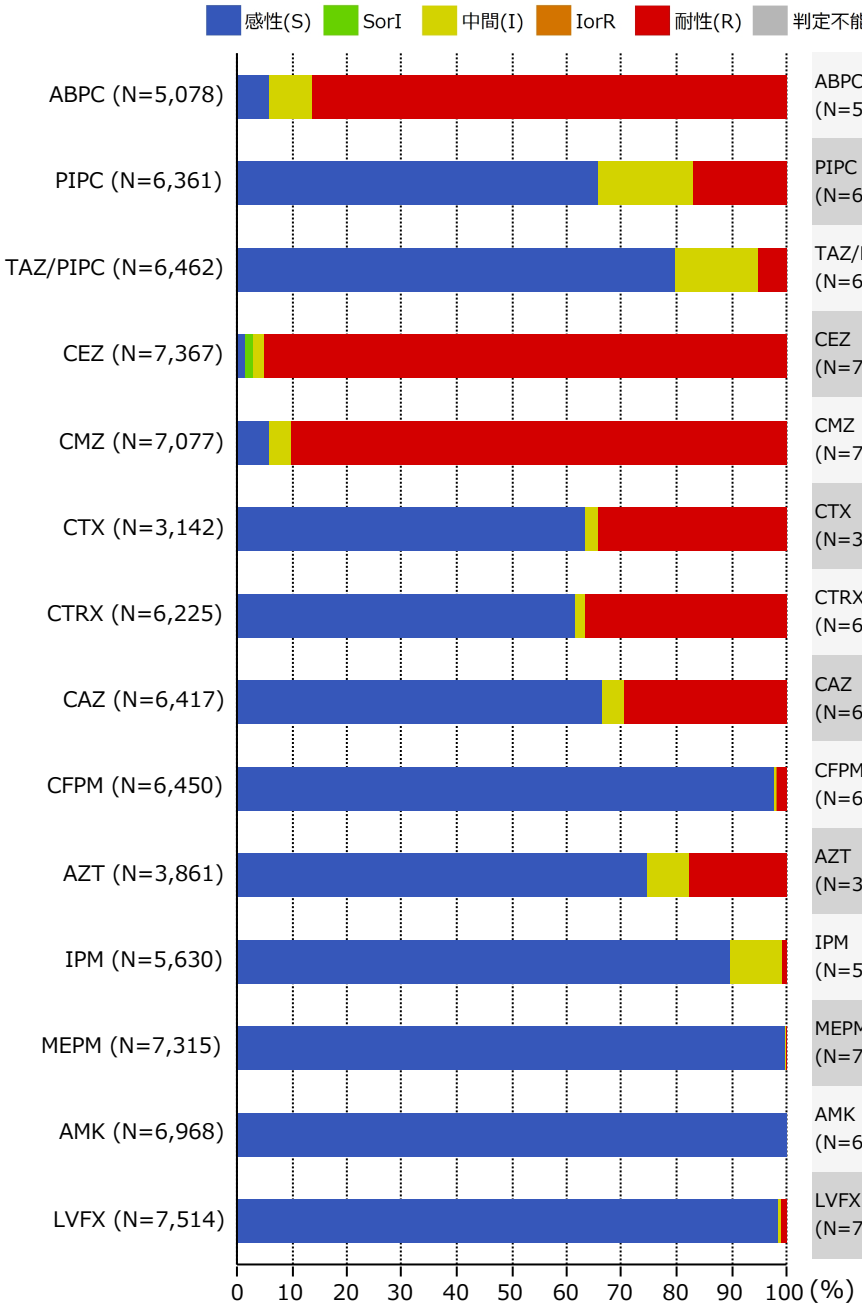
	感性(S)	SorI	中間(I)	IorR	耐性(R)	判定不能
ABPC (N=10,271)	620 (6.0%)	0 (0.0%)	640 (6.2%)	1 (0.0%)	9,010 (87.7%)	0 (0.0%)
PIPC (N=13,074)	9,000 (68.8%)	0 (0.0%)	1,030 (7.9%)	0 (0.0%)	3,044 (23.3%)	0 (0.0%)
TAZ/PIPC (N=13,057)	10,416 (79.8%)	0 (0.0%)	1,384 (10.6%)	0 (0.0%)	1,257 (9.6%)	0 (0.0%)
CEZ (N=14,772)	100 (0.7%)	43 (0.3%)	56 (0.4%)	0 (0.0%)	14,570 (98.6%)	3 (0.0%)
CMZ (N=14,266)	919 (6.4%)	0 (0.0%)	938 (6.6%)	3 (0.0%)	12,406 (87.0%)	0 (0.0%)
CTX (N=6,082)	3,701 (60.9%)	1 (0.0%)	179 (2.9%)	2 (0.0%)	2,197 (36.1%)	2 (0.0%)
CTRX (N=12,766)	7,838 (61.4%)	1 (0.0%)	279 (2.2%)	0 (0.0%)	4,646 (36.4%)	2 (0.0%)
CAZ (N=12,806)	8,616 (67.3%)	0 (0.0%)	398 (3.1%)	0 (0.0%)	3,792 (29.6%)	0 (0.0%)
CFPM (N=12,867)	12,102 (94.1%)	0 (0.0%)	219 (1.7%)	26 (0.2%)	520 (4.0%)	0 (0.0%)
AZT (N=7,859)	5,441 (69.2%)	0 (0.0%)	306 (3.9%)	0 (0.0%)	2,112 (26.9%)	0 (0.0%)
IPM (N=10,844)	10,297 (95.0%)	0 (0.0%)	458 (4.2%)	0 (0.0%)	89 (0.8%)	0 (0.0%)
MEPM (N=14,742)	14,624 (99.2%)	0 (0.0%)	28 (0.2%)	0 (0.0%)	90 (0.6%)	0 (0.0%)
AMK (N=13,954)	13,933 (99.8%)	0 (0.0%)	9 (0.1%)	0 (0.0%)	12 (0.1%)	0 (0.0%)
LVFX (N=15,143)	14,140 (93.4%)	0 (0.0%)	378 (2.5%)	22 (0.1%)	553 (3.7%)	50 (0.3%)

入院検体で、かつ検査法が微量液体希釈法又はEtestと設定されMIC値が報告されている検体を集計
30日単位で、抗菌薬感受性の違いも考慮して菌株数を集計する重複処理(巻末資料)が行われている
* S,I,Rの判定はCLSI 2012 (M100-S22）に準拠
† 菌名コード：2151，2155，2157～2161と報告された菌
集計株数が30株未満の場合には、集計結果を公表しない

本公表データは国内の全医療機関の数値を集計したデータではありません。
データ集計日 ： 2026年05月08日
公開情報掲載日： 2026年08月17日

7. 主要菌の抗菌薬感受性*

Klebsiella aerogenes †



	感性(S)	SorI	中間(I)	IorR	耐性(R)	判定不能
ABPC (N=5,078)	296 (5.8%)	0 (0.0%)	403 (7.9%)	2 (0.0%)	4,377 (86.2%)	0 (0.0%)
PIPC (N=6,361)	4,181 (65.7%)	0 (0.0%)	1,089 (17.1%)	0 (0.0%)	1,091 (17.2%)	0 (0.0%)
TAZ/PIPC (N=6,462)	5,149 (79.7%)	0 (0.0%)	979 (15.2%)	0 (0.0%)	333 (5.2%)	1 (0.0%)
CEZ (N=7,367)	115 (1.6%)	96 (1.3%)	147 (2.0%)	0 (0.0%)	7,007 (95.1%)	2 (0.0%)
CMZ (N=7,077)	420 (5.9%)	0 (0.0%)	281 (4.0%)	0 (0.0%)	6,376 (90.1%)	0 (0.0%)
CTX (N=3,142)	1,992 (63.4%)	1 (0.0%)	69 (2.2%)	0 (0.0%)	1,080 (34.4%)	0 (0.0%)
CTRX (N=6,225)	3,825 (61.4%)	1 (0.0%)	113 (1.8%)	0 (0.0%)	2,286 (36.7%)	0 (0.0%)
CAZ (N=6,417)	4,258 (66.4%)	0 (0.0%)	258 (4.0%)	0 (0.0%)	1,901 (29.6%)	0 (0.0%)
CFPM (N=6,450)	6,294 (97.6%)	0 (0.0%)	32 (0.5%)	5 (0.1%)	119 (1.8%)	0 (0.0%)
AZT (N=3,861)	2,880 (74.6%)	0 (0.0%)	295 (7.6%)	0 (0.0%)	686 (17.8%)	0 (0.0%)
IPM (N=5,630)	5,049 (89.7%)	0 (0.0%)	530 (9.4%)	0 (0.0%)	51 (0.9%)	0 (0.0%)
MEPM (N=7,315)	7,291 (99.7%)	0 (0.0%)	9 (0.1%)	0 (0.0%)	15 (0.2%)	0 (0.0%)
AMK (N=6,968)	6,962 (99.9%)	0 (0.0%)	3 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (0.0%)	0 (0.0%)
LVFX (N=7,514)	7,378 (98.2%)	0 (0.0%)	56 (0.7%)	1 (0.0%)	78 (1.0%)	1 (0.0%)

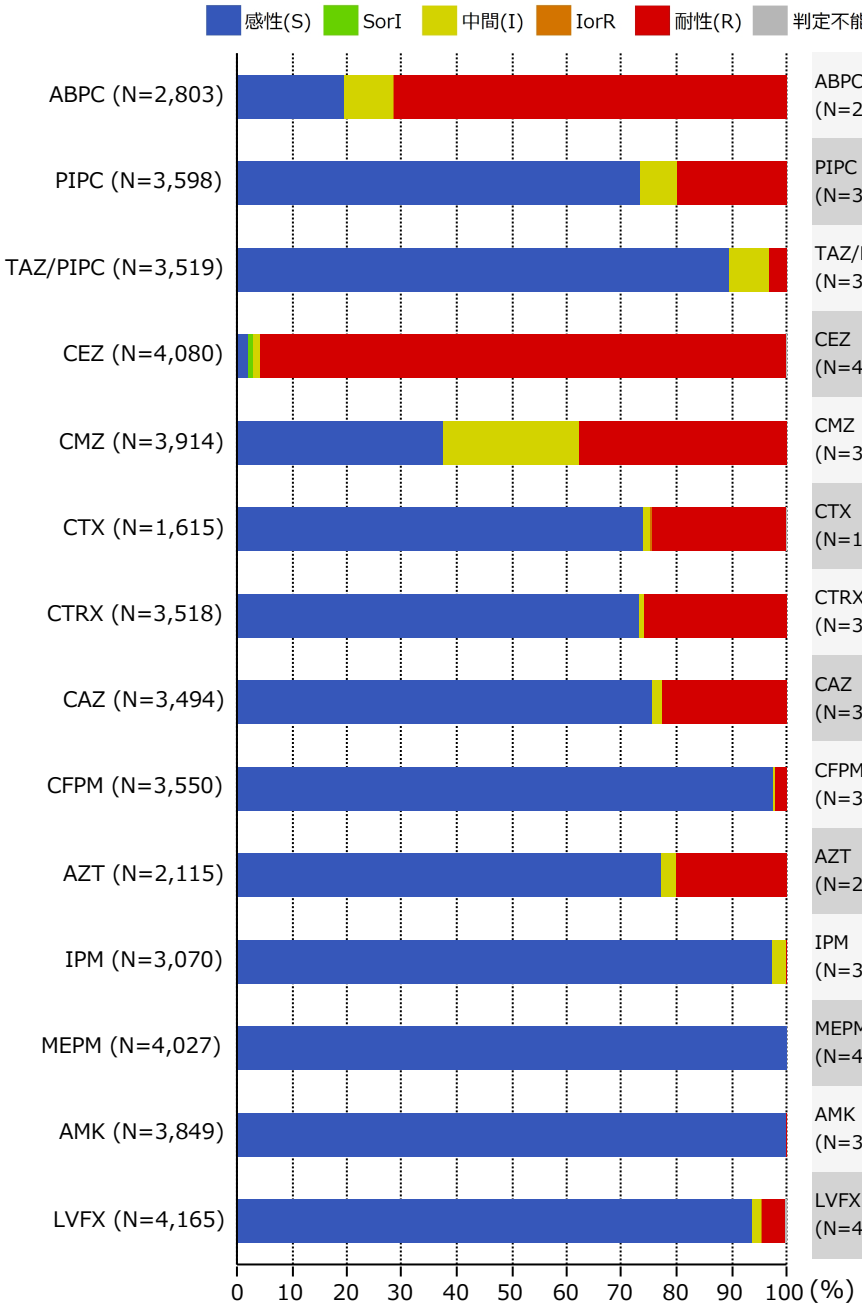
入院検体で、かつ検査法が微量液体希釈法又はEtestと設定されMIC値が報告されている検体を集計
30日単位で、抗菌薬感受性の違いも考慮して菌株数を集計する重複処理(巻末資料)が行われている
* S,I,Rの判定はCLSI 2012 (M100-S22) に準拠
† 菌名コード：2152と報告された菌(旧名：*Enterobacter aerogenes*)
集計株数が30株未満の場合には、集計結果を公表しない

本公表データは国内の全医療機関の数値を集計したデータではありません。
データ集計日 ： 2026年05月08日
公開情報掲載日： 2026年08月17日

Japan Nosocomial Infections Surveillance

7. 主要菌の抗菌薬感受性*

Citrobacter freundii †



	感性(S)	SorI	中間(I)	IorR	耐性(R)	判定不能
ABPC (N=2,803)	550 (19.6%)	0 (0.0%)	247 (8.8%)	2 (0.1%)	2,004 (71.5%)	0 (0.0%)
PIPC (N=3,598)	2,636 (73.3%)	0 (0.0%)	240 (6.7%)	1 (0.0%)	721 (20.0%)	0 (0.0%)
TAZ/PIPC (N=3,519)	3,148 (89.5%)	0 (0.0%)	256 (7.3%)	1 (0.0%)	114 (3.2%)	0 (0.0%)
CEZ (N=4,080)	84 (2.1%)	36 (0.9%)	49 (1.2%)	0 (0.0%)	3,906 (95.7%)	5 (0.1%)
CMZ (N=3,914)	1,473 (37.6%)	0 (0.0%)	961 (24.6%)	0 (0.0%)	1,480 (37.8%)	0 (0.0%)
CTX (N=1,615)	1,192 (73.8%)	0 (0.0%)	22 (1.4%)	3 (0.2%)	396 (24.5%)	2 (0.1%)
CTRX (N=3,518)	2,569 (73.0%)	0 (0.0%)	35 (1.0%)	0 (0.0%)	913 (26.0%)	1 (0.0%)
CAZ (N=3,494)	2,638 (75.5%)	1 (0.0%)	59 (1.7%)	0 (0.0%)	796 (22.8%)	0 (0.0%)
CFPM (N=3,550)	3,456 (97.4%)	0 (0.0%)	15 (0.4%)	1 (0.0%)	78 (2.2%)	0 (0.0%)
AZT (N=2,115)	1,629 (77.0%)	0 (0.0%)	61 (2.9%)	0 (0.0%)	425 (20.1%)	0 (0.0%)
IPM (N=3,070)	2,989 (97.4%)	0 (0.0%)	79 (2.6%)	0 (0.0%)	2 (0.1%)	0 (0.0%)
MEPM (N=4,027)	4,026 (100%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (0.0%)	0 (0.0%)
AMK (N=3,849)	3,847 (99.9%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (0.1%)	0 (0.0%)
LVFX (N=4,165)	3,900 (93.6%)	0 (0.0%)	77 (1.8%)	3 (0.1%)	173 (4.2%)	12 (0.3%)

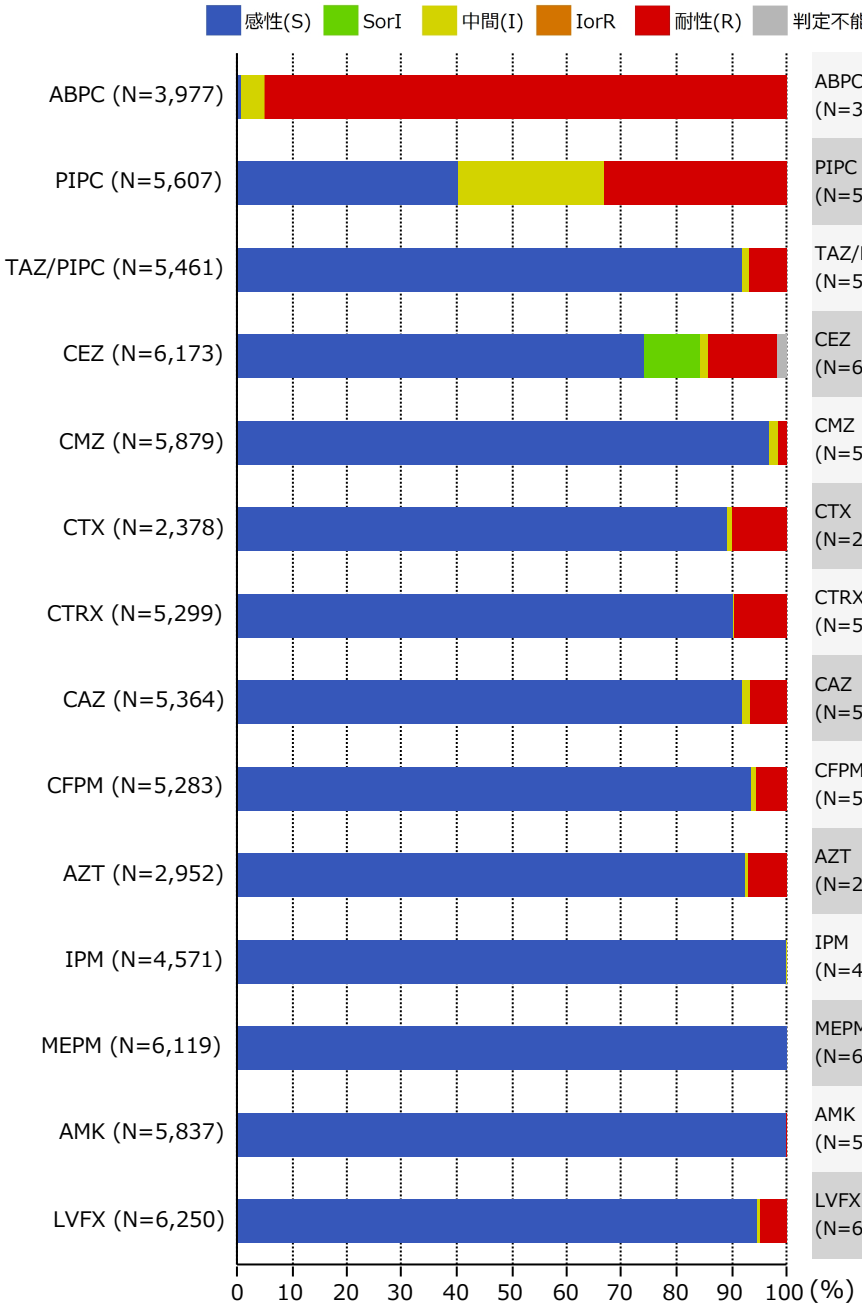
入院検体で、かつ検査法が微量液体希釈法又はEtestと設定されMIC値が報告されている検体を集計
30日単位で、抗菌薬感受性の違いも考慮して菌株数を集計する重複処理(巻末資料)が行われている
* S,I,Rの判定はCLSI 2012 (M100-S22）に準拠
† 菌名コード：2051と報告された菌
集計株数が30株未満の場合には、集計結果を公表しない

本公表データは国内の全医療機関の数値を集計したデータではありません。 データ集計日 ： 2026年05月08日
公開情報掲載日： 2026年08月17日

Japan Nosocomial Infections Surveillance

7. 主要菌の抗菌薬感受性*

Citrobacter koseri †



	感性(S)	SorI	中間(I)	IorR	耐性(R)	判定不能
ABPC (N=3,977)	31 (0.8%)	0 (0.0%)	169 (4.2%)	4 (0.1%)	3,773 (94.9%)	0 (0.0%)
PIPC (N=5,607)	2,251 (40.1%)	0 (0.0%)	1,488 (26.5%)	0 (0.0%)	1,868 (33.3%)	0 (0.0%)
TAZ/PIPC (N=5,461)	5,015 (91.8%)	0 (0.0%)	74 (1.4%)	0 (0.0%)	372 (6.8%)	0 (0.0%)
CEZ (N=6,173)	4,565 (74.0%)	635 (10.3%)	89 (1.4%)	0 (0.0%)	782 (12.7%)	102 (1.7%)
CMZ (N=5,879)	5,689 (96.8%)	0 (0.0%)	90 (1.5%)	0 (0.0%)	100 (1.7%)	0 (0.0%)
CTX (N=2,378)	2,120 (89.2%)	2 (0.1%)	21 (0.9%)	0 (0.0%)	235 (9.9%)	0 (0.0%)
CTRX (N=5,299)	4,778 (90.2%)	0 (0.0%)	11 (0.2%)	0 (0.0%)	510 (9.6%)	0 (0.0%)
CAZ (N=5,364)	4,928 (91.9%)	0 (0.0%)	74 (1.4%)	0 (0.0%)	362 (6.7%)	0 (0.0%)
CFPM (N=5,283)	4,938 (93.5%)	0 (0.0%)	43 (0.8%)	4 (0.1%)	298 (5.6%)	0 (0.0%)
AZT (N=2,952)	2,723 (92.2%)	0 (0.0%)	22 (0.7%)	0 (0.0%)	207 (7.0%)	0 (0.0%)
IPM (N=4,571)	4,564 (99.8%)	0 (0.0%)	5 (0.1%)	0 (0.0%)	2 (0.0%)	0 (0.0%)
MEPM (N=6,119)	6,117 (100%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (0.0%)	0 (0.0%)
AMK (N=5,837)	5,831 (99.9%)	0 (0.0%)	3 (0.1%)	0 (0.0%)	3 (0.1%)	0 (0.0%)
LVFX (N=6,250)	5,909 (94.5%)	0 (0.0%)	37 (0.6%)	4 (0.1%)	298 (4.8%)	2 (0.0%)

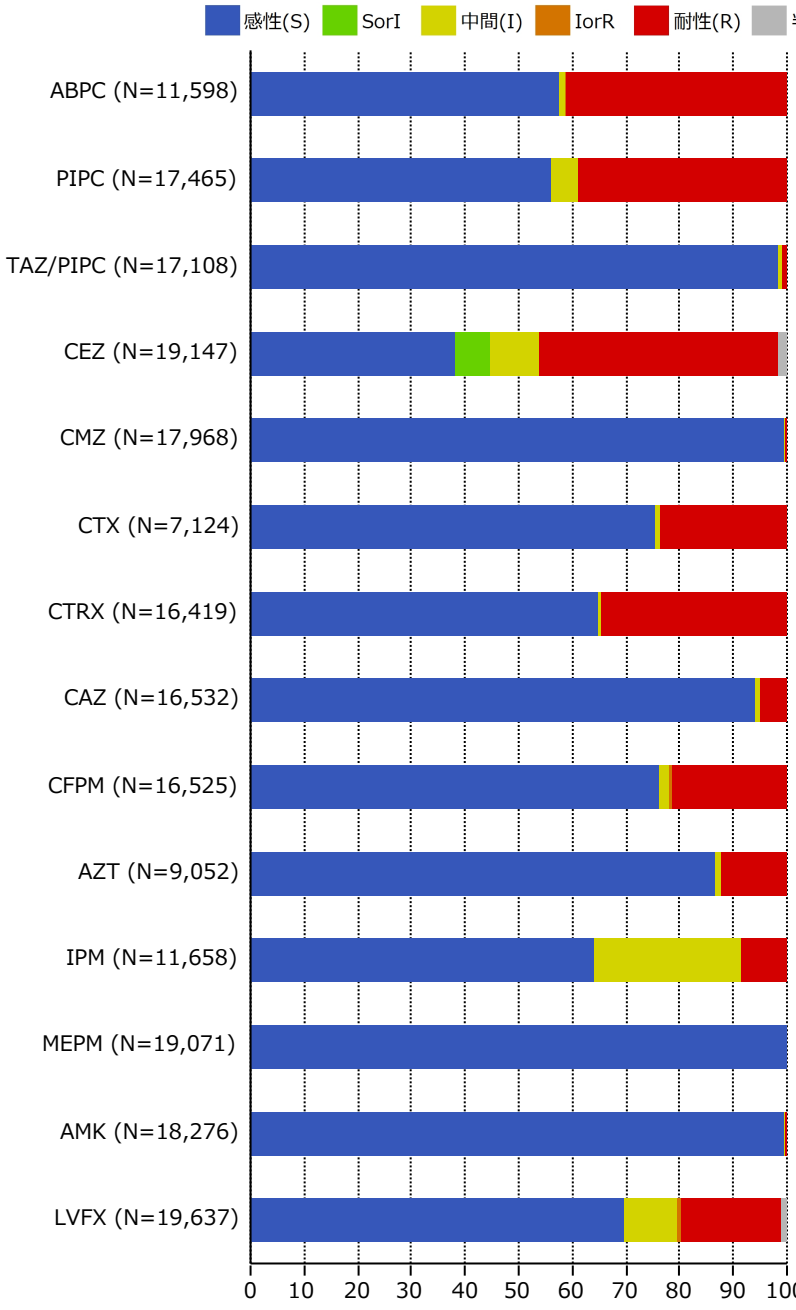
入院検体で、かつ検査法が微量液体希釈法又はEtestと設定されMIC値が報告されている検体を集計
30日単位で、抗菌薬感受性の違いも考慮して菌株数を集計する重複処理(巻末資料)が行われている
* S,I,Rの判定はCLSI 2012 (M100-S22）に準拠
† 菌名コード：2052と報告された菌
集計株数が30株未満の場合には、集計結果を公表しない

本公表データは国内の全医療機関の数値を集計したデータではありません。
データ集計日 ： 2026年05月08日
公開情報掲載日： 2026年08月17日

Japan Nosocomial Infections Surveillance

7. 主要菌の抗菌薬感受性*

Proteus mirabilis †



	感性(S)	SorI	中間(I)	IorR	耐性(R)	判定不能
ABPC (N=11,598)	6,680 (57.6%)	0 (0.0%)	118 (1.0%)	6 (0.1%)	4,794 (41.3%)	0 (0.0%)
PIPC (N=17,465)	9,799 (56.1%)	0 (0.0%)	852 (4.9%)	6 (0.0%)	6,808 (39.0%)	0 (0.0%)
TAZ/PIPC (N=17,108)	16,813 (98.3%)	0 (0.0%)	105 (0.6%)	5 (0.0%)	185 (1.1%)	0 (0.0%)
CEZ (N=19,147)	7,335 (38.3%)	1,221 (6.4%)	1,719 (9.0%)	0 (0.0%)	8,550 (44.7%)	322 (1.7%)
CMZ (N=17,968)	17,881 (99.5%)	0 (0.0%)	31 (0.2%)	3 (0.0%)	53 (0.3%)	0 (0.0%)
CTX (N=7,124)	5,376 (75.5%)	0 (0.0%)	56 (0.8%)	4 (0.1%)	1,684 (23.6%)	4 (0.1%)
CTRX (N=16,419)	10,641 (64.8%)	0 (0.0%)	76 (0.5%)	0 (0.0%)	5,697 (34.7%)	5 (0.0%)
CAZ (N=16,532)	15,544 (94.0%)	0 (0.0%)	147 (0.9%)	0 (0.0%)	840 (5.1%)	1 (0.0%)
CFPM (N=16,525)	12,587 (76.2%)	0 (0.0%)	287 (1.7%)	103 (0.6%)	3,548 (21.5%)	0 (0.0%)
AZT (N=9,052)	7,833 (86.5%)	0 (0.0%)	106 (1.2%)	0 (0.0%)	1,113 (12.3%)	0 (0.0%)
IPM (N=11,658)	7,461 (64.0%)	0 (0.0%)	3,184 (27.3%)	0 (0.0%)	1,012 (8.7%)	1 (0.0%)
MEPM (N=19,071)	19,064 (100%)	0 (0.0%)	3 (0.0%)	0 (0.0%)	4 (0.0%)	0 (0.0%)
AMK (N=18,276)	18,178 (99.5%)	0 (0.0%)	35 (0.2%)	0 (0.0%)	63 (0.3%)	0 (0.0%)
LVFX (N=19,637)	13,680 (69.7%)	0 (0.0%)	1,954 (10.0%)	129 (0.7%)	3,647 (18.6%)	227 (1.2%)

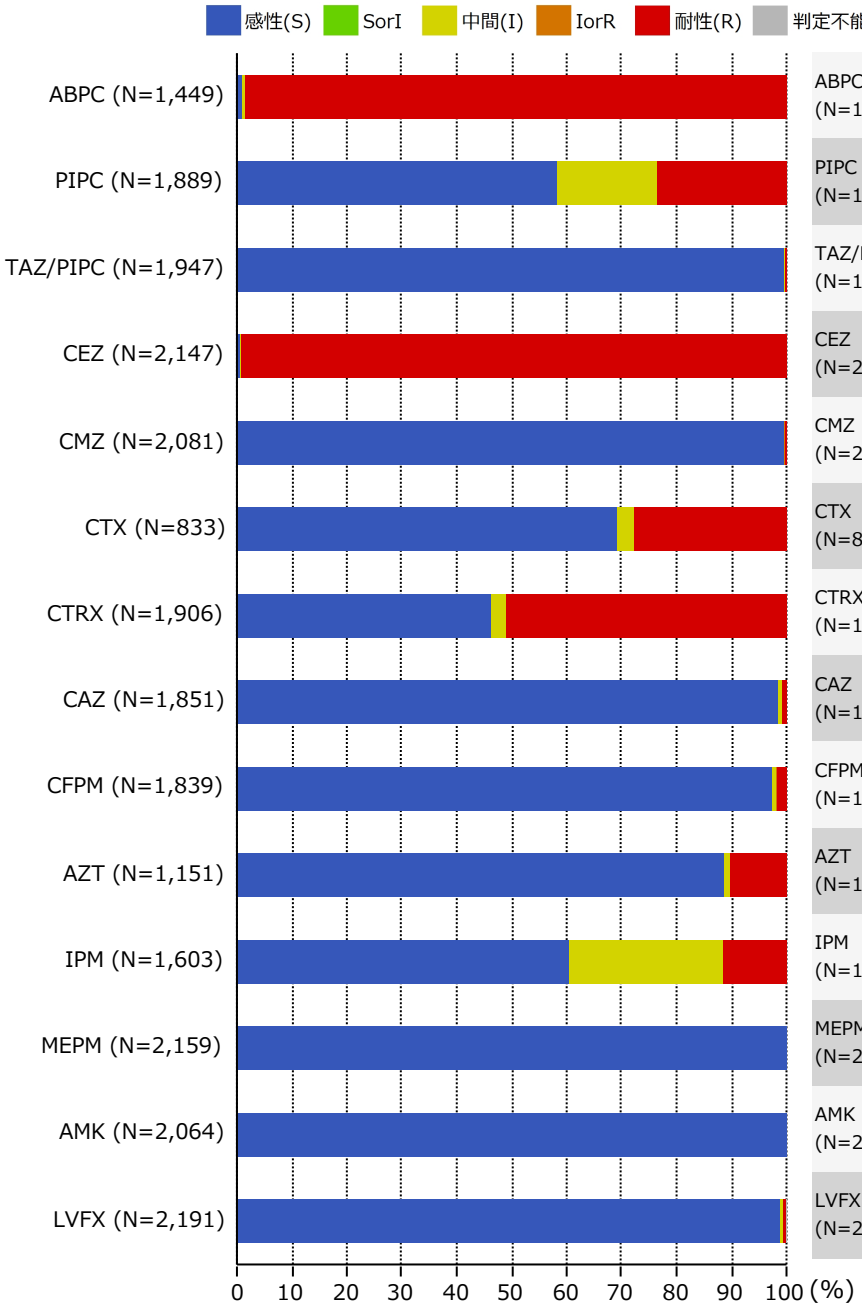
入院検体で、かつ検査法が微量液体希釈法又はEtestと設定されMIC値が報告されている検体を集計
30日単位で、抗菌薬感受性の違いも考慮して菌株数を集計する重複処理(巻末資料)が行われている
* S,I,Rの判定はCLSI 2012 (M100-S22）に準拠
† 菌名コード：2201と報告された菌
集計株数が30株未満の場合には、集計結果を公表しない

本公表データは国内の全医療機関の数値を集計したデータではありません。 データ集計日 ： 2026年05月08日
公開情報掲載日： 2026年08月17日

Japan Nosocomial Infections Surveillance

7. 主要菌の抗菌薬感受性*

Proteus vulgaris †



	感性(S)	SorI	中間(I)	IorR	耐性(R)	判定不能
ABPC (N=1,449)	13 (0.9%)	0 (0.0%)	8 (0.6%)	0 (0.0%)	1,428 (98.6%)	0 (0.0%)
PIPC (N=1,889)	1,101 (58.3%)	0 (0.0%)	341 (18.1%)	0 (0.0%)	447 (23.7%)	0 (0.0%)
TAZ/PIPC (N=1,947)	1,936 (99.4%)	0 (0.0%)	6 (0.3%)	0 (0.0%)	5 (0.3%)	0 (0.0%)
CEZ (N=2,147)	12 (0.6%)	1 (0.0%)	4 (0.2%)	0 (0.0%)	2,130 (99.2%)	0 (0.0%)
CMZ (N=2,081)	2,066 (99.3%)	0 (0.0%)	3 (0.1%)	3 (0.1%)	9 (0.4%)	0 (0.0%)
CTX (N=833)	575 (69.0%)	0 (0.0%)	27 (3.2%)	0 (0.0%)	231 (27.7%)	0 (0.0%)
CTRX (N=1,906)	883 (46.3%)	0 (0.0%)	50 (2.6%)	0 (0.0%)	973 (51.0%)	0 (0.0%)
CAZ (N=1,851)	1,821 (98.4%)	0 (0.0%)	13 (0.7%)	0 (0.0%)	17 (0.9%)	0 (0.0%)
CFPM (N=1,839)	1,790 (97.3%)	0 (0.0%)	12 (0.7%)	6 (0.3%)	31 (1.7%)	0 (0.0%)
AZT (N=1,151)	1,019 (88.5%)	0 (0.0%)	12 (1.0%)	0 (0.0%)	120 (10.4%)	0 (0.0%)
IPM (N=1,603)	968 (60.4%)	0 (0.0%)	449 (28.0%)	0 (0.0%)	186 (11.6%)	0 (0.0%)
MEPM (N=2,159)	2,159 (100%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
AMK (N=2,064)	2,062 (99.9%)	0 (0.0%)	1 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (0.0%)	0 (0.0%)
LVFX (N=2,191)	2,165 (98.8%)	0 (0.0%)	10 (0.5%)	0 (0.0%)	14 (0.6%)	2 (0.1%)

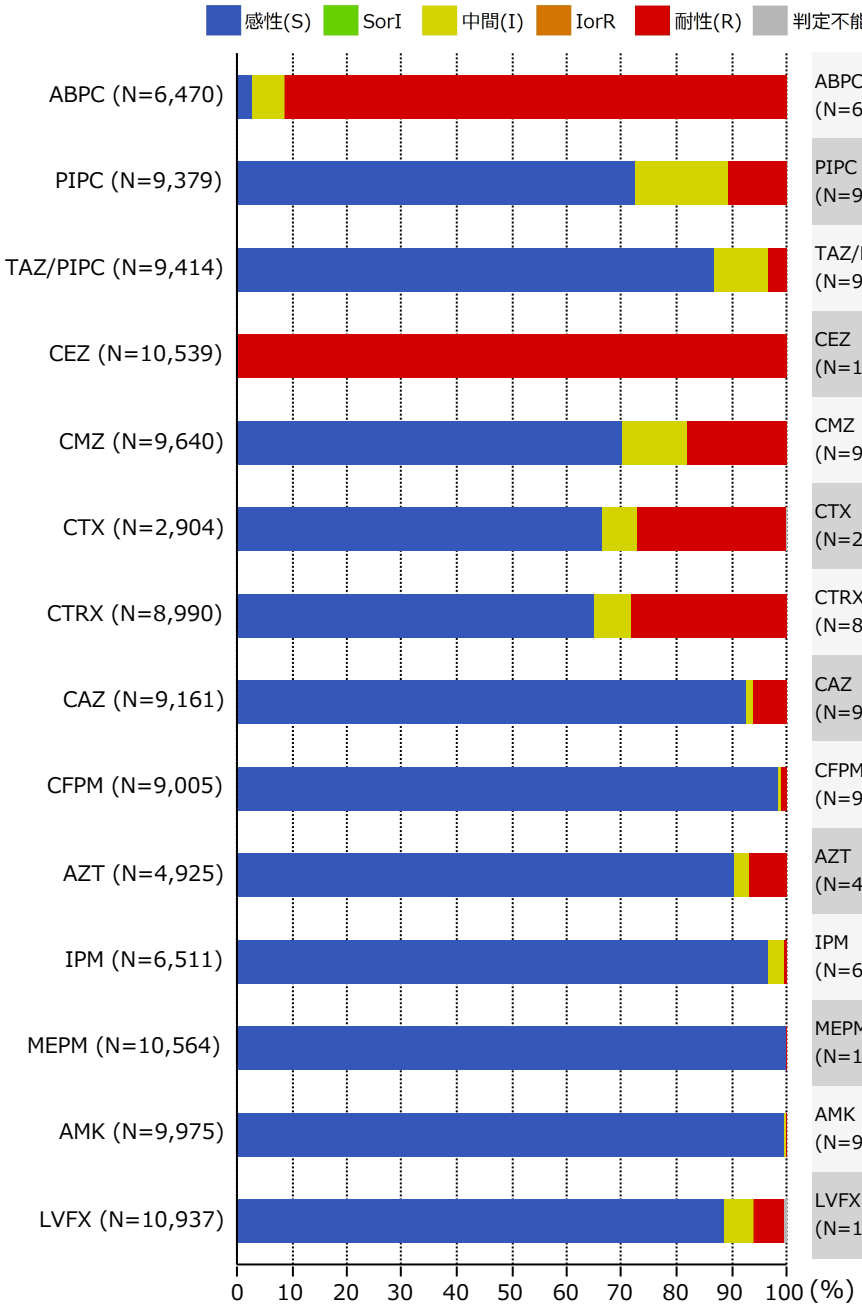
入院検体で、かつ検査法が微量液体希釈法又はEtestと設定されMIC値が報告されている検体を集計
30日単位で、抗菌薬感受性の違いも考慮して菌株数を集計する重複処理(巻末資料)が行われている
* S,I,Rの判定はCLSI 2012 (M100-S22）に準拠
† 菌名コード：2202と報告された菌
集計株数が30株未満の場合には、集計結果を公表しない

本公表データは国内の全医療機関の数値を集計したデータではありません。
データ集計日 ： 2026年05月08日
公開情報掲載日： 2026年08月17日

Japan Nosocomial Infections Surveillance

7. 主要菌の抗菌薬感受性*

Serratia marcescens †



	感性(S)	SorI	中間(I)	IorR	耐性(R)	判定不能
ABPC (N=6,470)	177 (2.7%)	0 (0.0%)	374 (5.8%)	17 (0.3%)	5,902 (91.2%)	0 (0.0%)
PIPC (N=9,379)	6,777 (72.3%)	0 (0.0%)	1,606 (17.1%)	3 (0.0%)	993 (10.6%)	0 (0.0%)
TAZ/PIPC (N=9,414)	8,166 (86.7%)	0 (0.0%)	927 (9.8%)	2 (0.0%)	319 (3.4%)	0 (0.0%)
CEZ (N=10,539)	4 (0.0%)	1 (0.0%)	1 (0.0%)	0 (0.0%)	10,533 (99.9%)	0 (0.0%)
CMZ (N=9,640)	6,738 (69.9%)	0 (0.0%)	1,147 (11.9%)	1 (0.0%)	1,754 (18.2%)	0 (0.0%)
CTX (N=2,904)	1,925 (66.3%)	0 (0.0%)	187 (6.4%)	2 (0.1%)	786 (27.1%)	4 (0.1%)
CTRX (N=8,990)	5,834 (64.9%)	1 (0.0%)	601 (6.7%)	0 (0.0%)	2,553 (28.4%)	1 (0.0%)
CAZ (N=9,161)	8,484 (92.6%)	0 (0.0%)	118 (1.3%)	0 (0.0%)	556 (6.1%)	3 (0.0%)
CFPM (N=9,005)	8,863 (98.4%)	0 (0.0%)	41 (0.5%)	3 (0.0%)	98 (1.1%)	0 (0.0%)
AZT (N=4,925)	4,449 (90.3%)	0 (0.0%)	139 (2.8%)	0 (0.0%)	337 (6.8%)	0 (0.0%)
IPM (N=6,511)	6,286 (96.5%)	0 (0.0%)	194 (3.0%)	0 (0.0%)	30 (0.5%)	1 (0.0%)
MEPM (N=10,564)	10,546 (99.8%)	0 (0.0%)	6 (0.1%)	0 (0.0%)	12 (0.1%)	0 (0.0%)
AMK (N=9,975)	9,915 (99.4%)	0 (0.0%)	38 (0.4%)	0 (0.0%)	22 (0.2%)	0 (0.0%)
LVFX (N=10,937)	9,681 (88.5%)	0 (0.0%)	576 (5.3%)	19 (0.2%)	605 (5.5%)	56 (0.5%)

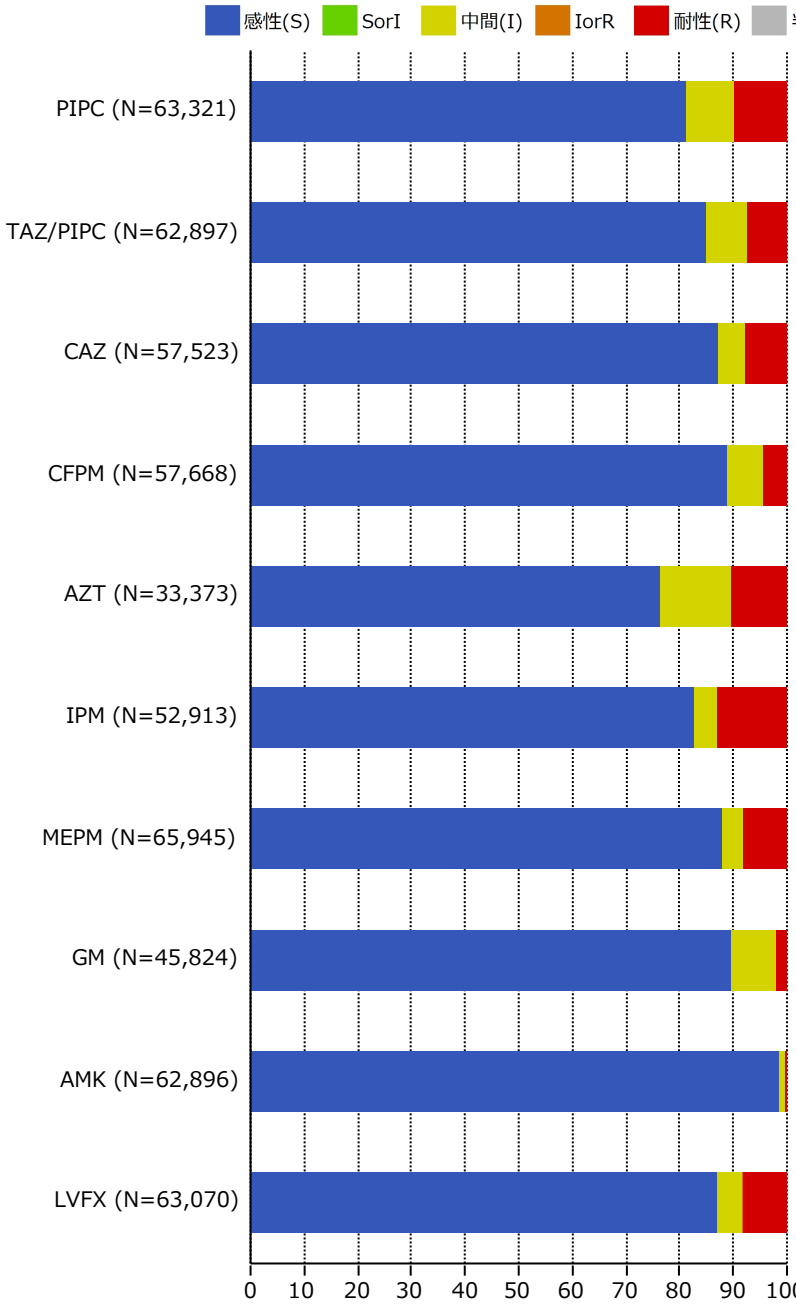
入院検体で、かつ検査法が微量液体希釈法又はEtestと設定されMIC値が報告されている検体を集計
30日単位で、抗菌薬感受性の違いも考慮して菌株数を集計する重複処理(巻末資料)が行われている
* S,I,Rの判定はCLSI 2012 (M100-S22）に準拠
† 菌名コード：2101と報告された菌
集計株数が30株未満の場合には、集計結果を公表しない

本公表データは国内の全医療機関の数値を集計したデータではありません。 データ集計日 ： 2026年05月08日
公開情報掲載日： 2026年08月17日

Japan Nosocomial Infections Surveillance

7. 主要菌の抗菌薬感受性*

Pseudomonas aeruginosa †



	感性(S)	SorI	中間(I)	IorR	耐性(R)	判定不能
PIPC (N=63,321)	51,366 (81.1%)	0 (0.0%)	5,697 (9.0%)	5 (0.0%)	6,253 (9.9%)	0 (0.0%)
TAZ/PIPC (N=62,897)	53,408 (84.9%)	0 (0.0%)	4,746 (7.5%)	2 (0.0%)	4,736 (7.5%)	5 (0.0%)
CAZ (N=57,523)	50,161 (87.2%)	0 (0.0%)	2,853 (5.0%)	12 (0.0%)	4,497 (7.8%)	0 (0.0%)
CFPM (N=57,668)	51,185 (88.8%)	0 (0.0%)	3,886 (6.7%)	0 (0.0%)	2,597 (4.5%)	0 (0.0%)
AZT (N=33,373)	25,502 (76.4%)	0 (0.0%)	4,360 (13.1%)	34 (0.1%)	3,477 (10.4%)	0 (0.0%)
IPM (N=52,913)	43,732 (82.6%)	0 (0.0%)	2,250 (4.3%)	14 (0.0%)	6,917 (13.1%)	0 (0.0%)
MEPM (N=65,945)	57,890 (87.8%)	0 (0.0%)	2,553 (3.9%)	11 (0.0%)	5,491 (8.3%)	0 (0.0%)
GM (N=45,824)	41,054 (89.6%)	0 (0.0%)	3,793 (8.3%)	2 (0.0%)	975 (2.1%)	0 (0.0%)
AMK (N=62,896)	61,912 (98.4%)	0 (0.0%)	642 (1.0%)	0 (0.0%)	341 (0.5%)	1 (0.0%)
LVFX (N=63,070)	54,852 (87.0%)	0 (0.0%)	2,878 (4.6%)	66 (0.1%)	5,266 (8.3%)	8 (0.0%)

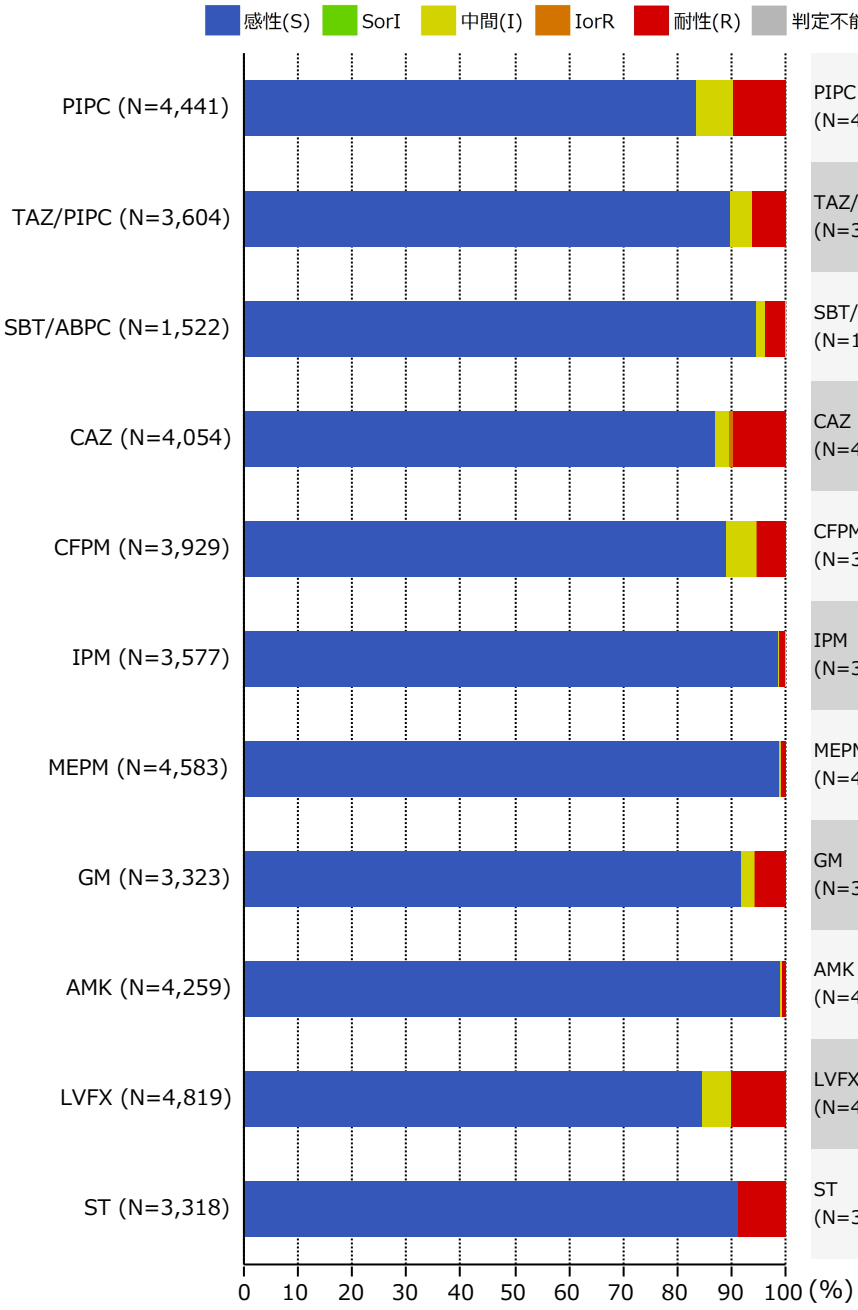
入院検体で、かつ検査法が微量液体希釈法又はEtestと設定されMIC値が報告されている検体を集計
30日単位で、抗菌薬感受性の違いも考慮して菌株数を集計する重複処理(巻末資料)が行われている
* S,I,Rの判定はCLSI 2012 (M100-S22）に準拠
† 菌名コード：4001と報告された菌
集計株数が30株未満の場合には、集計結果を公表しない

本公表データは国内の全医療機関の数値を集計したデータではありません。 データ集計日 ： 2026年05月08日
公開情報掲載日： 2026年08月17日

Japan Nosocomial Infections Surveillance

7. 主要菌の抗菌薬感受性*

Acinetobacter spp. †



	感性(S)	SorI	中間(I)	IorR	耐性(R)	判定不能
PIPC (N=4,441)	3,705 (83.4%)	0 (0.0%)	303 (6.8%)	2 (0.0%)	431 (9.7%)	0 (0.0%)
TAZ/PIPC (N=3,604)	3,234 (89.7%)	0 (0.0%)	145 (4.0%)	2 (0.1%)	223 (6.2%)	0 (0.0%)
SBT/ABPC (N=1,522)	1,438 (94.5%)	0 (0.0%)	25 (1.6%)	1 (0.1%)	56 (3.7%)	2 (0.1%)
CAZ (N=4,054)	3,525 (87.0%)	0 (0.0%)	108 (2.7%)	25 (0.6%)	396 (9.8%)	0 (0.0%)
CFPM (N=3,929)	3,497 (89.0%)	0 (0.0%)	222 (5.7%)	2 (0.1%)	208 (5.3%)	0 (0.0%)
IPM (N=3,577)	3,526 (98.6%)	0 (0.0%)	10 (0.3%)	0 (0.0%)	39 (1.1%)	2 (0.1%)
MEPM (N=4,583)	4,526 (98.8%)	0 (0.0%)	16 (0.3%)	0 (0.0%)	39 (0.9%)	2 (0.0%)
GM (N=3,323)	3,050 (91.8%)	0 (0.0%)	82 (2.5%)	2 (0.1%)	189 (5.7%)	0 (0.0%)
AMK (N=4,259)	4,209 (98.8%)	0 (0.0%)	19 (0.4%)	0 (0.0%)	31 (0.7%)	0 (0.0%)
LVFX (N=4,819)	4,070 (84.5%)	0 (0.0%)	264 (5.5%)	0 (0.0%)	483 (10.0%)	2 (0.0%)
ST (N=3,318)	3,025 (91.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	293 (8.8%)	0 (0.0%)

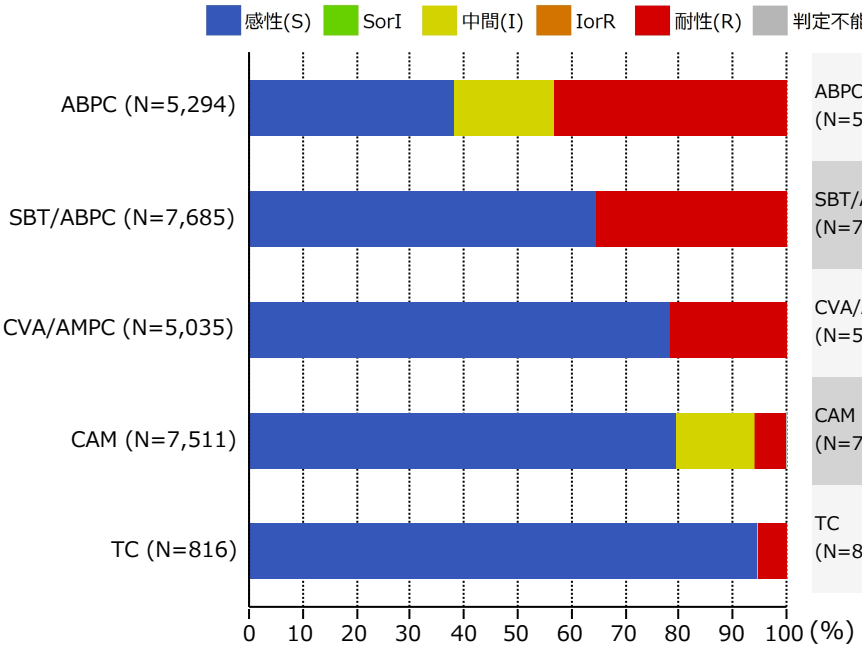
入院検体で、かつ検査法が微量液体希釈法又はEtestと設定されMIC値が報告されている検体を集計
30日単位で、抗菌薬感受性の違いも考慮して菌株数を集計する重複処理(巻末資料)が行われている
* S,I,Rの判定はCLSI 2012 (M100-S22）に準拠
† 菌名コード：4400～4403と報告された菌
集計株数が30株未満の場合には、集計結果を公表しない

本公表データは国内の全医療機関の数値を集計したデータではありません。
データ集計日 ： 2026年05月08日
公開情報掲載日： 2026年08月17日

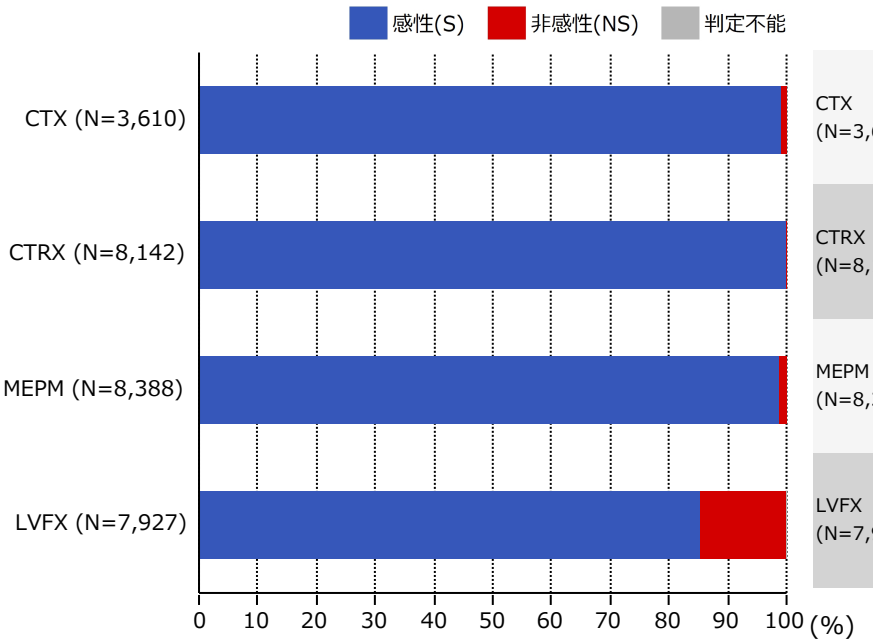
Japan Nosocomial Infections Surveillance

7. 主要菌の抗菌薬感受性*

Haemophilus influenzae †



	感性(S)	SorI	中間(I)	IorR	耐性(R)	判定不能
ABPC (N=5,294)	2,020 (38.2%)	0 (0.0%)	981 (18.5%)	0 (0.0%)	2,293 (43.3%)	0 (0.0%)
SBT/ABPC (N=7,685)	4,960 (64.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2,725 (35.5%)	0 (0.0%)
CVA/AMPC (N=5,035)	3,937 (78.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1,097 (21.8%)	1 (0.0%)
CAM (N=7,511)	5,953 (79.3%)	0 (0.0%)	1,093 (14.6%)	8 (0.1%)	446 (5.9%)	11 (0.1%)
TC (N=816)	771 (94.5%)	0 (0.0%)	2 (0.2%)	0 (0.0%)	43 (5.3%)	0 (0.0%)



	感性(S)	非感性(NS)	判定不能
CTX (N=3,610)	3,571 (98.9%)	39 (1.1%)	0 (0.0%)
CTRX (N=8,142)	8,122 (99.8%)	20 (0.2%)	0 (0.0%)
MEPM (N=8,388)	8,270 (98.6%)	118 (1.4%)	0 (0.0%)
LVFX (N=7,927)	6,753 (85.2%)	1,167 (14.7%)	7 (0.1%)

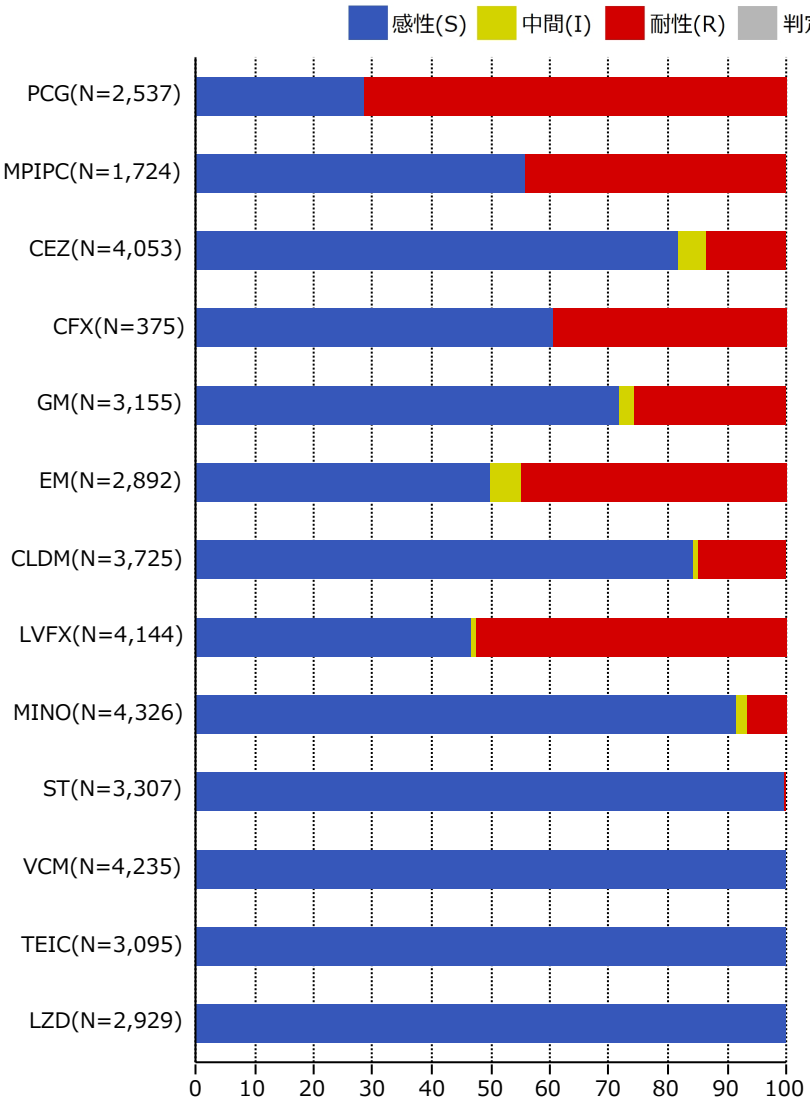
入院検体で、かつ検査法が微量液体希釈法又はEtestと設定されMIC値が報告されている検体を集計
30日単位で、抗菌薬感受性の違いも考慮して菌株数を集計する重複処理(巻末資料)が行われている
* S,I,RまたはS,NSの判定はCLSI 2012 (M100-S22）に準拠
† 菌名コード：3201, 3202, 3203, 3205, 3208, 3211, 3214, 3217, 3220, 3223と報告された菌
集計株数が30株未満の場合には、集計結果を公表しない

本公表データは国内の全医療機関の数値を集計したデータではありません。 データ集計日 ： 2026年05月08日
公開情報掲載日： 2026年08月17日

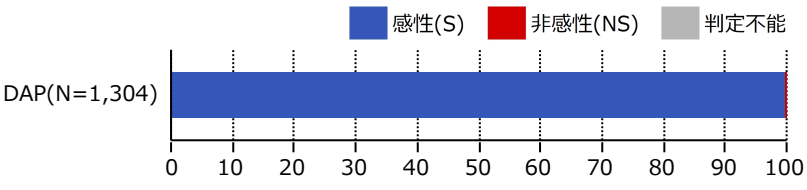
Japan Nosocomial Infections Surveillance

7. 主要菌の抗菌薬感受性* 【血液検体】

Staphylococcus aureus (ALL) †



	感性(S)	中間(I)	耐性(R)	判定不能
PCG (N=2,537)	724 (28.5%)	0 (0.0%)	1,813 (71.5%)	0 (0.0%)
MPIPC (N=1,724)	960 (55.7%)	0 (0.0%)	764 (44.3%)	0 (0.0%)
CEZ (N=4,053)	3,311 (81.7%)	190 (4.7%)	549 (13.5%)	3 (0.1%)
CFX (N=375)	227 (60.5%)	0 (0.0%)	148 (39.5%)	0 (0.0%)
GM (N=3,155)	2,261 (71.7%)	77 (2.4%)	817 (25.9%)	0 (0.0%)
EM (N=2,892)	1,446 (50%)	147 (5.1%)	1,299 (44.9%)	0 (0.0%)
CLDM (N=3,725)	3,135 (84.2%)	30 (0.8%)	560 (15%)	0 (0.0%)
LVFX (N=4,144)	1,941 (46.8%)	27 (0.7%)	2,176 (52.5%)	0 (0.0%)
MINO (N=4,326)	3,958 (91.5%)	72 (1.7%)	296 (6.8%)	0 (0.0%)
ST (N=3,307)	3,295 (99.6%)	0 (0.0%)	12 (0.4%)	0 (0.0%)
VCM (N=4,235)	4,235 (100%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
TEIC (N=3,095)	3,095 (100%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
LZD (N=2,929)	2,929 (100%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)



	感性(S)	非感性(NS)	判定不能
DAP (N=1,304)	1,300 (99.7%)	4 (0.3%)	0 (0.0%)

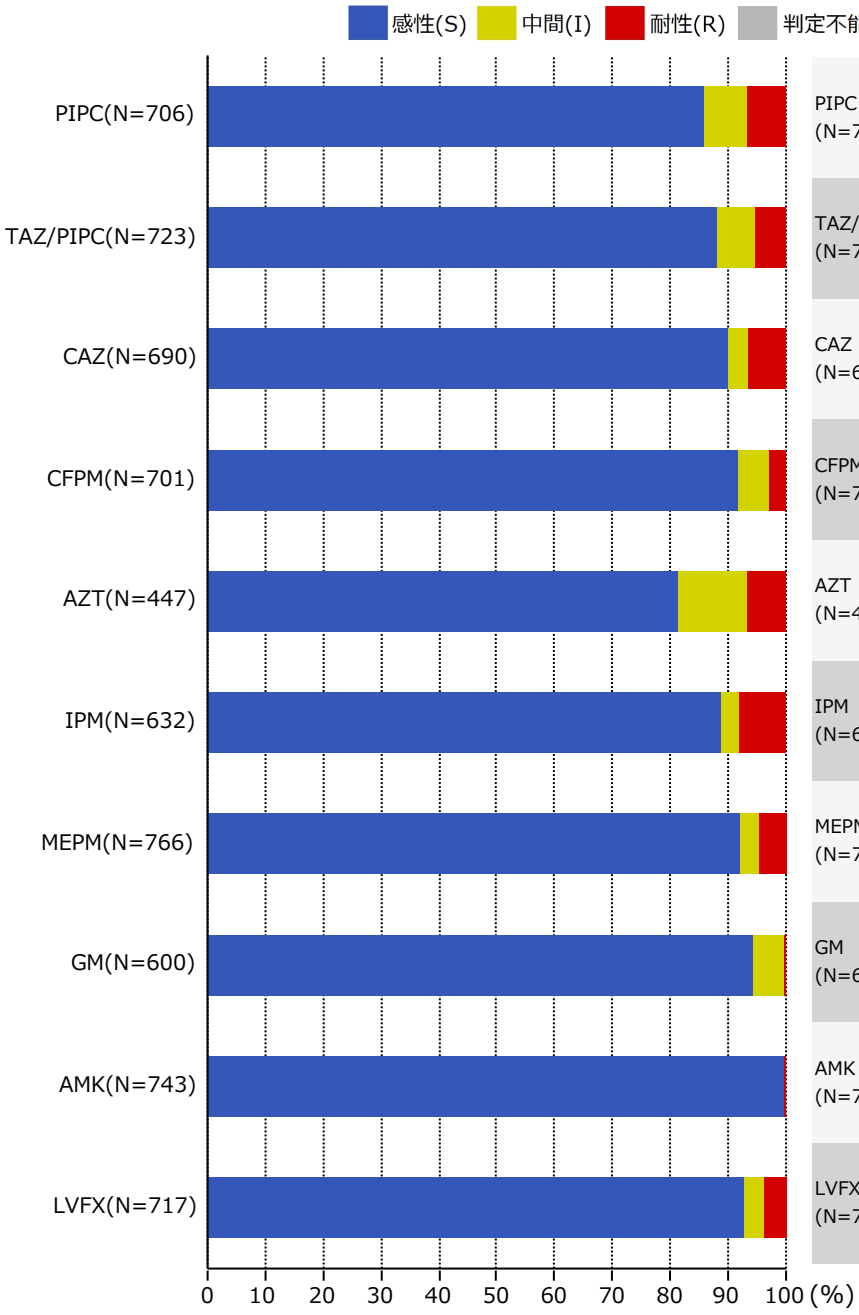
入院検体で、かつ検査法が微量液体希釈法又はEtestと設定されMIC値が報告されている検体を集計
患者毎に当該検査材料由来の各菌種の初回分離株を集計する重複処理(巻末資料)が行われている
* S,I,RまたはS,NSの判定はCLSI 2012 (M100-S22) に準拠
† 菌名コード：1301, 1303～1306と報告された菌
‡ 集計株数が30株未満の場合には、集計結果を公表しない

本公表データは国内の全医療機関の数値を集計したデータではありません。
データ集計日 ： 2026年05月08日
公開情報掲載日： 2026年08月17日

Japan Nosocomial Infections Surveillance

7. 主要菌の抗菌薬感受性* 【血液検体】

Pseudomonas aeruginosa †



	感性(S)	中間(I)	耐性(R)	判定不能
PIPC (N=706)	606 (85.8%)	52 (7.4%)	48 (6.8%)	0 (0.0%)
TAZ/PIPC (N=723)	637 (88.1%)	47 (6.5%)	39 (5.4%)	0 (0.0%)
CAZ (N=690)	621 (90%)	23 (3.3%)	46 (6.7%)	0 (0.0%)
CFPM (N=701)	642 (91.6%)	38 (5.4%)	21 (3%)	0 (0.0%)
AZT (N=447)	363 (81.2%)	54 (12.1%)	30 (6.7%)	0 (0.0%)
IPM (N=632)	561 (88.8%)	19 (3%)	52 (8.2%)	0 (0.0%)
MEPM (N=766)	705 (92%)	25 (3.3%)	36 (4.7%)	0 (0.0%)
GM (N=600)	565 (94.2%)	33 (5.5%)	2 (0.3%)	0 (0.0%)
AMK (N=743)	741 (99.7%)	0 (0.0%)	2 (0.3%)	0 (0.0%)
LVFX (N=717)	665 (92.7%)	25 (3.5%)	27 (3.8%)	0 (0.0%)

入院検体で、かつ検査法が微量液体希釈法又はEtestと設定されMIC値が報告されている検体を集計
患者毎に当該検査材料由来の各菌種の初回分離株を集計する重複処理(巻末資料)が行われている
* S,I,Rの判定はCLSI 2012 (M100-S22) に準拠
† 菌名コード：4001と報告された菌
‡ 集計株数が30株未満の場合には、集計結果を公表しない

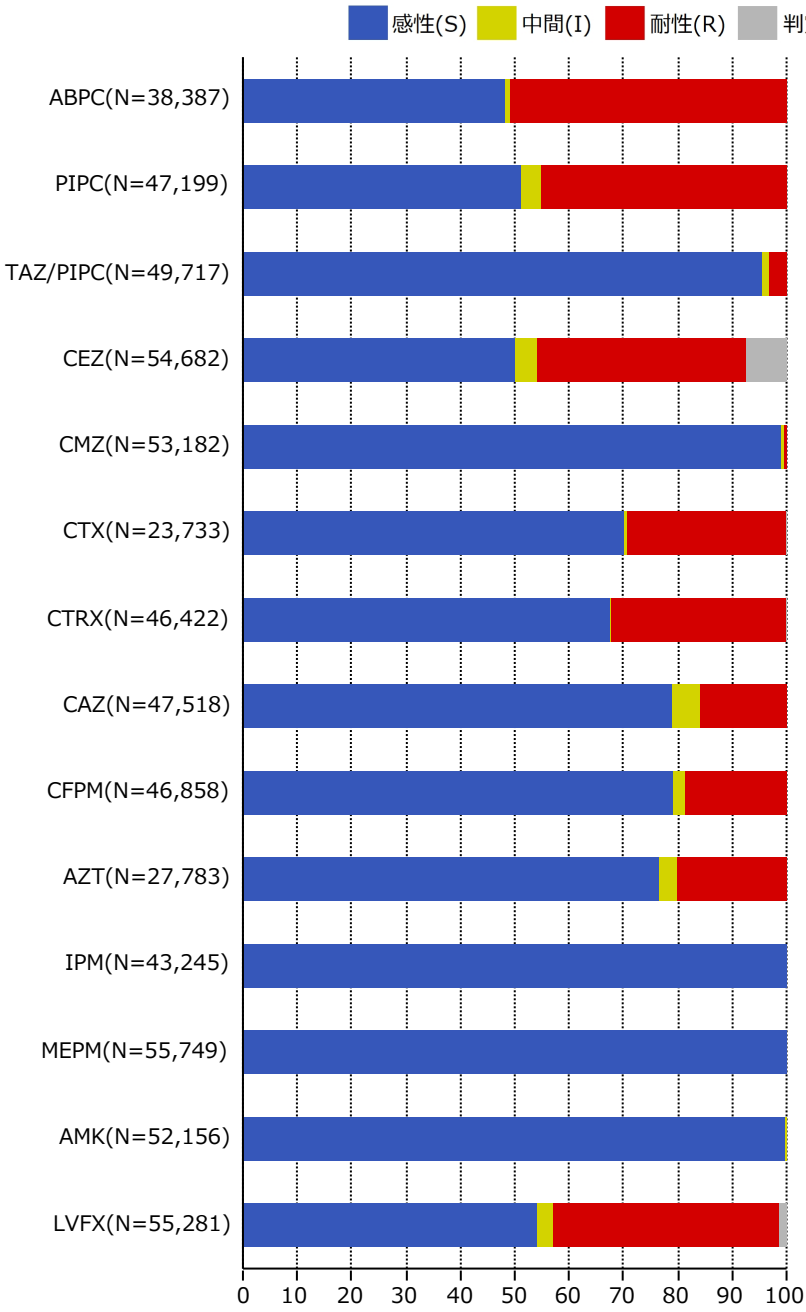
本公表データは国内の全医療機関の数値を集計したデータではありません。
データ集計日 ： 2026年05月08日
公開情報掲載日： 2026年08月17日

Japan Nosocomial Infections Surveillance

JANIS

7. 主要菌の抗菌薬感受性* 【尿検体】

Escherichia coli †



	感性(S)	中間(I)	耐性(R)	判定不能
ABPC (N=38,387)	18,499 (48.2%)	337 (0.9%)	19,551 (50.9%)	0 (0.0%)
PIPC (N=47,199)	24,106 (51.1%)	1,690 (3.6%)	21,402 (45.3%)	1 (0.0%)
TAZ/PIPC (N=49,717)	47,379 (95.3%)	719 (1.4%)	1,617 (3.3%)	2 (0.0%)
CEZ (N=54,682)	27,389 (50.1%)	2,122 (3.9%)	21,111 (38.6%)	4,060 (7.4%)
CMZ (N=53,182)	52,632 (99%)	257 (0.5%)	293 (0.6%)	0 (0.0%)
CTX (N=23,733)	16,620 (70%)	123 (0.5%)	6,962 (29.3%)	28 (0.1%)
CTRX (N=46,422)	31,334 (67.5%)	82 (0.2%)	14,975 (32.3%)	31 (0.1%)
CAZ (N=47,518)	37,483 (78.9%)	2,429 (5.1%)	7,606 (16%)	0 (0.0%)
CFPM (N=46,858)	37,013 (79%)	1,097 (2.3%)	8,747 (18.7%)	1 (0.0%)
AZT (N=27,783)	21,209 (76.3%)	952 (3.4%)	5,622 (20.2%)	0 (0.0%)
IPM (N=43,245)	43,187 (99.9%)	45 (0.1%)	12 (0.0%)	1 (0.0%)
MEPM (N=55,749)	55,737 (100%)	3 (0.0%)	9 (0.0%)	0 (0.0%)
AMK (N=52,156)	52,025 (99.7%)	87 (0.2%)	44 (0.1%)	0 (0.0%)
LVFX (N=55,281)	29,970 (54.2%)	1,546 (2.8%)	23,013 (41.6%)	752 (1.4%)

入院検体で、かつ検査法が微量液体希釈法又はEtestと設定されMIC値が報告されている検体を集計
患者毎に当該検査材料由来の各菌種の初回分離株を集計する重複処理(巻末資料)が行われている
* S,I,Rの判定はCLSI 2012 (M100-S22) に準拠
† 菌名コード：2001～2007と報告された菌
‡ 集計株数が30株未満の場合には、集計結果を公表しない

本公表データは国内の全医療機関の数値を集計したデータではありません。
データ集計日 ： 2026年05月08日
公開情報掲載日： 2026年08月17日

Japan Nosocomial Infections Surveillance

【巻末資料１　主要菌の菌名コード ／ 微量液体希釈法に基づく耐性菌の判定基準】

主要菌の菌名コード（薬剤感受性条件なし）

菌名	菌名コード Ver.6.1
Staphylococcus aureus	1301,1303-1306
Staphylococcus epidermidis	1312
Streptococcus pneumoniae	1131
Enterococcus faecalis	1201,1202
Enterococcus faecium	1205,1206
Escherichia coli	2001-2007
Klebsiella pneumoniae	2351
Enterobacter cloacae complex＊	2151,2155,2157-2161
Klebsiella aerogenes	2152
Enterobacterales	2000-2691,3150-3151
Pseudomonas aeruginosa	4001
Acinetobacter spp.	4400-4403

＊*Enterobacter cloacae* complex は、以下の菌名コードの菌種を含む
（Davin-Regli et al (2019), *Clinical Microbiology Reviews*）

2151　*Enterobacter cloacae*
2155　*Enterobacter asburiae*
2157　*Enterobacter hormaechei*
2158　*Enterobacter kobei*
2159　*Enterobacter ludwigii*
2160　*Enterobacter mori*
2161　*Enterobacter nimipressuralis*

微量液体希釈法に基づく耐性菌の判定基準

菌名 †	概要	微量液体希釈法の判定基準	菌名コード Ver.6.1
MRSA	MPIPC または CFX が耐性の *S. aureus* または選択培地で MRSA と確認された菌	MPIPC ≧4μg/mL CFX ≧8μg/mL	1301,1303
VRSA	VCM が微量液体希釈法で耐性の *S. aureus*	VCM ≧16μg/mL	1301,1303-1306
VRE	下記のいずれかの条件を満たす *Enterococcus* spp. ・VCM が微量液体希釈法で耐性 ・選択培地で VRE と確認された菌 注）種の同定が行われていない *Enterococcus* sp.は除く	VCM ≧16μg/mL	1201,1202,1205, 1206,1209,1210, 1213-1217
PRSP	PCG が微量液体希釈法で耐性の *S. pneumoniae* 注）無菌検体とは以下に該当する検査材料コードを示す 401（静脈血）,402（動脈血）,403（髄液）,404（胸水） 405（腹水）,406（関節液）,407（骨髄液）,408（心嚢水）	無菌検体 PCG ≧0.125μg/mL 無菌検体以外 PCG ≧4μg/mL	1131
MDRP	下記全てに該当する *P. aeruginosa* 1. カルバペネム系（IPM、MEPM の何れか）が耐性 2. アミノグリコシド系の AMK が中間・耐性 3. フルオロキノロン系（CPFX、LVFX の何れか）が耐性	1.IPM ≧8μg/mL MEPM ≧8μg/mL 2.AMK ≧32μg/mL 3.CPFX ≧2μg/mL LVFX ≧4μg/mL	4001
MDRA	下記全てに該当する *Acinetobacter* spp. 1. カルバペネム系（IPM、MEPM の何れか）が耐性 2. アミノグリコシド系の AMK が中間・耐性 3. フルオロキノロン系（CPFX、LVFX の何れか）が耐性	1.IPM ≧16μg/mL、 MEPM ≧16μg/mL ‡ 2.AMK ≧32μg/mL 3.CPFX ≧4μg /mL LVFX ≧8μg/mL ‡	4400-4403
CRE	MEPM が耐性の腸内細菌目細菌	1.MEPM ≧2μg/mL	2000-2691,3150-3151
カルバペネム耐性緑膿菌	IPM または MEPM が耐性の *P. aeruginosa*	IPM・MEPM ≧8μg/mL	4001
第三世代セファロスポリン 耐性肺炎桿菌	CTX または CTRX または CAZ が "R" の *K. pneumoniae*	CTX・CTRX≧4μg/mL ‡ CAZ ≧16μg/mL ‡	2351
第三世代セファロスポリン 耐性大腸菌	CTX または CTRX または CAZ が "R" の *E. coli*	CTX・CTRX≧4μg/mL ‡ CAZ ≧16μg/mL ‡	2001-2007
フルオロキノロン 耐性大腸菌	フルオロキノロン系（NFLX、OFLX、LVFX、LFLX、CPFX の何れか）が "R" の *E. coli*	NFLX ≧16μg/mL ‡ OFLX ≧8μg/mL ‡ LVFX ≧8μg/mL ‡ LFLX ≧8μg/mL ‡ CPFX ≧4μg/mL ‡	2001-2007

薬剤耐性菌の判定基準は、薬剤耐性菌判定基準（Ver.5.0）と 検査部門特定の耐性菌判定基準（Ver.5.0）を基に作成しており、
原則として感染症発生動向調査の基準（2026 年 4 月 6 日施行）に準拠している。
VRE、PRSP、CRE、および MDRP・MDRA の AMK の判定基準は CLSI の基準と異なることに注意。

†：耐性菌の菌名は以下の通り
MRSA：Methicillin-resistant *S. aureus*　メチシリン耐性黄色ブドウ球菌
VRSA：Vancomycin-resistant *S. aureus*　バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌
VRE：Vancomycin-resistant *Enterococcus* spp.　バンコマイシン耐性腸球菌
PRSP：Penicillin-resistant *S. pneumoniae*　ペニシリン耐性肺炎球菌
MDRP：Multidrug-resistant *P. aeruginosa*　多剤耐性緑膿菌
MDRA：Multidrug-resistant *Acinetobacter* spp.　多剤耐性アシネトバクター属
CRE：Carbapenem-resistant *Enterobacterales*　カルバペネム耐性腸内細菌目細菌

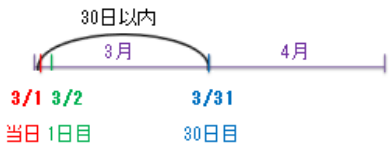
‡：JANIS 検査部門における判定基準であり、CLSI 2012（M100-S22）に準拠している。

【巻末資料２　公開情報の集計方法について】

1.　日数の数え方

検体提出日の翌日を 1 日目とする。検体提出日が 3 月 1 日とすると、1 日目が 3 月 2 日、30 日目が 3 月 31 日となる。

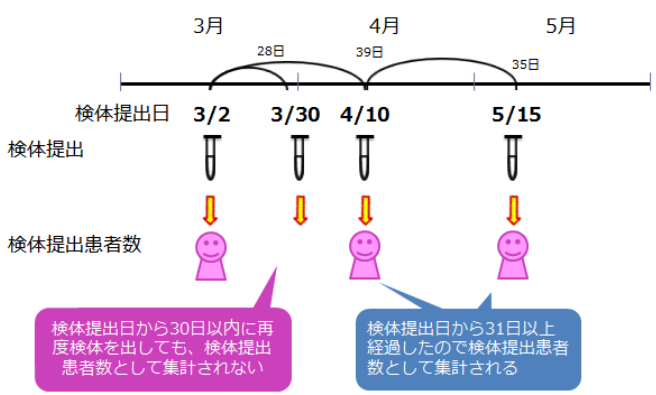
例)



2.　検体提出患者数

検体提出患者数は、検体の種類や菌分離の有無に関わらず検体(入院検体)が提出された患者の数である。
検体提出患者数は重複処理を行っており、30 日以内の同一患者からの複数の検体提出は 1 件とする。

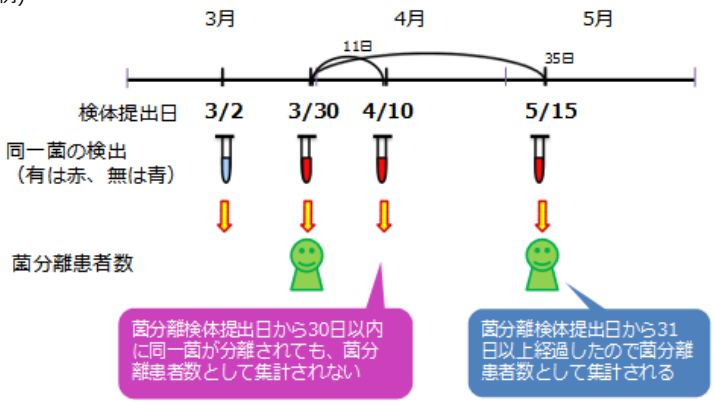
例)



3.　菌分離患者数

菌分離患者数も検体提出患者と同様の重複処理を行い、30 日以内に同一患者から同一菌が複数回検出された場合、菌分離患者数は 1 件とする。耐性菌分離患者数は、耐性菌の基準に合致する菌をまず抽出し、その中で上記重複処理を行っている。なお、年報の「2．データ提出医療機関数、検体数、分離菌数」「3．検体材料別分離菌数割合」で重複処理前の値と併記しているのは、上記重複処理を実施した後の値である。

例)



4.　分離率の算出

「4．主要菌分離患者数と全医療機関の分離率分布」「5.特定の耐性菌分離患者数と全医療機関の分離率分布」の各分離率は以下の算出式を用いている。なお、公開情報年報での全医療機関とは、集計対象医療機関を表す。

‡全体の分離率 ＝（集計対象医療機関の対象菌の分離患者数合計）÷（集計対象医療機関の検体提出患者数合計）×100

¶分離率 ＝（対象菌の分離患者数） ÷（検体提出患者数）×100

5.　抗菌薬感受性検査結果をもとにした同一菌と異なる菌との区別

30 日以内に同一患者から同一菌が検出された場合であっても、検査抗菌薬感受性結果に 1 つ以上不一致（下記①～④のいずれかに該当）がある場合は異なる菌株として集計される。

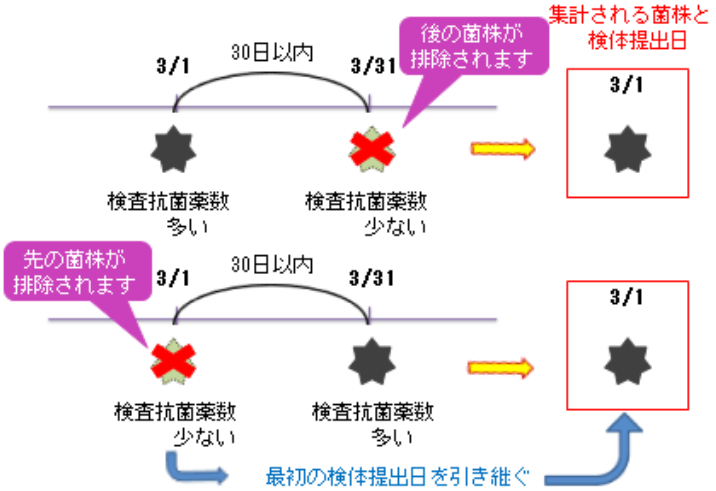
① MIC 値に 4 倍以上の違いがある
　ただし、MIC > 2 は MIC ≧ 4 と考え、判定時は MIC = 4 として扱う
　また、MIC < 16 は MIC ≦ 16 と考え、判定時は MIC = 16 として扱う
② SIR 判定では「S と R」の組み合わせ
③ +/- 判定では「-と++」または「+と+++」または「-と+++」の組み合わせ
④ 共通する検査抗菌薬数が 5 未満

【巻末資料２　公開情報の集計方法について】

6.　抗菌薬感受性結果の重複処理

検体提出日が先の菌株の検査抗菌薬数が（30 日以内の）後の菌株の検査抗菌薬数より多い場合、後の菌株の抗菌薬感受性検査結果は排除する。また、検体提出日が後の菌株の検査抗菌薬が（30 日以内の）先の菌株の検査抗菌薬より多い場合、先の菌株の抗菌薬感受性検査結果を排除するが、先の検査の検体提出日を引き継ぐ。

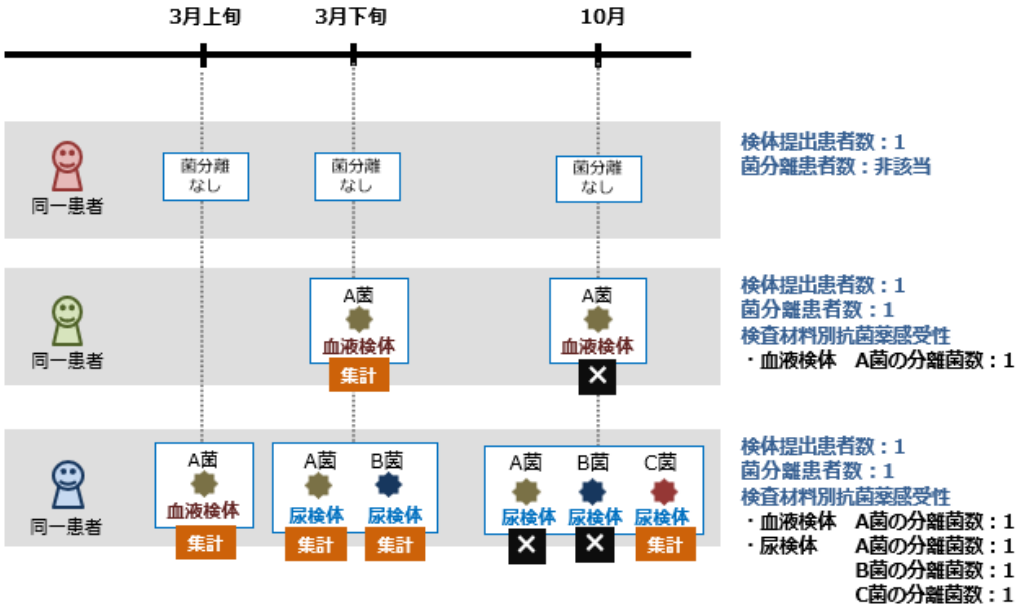
例）



7.　抗菌薬感受性結果の重複処理（検査材料別アンチバイオグラムの場合）

WHO GLASS 方式に準拠し、同一患者から同一検査材料由来の同一菌の抗菌薬感受性が複数回報告された場合は、抗菌薬感受性結果にかかわらず、初回の 1 件のみ集計する。
同一患者から異なる菌の抗菌薬感受性結果が報告された場合は、それぞれ初回の 1 件のみ集計する。

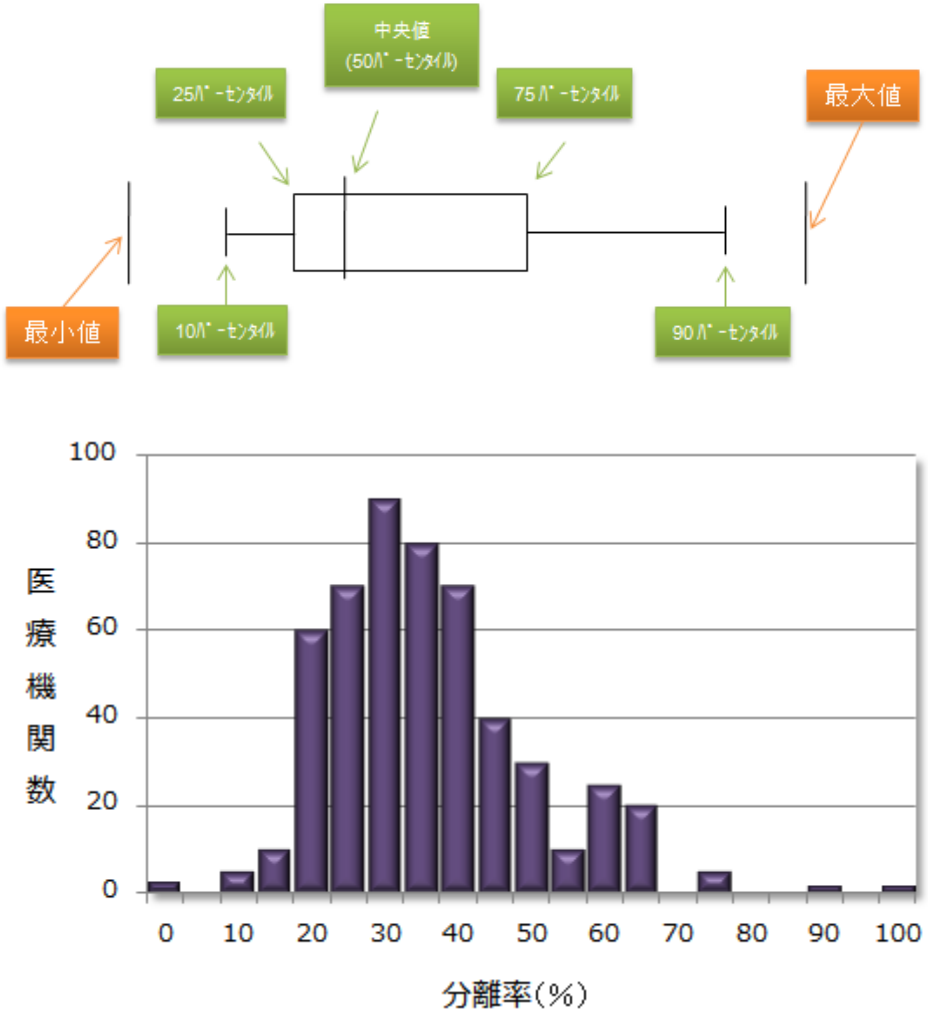
例）



【巻末資料３　箱ひげ図について】

1.　箱ひげ図について

集計対象医療機関のデータのばらつきを示し、集計対象医療機関における自施設の位置を確認することができる。



※　パーセンタイル：値を小さいものから大きいものへと順番に並べ、全体を 100 として何番目であるかを表したもの。
例えば、10 パーセンタイルは、全体を 100 として小さいほうから数えて 10 番目の計測値を示している。

2.　公開情報の箱ひげ図

